

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	1	3	内務省図書局岡谷繁実、勅封書物取調のため京都・大阪方面へ出張する。	東京日日
明治10	1877	1	4	天皇の大和・京都行幸に関して、一月十七日の大阪到着が達せられる。	宮本家文書・浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	1	4	大阪府、京町堀通三丁目竹内とくの孝養を賞し、金円を与える。	大坂府歴史・大阪日報
明治10	1877	1	4	『時価日報』発刊される。	読売
明治10	1877	1	6	天皇の大和・京都行幸の日程変更され、大阪には一月二十五日到着の予定が達せられる。	布告及布達・浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	1	6	第二回目の演説会が正行寺において開かれる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	1	6	大阪英語学校においても演説会が開かれる。（ただし校内限り）	大阪日報
明治10	1877	1	7	このころより、政府からの買い注文が急に入り、現米の値段が上昇しはじめる。	浪花新聞
明治10	1877	1	9	大阪府、中ノ島一丁目字山崎ノ鼻難波橋中央への接続道路（延長九三間余、幅十間六分）を築立て、この日竣工する。	大坂府歴史・浪花新聞・大阪府史料
明治10	1877	1	9	大阪府、夜十時以降の市中無提灯往来の禁を解く。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	1	10	大阪府、種痘医に明治九年後半の種痘記録を提出させるよう区戸長に命じる。	布告及布達
明治10	1877	1	11	政府、各省中の諸寮廃止を決め、大少丞以下を廃止する。これに伴ない大蔵省は造幣寮にかわって新たに造幣局を設置し、工部省は電信寮大阪出張所を廃止する。	法令全書
明治10	1877	1	11	堂島米商会所の手数料、半額に値下げされる。	東京日日・浪花新聞
明治10	1877	1	11	九郎右衛門町で火災、四十一戸が類焼する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	1	12	大阪府、学校積金の遣払い、あるいは定費外集金の際には、学区取締・戸長・学校世話掛および学区内町村総代人並びに不動産所持者の六分以上連印の上、届け出るよう達する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	1	12	大阪府権知事渡辺昇、帰府する。	布告及布達
明治10	1877	1	13	天皇の大和・京都行幸の日程が再度改められ、大阪には二月五日の鉄道開業式来臨御および二月十四日よりの駐輦予定が達せられる。	浪花新聞・宮本家文書
明治10	1877	1	13	第三回演説会が会場を変更し、北浜五丁目風雲館において開かれる。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	1	15	大阪府、昨年十一月第三百十一号布達による貧富取調べをとりやめる。	布告及布達・浪花新聞
明治10	1877	1	15	中島彬夫、北浜五丁目風雲館に英学私塾を開く。	大阪日報
明治10	1877	1	15	道頓堀西櫓町角丸座、旭座と改名し、上棟式を行う。	浪花新聞
明治10	1877	1	15	この日および翌十六日、暴風が吹き、海浜において被害がでる。	浪花新聞
明治10	1877	1	16	大阪府、呉服商その他諸商の府税納入期日を毎年二月・八月限りに改める。	布告及布達
明治10	1877	1	16	安治川上通二丁目の女紅場、開業する。	大阪日報
明治10	1877	1	17	大阪府、博物場大会開場に向けて、各区物産等の調査書上げを市郡区戸長に命じる。	布告及布達
明治10	1877	1	17	大阪府、市街建屋の繕い普請については、区戸長点検の上届け出る方式を改め、表柱ほか道路・川岸などに関する場所は出願許可の上営繕すべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	1	17	鳴野弁天島の淀君の祠、入札にて北野村西尾孫四郎が入手、北野太融寺へ遷座を目論むが、府が許可を与えず、中ノ島に建設予定の豊国社に合祀する計画となる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	1	18	第二大区区長高田伝蔵、二十分の一税半高の使途を定め、あわせて町総代・区総代の選出方法を定める。	宮本家文書
明治10	1877	1	19	大阪英語学校生徒入学募集は当分見合せとする。	布告及布達
明治10	1877	1	19	大阪府第五課、変則教師の月給渡方を定める。	大阪府教育百年史
明治10	1877	1	20	第二大区の区戸長、経費節減のため月給減額を願い出る。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	1	20	北の新地三好座が落成し、にわか狂言などの興行を開始する。	大阪日報
明治10	1877	1	20	第四回演説会が開かれる。またこのとき中島勝義主幹を改め幹事とし、天野皎も幹事となる。	大阪日報
明治10	1877	1	20	五代友厚、大阪においても藍の製造を開業する。	大阪日報・浪花新聞・五代友厚伝記資料
明治10	1877	1	21	開成学校英語学校教師の再雇用が行われる。	大阪日報
明治10	1877	1	23	この日より天皇行幸中、第一大区九小区大川町四十八番地ほか二ヶ所に、内務省警視出張巡查屯所を設置する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	1	23	権知事渡辺昇、大阪府知事に、参事内海忠勝、大阪府大書記官に、また権参事松本鼎、大阪府少書記官にそれぞれ任じられる。	布告及布達・浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	1	24	大阪府、徴兵連名簿記載の者は検査前に必ず帰家しておるよう注意する。	布告及布達
明治10	1877	1	24	大阪府第五課、小学校則を集め編集せんことを図る。	大阪府教育百年史
明治10	1877	1	25	大阪裁判所、和歌山支庁管内に和歌山区裁判所を開設する。	法規分類大全・布告及布達
明治10	1877	1	26	南地富田屋店の繁か、芸妓を猫的・三毛・ブチ・クロなどと呼ぶことに抗議の投書をする。	大阪日報
明治10	1877	1	27	大阪府、集成学校内に新たに商法学予科を設け、この日生徒を募集する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	1	27	第五回目の演説会が風雲館において開かれる。	大阪日報
明治10	1877	1	29	大阪府庁および裁判所において人員整理が行われる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	1	30	大阪鎮台兵、市内各所で非常警備演習を行う。	大阪日報
明治10	1877	1	31	大阪府、古銅・古道具・古手商のうち出売買ならびに出店等を希望する者に行商鑑札を渡すことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	1	日欠	大阪府、江戸堀川崎吉橋を架換え、この月竣する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	1	日欠	大阪府、古川親和橋を架換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	1	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治10	1877	1	月中	(1) 法善寺において有平糖の博覧会	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(2) 正月三か日の風物	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(3) 石代納の願い出	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(4) ボケの盆栽が流行	東京日日

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	1	月中	(5) 十日戎のようす	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(6) 上本町の豊国神社移転のうわさ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(7) 法律の問答会開催のうわさ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(8) 席貸・芸者・娼妓の数	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(9) 造幣寮で生産の硫酸、盛大な売行き	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(10) 市中の糞代引上げ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(11) 女紅場建築のうわさ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(12) 淀屋橋と大江橋架換えのうわさ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(13) 淀屋橋のかけかえ、入札	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(14) 薩摩より大阪に弾薬を購入に来たとのうわさ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(15) 消防方の器械一新と法皮の変更	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(16) 旧暦復歸のうわさ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(17) 砲兵支庁に大砲・小銃などの注文	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(18) 鎮台衛戍兵営所建築のうわさ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(19) 当府病院雇い外人のこと	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(20) 立売堀南通二丁目に女紅場のうわさ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(21) 辻便所、煉化石で新築の一面	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(22) 師範学校で女生徒召募のうわさ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(23) 外国人銃猟免許取扱条例を定めるとのうわさ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(24) 緑り橋の架けかえ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(25) 河辺七兵衛発明のラン引器械	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(26) 懲役一年以上の罪人片眉削落し廃止	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(27) 元馬車道用地の払下げ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(28) 堂島区裁判所のたてかえ	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(29) 曽根崎新地桜橋北詰の大徳湯表に時計と列車時刻表	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(30) 消防の発出	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(31) 三菱商会と九重社の賃銭争い	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(32) 蓬萊社に雇われる女性	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(33) 六大区三小区野田村で税漁日の実施計画	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(34) 府庁定額金減少のうわさ	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(35) 曽根崎村の吉本五郎右衛門、梅田の火葬場を購入し、桃畑になさんとする	大阪日報
明治10	1877	1	月中	芝居、娯楽等に関する新聞記事	
明治10	1877	1	月中	(1) 大蝶一座の二〇カ	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(2) 道頓堀弁天座の芝居	浪花新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	1	月中	(3) 堀江中村座の芝居	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(4) 曾根崎新地美好座の俄狂言	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(5) 千日前の奇術（柳川の手品）	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(6) 千日前の奇術	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(7) 千日前の足芸	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(8) 大江橋北詰席の浄瑠璃	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(9) 道頓堀仲の芝居	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(10)松島文楽座移転のこと	浪花新聞
明治10	1877	1	月中	(11)北堀江上通二丁目富士源蔵方定席で小芝居、照葉等の興行を願い出る	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(12)道頓堀中の芝居	大阪日報
明治10	1877	1	月中	(13)市川右団次に嘆願書	大阪日報
明治10	1877	2	1	大阪府、樺太への漁業出稼ぎを府の許可制とする。	浪花新聞・大阪日報・大阪府史料
明治10	1877	2	1	堀江の女紅場、開業式を行う。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	2	2	大阪日報、府県統廃合に対し、「管下一般の人民が便宜として上申するときは令・長特権をもってこれを許し、しかる後主務の省に届け出ずるも可なり」との条文新設を提案する。	大阪日報
明治10	1877	2	3	陸軍省、泉州信太山射的場の民有地を官有地とすることを願い出る。（十三日認可）	公文録
明治10	1877	2	3	第六回目の演説会が風雲館において開かれ、浦谷義春の「自由論」をめぐってその後論争となる。	大阪日報
明治10	1877	2	5	天皇、京都・大阪・神戸停車場に順次親臨し、京都・神戸間鉄道開業式を行う。	布告及布達・大和京都御巡幸之件・鉄道附録・浪花新聞・公文録・法規分類大全・大阪日報・宮本家文書・中谷徳恭戸長日記・東京日日
明治10	1877	2	6	陸軍省、大阪府下森村民有地内にある同省所轄地を内務省に返附する。	公文録
明治10	1877	2	7	大阪府、市郡区戸長に命じ、無検印の度量衡使用の不可を説諭させる。	布告及布達
明治10	1877	2	7	『浪花新聞』、読み売りを始める。	浪花新聞
明治10	1877	2	8	『大阪日報』、天皇の大和国および大阪行幸の休泊割および大阪における視察先・通路の詳細を報じる。	大阪日報
明治10	1877	2	9	大阪府、府民に対しなるべく徴兵規避をしないよう布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	2	9	大阪府、満十八歳未満の水兵志願者の調査を市郡区戸長に命じる。	布告及布達
明治10	1877	2	10	大阪府、檻倉場通用門を裁判所東北隅へ建築し、この日より開門する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	2	10	第七回演説会が阿弥陀池和光寺で開かれる。	大阪日報・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	2	11	大阪鎮台、紀元節につき、この日大阪城跡の縦観を庶民に許す。	布告及布達
明治10	1877	2	12	今橋寓の鷹羽子、刑事裁判の傍聴を許し、死刑の廃止すべきを投書する。	大阪日報
明治10	1877	2	13	内務省、大阪土木寮分局を廃止し、淀川工営場を設置する。	法規分類大全
明治10	1877	2	14	大阪府、この日天皇到着につき休庁とする。	布告及布達

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	2	14	天皇、堺より大阪に到着。住吉神社に詣で、鎮台・英語学校・師範学校を見る。	大和京都御巡幸之件・大阪府下御巡幸日誌・浪花新聞・大阪府師範学校沿革史略・大阪砲兵工廠沿革史・公文録・大阪日報・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	2	14	この夜第六大区五小区猿村より出火、延焼およそ二十五戸。	浪花新聞
明治10	1877	2	15	天皇、造幣局・裁判所・上等裁判所・府庁・集成学校・師範学校・進級学校を見る。	大阪府下御巡幸日誌・浪花新聞・大阪日報・宮本家文書・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	2	16	天皇、大阪紙砂糖製造所・製藍所朝陽館を見る。この日梅田停車場より発車、行在所造幣局に還幸する。また、有栖川宮二品親王、天皇に代って第一大区十九番小学校および第二大区九番小学校へ臨み、生徒授業法研究会を見る。	大阪府下御巡幸日誌・浪花新聞・大阪日報・中谷徳恭戸長日記・五代友厚伝記資料
明治10	1877	2	16	天皇、大阪上等裁判所及裁判所へ酒肴料を下賜する。	大阪京都御巡幸之件
明治10	1877	2	16	この日ごろより大阪鎮台があわただしくなる。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	2	16	大阪市中における警備が嚴重となる。川口・八軒家・梅田停車場などに巡査が出張、臨時屯所を設けるとともに、市内銃砲店で銃剣を検査するなど、各地で不審者を拘引する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	2	16	山本与助、新聞演説会を自宅において開催する。	浪花新聞
明治10	1877	2	16	住友吉左衛門、広瀬宰平を総理代人とする。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	2	17	大阪府、陸海軍省及び鎮台用を除く銃砲弾薬の売買・運送を禁止する。	布告及布達・浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	2	17	第八回目の演説会が風雲館において開かれる。	大阪日報
明治10	1877	2	18	大阪鎮台第八聯隊第二大隊、近衛兵一大隊とともに出動する。	浪花新聞・大阪日報・東京日日
明治10	1877	2	18	砲兵支廠よりの弾薬運搬、ひんばんとなる。	浪花新聞・大阪日報・東京日日
明治10	1877	2	19	大阪日報、西郷隆盛らの挙兵を名義なきものとし、必ず失敗すべきを論じる。	大阪日報
明治10	1877	2	19	天皇、市郡の学校へ金円を下賜する。	大和京都御巡幸之件・浪花新聞
明治10	1877	2	20	砲兵支廠より職工隊八十名が熊本に出張する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	2	20	第四大区六小区安治川通北一丁目より出火、延焼十四戸。	浪花新聞
明治10	1877	2	20	大阪府知事、忌服にて二十一日まで引籠り	浪花新聞・布告及布達
明治10	1877	2	20	大阪府、開業医ならびに鍼灸・産婆業の者は以後業上に関する願伺届等に医務取扱の奥印を受けるよう布達する。	布告及布達
明治10	1877	2	21	有栖川宮、征討総督に任ぜられ、大阪東本願寺を本営とする。これより前十九日、参軍山県有朋陸軍卿・鳥尾小弥太陸軍中將が来阪する。	大阪日報・浪花新聞・東京日日
明治10	1877	2	21	『攬眠新誌』が第三大区七小区西長堀南通三丁目進取舍より発刊される。（週刊）	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	2	21	北浜五丁目山片平右衛門の発起で同人宅において弁舌会を開く。	浪花新聞
明治10	1877	2	22	大阪府、鹿児島県下暴徒熊本県立入りにつき征討が仰出されたことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	2	22	淀屋橋の架替えに着手する。	浪花新聞
明治10	1877	2	22	『摂海新報』が発刊される。	浪花新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	2	23	陸軍少将大山巖、東京鎮台一大隊を率いて大阪に向かう。	明治史要・東京日日
明治10	1877	2	23	大阪鎮台、東京・名古屋両鎮台とともに第二後備軍を召集する。また第一後備軍を常備隊に編成する。	明治史要・布告及布達・浪花新聞
明治10	1877	2	23	大阪鎮台より第八聯隊第三大隊が戦地に出動する。	大阪日報
明治10	1877	2	23	大阪裁判所、大和国五条に区裁判所を設置する。	布告及布達・法規分類大全
明治10	1877	2	24	征討総督熾仁親王、大阪を発す。参軍川村純義、これに従う。	明治史要・浪花新聞・大阪日報・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	2	24	大阪府、警察本局を大阪府警察本署とし、出張所を警察署、屯所を分署と改称する。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	2	24	大阪府、芝居茶屋営業の者の府税賦課方式を等級制に改める。	布告及布達
明治10	1877	2	24	大阪府、従来許可済の定席であっても今後は興行がえの都度願い出、許可を得くべきを布達する。	布告及布達
明治10	1877	2	24	第九回目の演説会が阿弥陀池において開かれる。	大阪日報
明治10	1877	2	25	宮内卿、八十歳以上の高齢者に慰老金を与える。	大和京都御巡幸之件
明治10	1877	2	25	大阪鎮台より第十聯隊のうち一大隊、第九聯隊のうち二大隊、砲兵一小隊および工兵隊が出動する。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	2	25	東本願寺総督府は陸軍参謀部と改められる。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	2	26	大阪府、師範学校を第四大区一小区河内町一丁目興正寺に、進級学校を安堂寺橋通四丁目第二大区第六番学校に、集成学校を第一大区七小区南久太郎町四丁目妙勧寺にそれぞれ移す。	布告及布達・大阪府師範学校沿革・浪花新聞・史略・大阪日報
明治10	1877	2	26	大阪府、鹿児島県下騒擾については確報をその時々会議所に達するので、奸商の妄説に虫惑されないよう府民に注意する。	布告及布達
明治10	1877	2	27	大阪府、高瀬口における官軍勝利の電報を市郡区戸長に示す。	布告及布達
明治10	1877	2	27	大阪府、出版書籍・図画蔵板の取調届出期日を来る三月二十日まで延期する。	布告及布達
明治10	1877	2	28	政府、内閣行署を大阪に設け、木戸孝允・大久保利通・伊藤博文等を大阪に旅宿させ、京都市行在所また神戸と往来して征討事務を処弁させる。	明治史要・大久保利通日記・東京日日・浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	2	日欠	大阪府、曽根崎川緑橋を架換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	2	日欠	大阪府、西横堀川信濃橋を架換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	2	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治10	1877	2	月中	(1)市中に 瓦羅斯灯点灯のこと	浪花新聞
明治10	1877	2	月中	(2) 大阪日報の売捌仮規則改定	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(3) 女子学校で漢洋学とも教授	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(4) 節分のありさま	浪花新聞
明治10	1877	2	月中	(5) 加島村に二等郵便局	浪花新聞
明治10	1877	2	月中	(6) 戸長の請求による警察分屯所の設置	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(7) 戸長・教師らの演説会	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	2	月中	(8)在留の中国人、旧正月を祝う	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(9)祝祭日に日章旗・提灯をかけるよう説諭	浪花新聞
明治10	1877	2	月中	(10)提灯の値上がり	浪花新聞
明治10	1877	2	月中	(11)南堀江上通四丁目十二番地に黒住派皇太神宮の社建築	浪花新聞
明治10	1877	2	月中	(12)西宮蛭子祭に臨時列車	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(13)上町の平庄・高麗橋の藤田ほか三名、大阪中の足袋を買占める	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(14)沢庵漬けの買占め	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(15)芝居の不入り	浪花新聞
明治10	1877	2	月中	(16)電信局の繁忙	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(17)電信局へ鎮台砲兵の往復	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(18)市中の緊迫	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(19)英国人ピリ、英学を教授する	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(20)鉄砲免許商人の火薬貯蔵場所の移転	浪花新聞
明治10	1877	2	月中	(21)鎮台の白米買上げ	大阪日報
明治10	1877	2	月中	(22)千日前で八幡村の八幡知らずの藪大入り	浪花新聞
明治10	1877	2	月中	(23)鎮台の景況	浪花新聞
明治10	1877	3	1	太政官、浪花新聞および大阪日報よりの天皇京都駐輦の行在所布告掲載願いを不許可とする。	公文録
明治10	1877	3	1	京町堀通り五丁目七等郵便取扱役阿部徳次郎、非常用旗章および提灯を許可される。	大阪日報
明治10	1877	3	2	大阪府、舶来ビールに貼付の銘紙贋造販売について注意する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	3	3	大阪府、明治九年十二月の□違罪目中に第三十六条・第三十七条を追加する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	3	3	島の内清水町の江守ほか十一名の医師、結社して集成病院を開く。	浪花新聞
明治10	1877	3	3	第十回目の演説会が北浜風雲館において開かれる。	大阪日報
明治10	1877	3	4	大阪府、熊本城および山鹿・高瀬の戦況に関する大久保内務卿の報知、高嶋大佐の電報を布達する。	布告及布達
明治10	1877	3	5	大阪府、熊本県での戦闘状況を市郡区戸長に通達する。	布告及布達
明治10	1877	3	5	東京より巡査100 人来阪し、巡邏をはじめる。	浪花新聞
明治10	1877	3	5	第二回目の新聞演説会が永勝寺において開かれる。	浪花新聞
明治10	1877	3	5	大阪府、田原坂まで官軍進軍の戦況について、大久保内務卿の通達を布達する。	布告及布達
明治10	1877	3	6	大阪府、管内における牛疫の発症を布達する。	布告及布達
明治10	1877	3	7	大阪府、薩摩堀東ノ町高橋たいの献金申出不認可を知らすとともに、人民の義務をつくすべきを諭告する。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	3	7	大阪府、違式註違条例の施行に際し、さらに布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	3	7	第二回目の弁舌会が開かれる。	浪花新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	3	8	大阪英語学校、プロイセン人ヂ・ヘスヘルドならびに英人トーマス・ハーデ [※] ンヂ、フランク・メージョルの満期雇い継ぎを求める。	公文録
明治10	1877	3	8	大阪府、人民の希望にまかせ旅行時の保証書交付を許可する。	布告及布達
明治10	1877	3	9	大阪府、田原坂・植木等での戦況を布達する。	布告及布達
明治10	1877	3	9	『大阪日報』、民権論者は不平士族と同一視されるべきものでないことを論じる。	大阪日報
明治10	1877	3	10	安堂寺町池田重助方にて第三回目の新聞演説会が行なわれる。	浪花新聞
明治10	1877	3	10	第十一回目の演説会が和光寺で開かれる。	大阪日報
明治10	1877	3	11	大蔵省、長田作兵衛の官府への借財返済法を定める。	公文録
明治10	1877	3	12	鉄道局、京都・神戸間鉄道時刻を改定する。	公文録・大阪日報
明治10	1877	3	14	大阪府、産婆営業者の開業出願を命じる。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	3	14	第三回目の弁舌会が開かれる。また、このあと大阪演説会の中島勝義は参加しないことが『大阪日報』で報じられる。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	3	15	この日より博物場大会を開催する。	浪花新聞・府立大阪博物場沿革誌・布告及布達・大阪日報
明治10	1877	3	15	大阪府、九日以来の戦況を布達する。	布告及布達
明治10	1877	3	15	大阪府、田原坂の戦況を報じる。	布告及布達
明治10	1877	3	15	新聞演説会（第四回目）が永勝寺で開かれる。	浪花新聞
明治10	1877	3	16	戦地より傷病者二百人程が着阪、軍事病院へ入院する。この後入院者がつづく。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	3	17	官幣大社住吉神社、境内小教院において同社所蔵の書籍閲覧を広く許可し、二十日より開場する。	布告及布達・教育新誌
明治10	1877	3	17	大阪府、人力車番号を木板に書かせ、人力車に打ち付けさせる。	布告及布達
明治10	1877	3	17	大阪府、十四日以後の戦況を布達する。	布告及布達
明治10	1877	3	17	第十三回目の演説会が和光寺で開かれる。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	3	18	新聞演説会の臨時会が開かれる。	浪花新聞
明治10	1877	3	19	大阪府、学校監事を置く。次いで三月二十三日、その職務を示す。	布告及布達
明治10	1877	3	20	大阪府、死亡届の書式を定める（四月二十日一部改正）	布告及布達
明治10	1877	3	21	第四回目の弁舌会が開かれる。	浪花新聞
明治10	1877	3	21	『攪眠新誌』、「新誌新聞ノ螺」を著し、政府の西南戦争における戦況報道が官軍勝利ばかりなのに疑問を呈し、その客観性を求める。	攪眠新誌
明治10	1877	3	22	大阪府、十七日以後の戦況を布達する。	布告及布達
明治10	1877	3	22	内務省、大阪府へ巡査三百六十名を出張させる。	公文録
明治10	1877	3	22	大阪府病院から生徒二十名、軍事病院に出張する。また京都病院の医師も。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	3	23	大阪居留地エ・エーチ・アダムス、大阪軍事病院の治療補佐を申し出る。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	3	24	第十四回目の演説会が開かれる。	大阪日報
明治10	1877	3	25	第五回目の新聞演説会が開かれる。	浪花新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	3	25	瓦町二丁目に中立商社が設立され、紛糾の仲裁その他を営業する。	大阪日報
明治10	1877	3	26	工部省、心斎橋北詰に電信局の建設を申し出る。（三月三十一日認可）	公文録・大阪日報
明治10	1877	3	26	内務省、司薬場試験条例を改正する。	法規分類大全
明治10	1877	3	28	陸軍、第五大区二小区東成郡森村字五軒町の内にて砲兵営拡張を願い出る。（四月四日認可）	公文録
明治10	1877	3	29	大阪府、西長堀警察新町分署を阿波堀一丁目に移し、阿波堀分署と改称する。また北平野町分署を天王寺分署と改称する。	布告及布達・大阪府歴史
明治10	1877	3	29	『浪花新聞』の編輯が、伊東一英から三倉正寛にかわる。	浪花新聞
明治10	1877	3	29	大阪府、薩摩堀北之町美崎市助の孝養を賞して金円を与える。	大阪府歴史
明治10	1877	3	30	大阪府、第六大区一小区中在家村霊松寺住職義海妻脇坂ちうの孝養を賞し金円を与える。	大阪府歴史
明治10	1877	3	30	大阪府、「タメシ」と称するはかりの使用を禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	3	30	大阪府、二十三日以後の戦況を布達する。	布告及布達
明治10	1877	3	30	淀川船積業■舟持、大阪水運所の解散を広告する。	浪花新聞
明治10	1877	3	31	天皇、京都より大阪陸軍病院に臨み、傷兵を親問し、また兵の操練を見る。この日のうちに還幸する。	浪花新聞・岩倉具視関係文書・大阪日報・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	3	31	大阪府、公債証書譲渡届の書式を定める。	布告及布達
明治10	1877	3	31	大阪府、新聞読み売りを許可制とする。あわせて、各種演説会にも規制を加え、大阪演説会を差し止める。	布告及布達・大阪日報・浪花新聞・攪眠新誌
明治10	1877	3	日欠	大阪府、鯉江川野田橋を架換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	3	日欠	大阪府、現行の小学校に関する布達類を編集し、大阪府小学規則とする。	大阪府教育百年史
明治10	1877	3	月中	西南戦争に関する新聞記事	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(1) 大阪鎮台の動員関係　(1) ～ (12)	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(2) 兵員の移動関係　　(1) ～ (12)	
明治10	1877	3	月中	(3) 物資の輸送関係　　(1) ～ (30)	
明治10	1877	3	月中	(4) 大阪砲兵支廠関係　(1) ～ (8)	
明治10	1877	3	月中	(5) その他　　　　　(1) ～ (11)	
明治10	1877	3	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治10	1877	3	月中	(1) 福村・野里村に小学校開校	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(2) 近藤梅翁・長田作五郎の総理代人となる	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(3) 刀剣製造の盛行	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(4) 堂島米相場の動き	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(5) 北堀江上通三丁目紀野茂八、各種新聞来読所を開く	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(6) 小学校上級生が演説会	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	3	月中	(7) 大江橋の普請	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(8) 中筋橋の架けかえ	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(9) 新聞用紙の払底	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(10)溝の側の学校開校	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(11)「新政大都督出張課」の貼札	郵便報知
明治10	1877	3	月中	(12)戎橋は鉄橋にて架けかえのうわさ	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(13)大阪府病院の出張所ができるとのうわさ	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(14)緑橋より梅田停車場西手まで新堀川の開削	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(15)臨時警察分屯所を天保山につくる	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(16)刀三百本買い上げ	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(17)後藤象二郎着阪、内務卿と面会へ	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(18)新聞縦覧の開業、自由銀行の開業	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(19)郡部の学校がつづいて開校	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(20)黒住講社の落成	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治10	1877	3	月中	(1) 八幡知らずの流行	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(2) 戎座の狂言	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(3) 坂東彦三郎の乗込み	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(4) 坂東彦三郎の引合い、消防方頭取のあつかいとなる	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(5) 上本町豊国神社で望遠鏡の見世物	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(6) 中村宗十郎の芝居復帰と東京行き	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(7) 千日前の善悪亭宣伝 (1)	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(8) 千日前の善悪亭宣伝 (2)	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(9) 高野しらずの宣伝	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(10)戎座坂東彦三郎の芝居	大阪日報
明治10	1877	3	月中	(11)堀江の芝居	浪花新聞
明治10	1877	3	月中	(12)角の芝居の勝彦助と見物料の引下げ	浪花新聞
明治10	1877	4	1	大阪鎮台より大砲隊一中隊、西南戦地に派遣される。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	4	1	大阪に陸軍臨時病院の設置が定められ、病院長に一等軍医正石黒忠恵、副病院長に二等軍医正堀内利国、同横井信之が任命される。	公文録・大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	4	2	正二位松平慶永ほか五名の旧藩侯、大阪鎮台病院に戦病傷者を見舞う。	大阪日報
明治10	1877	4	2	第二大区十四番小学校が開校される。村田善次、知事の訓示に感銘を受け「道の枝折」なる小本を著す。	宮本家文書・浪花新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	4	4	大阪府、橋梁・火除地・水汲場等の髪結床・仲士小屋等について、取払い実施までの間は課税することを決める。	布告及布達
明治10	1877	4	5	内務省駅通局、郵便局用地として心斎橋筋一丁目四十八番地の買上げを済ます。	公文録・浪花新聞
明治10	1877	4	5	大阪府、薬舗開業試験免除の特例を布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	4	7	大阪府、山野・路傍の神祠・仏堂の取調べを市郡区戸長に命じる。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	4	7	大阪府、府民らから壮兵志願者を募る。この月、旧士族ら抜刀隊相次いで大阪を立つ。	布告及布達・浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	4	9	大阪府、四月一日以降の戦況を布達する。	布告及布達
明治10	1877	4	9	太政大臣三条実美、陸軍臨時病院見舞いのため来阪し、即日帰京する。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	4	9	鉄道局、京都博覧会につき、この日より臨時列車を運転する。	大阪日報
明治10	1877	4	13	大阪堂島米商会所、昨年十一月四日開業以来年末までの総勘定を報告する。	大阪日報
明治10	1877	4	13	大阪府、八日以来の戦況を布達する。	布告及布達
明治10	1877	4	14	大阪英語学校、教場建設費が認められる。	公文録
明治10	1877	4	15	新聞演説会、復興し、以後毎月五の日に実施されることとなる。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	4	15	平野町二丁目に利用舎が設立され、家屋売買の仲介をはじめる。	大阪日報
明治10	1877	4	16	大阪府、内国勸業博覧会出品心得を定める。	布告及布達
明治10	1877	4	16	大阪府、十四日以来の戦況を布達する。	布告及布達
明治10	1877	4	17	大阪府、十五日の戦況を述べ、賊軍逃亡兵の発見通告方・隠匿禁止等を布達する。	布告及布達
明治10	1877	4	18	大阪府、鎮台射的場に立入り銃丸を盗取る等の行為を厳禁する。	布告及布達
明治10	1877	4	19	大阪府、秋馬新三郎止業後の権衡売捌人として小枝五郎兵衛を指定する。	布告及布達
明治10	1877	4	20	内閣行署、大阪を引揚げ、京都に移る。	大久保利通文書・大阪日報・浪花新聞・岩倉具視書簡
明治10	1877	4	21	大阪府、文部省所轄教育博物館への納品等を勧誘する。	布告及布達
明治10	1877	4	21	文部省、大阪英語学校教諭米人ケビテン・ゼーンズの解傭を届け出る。	公文録
明治10	1877	4	24	大阪府、各区一等戸長ならびに区総代二名、総員百五名を議員として南地溝の側第十四番小學校で議会を開き、学費問題を討議させる。	布告及布達・宮本家文書・浪花新聞・大阪日報・大阪府教育百年史・攪眠新誌
明治10	1877	4	24	大阪鎮台、鎮台所管城内をはじめ、城外諸兵營および副病院その他陸軍官廨等が火災の時は号砲三発を連発してこれを警報することとする。	布告及布達・浪花新聞
明治10	1877	4	24	大阪府、内務省からの通達により、学科卒業後も丁年に達しない者は医者の開業を許さず、学校病院での実地演習を命じる。	布告及布達
明治10	1877	4	27	駅通局、道修町二丁目ほか七ヶ所に郵便貯金預所を設置し、五月一日より開始する。大阪府、府民に勤儉貯蓄を勧める。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	4	27	五代友厚、価格低価の藍精製を勧める勸農局意見に反論し、さらに五ヶ年後の成業をめざし経営を許可されるよう勸商局長に申し出る。	五代友厚伝記資料
明治10	1877	4	28	大阪府、薩摩堀南ノ町中田喜蔵の孝養にして家事励行を賞し金円を与える。	大阪府歴史
明治10	1877	4	28	大阪府、誣違罪目第九条を改正する。	布告及布達・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	4	日欠	大阪府、薩摩堀川中筋橋を架換え、この月竣功する。	大阪府歴史・浪花新聞・大阪府史料
明治10	1877	4	日欠	高麗橋より川口および梅田停車場に至る電信線一線の増架が竣功する。	大阪府歴史
明治10	1877	4	月中	戦病傷者等の着阪状況に関する新聞記事(1)～(25)	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	4	月中	鎮台等の軍事注文に関する新聞記事(1)～(4)	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	4	月中	砲兵支廠の製造に関する新聞記事(1)～(10)	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	4	月中	兵員通過等に関する新聞記事(1)～(15)	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	4	月中	人足・職工派遣に関する新聞記事(1)～(9)	浪花新聞・浪花新聞
明治10	1877	4	月中	兵器・物資発送に関する新聞記事(1)～(53)	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	4	月中	戦争に関する雑件記事(1)～(37)	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	4	月中	戦争に関する雑件記事(1)～(37)	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	4	月中	(1)第十聯隊重村氏の戦地よりの郵便	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(4)開業医を雇入れ、戦地へとか	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(5)栗谷品三、銃などを献納	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(6)栗谷品三、銃などを献納	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(7)医師を戦地へ送る	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(8)梅田停車場、弾薬輸送で大きな品の受け入れを断る	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(9)脱走兵を軍事裁判所へ連行	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(10)斎藤正時を当鎮台幕僚に	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(11)肥後地出張の軍曹よりの手紙	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(12)当府巡查よりの願書	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(13)当地三井銀行からの戦地への送金額	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(14)五代氏、陸軍木綿八千反を染上げ	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(15)当府に小銃等を備えると	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	戦争に関する雑件記事(1)～(37)	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	4	月中	(1)第十聯隊重村氏の戦地よりの郵便	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(4)開業医を雇入れ、戦地へとか	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(5)栗谷品三、銃などを献納	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(6)栗谷品三、銃などを献納	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(7)医師を戦地へ送る	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(8)梅田停車場、弾薬輸送で大きな品の受け入れを断る	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(9)脱走兵を軍事裁判所へ連行	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(10)斎藤正時を当鎮台幕僚に	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(11)肥後地出張の軍曹よりの手紙	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(12)当府巡查よりの願書	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	4	月中	(13)当地三井銀行からの戦地への送金額	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(14) 五代氏、陸軍木綿八千反を染上げ	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(15)当府に小銃等を備えると	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(30)女紅場生徒の奉仕	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(31)諸物品を西へ送る	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(32)広島に大阪よりの芸妓隊三百名	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(33)当地にて砲刑三名	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(34)森村に埋葬地をとると	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(35) 当鎮台で砲罪の兵九人	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(36)臨時病院患者へ贈物など	大阪日報
明治10	1877	4	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治10	1877	4	月中	(1) 神道黒住派教会所の落成	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(2) 病院教師の司薬場視察	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(3) 高麗橋通三丁目に耶蘇教院の支局	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(4) 飾屋雇人の忠義	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(5) 神戸大阪間に電信線仮設とのこと	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(6) 戎橋を鉄橋にするという	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(7) 郵便柱函の新設箇所	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(8) 西南戦争による金融壅塞で下女・下男の雇入が減る	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(9) 魚類入荷の減少	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(10)伊勢参り、金刀比羅詣りの減少	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(11)陸奥宗光来阪	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(12)伊勢まいりのにぎわい	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(13)大隈重信の着阪	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(14)鹿児島県令岩村通俊の着阪	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(15)清国領事彭氏の着阪	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(16)精乳舎の支店開設	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(17)大阪府巡查の休暇、平常化する	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(18)西郷・桐野・篠原等の写真販売	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(19)中の島製紙場の砂糖生産	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(20)内務卿ら着す	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(21)木戸内閣顧問来阪	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(22)高津川堀畠から難波新川までに水路新設の計画	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(23)安治川口鉄道汽車の廃止計画	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	4	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治10	1877	4	月中	(1) 市川右団治、角の芝居で薄給出演	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(2) 上本町豊国神社の相撲と望遠鏡の見世物	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(3) 沢村宗十郎の俳優復帰について	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(4) 戎座芝居の芸評	大阪日報
明治10	1877	4	月中	(5) 生国魂社内靈魂社の脇に靈魂分社がたつ	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(6) 中の芝居で坂東彦三郎の名残狂言	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(7) 月琴の流行	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(8) 中の芝居の狂言役割	浪花新聞
明治10	1877	4	月中	(9) 生国魂神社で能の興行	浪花新聞
明治10	1877	5	1	『大阪日報』、社説において西南戦争が商業不景気をもたらしていることを論じる。	大阪日報
明治10	1877	5	1	『攪眠新誌』発行元の進取社、心斎橋筋二丁目に移転する。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	5	1	汽車荷物を扱う広運社、荷車を借切り、京都・大阪間諸荷物運送をはじめる。	大阪日報
明治10	1877	5	1	大阪裁判所、この日より官員の出庁を午前八時、退庁を午後二時と改める。	布告及布達
明治10	1877	5	1	大阪府、陸軍第二臨時病院構外ならびに近傍陸軍管轄地への小店出しを禁止する。	布告及布達
明治10	1877	5	2	電信の私報が回復する。	浪花新聞
明治10	1877	5	2	大阪府、士族・平民の送籍券は本人の手を経ず甲区戸長より乙区戸長へ直送すべきことを布達する。	布告及布達
明治10	1877	5	2	大阪府、市郡区戸長に特別の従軍は以後許可なきことを知らせ、みだりに勧誘に乗らぬよう懇諭させる。	布告及布達
明治10	1877	5	2	政府、懲役人の増加と衛生上の問題解決のため大阪府懲役場の模様替えおよび建て増しを認める。	公文録・浪花新聞
明治10	1877	5	3	陸軍中将西郷従道、大阪において陸軍卿代理事務を執行する。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	5	4	陸軍中将西郷従道の申請により陸軍少将四条隆調、仮に大阪鎮台司令長官を兼務する。	公文録・浪花新聞
明治10	1877	5	5	『大阪日報』、立志社の護郷兵団を民権的なものとする社説を述べる。	大阪日報
明治10	1877	5	5	内務省、福岡県暴動囚徒を大阪府に五十人など六府県へ移すことを決める。	公文録
明治10	1877	5	7	このころ陸軍省臨時病院でしばしば毛布の紛失あり、この日大阪府は出所不たしかな物品の買取禁止を改めて布達する。	布告及布達
明治10	1877	5	7	第二大区八小区および同九小区の間で境界論争あり。この日区長高田伝蔵の仲裁によりいちおうの和解がなる。	宮本家文書・浪花新聞
明治10	1877	5	10	『神戸新聞』編集の茂中氏編集となり今橋二丁目広報社社より『大阪絵入新聞』が発行される。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	5	11	大阪府、寄留届方に関する規則を改定する。（十九日さらに追加あり）	布告及布達・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	5	12	大阪府知事、摂津国七郡の地租改定を終了し、施行せんことを地租改正事務局に伺い出る。 (六月十一日認可される)	公文録・地租改正事務局別報・布告及布達
明治10	1877	5	13	軍医総監松本順、来阪する。	浪花新聞
明治10	1877	5	14	大久保利通、林有造らの来阪を聞き、緊急の措置を講じる。	大久保利通文書・大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	5	15	大阪府、土佐堀川淀屋橋を架換え、この日竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料・浪花新聞
明治10	1877	5	15	第二大区区長高田伝蔵、道路を別製瓦で修覆し、費用のうち年二万円は官費、一万円を民間より拠出する件について、各区総代に諮問する。	宮本家文書
明治10	1877	5	15	大阪裁判所、堂島米商会所設立一件問題で磯野小右衛門ら紛争当事者十一人にそれぞれ贖罪金の申渡しを行なう。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	5	18	鴻池善右衛門ら、今橋二丁目十四番地に第十三国立銀行（資本金二十五万円、頭取鴻池善右衛門）を設立し、この日開業する。	大阪府歴史・第十三国立銀行一件・布告及布達・法規分類大全
明治10	1877	5	18	文部省、大阪英語学校教諭として米国人ケビテン・センス に代わり、同国人 シー・カロザルス の雇用を届け出る。	公文録
明治10	1877	5	21	大阪府、各小学校ごとに学籍の編制を命じる。	布告及布達
明治10	1877	5	23	大阪府、鋼折・鍛冶・湯屋の三業取締を定める。（明治十三年九月二十九日二項追加）	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治10	1877	5	23	第二大区、区総代・町総代人の選挙方法を定め、五月二十九日より六月五日にかけてそれぞれの選挙を実施する。	宮本家文書
明治10	1877	5	23	大阪府病院教師エルメレンス、来月一日の帰国を前に送別会を開く。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	5	24	大阪府、産婆営業許可の条件を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	5	24	大阪府第四課、懲役囚獄・檻倉掛警部の月給酒饌料の渡し方について、内務省の指令を得る。	公文録
明治10	1877	5	24	京都・神戸間鉄道の時刻・賃金表が改正される。	公文録
明治10	1877	5	26	大阪府、六月十一日より九月二十日までの官員出退庁時刻を午前七時出庁、十二時退庁と定める。	布告及布達
明治10	1877	5	28	太政官、海軍少将赤松則良に命じ、大阪の陸軍事務所に参加させる。	明治史要・大阪日報
明治10	1877	5	30	大阪裁判所、刑名宣告その他に際し、戸長召換を廃し、達し方取扱手続を定めて六月五日より施行する。（六月二日一部改正）	布告及布達
明治10	1877	5	31	このころ芝居小屋等で巡査と鎮台兵の争闘が続き、人心に不安を生ぜしめる。この日、大阪府、これについて懸念なき旨の通達を出す。	布告及布達・大阪日報・大久保利通文書
明治10	1877	5	31	大阪府、売薬営業鑑札の返納を催促する。	布告及布達
明治10	1877	5	31	国尾思夫、『大阪日報』に「代議士公選ノ議」を投書する。	大阪日報
明治10	1877	5	日欠	大阪府、大阪府小学校規則を改正する。	大阪府教育百年史
明治10	1877	5	月中	戦病傷者・軍事病院関係の新聞記事(1) ～ (26)	
明治10	1877	5	月中	兵員の通過、くりこみに関する新聞記事(1) ～ (7)	

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	5	月中	砲兵支廠の製造等に関する新聞記事(1) ～ (20)	
明治10	1877	5	月中	大阪よりの兵器・物資発送に関する新聞記事(1) ～ (17)	
明治10	1877	5	月中	戦争に関する雑件記事に関する新聞記事(1) ～ (20)	
明治10	1877	5	月中	(1)『明治十年鎮西征討記小本』の出版広告	
明治10	1877	5	月中	(2)『西南戦争紀聞』の出版広告	
明治10	1877	5	月中	(3)戦地より巡查五十人帰ると	
明治10	1877	5	月中	(4)西南戦地実形図（書籍会社発行）の広告	
明治10	1877	5	月中	(5)城内人員増加につき井戸を増すと	
明治10	1877	5	月中	(6)中ノ島に仮営を建てると	
明治10	1877	5	月中	(7)川口の小蒸気船を陸軍が御用船にする	
明治10	1877	5	月中	(8)大阪神戸所有の小蒸気船陸軍省御用船に	
明治10	1877	5	月中	(9)当鎮台の入費1ヶ月二百万円	
明治10	1877	5	月中	(10)旧高松邸に工兵隊を置くと	
明治10	1877	5	月中	(11)感心な兵士野田村の松原卯三郎	
明治10	1877	5	月中	(12)大阪測量課より戦地ゆきと	
明治10	1877	5	月中	(13)鹿児島市民救済のため大阪商人品物を積み鹿児島へ	
明治10	1877	5	月中	(14)天満市の側の商人が櫻島へ野菜を運ぶと	
明治10	1877	5	月中	(15)成田梅吉が抜刀隊を募る	
明治10	1877	5	月中	(16)在阪名古屋鎮台後備兵の対戦演習住吉社で	
明治10	1877	5	月中	(17)戦地諸兵配賦の模様	
明治10	1877	5	月中	(18)諸兵配賦の模様（一昨日の続き）	
明治10	1877	5	月中	(19)諸兵配賦の模様（続き）	
明治10	1877	5	月中	(20)ゴム製の義手・義足をつくる	
明治10	1877	5	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治10	1877	5	月中	(1) 柔・剣術の指南	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(2) 街灯の点灯日数削減	大阪日報
明治10	1877	5	月中	(3) 石田魚門著『方今大阪繁昌記』発兌	大阪日報
明治10	1877	5	月中	(4) 今木新田から木津川への堀割測量	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(5) 西郷・桐野・篠原などの膺写真販売	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(6) 源八の渡し場に橋を架設	大阪日報
明治10	1877	5	月中	(7) 新聞演説会	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(8) 各小学校に幼稚園を設けること	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(9) 戎橋架変えと丸万	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(10)五代友厚の藍製造場、雇い人の数	浪花新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	5	月中	(11)天然痘の流行	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(12)難波橋山崎の鼻の茶店出し	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(13)巡査の巡回線を一定化	大阪日報
明治10	1877	5	月中	(14)中の島山崎の鼻に豊国神社建築の募金	大阪日報
明治10	1877	5	月中	(15)精乳舎の支店開設	大阪日報
明治10	1877	5	月中	(16)長堀橋を鉄橋にすること	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(17)巡査47名拝名	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(18)松屋町の軒先切り	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(19)旧高津新地極貧堀の掘抜き	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(20)三ツ寺町女紅場開校	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(21)刀屋の景気が持直す	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(22)当地抜刀隊の志願	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(23)各府県新聞雑誌見立一覧表の作成	大阪日報
明治10	1877	5	月中	(24)梅田停車場前通運会社人力車の好評	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(25)申村の旧習（旧時報の使用）	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(26)鹿児島人取調べを命ぜられる	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(27)大阪府警部と巡査、蒸気船で河波近海を警巡	大阪日報
明治10	1877	5	月中	(28)日傘の復活	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	芝居娯楽等に関する新聞記事	
明治10	1877	5	月中	(1) 大江橋の浄瑠璃	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(2) 講談師石川一口、西南戦争の実録で人気	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(3) 道頓堀朝日座の大入り	大阪日報
明治10	1877	5	月中	(4) 堀井仙助の風流狂言差止め	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(5) 生国魂神社の能	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(6) 室内射的場の開業	浪花新聞
明治10	1877	5	月中	(7) 千日前での新興行	浪花新聞
明治10	1877	6	1	大阪府、大阪港在留清国人居館への無届止宿を禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	6	1	南地五花街の女紅場、難波新地二番地に開業する。	宮本家文書・浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	6	5	『大阪日報』、紙面を拡大刷新する。	大阪日報
明治10	1877	6	5	大阪府、士族の者養子は双方より出願し、許可の上入送籍すべきことを布達する。	布告及布達
明治10	1877	6	6	師範学校・進級学校・集成学校を中ノ島三丁目九番地に新築落成し、この日開校する。（附改正大阪府師範学校教則）	布告及布達・大阪府師範学校沿革史略・大阪府史料・大阪日報・大阪府教育百年史
明治10	1877	6	7	中条澄清・中島左吉、第一大区二小区大手通御抜筋で数学私塾を開く。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	6	7	砲兵支廠似て、狼煙要花火の打上げ実験を行う。	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	6	7	大阪府、西道頓堀通一丁目ほか三ヶ所の旧金沢邸の入札払下げを布達する。	布告及布達・大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	6	8	大阪府、造幣局傭マンチネの満期解雇を上申する。	法規分類大全
明治10	1877	6	8	大阪府、学区取締・学校監事が巡回の節景況報告の箇条を定める。	布告及布達
明治10	1877	6	9	大阪府、教員任期例を定める。	布告及布達
明治10	1877	6	11	大阪府、家出人届書中の人名肩書業名は鑑札面と一致させるよう布達する。	布告及布達
明治10	1877	6	12	大阪府、訓導会議（教育会議）について定める。	布告及布達
明治10	1877	6	19	大阪府、師範学校に附属小学校を設置し、七月十日までを期として生徒を募集する。	布告及布達・大阪府師範学校沿革史
明治10	1877	6	19	大阪府、雷管売買は使用方巨細明記の上願い出るべきことを布達する。	布告及布達 略
明治10	1877	6	20	『大阪日報』、立志社の建言書概要を紹介する。	大阪日報・大久保利通文書
明治10	1877	6	20	大阪府、水上取締のため、警察官吏に河海の巡邏を開させる。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	6	22	大阪博物場、入場者多数につき本年大会を七月二十二日まで延期する。	布告及布達・浪花新聞
明治10	1877	6	23	大阪英語学校、教諭英国人エッチ・イ・レーネルの代員として同国人ダブリュ・レーネルの雇入を上申する。	公文録
明治10	1877	6	24	西高津村蓮光寺で、この日より一週間戦死者の施餓鬼を行なう。	大阪日報
明治10	1877	6	25	大阪府、加島村で牛疫発生のことを布達し、注意を喚起する。	布告及布達
明治10	1877	6	26	大阪府、男子なき家の長女を他家へ入籍させようとするときは、入家前に親族連署して出願させる。	布告及布達
明治10	1877	6	27	大阪府、この日より午後十一時以後は無提灯にて市中並びに接近郡村の通行を禁止する。 （立志社員池田翁助拘留と関わるものか）	布告及布達・大久保利通文書・五代友厚伝記資料
明治10	1877	6	27	大阪府、処分済刑人の受取日限を裁判所宣告の日より五日目までとする。	布告及布達
明治10	1877	6	27	『攪眠新活』、立志社が武装蜂起するとの臆説を否定する論説を掲載する。	攪眠新報
明治10	1877	6	28	大阪府、寄留席貸と唱え、旅宿類似の業を営む者の出願を命じる。	布告及布達
明治10	1877	6	28	『大阪日報』、新聞紙条例・讒謗律公布後三年目にあたり、前一年間の新聞事情をまとめる。	大阪日報
明治10	1877	6	30	進取社の『攪眠新誌』、発行を停止される。また仮編輯長常井誠一郎、禁獄一年を申し渡される。	公文録・大阪日報・浪花新聞・朝野
明治10	1877	6	日欠	大阪府、道頓堀川日吉橋を架換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	6	月中	西南戦争に関する新聞記事	
明治10	1877	6	月中	(1)兵員・人夫等の移動に関係(1)～(25)	
明治10	1877	6	月中	(2)兵器・物資の発送・もち込みに関係(1)～(22)	
明治10	1877	6	月中	(3)砲兵支廠の製造等に関係	
明治10	1877	6	月中	(4)戦病傷者・軍事病院関係(1)～(19)	
明治10	1877	6	月中	(5)病院にての疵傷全快者による集成隊関係(1)～(5)	
明治10	1877	6	月中	(6)戦争に関する雑件(1)～(9)	

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	6	月中	市井諸事に関する新聞記事	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(1)新町と堀江の女紅場で負傷者のため裁縫	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(2)女紅場で病院患者の服を仕立てると	浪花新聞
明治10	1877	6	月中	(3)巡査百名を募ると	浪花新聞
明治10	1877	6	月中	(4)巡査二百名を増すと	浪花新聞
明治10	1877	6	月中	(5)浪花新聞元編集伊藤一英、死去	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(6)巡査拝命十七人	浪花新聞
明治10	1877	6	月中	(7)後藤林右衛門・山本□兵衛・小田長兵衛、力士のための学校設立を申請	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(8)大阪府下娼妓の駆梅院入院数	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(9)川崎・桜の宮間の架橋計画	浪花新聞
明治10	1877	6	月中	(10)西郷・桐野・江藤・前原等の写真販売、「公」の字に注意	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(11)人力車と提灯	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(12)けしからぬ人力車夫	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(13)大阪英語学校の生徒募集	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(14)せっけんの製造販売	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(15)使用済み郵便切手の買集め	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(16)『大阪絵入新聞』、『絵入雑誌』と改題	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(17)住吉神社へ新道および屋根修理	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(18)架橋のこと	浪花新聞
明治10	1877	6	月中	(19)風雲館の転塾	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(20)大阪師範学校の生徒募集	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(21)堺県の囚獄所を大阪に移すうわさ	浪花新聞
明治10	1877	6	月中	(22)四国路実地探偵の士官発す	浪花新聞
明治10	1877	6	月中	(23)生国魂神社祭礼の渡御道筋の変更	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(24)『大阪新聞』、『錦画旭新聞』の発行	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	6	月中	(25)肥後橋の架けかえ	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(26)代言人の開業広告	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(27)豊公社建築につき	浪花新聞
明治10	1877	6	月中	(28)木津川口燈台につき	浪花新聞
明治10	1877	6	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治10	1877	6	月中	(1)茂左衛門橋畔の女浄瑠璃	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(2)黒岩重太郎の当地相撲興行と梅ヶ谷の動静	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(3)戦争を真似た見世物、許可を得られず	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(4)俄狂言役者小半の召集	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	6	月中	(5)相撲取締五名をえらび、新規頭取は不許可とする	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(6)生国魂社の能楽行	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(7)西南戦争の講歌大当り	大阪日報
明治10	1877	6	月中	(8)道頓堀阪栄座の芝居	大阪日報
明治10	1877	7	1	『大阪日報』の就将社、佐野常民ら創設の博愛社への寄贈取次業務を開始する。	大阪日報
明治10	1877	7	1	天満西寺町法住寺で、この日より八日まで戦死人を供養する。	浪花新聞
明治10	1877	7	1	大阪北洲社社長北田正薫、西京へ拘引されるも、この日復社する。	浪花新聞
明治10	1877	7	3	大阪上等裁判所および大阪裁判所の改革あり。尾崎忠治上等裁判所長心得、清岡公張大阪裁判所長、旧の通り。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	7	3	大阪府、平民に限り実子があっても実子以外の者の相続権を条件つきながら認める。	布告及布達
明治10	1877	7	3	大阪府、堂島川大江橋を架換え、この日竣功する。	大阪府歴史・浪花新聞・大阪府史料
明治10	1877	7	4	大阪府、人民私有地内の鎮守あるいは自祭の神祠・仏堂へ衆庶が参拝するのを禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	7	5	大阪府、借受浜地の又貸を禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	7	5	五代友厚、大隈重信に書を送って立志社解体よりも板垣退助の処分を提案する。	五代友厚伝記資料
明治10	1877	7	6	『浪花新聞』旧社員佐伯久兵衛・高田喜五郎、この日より『実生新聞』を発刊する。	実生新聞・浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	7	8	和歌山県より到着の遊撃隊兵士数十人、住吉方面で巡査と悶着をおこす。	浪花新聞
明治10	1877	7	9	大阪府、第八大区二小区茨木村に茨木警察署を設置し、福島警察署安治川分署を本田警察署に所属させる。	布告及布達
明治10	1877	7	11	九日より暴雨。この日淀川および安威・勝尾寺・佐保川氾濫し、堤防決潰して島下・島上・豊島三郡内八五ヶ村を浸し、十二日平水に復す。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	7	11	大阪府、飛信通送規則第六項および第九項を提示し、代理脚夫継立の心得を周知させる。	布告及布達
明治10	1877	7	11	大阪府、違式罪目中に追加を行なう。	布告及布達
明治10	1877	7	11	進取社、発行禁止の『攪民新誌』にかわって『興民新誌』を発行し、なおつづけて『関西毎日新聞』などの開業を願い出る。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	7	11	『興民新誌』、京阪地方の近況を報じる。	興民新誌
明治10	1877	7	12	大阪府、建物に附属する附物の書入質並びに売買譲渡規則を定め、八月一日より施行する。 (明治十七年五月十四日廃止)	布告及布達
明治10	1877	7	13	停車場より蜷川出入橋までの堀割で通船を開始し、さらに出入橋南手より堂島川までの堀割を計画する。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	7	16	大阪府、福島警察署受持区の内、第六大区二小区安治川以北その他を本田警察署の受持に変更する。	大阪日報・浪花新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	7	16	『東洋奇事新報』編輯長神代良太、新聞条例によって禁獄一年に処せられる。また同二十六日同新報発行元弘義社社主高崎芳宣、内務省への献本を怠った罪で罰せられる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	7	17	大阪府、牛馬売買免許鑑札税の上納期日を一月三十一日・七月三十一日とする。	布告及布達
明治10	1877	7	17	正則小学変則中学の私立進取学校、立売堀北通三丁目に仮開業する。（『興民新誌』発行元進取社の経営）	浪花新聞・大阪日報・興民新誌
明治10	1877	7	18	大阪府、幼童の水死につき注意すべきを父兄に諭達する。	大阪府教育百年史
明治10	1877	7	18	大阪府、人民より差出しの諸願伺届等は趣旨が分れば戸長において文章加筆し、速やかに奥印すべきことを布達する。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	7	19	大阪府、市街各会議所の私用物書廃止につき、人民の諸願伺届等の認め方に便宜をはかるべきことを布達する。	布告及布達
明治10	1877	7	19	大阪府、小学教則を改正する。	大阪府教育百年史
明治10	1877	7	19	大阪府、売薬規則手続第八条に追加する。	布告及布達
明治10	1877	7	21	大阪裁判所、天王寺区裁判所を天王寺村字東谷七八六番地に移す。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	7	21	大阪府、博物場小会の開き方を改正し、秋分より六十日間とする。	布告及布達
明治10	1877	7	22	大阪府巡查五十人、堺県巡查五十人とともに鹿児島に派遣される。	浪花新聞・大阪日報・大久保利通文書
明治10	1877	7	23	就将社・進取社、協同して生国魂神社に於て、官軍・賊軍等の区別なく西南戦死者を祀る招魂祭を行う。	大阪日報・浪花新聞・興民新誌
明治10	1877	7	24	大阪英語学校、生徒の補欠を募る。	布告及布達
明治10	1877	7	25	天皇、東京へ還幸につき、征討陸軍事務所を大阪に置き、陸軍中将島尾小弥太に事務取扱を命じ、戦地の事情をすべて太政官に報告させる。	明治史要・公文録・浪花新聞・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	7	25	『興民新誌』主幹中島勝義、府庁の圧迫により東京に移り、かわって東京より来阪の山脇巍が編集に協力する。	興民新誌
明治10	1877	7	26	大阪府第五課、学校の実況を一般に知らせるため、三試験の景況などを校門に掲示させる。	布告及布達
明治10	1877	7	27	大阪府、監倉場近傍の区戸長に監倉場異変の節の半鐘乱打について布達する。	布告及布達
明治10	1877	7	27	大阪府、無料の種痘は来る七月末日までにて終了することを布達する。	布告及布達
明治10	1877	7	28	大阪府、博物場の大会および小会の開会期日を変更し、大会は三月十五日より百日間、小会は十月一日より六十日間と定める。	布告及布達
明治10	1877	7	28	大阪府、各校における助教選挙の条件を定める。	大阪府教育百年史
明治10	1877	7	30	区長より氏神祭礼に日章の提灯差出の禁止が達せられる。	浪花新聞
明治10	1877	7	31	大阪府、菅原警察署受持の第八大区五小区を茨木警察署受持に改正する。	布告及布達
明治10	1877	7	31	大阪英語学校、亭人教師ジ・ヘスヘルドの雇い継ぎを上申する。	公文録
明治10	1877	7	日欠	函館氷の販売が広まる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	7	日欠	吉元禎輔『大阪府官員録全』を編集する。	大阪府教育百年史

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	7	月中	西南戦争関係新聞記事	
明治10	1877	7	月中	(1)兵員・人夫等の移動関係1)～11)	
明治10	1877	7	月中	(2)兵器・物資の発送・持込関係1)～24)	
明治10	1877	7	月中	(3)砲兵支廠の製造等関係1)～5)	
明治10	1877	7	月中	(4)戦病傷者・軍事病院関係1)～7)	
明治10	1877	7	月中	(5)戦争に関する雑件1)～3)	
明治10	1877	7	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治10	1877	7	月中	(1)大阪府下新聞雑誌類の発兌予定―その1―	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(2)大阪府下新聞雑誌類の発兌予定―その2―	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(3)大阪府下新聞雑誌類の発兌予定―その3―	読売
明治10	1877	7	月中	(4)日本橋通の巡邏を厳にすると	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(5)芦分学校で土曜日学校を開き、貧窮者の児童を教育する	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(6)第三大区区長の長子金沢仁作の夜学、成果をあげる	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(7)梅田停車場よりの人力車賃銭公表の好評	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(8)朝陽館で陸軍の服地染上げ	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(9)安治川線列車、一部廃止	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(10)生国魂神社の祭礼―その1―	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(11)生国魂神社の祭礼―その2―	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(12)西郷隆盛らの錦絵、よく売れる	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(13)大融寺の愛染祭	実生新聞
明治10	1877	7	月中	(14)六月中の大阪府戸数・人口	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(15)華族銀行支店につき役員の来阪	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(16)巡查召募九百人に及ぶ	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(17)大阪府知事渡辺昇、再婚する	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(18)米搗器械の工夫	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(19)遊撃別手組残余の者で撃剣大会	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(20)吉野講による材木独占荷受体制の動揺	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(21)桜橋北詰に西洋作りの警察署	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(22)道頓堀川の大石除去は無賃にてもとの申出	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(23)大阪師範学校で附属小学生の募集	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(24)三谷岩蔵と藤沢彦兵衛、米国博覧会で受賞	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(26)広島・馬関方面に出張した娼妓らのもうけ少なし	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(27)巡查の拝命	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(28)新町・堀江の女紅場で生徒の等級を定める	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	7	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治10	1877	7	月中	(1)相撲取りに等級をつけて課税―その1―	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(2)相撲取りに等級をつけて課税―その2―	読売
明治10	1877	7	月中	(3)難波新地で油絵展覽場	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(4)難波新地の相撲	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(5)坂彦病の床にあるを聞きて	大阪日報
明治10	1877	7	月中	(6)涼み舟で清元	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(7)天満市場浜の涼み浄瑠璃の中止	浪花新聞
明治10	1877	7	月中	(8)道頓堀で涼み浄瑠璃	大阪日報
明治10	1877	8	1	堂嶋米市場の再紛、北組消防方頭取小林佐兵衛の仲介にて終息する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	8	3	『大阪新聞』が発刊される。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	8	3	京町堀通三丁目古玉庄七・若槻康助・森川祐七、順慶町通二丁目に筆記社を設立し、代書業を開始する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	8	3	オランダ人マンスヘルト、大阪府病院教師として来阪する。	大阪日報
明治10	1877	8	4	天神祭が行なわれる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	8	4	浪花橋北詰三軒屋浜から出た渡し船が乗客五十人ほどを乗せて沈没。死傷者はなし。	浪花新聞
明治10	1877	8	6	大阪府、諸車・駕籠・馬に対する府税の納期を毎年三月二十五日・九月二十五日と定める。	布告及布達
明治10	1877	8	6	堂島仲士らの賃銭問題で軍糧米回送が行詰ったところ、相撲取りが動員されて作業を進める。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	8	6	松屋町囚獄場内に禁獄所ができ、関新吾・万代義勝・常井誠一郎・神代良太の記者が自宅謹慎から引移される。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	8	7	吹田村以東において鉄道線路に妨害物を置くことしばしばあり。この日、大阪府は、各村方に悪業者の申告を命じる。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	8	7	曽根崎新地寓の関真太郎、「新・旧平民」の交際方法について意見を発表する。	大阪日報
明治10	1877	8	8	大阪府、斃牛社に、飼犬を撲殺すれば十円以上三十円以下の償金を出させることとする。（十四日、これを取消し、翌十五日「何人ニ限ラズ」と改め、さらに三十一日、斃牛社に、病犬等人害をなすものを除き犬を殺すことの禁止を通達する。）	布告及布達・浪花新聞
明治10	1877	8	8	大阪府、大阪鎮台兵の夜間行軍演習がときどき行なわれることを布達する。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	8	8	茨住吉祭礼で神輿の渡御禁止をめぐって若連中が騒動を起す。	大阪日報
明治10	1877	8	9	長堀警察署、土手内清五郎・鶴田丹蔵ら博徒四十九人を検挙する。	大阪日報
明治10	1877	8	10	陸軍省、大阪府下森村のうちにて六万余坪を買収し、鎮台附属仮兵營の建設に着手する。	公文録・大阪日報
明治10	1877	8	10	南地新金比羅前で四都合併の大相撲が始まる。この日初日。	浪花新聞・大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	8	11	大阪府、諸車検印の定日を火曜・金曜日から月・木・金の各曜日に増す。	布告及布達
明治10	1877	8	12	第二大区十二番小学校の改築、落成する。	大阪日報
明治10	1877	8	13	オーストリア皇族リーチテンステインおよびモンテニューウチ両親王が来阪し、四天王寺・博物場・城内・臨時病院に立寄る。	大阪日報
明治10	1877	8	13	大阪府、水防規則を定め、内郷村々組合を設け、予め洪水に備えさせる。	布告及布達
明治10	1877	8	13	大阪府、第十大区三小区内六・七両番組を合併して六番組とする。	布告及布達
明治10	1877	8	13	大阪府、各小学校に、教育の前途盛大のため可と認めることは小学区内に限っても申出、着手すべきを布達する。	布告及布達
明治10	1877	8	14	大阪府、一小地区内に学童監護人を置き、学童の就学督促等に努めさせる。	布告及布達
明治10	1877	8	14	大阪府、学校費取集方に関する区戸長決議のうち、地所に課すものは取消しとし、別の方法を申し出るように布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	8	15	大阪府、飛地は現在地村の支配を受けるべきを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	8	15	新聞演説会が四ツ橋の宿屋において開かれる。	浪花新聞
明治10	1877	8	17	千日前でオーストリア人の曲馬がはじまる。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	8	18	大阪府、管内小学校教員には授業上参考に要する図書を書籍館に於て無通券にて閲覧することを許可する。	布告及布達
明治10	1877	8	21	内務省、『東洋奇事新報』の発行を禁止し、弘義社の『飛耳新報』、進取社の『関西毎日新聞』発行願いを不許可とする。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	8	22	大阪府、売姪取締罰則を改正し、芸妓営業の者の他方止宿を許可する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治10	1877	8	26	颶風あり、海岸一帯にて被害が出る。	大阪日報
明治10	1877	8	28	大阪府、内務省よりの通達にもとづき、農産物の生産報告書の正確なる作成を市郡区戸長に命じる。	大阪府布令集
明治10	1877	8	29	大阪府、市街改租につき市街地位等級調査心得書を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	8	30	このころ郡村にて綿虫の害が広がる。この日大阪府は、その原因として蝶の撲殺を命じる。	布告及布達・中谷徳恭戸長日記・大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	8	30	中ノ島三丁目朝陽館で火災、二棟が焼失する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	8	31	大阪府、進級・集成両校を合併し、大阪府第一番中学校と称す。九月一日より開校する。	布告及布達・大阪府史料・大阪府歴史
明治10	1877	8	日欠	大阪府、海部堀川中ノ橋を架換え、竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	8	日欠	内国勸業博に大阪府より出品看護人二十人を派遣する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	8	日欠	一等区長金沢宇兵衛・二等区長北尾重兵衛、西辺の便利のため西道頓堀幸橋より南町（元渡辺村）へ直線に通じる新路を願い出、着工の許可を得る。	大阪日報
明治10	1877	8	日欠	大阪釣鐘町の香風社、『香風余話』を月四回の割で発行する。	大阪日報
明治10	1877	8	月中	西南戦争に関する新聞記事(1)～(33)	

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	8	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治10	1877	8	月中	(1) (空白)	
明治10	1877	8	月中	(2)肥後地方から煉化石の注文ふえる	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(3)シケ隊組の取締	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(4)コレラ流行の前兆	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(5)西郷星の人気	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(6)魚の腸や骨をとってまわるのは悪臭だから早朝にせよと	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(7)生国魂神社南側で清水の湧出	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(8)古人秀句の見立	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(9)名家古吟の見立	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(10)天主台に物見櫓を設けると	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(11)三軒屋八坂神社の夜店差出しと千日前の榎木神社落成	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(12)江口一吹田間で神崎川支流掘割の調査	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(13)当府巡查拝命二十三人	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(14)景気回復のきざし	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(15)女人の檻倉を新築すると	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(16)五代氏の藍製造所のこと	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(17)『大阪繁昌雜記』を出す	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(18)住吉神社境内の書籍縦覧所が評判	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(19)市中女紅場を各小学へ合併のうわさ	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(20)人形師大江伊兵衛の作品	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(21)河内国讃良郡南野村に小楠公の石碑落成	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(22)梅田停車場前の火の見台落成	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(23)長与貫一、自製の玻璃球をもって舷灯の製造に着手する	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(24)第二大区四小区一等戸長浮田桂造氏の事績	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(25)松島廓に因組をつくる	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(26)斎藤弘造編『西南伝信録』の広告	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(27)堂嶋鉄道局の移転	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(28)汐見橋のかけかえ	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(29)戦地より人足帰る	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(30)長堀橋警察署で長町住民の調査	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(31)梅田に鉄道局を新築すると	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(32)『狂画ねごと新聞』出願	浪花新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	8	月中	(33)英国女教師オクスラド、川口にて和英兼学の女学校を開く	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(34)関徳編『西南戦争記事』の広告	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(35)鉄道線の両側に鉄道ボリスの官宅を建築	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(36)北の新地の女紅場近く開業	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(37)大阪府下滞在寄留止宿人の総計	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(38)豊公神社に前田家から秀吉の木像献納	実生新聞
明治10	1877	8	月中	(39)大阪府下民費課出表	大阪新聞
明治10	1877	8	月中	(40)巡査三十九人拝命	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(41)往来繁き街道には人力車用のくぼみをつけた板石をしくとの風説	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(42)大阪府の人口調べ（明治8年～10年）	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(43)玉江橋架けかえの計画	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(44)大阪堂島米商会所、明治十年前半季分営業勘定	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(45)萩の咲きはじめ	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(46)巡査十一名拝命	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(47)南地で牛肉煮売業の盛行	大阪日報
明治10	1877	8	月中	芝居・娯楽に関する新聞記事	
明治10	1877	8	月中	(1)昔噺業の芝居興行	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(2)『歌吹新聞』の創刊	郵便報知
明治10	1877	8	月中	(3)堀江の芝居と船場稻荷社内の小屋	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(4)南地法善寺桂一座の昔噺小屋で噺角力	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(5)永代浜の涼浄瑠璃	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(6)道頓堀中の芝居と阪恵座の芝居	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(7)中の芝居の役割	浪花新聞
明治10	1877	8	月中	(8)北の新地三好座の芝居	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(9)新町扇屋の席で猿芝居	大阪日報
明治10	1877	8	月中	(10)道頓堀朝日座で名古屋下りの女芝居	大阪日報
明治10	1877	9	1	九郎右衛門町に女紅場、上棟式を行なう。	大阪日報
明治10	1877	9	1	『浪花新聞』、この日より二十五日まで休刊する。	浪花新聞・大阪日報・大阪新聞・郵便報知
明治10	1877	9	3	大阪府、大阪港在留ならびに一時他港より止宿の清国人に籍牌面通りの出身地名・氏名・実印の提出を求める。	布告及布達
明治10	1877	9	5	『興民新誌』、「大塩平八郎ヲ追慕スル文」を掲載し、民権家の天保期大阪にあったことを論じる。	興民新誌
明治10	1877	9	8	興民新誌社主代理山脇巍、大阪裁判所検事局に出頭を命じられる。	大阪日報
明治10	1877	9	13	大阪府、区戸長転免の節の事務引継方法について布達する。	布告及布達・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	9	13	砲兵支廠、新たに大阪城内病院下に地所五千七百八十九坪を受取る。	大阪砲兵工廠沿革史
明治10	1877	9	14	大阪府、郡中従来の番組ならびに戸長を廃し、一小区ごとに区長一人、戸長三人、ならびに各村に一または二、三人の村用掛を置く。	布告及布達・大阪府史料・大阪新聞・中谷徳恭戸長日記・浪花新聞
明治10	1877	9	15	この日より三日間阿弥陀池和光寺において西南戦死の霊追善の大施餓鬼が行なわれる。	大阪日報
明治10	1877	9	15	弘義社から発行後日もない雑誌『江山新報』、大阪府庁から発行禁止を申し渡される。	大阪日報・郵便報知
明治10	1877	9	17	千日前で曲馬演技中の外国人ガンチール、兵卒に襲いかかれる。	公文録・大阪日報・大阪新聞
明治10	1877	9	18	堂嶋の寄場、拡張工事に着手する。	大阪日報
明治10	1877	9	19	『大阪日報』前編輯長関新吾、禁獄満期につき放免される。	大阪日報
明治10	1877	9	20	鳴野村稻荷神社を生国魂神社内に遷す。	大阪日報
明治10	1877	9	20	大阪陸軍臨時病院副長陸軍一等軍医正石黒忠恵、同病院内においてコレラ患者発生を報じる。	大阪日報
明治10	1877	9	22	この日初めて市中にコレラ病患者を出し、漸次近傍に伝播し遂に市中および接近郡村に蔓延する。大阪府、連日のごとくその状況を布達し、市民に知らせる。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪府歴史料・大阪日報・大阪新聞・浪花新聞・布告及布達
明治10	1877	9	22	大阪府、東京・横浜・長崎等にコレラ病流行し、また大阪府下にも感染者七名出現したため、内務省衛生局報告第五号を採録して管内人民に予防注意を布達する。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	9	23	大阪府、府庁内において臨時に衛生掛を設置し、七等属山田迪吉ほか二名に委員兼務を命じる。	大阪日報・大阪新聞
明治10	1877	9	23	コレラ病予防法を機に薬価が急騰する。大阪府諭して、予防は独り石炭酸に限らず、硫黄を焚くことによっても可能なことを知らせ、また、薬商に相当代価での売買を指示する。	布告及布達・大阪日報・大阪新聞
明治10	1877	9	24	大阪鎮台歩兵第八聯隊予備兵、住吉付近に行軍して演習を行なう。	大阪日報
明治10	1877	9	24	大阪府、この日午前西南の役収戦を布達する。	大阪府布令集・大阪府史料・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	9	24	大阪府、礼服として通常礼服のかわりに羽織・袴での代用を認める。	布告及布達
明治10	1877	9	24	大阪府、コレラ病発生につき生徒養生の注意を喚起する。	布告及布達
明治10	1877	9	25	石黒忠恵、コレラ病消毒法に関し、陸軍臨時病院臨時会議における陸軍一等軍医正佐々木東洋の意見を新聞に紹介する。	大阪日報
明治10	1877	9	25	大阪府、学校関係者の家内においてコレラ病に罹る者あるときは登校差止めを命じる。	大阪日報
明治10	1877	9	25	進取社、この日より自費をもってコレラ病予防薬石炭酸水を製し、広く市民に無料で配布する。また、この挙に義捐する人も出現する。	大阪日報・浪花新聞・大阪新聞
明治10	1877	9	25	『大阪日報』前仮編輯長万代義勝、禁獄満期につき放免される。	大阪日報・大阪新聞
明治10	1877	9	25	谷町筋寺町八丁目臨済宗中教院において西南戦死者供養の大施餓鬼会を行なう。	大阪日報
明治10	1877	9	25	大阪郵便局、西国筋への郵便差立時刻を改正する。	大阪日報
明治10	1877	9	26	大阪府、市街道路の修繕進捗につき、雨落溝・雨樋の整備、溝浚、土砂等の取かたづけ、溝掃除の励行などを布達する。	布告及布達・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	9	26	大阪府、コレラ病予防のため道路・下水・芥溜ならびに便所等不潔な場所の掃除、薬品撒布を市民に命じ、かつ警吏の見廻りをはじめる。	大阪府布令集・大阪日報・大阪新聞・浪花新聞
明治10	1877	9	26	この日より翌月六日まで京都・大阪・神戸各停車場に警吏が出張し、往返の旅客についてコレラ病の検疫を実施する。	大阪日報
明治10	1877	9	26	大阪府、コレラ病に罹った時または死亡した時には警察へ届け出ることを命じる。	布告及布達・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	9	26	大阪府、コレラ病にかかった者のうち赤貧者には無代価にて医員の派遣・診察・投薬などを行なうこととする。	布告及布達・浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	9	26	大阪府、長柄村にコレラ避病院を設置する。	大阪新聞・浪花新聞
明治10	1877	9	27	大阪府、各区医員にコレラ病診察係を命じ、病家に至り診察投剤し、かつ予防消毒法等を指示させる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	9	27	大阪府、各区会議所においてコレラ病予防薬として塩酸石灰を府民に下げ渡す。	布告及布達・浪花新聞・大阪日報・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	9	27	この日ごろ大阪府、各警察署にて虎列刺病検査手続を定める。	大阪日報・大阪新聞・浪花新聞
明治10	1877	9	28	大阪府、市郡各学校にコロールカルキを配布する。	大阪日報・浪花新聞・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	9	28	長堀橋警察署、道頓堀の角、弁天、朝日の各座にコレラ予防薬撒布を命じる。	大阪日報
明治10	1877	9	28	大阪府、電信の障害となる場所での子供のとんぼつりを禁止する。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	9	28	大阪英語学校、訓導英人トーマス・ハーデンジの代員として同国人ゼームス・サンマルスの採用を届け出る。	公文録
明治10	1877	9	28	堂嶋中一丁目黒住派神道教会所でコレラ除けの祈祷はじまる。また、御霊社でも執行される。	大阪日報
明治10	1877	9	29	大阪府、小学校訓導に官費を以て別にその給料の幾分を支給することとし、その率を定める（十月一日実施）。つづいて、十月二日には教員給料等についても同様の措置を定める。	布告及布達
明治10	1877	9	29	大阪府、戸長取扱心得第三条に但書を追加する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	9	29	大阪府、第二大区七小区御蔵跡町石本喜三郎妹しも・同ため兩人の孝養を賞し金円を与える。	大阪府歴史
明治10	1877	9	29	大阪府、府下新聞に布達し、コレラ病予防法に関する記事は、今後病院の証認を必要条件とする。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	9	29	大阪府、コレラ予防として売り出されている「鶏冠雄黄」なる薬品の販売を禁止する。	布告及布達・大阪府史料・大阪新聞
明治10	1877	9	30	大阪鎮台諸将兵はじめ各地の諸将兵、西南地方より凱旋し、この日より神戸に入港する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	9	30	大阪府、長堀橋筋警察署住吉分署を住吉警察署と改称する。	布告及布達
明治10	1877	8	月中	西南戦争に関する新聞記事(1)～(20)	
明治10	1877	8	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治10	1877	8	月中	(1)曾根崎新地の芸妓と娼妓の数	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	9	月中	(2)覚正寺で西南戦死の亡霊大施餓鬼	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(3)日向炭急騰し、料理屋から焼芋屋まで困惑	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(4)南地五花街の芸妓・娼妓の数	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(5)西洋薬舗商大井ト新の新聞広告	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(6)神崎川三国渡し場の橋の架け替えが近々行われると	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(7)温情心のある貸車屋	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(8)新町廓の席貸業者・芸妓および娼妓の数	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(9)北堀江下通の川筋に新橋架設の許可	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(10)『郵便報知』の大阪だより（進取学校・西教・遊集社など）	郵便報知
明治10	1877	9	月中	(11)警部・巡査、殉職した同僚の救助盟約法を相談中とか	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(12)当地在留の琉球人に子猫を買い集める者あり	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(13)道頓堀蛭子橋の架替え普請	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(14)九条村にコレラ病仮病院設立の決定	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(15)コレラ病防止のおまじない流行	大阪新聞
明治10	1877	9	月中	(16)コレラ病死者の遺体取扱い方	大阪新聞
明治10	1877	9	月中	(17)コレラ病流行のため自安寺・法善寺参りが盛ん	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(18)巡査二十四名拝命	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(19)懲役場内に囚人教導のための授業局設立	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(20)職手間賃値上げのため、煙管職人の同盟休業	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(21)文明開化の事例二つ（芸妓の新聞演説会と旧渡辺村での書店開業）	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(22)橋本村小学校の開校	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(23)『朝野新聞』の大阪だより	朝野新聞
明治10	1877	9	月中	(24)巡査二十四名拝命	大阪新聞
明治10	1877	9	月中	(25)乞食の立身出世話し	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(26)コレラ病死者の衣類等を埋めて非難される	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(27)コレラ病退散を願って高津神社にお供え	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(28)西南一件の綿絵出版で綿絵屋綿喜の繁昌	浪花新聞（参考資料アリ）
明治10	1877	9	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治10	1877	9	月中	(1)角の芝居、盆替り興行の役割	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(2)天満天神境内の芝居、外題と役割	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(3)大西芝居の盆替り興行、外題と役割	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(4)月琴、花柳社会に流行中	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(5)戎座の芝居、外題と役割	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(6)生国魂神社での能狂言	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	9	月中	(7)松嶋文楽座・角の芝居・堀江の芝居、役割と外題	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(8)実川延三郎らの一座出船で、日本橋両川岸は大にぎわい	大阪日報
明治10	1877	9	月中	(9)竹本越路太夫の春太夫襲名と広助の復活	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(10)南地の大相撲、脱走組参加ではじまり	浪花新聞
明治10	1877	9	月中	(11)南地の大相撲、日延	大阪新聞
明治10	1877	10	1	この日より博物場にて小会を開く。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	10	1	在阪米国領事、大阪府知事に西南戦役終息の祝詞を送る。	大阪日報
明治10	1877	10	1	富嶋町前田恭一、ペイント製造をはじめる。	大阪日報
明治10	1877	10	2	大阪府、和漢兩種の薬店取締規則を定め、和漢兩種の薬品のみを取扱う者には無試験にて営業を許すこととする。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	10	2	大阪府、飲水の際は必らず沸煮すべきことを布達する。	布告及布達
明治10	1877	10	2	大阪府、コレラ蔓延につき、目下興行中のものを除き芝居ならびに諸席の興行を禁止する。	布告及布達
明治10	1877	10	2	大阪府、石炭酸ならびに硫酸の五十倍以上の水に溶解したもの等の発売を当分の間許可する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	10	2	警察本署、コレラ病のある家への掲示は色紙（できるだけ黄色）にして衆人の見易きように改める。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	10	2	この日ごろより私製のコレラ薬販売がはじまる。	大阪日報・大阪新聞
明治10	1877	10	3	大阪府、コレラ病患者を避病院に送るとき、また同死者葬送のときには黄色の小旗を掲げさせる。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	10	3	大阪府、内務省衛生局報告第六号「虎列刺病治方概略」を布達し、病人および看病人の危害を防ごうとする。	布告及布達
明治10	1877	10	3	住友氏所有の白水丸、大阪一馬関の往復輸送を再開する。	大阪日報
明治10	1877	10	3	この日ごろよりコレラ病予防・療治関係の出版物が出まわりはじめる。	大阪日報・大阪新聞
明治10	1877	10	5	四天王寺で西南戦死者の大施餓鬼を行なう。	大阪日報
明治10	1877	10	5	「日本内国運輸ノ性質并ニ費用ニ関スル英国領事報告」が上申される。この内に神戸を中心とした状況報告もあり。	大隈文書
明治10	1877	10	5	進取社『興民新誌』編集長杉山昌六、懲役四十日のところ贖罪金三円を申し渡される。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	10	6	在大阪の陸軍中将鳥尾小弥太、凱旋諸隊におけるコレラ防止対策およびその首尾について太政官に報告する。	公文録・大阪日報・大阪新聞
明治10	1877	10	6	この日より各警察署において、コレラ予防のための管内巡視を強化する。	大阪日報
明治10	1877	10	8	大阪府、西南の役平定に伴ない、それに関する一時取締の布達等を廃止する。	布告及布達
明治10	1877	10	8	司法省、大阪上等裁判所詰フランス人リップマンの向こう一年間の雇継ぎを上申する。	公文録

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	10	8	大阪病院、コレラ用丸薬を製造し、各所に配付し、あわせて療治法を説明する。また、警察では臨検者にこれを持参させる。	大阪日報
明治10	1877	10	9	大阪府、町村が宅地建物等売買にあたり歩一と称して売買当事者に出金させることを禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	10	9	大阪府第五課、助教の撰出は満十四歳以上たるべきを布達する。	大阪日報
明治10	1877	10	9	五代友厚、中国向け製藍事業の失敗と克服への努力を大久保利通に語る。	五代友厚伝記資料・大阪日報
明治10	1877	10	10	大阪府、種痘規則を改正し、十二月一日より施行する。	布告及布達
明治10	1877	10	10	大阪府、住民の不満ある長柄村覚満寺の避病院を廃止し、長柄村の他の地に避病院を新たに建築し、この日落成する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	10	10	この日ごろよりコレラ病兵士治療のため文部省・宮内省など東京より医師らが到着する。	大阪日報・浪花新聞・公文録
明治10	1877	10	11	大阪府、コレラ病蔓延につき、芝居ならびに諸席の興行を当分の間差止める。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・大阪新聞
明治10	1877	10	11	大阪府、学校近傍にコレラ流行の徴候があるときは休学を命じる。	布告及布達
明治10	1877	10	11	『実生新聞』、休業を届け出る。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	10	11	暴風雨あり、海表新田等に被害が出る。	浪花新聞・大阪日報・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	10	12	師藩学校などコレラ病流行のため休校する学校がふえる。	大阪新聞・浪花新聞
明治10	1877	10	12	大阪府、コレラ蔓延につき、今後は吐瀉した者はすべて警察署へ届け出るべきことを布達する。	布告及布達
明治10	1877	10	13	警察本署、各警察署に通達し、「各区虎列刺病検査并ニ診察医」を廃し、各警察署を出張病院とし、医員二名ないし四名を配置し、患者あるごとに出張診察させる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	10	13	避病院は第四課警察掛の所轄となり、長柄村のほか尻無川口・野田新田・難波村に設けられ、標旗が定められる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	10	13	五代目坂東彦三郎、大阪に客死する。	大阪日報・浪花新聞・大阪新聞
明治10	1877	10	14	コレラ退散を名目とし、神社へ氏子中申し合わせて太鼓その他の鳴物等を用いて群集すること多し。この日大阪府、これらを禁止する（十六日再度布達）。	布告及布達・大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	10	14	今橋四丁目医師山本信卿、コレラ危急の丸薬一万包を市民に施与する。この後各種の施行あいつぐ。	大阪日報・浪花新聞・大阪新聞
明治10	1877	10	14	進取小学校を閉じる。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	10	15	大阪府、コレラ病が流行するので市中ならびに接近郡村の神社祭礼および夜市を中止させる。翌日、さらに病者ある郡村にもこれを適用する。	布告及布達・大阪府史料・中谷徳恭戸長日記・浪花新聞・大阪日報・大阪新聞
明治10	1877	10	15	広演社新聞演説会、コレラ病流行につきこの日より停止する。	浪花新聞
明治10	1877	10	15	大阪府、市郡区戸長の役印雛型を定める。	布告及布達
明治10	1877	10	16	大阪府、コレラ病流行につき呉服商の戎講を禁止する。	布告及布達・大阪府史料・大阪新聞
明治10	1877	10	16	大阪府、第五大区より第十一大区に至る各小学校に上等小学科を置く。	浪花新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	10	16	『大阪繁昌雜記』が発刊される。	大阪日報
明治10	1877	10	17	大阪府、自宅に除地なきコレラ病者の排泄物取捨場を天王寺村埋葬場外三ヶ所に定める。	布告及布達・大阪日報・大阪新聞
明治10	1877	10	17	大阪府、コレラ病流行につき、尿尿取締所に厳命する。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	10	18	大阪府、真宗東本願寺の檀家に対する積立金賦課を禁止する。	布告及布達・大阪新聞・大阪日報
明治10	1877	10	18	大阪府、松茸の多食はコレラになりやすいので心得ておくよう布達する。	布告及布達・浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	10	18	米国医師エ・エッチ・アダムス、この日より毎日市中においてコレラ病治療について医師からの相談を受ける。	大阪日報
明治10	1877	10	19	コレラ病を他病と偽称し包蔵するものあり。大阪府、当分の間他の病症にて死去した場合も警察署に届け出るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	10	20	大阪府庁で衛生の会議が開かれる。	浪花新聞
明治10	1877	10	20	進取社、新誌発行を停止する。	大阪新聞・大阪日報
明治10	1877	10	22	大阪府、川々堤防の竹木を水行の障げとならない所まで切り払うことを重ねて布達する。	布告及布達
明治10	1877	10	22	心斎橋北詰の電信分局、建設に着手する。	大阪日報
明治10	1877	10	23	松島駆徴院、コレラ病患者入院につき新町女紅場を仮出張所とする。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	10	24	大阪府、福島警察署を曾根崎村に移し、曾根崎警察署と改称する。	布告及布達・大阪日報・浪花新聞・大阪府史料
明治10	1877	10	24	天満橋下流の水を上流の水と偽り高価で売る者あり。大阪府、これを嚴重に取締り、市民にも注意を促す。	布告及布達
明治10	1877	10	24	大阪府、コレラ病にかかり他人の交接を禁ぜられ、生活困窮に陥った者に救助米を渡すこととする。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	10	24	橋本甚兵衛発起の川崎橋が新しく架けられ、この日渡り初めを行なう。	大阪府史料・浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	10	24	大阪府、区長を呼び出し、コレラ予防法について注意する。	浪花新聞
明治10	1877	10	25	大阪府、コレラ病にての死亡を隠し偽称する者は後日発覚すれば医師とともに軽くない罪に処せられるべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治10	1877	10	25	大阪府、コレラ病にかかり避病院への入院を拒みあるいは患者の布団・衣類等の焼却を免れようとするときは処分されるべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料・浪花新聞
明治10	1877	10	25	堀江川の阪栄橋、落成する。	大阪新聞・大阪府歴史
明治10	1877	10	26	大阪上等裁判所管轄内に琉球藩を加える。	公文録・法規類大全・布告及布達
明治10	1877	10	26	コレラ病の標紙張出し、警察の検視を嫌う者あり。大阪府、隣県あるいは近在の者で帰宿の上加養させたい者は、警察へ届け出るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治10	1877	10	26	大阪府、学童監護人の職務を増加する。	大阪府教育百年史
明治10	1877	10	26	大阪府懲役場で破獄を企てる挙あり。すべて鎮圧される。	大阪日報・朝野新聞
明治10	1877	10	26	外務書記官、居留地ミュニシパル議事掛について大阪府知事に問い合わせ。	外務省往復文書

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	10	27	大阪府第五課、就学催促状の答書もまた学童監護人より受取るべきことを定める。	大阪府教育百年史
明治10	1877	10	27	大阪府、府県通送人にみだりに車駕を使用することを禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	10	28	大阪鎮台、城内天主台に於て西南役戦死者の招魂祭を挙行する。庶民の参列を許し、歓楽を尽す。	大阪日報・布告及布達・浪花新聞・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	10	30	大阪府、市街民費課賦法を定め、地所に対する賦課金は正租の五分の一、その他の賦課金は等級を定め坪数に課すこととし、十一月一日より施行する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	10	30	司薬場、市中ならびに接近郡村の井戸水試験に着手する。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	10	31	大阪府、コレラ病がやや減縮の傾向を示したことを布達する。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	10	31	征討陸軍事務所、大阪を引き払う。	浪花新聞・大阪日報・郵便報知
明治10	1877	10	31	大阪府知事渡辺昇、抜刀隊百三十九名を府庁に招き慰労する。	大阪新聞・大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	10	日欠	大阪府、土佐堀川湊橋を架換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	10	日欠	高麗橋より鎮台に至る電信架線が竣功する。	大阪府歴史
明治10	1877	10	日欠	消防人足頭、辻々小便所の普請受負いを願い出る。	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	西南戦争終戦関係の新聞記事(1)～(26)	
明治10	1877	10	月中	陸軍臨時病院とコレラ病関係新聞記事(1)～(7)	
明治10	1877	10	月中	コレラ病に関する雑件記事(1)～(22)	
明治10	1877	10	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治10	1877	10	月中	(1)私立明新学校の設立	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(2)鳥居・脇両氏の演説会開催計画	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(3)御堂前の絵馬屋に戦地景況絵の注文殺到	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(4)精製舎の菓子	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(5)上等裁判所の多忙	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(6)戦地では農具不足、大阪へ注文つづく	大阪新聞
明治10	1877	10	月中	(7)凱旋兵で遊所にぎわう	大阪新聞
明治10	1877	10	月中	(8)四天王寺筆ヶ崎で追剥	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(9)大道村小学校開校	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(10)東洋奇事新報主幹鳥居氏、愛媛県へ	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(11)雇巡査の淘汰	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(12)当府下ガラス灯数	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	10	月中	(13)女侠松月のこと	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(14)摂津七郡の細図製作	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(15)感心な教師	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(16)「渡辺村とかの新平民」が南久太郎町に出店	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(17)杉谷市兵衛、舷燈を製造する	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	10	月中	(18)出納課に銀行掛を設けると	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(19)第三大区六小区新町通金沢仁作の隠徳	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(20)九州路より漆器の注文	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(21)中之島の氷室会社で箱館に氷を注文	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	10	月中	(22)博物場に寄贈	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(23)ハゼ釣を禁止	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(24)牛肉請売鑑札の下付	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(25)鹿児島県で大工の請負	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(26)住友氏が朝鮮に銅を輸出	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(27)肥後橋架換工事中	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(28)箕面山の景色と嶋上・嶋下両郡山々のまつたけ、行楽のさそい	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(29)琴江橋架けかえの計画	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(30)西南戦争の綿絵が人気	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(31)東京内国博覧場出品の人気品	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(32)茂左衛門橋のかけかえに着手	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(33)助成橋・末広橋かけかえの計画	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	10	月中	(34)戸主のため戦って死亡した吉岡定吉に褒賞	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(35)安藤喜助、活版木機械を製造	大阪日報
明治10	1877	10	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治10	1877	10	月中	(1)生国魂神社で能興行	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(2)北堀江の芝居、人気回復	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(3)博物場で狂言	浪花新聞
明治10	1877	10	月中	(4)大江橋北詰の浄瑠璃	大阪日報
明治10	1877	10	月中	(5)大阪新聞の美談記事が講談となる	大阪新聞
明治10	1877	10	月中	(6)堂嶋裏町の芸妓界で月琴の流行	大阪日報
明治10	1877	11	1	三菱会社、梅田停車場に荷物取扱所を設け、この日より営業をはじめる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	1	大和国葛井忠三郎、洋糸取扱資金約一万円の拠出を五代友厚に頼み入る。	五代友厚伝記資料
明治10	1877	11	2	大阪府、市街地地租改正につき本年八月布達の地位等級調査心得書第一章第三条を改正する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	11	2	北の新地女紅場、開業式を挙行する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	2	大阪府第五課、各校舎長は教員の授業を補助するために置くものであることを明らかにし、受持教員の誤用を正す。	大阪府教育百年史
明治10	1877	11	2	大阪府、市郡区長に対し十五日以上の私用旅行の場合には月給半額を給しないこと、一ヶ月以上に及ぶときには同給を行なわないことを定める。	布告及布達

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	11	2	『大阪日報』編輯長山本鏑二、讒謗律第四条にて禁獄三十日の刑を申し渡される。奥沢信行、後任の編輯長となる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	2	活版製造所、北久太郎町二丁目浪花橋角へ移転し、規模を拡大する。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	11	3	大阪府、コレラ病勢減退につきこの日より夜市の禁を解く。	布告及布達・大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	3	天長節の祝い、府下各地で行なわれる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	5	北堀江下通二丁目女紅場にて、一等戸長岡本半兵衛・二等戸長小林林之助・篠田正作、教育一般等に関する茶話会を設ける。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	6	大阪府、市中接近郡村の組番ならびに戸長人数を改める。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治10	1877	11	6	陸軍の真田山避病院、引払いとなる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	6	第七大区一小区（平野郷）区長佐々木政行、同地に警察分署の設置を願い出る。（附 市中および周辺にて強盗の徘徊を報じる新聞記事）	大阪府警察史・浪花新聞
明治10	1877	11	7	郡村において権限を逸脱する伍長間々あり、大阪府、伍長に命じて職制を守り権限外の事務に關渉しないよう注意する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	11	7	大阪府、第一大区・第二大区各小学校訓導および訓導補の酬勞金渡し方を改正する。	大阪府教育百年史
明治10	1877	11	7	市岡新田の避病院、引き揚る。	大阪日報
明治10	1877	11	7	和歌山県土族板尾楠猶、谷町五丁目に静観社を創設し、『六合雑誌』を発刊する。	浪花新聞・大阪新聞・大阪日報
明治10	1877	11	8	大阪府、第五大区より第十一大区に至る各小区内で一村あるいは数村組合一小学校を設立している地を一小学区と称すべきことを定める。	大阪府教育百年史
明治10	1877	11	9	大阪府、コレラ病減退につき十一日より諸神社の祭礼・諸席・諸興行の禁を解く。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	9	大阪府、囚獄懲役場異変のときは近傍小学校でも半鐘を連打させることとする。	布告及布達
明治10	1877	11	9	第五大区二小区森村、市中外から市中接近郡村への編入を願い出る。大阪府、翌日これを実施する。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	11	9	第六大区五小区伝法村北方において小学校を開く。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	11	10	内海直質、平野町二丁目に奨業社を興し『大阪出版物価新報』を発刊する。	大阪日報・浪花新聞・大阪新聞
明治10	1877	11	11	大阪府、西長堀警察署前浜地に流失拾い船ならびに材木等の置き場をつくる。	大阪日報
明治10	1877	11	12	大阪府、犯人処刑宣告書写一紙に数名記載の場合の配付先を定め、引渡期日等の誤りなきよう布達する。	布告及布達
明治10	1877	11	12	大阪上等裁判所御雇教師リップマン帰国につき送別の宴が開かれる。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	13	大阪府知事渡辺昇、西南の役遺族ら五十余名を招待し慰労する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	13	コレラ病減退につき警察の勤務を平常化し、雇医等も減員する。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	14	大阪府、野田村第三避病院を閉じる。	大阪日報
明治10	1877	11	14	大阪府、市中接近郡村の区費賦課法は市中に準じることを定める。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	11	14	銀行創設の動き増え、この日大阪府、無資力者の銀行創立を牽制する。	布告及布達・大阪府史料・浪花新聞
明治10	1877	11	14	大阪府、下々等小学の用書基準を定める。	大阪府教育百年史・大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	11	14	大阪府、教員の不足児不足補うための当分師範生徒の内より臨時訓導補および助教の派遣が可能となる処置をとる。	大阪府教育百年史
明治10	1877	11	14	大阪府下の医師梅田雪、衛生予防論を『大阪日報』に投稿し、衛生事務組織の整備をはかるとともに日常的な汚穢の掃除、溝渠の疏通、飲食の節制、空気の新鮮をはかるべきことを主張する。	大阪日報
明治10	1877	11	14	昇陽社より『京阪雑誌』が発刊される。	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	15	勅使東園基愛、大阪鎮台練兵場において鎮台管下凱旋の将卒各隊を慰問し勅旨を伝える。	大阪日報・法規分類大全
明治10	1877	11	15	『浪花新聞』、暫時休刊を公告する。	浪花新聞
明治10	1877	11	16	大阪府、止宿人ならびに寄留人届方に関する従来規則を廃止し、あらたに規則を定める。（十二月四日、雛形の更正あり）。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	11	17	吉川乙三郎、演説会の再興を促す論を『大阪日報』に投稿する。	大阪日報
明治10	1877	11	18	炭屋町戸田豊吉、洋式ポンプを製作し、この日府庁前で試験する。	大阪日報
明治10	1877	11	18	第二大区六小区、区内の下尿をすべて学校経費にあてることを決定し、府庁に届け出る。またこれに続き第二大区四小区で同様の動きがあり、さらに第三大区十一小区（渡辺村）での経験が新聞に報じられる。	大阪日報
明治10	1877	11	20	大阪府知事、上京する。	布告及布達
明治10	1877	11	20	大阪府、午後十一時以降の無提灯通行の禁を解く。	布告及布達
明治10	1877	11	20	大阪府、来る十二月六日京都府学務課の気球実験を予告し、落下した場合の取扱い方を布達する。	布告及布達
明治10	1877	11	20	大阪府、士族・平民の送籍は甲区戸長から乙区戸長へ直送するか、送籍状を本人に渡すか、いずれか便宜の方法とする。	布告及布達
明治10	1877	11	20	大阪府大書記官内海忠勝、長崎県権令に転任される。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	11	21	進取社、万代義勝が社主となって高麗橋三丁目二番地へ移転し、『興民新誌』を復刊する。	大阪日報・大阪新聞
明治10	1877	11	21	大阪府、曽根崎村の内字樋筋以東を菅原警察署から曽根崎警察署の管轄へ移す。	布告及布達・大阪日報
明治10	1877	11	22	第一大区第十七番小学校、開校式を行う。	大阪日報
明治10	1877	11	24	『東洋奇事新報』編輯長岩沢仲通、第十五号の記事で禁獄三十日、罰金二十円の宣告を受ける。	大阪日報
明治10	1877	11	26	大阪府勸農局試験場で外国菓樹苗木の有料払下げを布達する。	布告及布達
明治10	1877	11	26	大阪府、税関波戸場東二十四間を荷物揚卸場と定める。	大阪府史料
明治10	1877	11	28	大阪府、地租金半額代米納につき取扱規則を定める。	布告及布達・大阪日報・中谷徳恭戸長日記
明治10	1877	11	28	大阪府、教育会議の議決にもとづき下等小学教則を改正する。	大阪日報・大阪府教育百年史
明治10	1877	11	28	長柄村の第一避病院、引払い	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	11	29	五代友厚、藍製造資本金としての貸与金返済一年延期を勧商局に願い出る。	五代友厚伝記資料
明治10	1877	11	29	道頓堀中ノ芝居興行主小沢松太郎、俳優の他国出稼の願書が出たときには他の仕打にも尋問してほしいとの願書を区長に差し出す。	宮本家文書
明治10	1877	11	日欠	藍商問屋、藍商仲買に商取引に関する定約書を差し入れる。	藍仲買商旧記・大阪商業史資料
明治10	1877	11	日欠	大阪府、道頓堀川汐見橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	11	日欠	大阪府、曽根崎村井路小桜橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	11	日欠	大阪府、雑沓の地に立番巡査を配置する。	大阪日報・大阪新報
明治10	1877	11	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治10	1877	11	月中	(1)陸軍養生室あとを士官官宅にすると	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(2)九州より弾薬続々着	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(3)コレラ病予防に熱心な戸長	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(4)清水坂下大聖寺で銘水を人民に施与	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(5)広教寺徒弟柴崎某の金塗り技術	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(6)汽船問屋和合社の出港定日	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(7)鼈甲作業場の悪臭	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(8)曽根崎新地楓葉屋の楓葉が評判	郵便報知
明治10	1877	11	月中	(9)コロールカルキ製造所の塩酸カルキ、水濡のため発火	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(10)ハゼ釣りが流行	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(11)東京招魂祭に大阪力士が招かれる	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(12)芸娼妓の口入正向社ができる	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(13)鹿児島へ鍋釜等を送る	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(14)裁判官長谷川喬の結婚披露宴	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(15)中の島西詰より居留地への新橋架けられると	大阪日報・浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(16)浪花新聞の配達遅れ	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(17)山本勘助、浪花新聞投書表をつくる	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(18)住吉大社の反橋を通常の橋に架けかえるとか	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(19)ダンジリを引廻す若もの	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(20)天野皎の『小学修身談』発行	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(21)西郷隆盛夢物語という一枚摺出版差止め	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(22)玉造村学校開業	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(23)畿内日々新聞・大阪啓心新誌・江湖風談の発足計画	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(24)大宰府天満宮遥拝所建築に着手	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(25)朝陽館での伝習を生かす	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(26)活版印刷所好斯舎の創業	浪花新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	11	月中	(27)住友氏出店より朝鮮事情の報道	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(28)桜橋のかけかえは石橋に	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(29)五花街女紅場の再開	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(30)空堀豊公神社の信者多し	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(31)アルメレンス氏発明の齒磨を製造	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(32)呉服商誓文払いの復活	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(33)行灯職人が月琴製造へ	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(34)新聞演説会の復活	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(35)第四大区二十一番学校の開校	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(36)真嶋氏の製紙場で光沢出し器の採用	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(37)綿の収量増大で玉造村の綿打絃注文増大	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(38)大阪の近況いろいろ	朝野新聞
明治10	1877	11	月中	(39)大阪新聞編輯長関憲一、検事局に呼び出される	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(40)知新館で変則英学教授	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(41)千日前榎木神社のにぎわい	郵便報知
明治10	1877	11	月中	(42)心斎橋北詰の電信分局建設に着手	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(43)水漉器械で川水を清浄化	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(44)西長堀白髪橋の架けかえ	大阪日報
明治10	1877	11	月中	統計報告に関する新聞記事	
明治10	1877	11	月中	(1)臨時病院の木綿買上高	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(2)酒造高	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(3)市街の広さ、戸数、人口	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(4)入船状況	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(5)十月中煙草印紙税、訴訟用野紙税・証券印紙税およびコレラ費用	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(6)新酒製造高、稲作	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(7)芸娼妓数	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(8)他管よりの止宿人	大阪日報
明治10	1877	11	月中	芝居・娯楽に関する新聞記事	
明治10	1877	11	月中	(1)中の芝居	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(2)月琴の輸入	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(3)千日前で大機械細工人形の見世物	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(4)角の芝居で悶着	浪花新聞
明治10	1877	11	月中	(5)戎座の芝居大入り	浪花新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	11	月中	(6)法善寺で明清楽合奏	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(7)生国魂神社で能狂言	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(8)元長州邸で俄興行	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(9)清国より蛇皮線用蛇目の輸入	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(10)戎座で西郷隆盛夢物語	郵便報知
明治10	1877	11	月中	(11)松嶋文楽座で人形浄瑠璃	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(12)北の新地芝居小屋、北栄座と改唱	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(13)「清国曲牌雅譜」の広告	大阪日報
明治10	1877	11	月中	(14)戎座に尾上菊五郎	大阪日報
明治10	1877	12	1	金禄公債証書の質入書入売買譲渡の禁を犯す者あり。この日、大阪府、府民に心得違いなきよう布達する。	布告及布達
明治10	1877	12	1	鉄道局、大阪・安治川間の鉄道運送を廃止する。	大阪日報
明治10	1877	12	1	鉄道局、京阪間鉄道時刻表および賃金表を改定する。	公文録
明治10	1877	12	1	大阪府、長堀川長堀橋を鉄橋に架け替え、この日通行をはじめる。	大阪日報・大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	12	1	吉田健吾ら三人、数学専門の私塾期成義塾を開く。	浪花新聞・大阪日報
明治10	1877	12	1	東京の第三国立銀行、大阪本町二丁目に出張所を設ける。	大阪日報
明治10	1877	12	3	大阪府、コレラ病勢減退につき天満橋下流の水飲用の禁を解く。	布告及布達
明治10	1877	12	3	警察小会議を菅原警察署において開く。これ以後順次各署に開く。	大阪日報
明治10	1877	12	3	大阪府、土佐堀川肥後橋を架け換え、この日竣功する。	大阪府歴史・大阪日報
明治10	1877	12	4	大阪府、コレラ病がほとんど消滅したとして同病取締に関する一時的な諸布令を廃止する。	布告及布達
明治10	1877	12	6	大阪府、地租預り米の取扱規則を定める。	布告及布達
明治10	1877	12	7	大阪府知事渡辺昇、帰阪する。	布告及布達
明治10	1877	12	8	この日より三日間、角の芝居にて山村れんの演舞あり。	大阪日報
明治10	1877	12	9	奇人田辺権右衛門を祭る祭礼が高津神社にて行なわれる。	大阪日報
明治10	1877	12	10	判事小畑美稻、大阪上等裁判所長心得となる。	布告及布達
明治10	1877	12	10	政府、豊国神社別社社地を大阪府よりの申し出にもとづき中ノ島通一丁目山崎之鼻に決定する。	公文録・大阪日報・大阪新報
明治10	1877	12	10	大阪日報就将社、社長平野万里・仮編輯長奥沢信行・印刷谷田富吉郎を解職、新たに東京より干河岸貫一・甫喜山景雄を招き、関新吾・山脇巍らと協力して発行を継続する。	大阪新報・大阪日報
明治10	1877	12	10	大阪府、郡村区長に不用の高札場の取払いを命じる。	大阪日報
明治10	1877	12	11	大阪府、戸長仮職制並取扱心得に第十二条以下第二十六条を追加する。	布告及布達・大阪府史料・宮本家文書
明治10	1877	12	12	心斎橋塩町綿喜発売の綿絵、内務省から発売禁止される。	大阪日報
明治10	1877	12	14	陸軍省、大阪の陸軍臨時病院を閉院する。	浪花新聞・大阪日報・大阪新報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	12	14	大阪府、人民よりの諸願伺届等用紙の規定を廃止し、罫紙・白紙その他とも随意とする。	布告及布達・大阪府史料・大阪新報
明治10	1877	12	14	大阪府、女紅場を女子手芸学校と改称する。	大阪府教育百年史
明治10	1877	12	14	審査官伊東惇、内国勸業博覧会出品の朝陽館精製藍の品評を行なう。	五代友厚伝記資料
明治10	1877	12	15	安土町二丁目の女学校、開業する。	大阪日報
明治10	1877	12	17	大阪府、コレラ病にかかった人民の医師応診料一部および貧民への薬価下げ渡し実施につき区戸長に命じて調査を行なわせる。	大阪新報
明治10	1877	12	18	岡野武平等、停刊中の『実生新聞』を改め、前『大阪日報』編集長山本鏑二を印刷長に迎えて『大阪新報』を創刊する。	大阪新報・大阪日報
明治10	1877	12	18	心斎橋筋高麗橋通角の高木出張診察所、米医アダムスの補助を得て貧窮患者診療所を設ける。	大阪日報
明治10	1877	12	18	第一大区十八番小学校に女紅場を設け、幼稚園を附属させる。	大阪日報
明治10	1877	12	22	大阪府、管内の小学校に折を見て未就学児を集め適宜口授すべきことを命ずる。	大阪新報
明治10	1877	12	22	大阪府第五課、従来の訓導教育会議を教育会議と改称する。	大阪新報・大阪日報・大阪府教育百年史
明治10	1877	12	22	太政官、曽根崎川緑橋より堂島川、堂島川より土佐堀川への疏鑿を認可する。	公文録・大阪日報・大阪新報
明治10	1877	12	24	大阪府、特定の諸件を除き、人民の諸願伺に戸長の奥印は不要とする（翌年一月一日より施行）。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	12	24	大阪府、第四大区一小区のうち相生町・網島町・野田町および第五大区三小区のうち貴田新田・野田村・木屋新田を大手通警察署から菅原警察署天満橋分署に管轄替えする。	大阪府布令集
明治10	1877	12	25	大阪府、長柄村・野田新家・市岡新田の避病院を焼却する。	布告及布達・大阪新報・大阪日報
明治10	1877	12	26	大阪府、四川船改所定員及職務取扱心得を改正する。	大阪府史史料
明治10	1877	12	27	大阪府、明治六年二月第四十七号大阪病院規則第三条第七節に但書を追加する。	布告及布達・大阪府史料
明治10	1877	12	27	大阪府、人力車曳業喜田信之助の心掛けを賞し、金一円を与える。	大阪新報
明治10	1877	12	28	大阪府より申請の神崎川分流口付替工事が政府の認可を受け、内務省より四ヶ年間年額八二三二円の補助支給を得ることとなる。	神崎川分流口付換修繕書類・公文録・大阪日報
明治10	1877	12	28	米商会所の所管が内務省より大蔵省に移る。	大阪堂島米商沿革・布告及布達
明治10	1877	12	28	大阪府、避病院の看病人中田為次郎・伊藤又三の兩人を職務勉励によって賞する。	大阪新報
明治10	1877	12	28	大阪府、長堀川白髪橋を架け換え、この日竣工する。	大阪日報・大阪府史料・大阪新報
明治10	1877	12	28	大阪府、北浜通三丁目に巡查寄宿所を設置し、至急賊難等に備える。	布告及布達
明治10	1877	12	日欠	第一大区三小区石町一丁目に整備学館を設け、英学志望者を教授するとともに、大阪英語学校・東京官立学校の入学試験希望者を教授せんとする。	大阪日報
明治10	1877	12	日欠	南通三丁目知新館にて変則英学教授をはじめる。	大阪日報
明治10	1877	12	日欠	紙問屋竹田与右衛門・奥田藤兵衛、中ノ島旧阿波藩邸において雁皮紙の精製業をはじめる。	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	12	日欠	内国通運会社、大阪・和歌山間航路の増便・強化をはかる。	大阪日報
明治10	1877	12	日欠	九郎右衛門町英三郎兵衛、早川尚古斎と協力してフランス博覧会に造り花を出品する。	大阪日報・大阪新報
明治10	1877	12	日欠	大阪府、高津入堀川を鼬川まで延長するための測量に着手する。	大阪日報・大阪新報
明治10	1877	12	日欠	大阪府、高津入堀末広橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	12	日欠	大阪府、曽根崎川汐津橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	12	日欠	大阪府、堂嶋川渡辺橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	12	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治10	1877	12	月中	(1)タムソン伝道師、川口梅本町あたりにサンデースクール設置とか	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(2)『絵入吞宅新誌』の発兌	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(3)永代浜の楠を眺望する者増える	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(4)旧肥後邸懲役場内の建物を獄屋作りに変える	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(5)河内国で白木綿の値上り	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(6)カバン製造家の増加	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(7)砲兵支廠で製造所の新築	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(8)旧高槻藩土族が銀行創設とか	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(9)すべての酒売商より税金徴収につき不満の声	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(10)四天王寺内に諸宗合併の教導場を開く	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(11)奇特な人力車寄場の頭	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(12)住吉大社高灯籠の修復に近々着手とか	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(13)牧牛の増加と売買・貸借契約の進展	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(14)懲役場の女使役所を男使役場にする	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(15)本田警察署が落成する	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(16)木津村火葬場計画で紛争	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(17)屠牛の時間を定める	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(18)住吉街道の営繕	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(19)住吉神社に招魂碑新築	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(20)大阪・宇和嶋間に蒸気船八幡丸就航	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(21)市中の消防掛り口を定める	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(22)『流芳新誌』の発行	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(23)鎮台に電信線柱をたてる	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(24)砲兵支廠で山砲五十門をつくる	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(25)南地お蔵前太宰府天神社、近く建築	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(26)大阪府庁のフラク変更	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(27)砲兵支廠で弾薬八百万発製造	大阪新報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	12	月中	(28)広告—数学私塾仮約束	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(29)元『興民新誌』主幹中島勝義、広島新聞社へ	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(30)天満天神社社殿の屋根換え	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(31)谷沢義右衛門製造の擬象皮盛大に赴く	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(32)鹿児島県木田某の瀝水販売計画	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(33)平尾喜平治の汽船平運丸、大阪・広島間に就航	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(34)住吉神社の修営	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(35)包煎餅の中のおもちゃに西郷隆盛など	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(36)道頓堀戎橋の架け換えに着手	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(37)曽根崎川助成橋のかけかえ	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(38)堂島助成橋通りから停車場までの新道開削とか	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(39)源八の渡しに新橋の計画	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(40)肥後橋と筑前橋との間に新橋の計画	大阪新報
明治10	1877	12	月中	各種統計報告に関する新聞記事	
明治10	1877	12	月中	(1)本年十月中調べ、府下の人口	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(2)大阪府下の金禄公債利子	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(3)十一月中屠牛の数	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(4)府下女紅場の数	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(5)十一月中四川入船ならびに税額	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(6)小学校生徒数	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(7)懲役の囚人数(1)(2)	大阪新報・大阪日報
明治10	1877	12	月中	(8)新町廓の席貸業・娼妓・芸妓数	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(9)造幣局の硫酸製造高	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(10)馬車・人力車等車の数	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(11)七月—十二月中の浜地・火除地ならびに川中拝借税の高	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(12)大阪英語学校の生徒数など	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(13)府下の人口	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(14)梅田停車場よりの運送高	大阪日報
明治10	1877	12	月中	芝居・娯楽に関する新聞記事	
明治10	1877	12	月中	(1)千日前で蒸汽車運転の見せ物	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(2)京町堀羽子板橋の寄席で月琴の曲弾	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(3)戎座・中の芝居の春の狂言	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(4)曽根崎新地三好座の幕開き	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(5)川口自由亭で月琴の合奏	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治10	1877	12	月中	(6)中の芝居で嵐璃班の追善興行	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(7)御霊人形芝居の開化趣味は行き過ぎ	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(8)戎座の看板出し	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(9)朝日座にて切狂言の掛合	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(10)千日前の見世物	大阪日報
明治10	1877	12	月中	(11)故竹本春太夫の妻うのの月琴	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(12)角の劇場の手代達磨の庄吉の仕掛けで、京都四条南北の劇場で東京・大阪の大立物が腕競べ(1)(2)	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(13)興行席に太鼓櫓が建つ	大阪新報
明治10	1877	12	月中	(14)戎座で西郷一代記を報知新聞からの取材で	大阪新報
明治10	1877	月日欠		大阪博物場、三万〇五七〇円五四銭九厘で公債証書を購入し、元資に当てる。	府立大阪博物場沿革誌
明治10	1877	統計		市街の面積	大阪日報
明治10	1877	統計		四大区街燈総数	大阪府歴史
明治10	1877	統計		戸口及び人口	大阪府歴史・大阪府史料・大阪府歴史料
明治10	1877	統計		徴兵の数	大阪府歴史・大阪府史料
明治10	1877	統計		飲食物諸商人の数	大阪新報
明治10	1877	統計		居留地在住の外国人	大阪府歴史
明治10	1877	統計		貿易税額	大阪府歴史
明治10	1877	統計		府庁収入・支出	大阪府歴史料・大阪府史料・大阪府歴史
明治10	1877	統計		警察諸統計	大阪府歴史料・大阪府史料・大阪新報
明治10	1877	統計		府庁学務課事務一覧表	大阪新報
明治10	1877	統計		普通公立小学校の開校一覧	大阪府歴史
明治10	1877	統計		私立学校の開校一覧	大阪府歴史
明治10	1877	統計		明治十年の郵便局	大阪府史料
明治10	1877	統計		内国通運会社の市郡出張所・分社・運漕所・取次所・継立所ならびに人馬員数	大阪府史料
明治10	1877	統計		ガス灯の数	大阪府史料
明治10	1877	統計		勧商局物価電報表	新聞集成明治編年史
明治10	1877	統計		八十歳以上の高齢者	大阪新報
明治11	1878	1	1	神戸および大阪税関、上屋の規則を定め、この日施行する。	法規分類大全
明治11	1878	1	4	大阪府、西清水町長島ヒサ外一人を孝養にして家事に精励したとして賞を与える。	大阪府歴史・大阪新報
明治11	1878	1	5	本田二番町において巡査と兵隊が乱闘する。	大阪日報・郵便報知
明治11	1878	1	6	三崎虎吉・原田千之助・三崎吉兵衛・島津源三・江原可一・筒井新兵衛・渡辺六左衛門・福本鶴吉、城外馬場にて軽気球をあげる。見物人おびただし。見料を払う。十二・十三日にもあげる。	大阪新報・大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	1	7	大阪府、第五～第十一大区に限り小学校教員酬労金を廃止する。	大阪日報・大阪府教育百年史
明治11	1878	1	7	大阪府第五課、夜学および土曜校学修者に尋常小学あるいは下々等小学の卒業証書付与の道を開く。	大阪日報
明治11	1878	1	9	大阪府、第三大区一等区長金沢卯右衛門・第二大区一等区長高田伝蔵・第八大区三小区二等区長高島伊太郎・第七大区一小区同佐々木正行・同二小区同寺田忠重の数年にわたる職務勉勵を賞し金を与える。	大阪新報・大阪日報
明治11	1878	1	9	北浜五丁目にて出火。二十戸以上が延焼。	大阪府歴史・大阪新報・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	1	10	砂糖問屋商後藤七左衛門外二名、第三大区八小区西道頓堀通三丁目に資本金三千円にて砂糖売買を営む商社を設け、三栄商社と名付ける。（明治十二年七月二十八日廃社。）	諸会社設立及解社等願届之件
明治11	1878	1	10	南本町中橋居住の佐貝義胤、堺県より小野新田人民の困苦を蚕業育成にて救助したことにより賞せられる。	大阪日報
明治11	1878	1	11	第十三国立銀行で古金銀ならびに敗裂紙幣の交換を開始する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	1	11	大阪府、誣違罪目中に筆墨その他の物品押し売りを加える。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	1	12	大阪府、市街路上において児童が遊戯に耽るのは不慮の事故を招く恐れもあることを父兄に注意させる。	布告及布達
明治11	1878	1	13	大阪鎮台の工兵営所落成し、中ノ島旧高松藩邸より移る。	大阪日報
明治11	1878	1	14	大阪府、受付時限に遅れた人民願伺は翌日回しの承諾を取った上で預かるべきことを定める。	大阪日報
明治11	1878	1	15	『興民新誌』前編輯長松村信、新聞条例・讒謗律によって禁獄三十日、罰金二十円を申し渡される。	大阪日報
明治11	1878	1	16	平瀬亀之助等、北浜四丁目に資本金十三万円をもって第三十二国立銀行を設立する。（二月八日より開業。）	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報・法規分類大全・大阪新報
明治11	1878	1	16	大阪府、論達・区戸長達のうち成法に関せざる些末の事件あるいは公売広告等は以後新聞紙上に広告欄を設け掲載することとする。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	1	16	文部省、大阪英語学校訓導シ・カロザルスを解傭する。	公文録
明治11	1878	1	17	大阪府、司薬場教師ドワルスの試験結果もあげ、井戸水を飲用し、河水を飲用すべきでないことを市中ならびに接近郡村区戸長に告諭する。	布告及布達
明治11	1878	1	17	大阪府、市中並びに接近郡村下水浚規則を制定施行する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	1	17	天王寺村の農民、農用板車の税額上昇とひきかえに市街への入込みを大阪府に申請する。	大阪日報
明治11	1878	1	18	英人フランクメジヨルおよびジョンソンの兩人、川崎村の手品師柳川蝶玉斎ら五人の芸人を雇いロンドンで興行するため洋行届を提出する。	大阪日報
明治11	1878	1	18	勸農局がフランスより取り寄せた綿繰器械、平野郷にて水力を使用し、操作したところ成功を収める。	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	1	19	大阪府、府庁内に三井銀行出張所設置につき取扱方の説明をする。	大阪日報
明治11	1878	1	19	大阪府第五課、文部省教育博物館に出品する部類を二つ指示し、各校からの提出を求める。	大阪日報
明治11	1878	1	21	文部省、大阪英語学校訓導米国人シ・カロザルスの代員として同国人シ・エッチ・ウォルフを採用する。	公文録
明治11	1878	1	21	大阪府、第十大区三小区を池田警察署受持に改正する。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	1	22	大阪府、市郡区戸長に三月十五日からの博物場大会への出品勧誘を行なわせる。	布告及布達
明治11	1878	1	22	大阪府、軍人軍属扶助料は、戦死者のみならず、出征中伝染病にかかり、あるいは公務の故に死亡した者にも適用されることを布達する。	布告及布達
明治11	1878	1	23	大阪府、第四大区第六番小学校世話懸菅野長兵衛献納の「学校ノ勸」を各小学校・女紅場等へ配布する。	大阪府教育百年史
明治11	1878	1	23	大阪府、明治九年熊本県下ならびに十年西南騒擾の際戦死の者の妻子有無の調査に着手する。	布告及布達
明治11	1878	1	23	天王寺分署、長堀橋警察署に引揚げ。	大阪日報
明治11	1878	1	24	大阪府、地面氷結危険のため、冬期における道路への水撒き時間を規制する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	1	24	大阪府、社寺通減禄の一時繰上給与希望の者を募る。	布告及布達
明治11	1878	1	24	大阪府、府下士族の授産事業として神崎川掘割によって生ずる約二百町歩の旧川敷地に藍作の開始を奨励する。	大阪日報・布告及布達
明治11	1878	1	25	大阪府、絶家相続の手続を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	1	25	大阪府、家出人立帰りの節、復籍願書を不用とし、届出のみで可とする。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	1	25	第二大区十四番小学校において府会が開かれ、水道浚費賦課法が審議され、一等区長高田伝蔵案が採択される。	宮本家文書・大阪日報
明治11	1878	1	25	大阪府、第六大区五小区御幣島村で牛疫発生を布達する。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	1	25	服部・吹田・高槻・平野に查公交番所建築に着手する。	大阪日報
明治11	1878	1	26	大阪府、衛生警察のため尿尿取締概則を定め、二月一日より施行する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	1	26	大阪府、大阪病院において教師マンスヘルドの生理学講習開始につき、医学教導規則を増補し、六ヶ月間に卒業することを見込み、聴講生を募集する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	1	26	大阪府、第一番中学校の生徒を募集する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	1	26	このころ各校正課の余に行なう演説・講義の実施あり。この日大阪府第五課、このような演説・講義は教育の点にのみ止まるべきことを布達する。	大阪府教育百年史・大阪日報
明治11	1878	1	26	大阪府、この日より地券書換の作業に着手する。	大阪日報
明治11	1878	1	28	大阪府、一等ならびに二等模範学校の制を定め、その条件を明示する。	大阪日報
明治11	1878	1	28	南波新地千日前で火災、三十一戸を類焼する。	大阪日報
明治11	1878	1	29	大阪府、各小学校建築費を献納した者七十七名へ銀盃あるいは木盃を賞与する。	大阪新報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	1	29	大阪府司薬場教師ベ・ウ・ドワルスら、市郡井戸水の試験結果をまとめ、各小区に配付する。	大阪日報
明治11	1878	1	31	大阪府、屠牛検査を実施し、屠牛肉に検印を押捺し、検印なきものの売買を禁止する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	1	31	大阪府、酒造家使用の道路運搬用桶車に国・府税を課す。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	1	31	大阪府、コレラ病予防のため井戸ならびに便所等の修繕を命ずる。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	1	31	大阪府、明治九年地第十二号版權免許を得ざる以前に出版納本の件についての布達を廃止する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	1	日欠	消防方を区長から警察指揮に移管すべしとの意見あるも、従来通りにて沙汰止みとなる。しかし、これ以降消防のあり方について種々の意見や動きがでることとなる。	大阪日報
明治11	1878	1	日欠	木津川難波島内湾の堀割落成する。	大阪日報
明治11	1878	1	日欠	国史編輯係二等区長山本忠、新旧政令を対比し、世上利害得失の論を録上する。	山本家文書
明治11	1878	1	日欠	このころより懲役場の整備、着々と進行する。	大阪日報
明治11	1878	1	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治11	1878	1	月中	(1)『香風余話』編輯長牧野九兵衛死去	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(2)上等裁判傍聴雑誌の発刊計画	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(3)大阪府出納課長八木原某ほか三名、金殻出納順序に関する布告等を分類仕訳し、編輯する	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(4)コレラ病の事務は第四課のみでと聞く	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(5)府庁第六課では会計記帳を洋風化するとか	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(6)塵芥の掃除会社を企てる者あり	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(7)二校の開校	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(8)諸品の騰起	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(9)『各国摘華新誌』の発兌	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(10)コレラ病につき予防法の通達	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(11)大阪消息	朝野新聞
明治11	1878	1	月中	(12)第八大区十番学校の開校	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(13)住友本店と富島支店に献金巡査配置	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(14)安藤喜助の板摺機械	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(15)筋違橋・吉野屋橋・木綿橋の架け替え、橋幅の一定	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(16)住吉街道の改築	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(17)ポンプ七十挺の注文	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(18)茂左衛門橋の架け替え	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(19)銅貨流通の不便	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(20)『大阪新聞』、論説欄を廃止	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	1	月中	(21)正運寺川の開墾願	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(22)坪井熊之助の尽力で十三に架橋できる	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(23)大阪市中屎尿会社の取建て計画で動揺	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(24)七人組のピストル強盗	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(25)第十三国立銀行半年の純益は一万五千六百円	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(26)自費でコレラ病予防	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(27)男女髪結税金の一定	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(28)最近の物故者	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(29)五代氏の製藍所で二百余人の臨時雇	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(30)京阪間鉄道で荷車二百両の新造	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(31)『警察提綱』の編輯	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(32)洋紙製造場で棒砂糖製造室の新築	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(33)ぶどう酒製造の不許可	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(34)各小区に区医一名ずつとか	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(35)軽気球のものまね玩具流行	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(36)船付場に大小便所の設置、塵芥取払製造業取設けの申請あり	大阪日報
明治11	1878	1	月中	新聞広告(1)～(23)	
明治11	1878	1	月中	統計数字に関する新聞記事	
明治11	1878	1	月中	(1)天満の造酒高	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(2)市郡八十歳以上の人口	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(3)学校・教員・生徒の推移	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(4)明治十年中の入船状況	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(5)明治九年・十年の屠牛比較表	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(6)遊戯業者数	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(7)明治十年十二月中の租税収入高	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(8)大工職人・屋根屋職人の数	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(9)西洋紙状袋ならびに罫紙刷職人の数	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(10)府下寄留人の数	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(11)明治十年中警察取扱死者数等	朝野新聞
明治11	1878	1	月中	(12)明治十年中驅黴院入院数等	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(13)明治十一年一月へ持越の公債証書持高	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(14)士族の金禄高	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(15)一月四日より追願の酒造高	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	1	月中	(16)風呂屋の軒数・驅梅院への入院数	大阪日報
明治11	1878	1	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治11	1878	1	月中	(1)市川右団次南の芝居出演の紛擾内幕	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(2)道頓堀中の芝居	大阪日報
明治11	1878	1	月中	(3)戒座の芝居	大阪日報
明治11	1878	2	5	大阪府、府会議員選挙の法を改正し、一小区内にて三名宛、市中接近の村方は一組内一人とし、価格百円以上の不動産所有の者を選・被選人とする。（附 川田秀の新聞投書）	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	2	5	南平野郷、隣村との合併を府庁に出願する。	大阪日報
明治11	1878	2	5	広演社(社長山本与助) の新聞演説会、一周年を迎える。	大阪日報
明治11	1878	2	6	文部省、官立長崎・同宮城師範学校とならび官立大阪師範学校を廃し、付属小学校生徒のうち二十名は大阪府師範学校付属小学校に入学を許す。また、同校跡地に盲啞学校・幼稚園・商法学校の設立などが噂される。	布告及布達・公文録・大阪日報
明治11	1878	2	6	第二大区において区戸長集会が開かれ、民会小議事設立の解釈書を定め、かつこの月十五日開場のことを告諭する。	大阪日報
明治11	1878	2	6	第四大区一等区長栗花落吉右衛門、区長兼学務取締を辞職する。八日、第三大区一等区長金沢卯右衛門、後役の兼務を申し付けられる。	大阪日報
明治11	1878	2	6	『大阪日報』、「旧渡辺村の新平民」云々の記事で訂正記事を書く。	大阪日報
明治11	1878	2	6	松方正義、五代友厚に書を送り、精藍の品質を上中下に分けるべきを進言し、このままにては行き詰まるべきを述べる。	五代友厚伝記資料
明治11	1878	2	7	大阪府、明治十年第八十号、酒類税則改正追加公布に伴う心得を管内に布達する。	布告及布達・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	2	7	大阪府、公立病院一・二等入院料を改正する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	2	7	大阪新報社、今橋二丁目二十九番地に転社し、ロール機械を設置する。	大阪日報
明治11	1878	2	7	『大阪日報』、『大阪新報』社説の小学校教育論を批判する投書を掲載する。	大阪日報
明治11	1878	2	8	第三十二国立銀行、開業する。	大阪日報
明治11	1878	2	10	融通念仏宗総本山大念仏寺、末寺僧徒代表の大会議を開き、役員の公選制、人員の削減、旧債の償却など改革を行なう。	大阪日報
明治11	1878	2	10	長谷川喬・中嶋氏彬および関新吾発起となり、大阪クラブを創設し、会員の懇和をはかることとする。	大阪日報
明治11	1878	2	12	石原五兵衛ほか四名、商社を結成し便安社と称し地所建物売買及び貸借質入紹介等を営む。	諸会社設立及解社等願届之件・大阪新報
明治11	1878	2	12	風雲館、天満若松町七番地に移転し、夜学を開始する。	大阪日報
明治11	1878	2	14	内務省、堺紡績所を鹿児島県平民肥後孫左衛門に払下げる。	公文録・大阪日報
明治11	1878	2	15	難波新地五花街女子手芸学校が開業する。	大阪日報・朝野新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	2	15	鳶田の刑場にて梟首の刑が執行される。	大阪日報
明治11	1878	2	15	『大阪日報』、門田三郎兵衛・植田善次郎・田中栄造の綿氈製出の努力を報じ、あわせて『攪眠新誌』・進取学校など三人の事績も述べる。	大阪日報
明治11	1878	2	16	大阪府、警部略帽・略服を定める。	布告及布達
明治11	1878	2	16	大阪府、相撲営業の者の府税等級別金額を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	2	17	第二大区六小区、山本清造・井上仁三郎・神田弥吉・井上為七らの尽力によって小会議を起し、議事章程を定め、この日初めて会議を開く。この後第二大区各区においても会議の開会がつづく。	大阪新報・大阪日報
明治11	1878	2	18	大阪府、立売堀川新一橋を架け換え、この日竣功し、渡橋式を挙げる。	大阪新報・大阪府歴史
明治11	1878	2	18	大阪府、外国人を雇い入れて興行する場合は、その定約を結ぶ以前において府庁に願い出、許可を得べきことを諭達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	2	20	大阪府、学校掲表の雛形を改め、あわせて校名変更を勧める。	大阪日報・大阪府教育百年史
明治11	1878	2	20	医師山本信卿、私立回春病院を今橋四丁目に開院する。	大阪新報・大阪日報
明治11	1878	2	20	大阪府庁に探訪者用控所ができる。	大阪日報
明治11	1878	2	21	大阪府、北堀江通五丁目に巡查寄宿所を設置する。また、このころ寄宿所に関する規則を定める。	大阪日報
明治11	1878	2	21	広演社社員小野米吉・中村真、西広演社を創設し、第一回演説会を開く。	大阪日報
明治11	1878	2	22	大蔵省、造幣局御雇の英国人ディロン・ハウレットの二名解傭およびガウランド・マクラガン二名の雇継ぎを上申する。	法規分類大全・大阪日報
明治11	1878	2	22	元判事補牧野将之允ほか五名、結社して回春社と称し印刷及び訴訟代理を営む。	諸会社設立及解社等願届之件・大阪日報
明治11	1878	2	23	大阪府、盗難届出の際は、現品見積代価も記載するよう布達する。	布告及布達
明治11	1878	2	24	元大阪師範学校生徒掛高橋篤敬、和泉町二丁目に培根学舎を創設する。	大阪日報
明治11	1878	2	26	二月五日改正の規則に従い、府会議員を各小区ごとに選出する。	大阪新報・大阪日報・宮本家文書
明治11	1878	2	26	大阪府、医業者以外の者の鍼灸施療を禁止する。	布告及布達・読売
明治11	1878	2	日欠	大阪府でも禁獄場に限り新聞の差入れ、夜中の点灯等を許可する。	浪花新聞・大阪日報
明治11	1878	2	日欠	大阪府、曽根崎川助成橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	2	日欠	瀬川徳助ら十七人、府庁の指導に準拠して各自店舗を構え、組み合って汽船取扱商社を設立する。	大阪日報
明治11	1878	2	日欠	今橋四丁目の医師阪井某、テレピン油を製出する。	大阪日報
明治11	1878	2	日欠	本庄村の江川某、南新町一丁目寄留の中原昌発、それぞれ樟脳油の製造をはじめる。	大阪日報
明治11	1878	2	日欠	第三大区一等区長金沢卯右衛門、区費勘定の際担当戸長の作業に区々総代人の内三人を人選して立合わせることにする。	大阪日報
明治11	1878	2	月中	市井諸事に関する新聞記事	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(1)西郷南洲の書を写真にして販売	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	2	月中	(2)街灯油代を定める	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(3)立番の巡査にビールの差し入れ	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(4)旧の元旦で川口在留支那人の祝い	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(5)火葬場設置の願い出	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(6)旧暦正月のにぎわい	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(7)大阪府博物場を参考に愛媛県・愛知県でも	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(8)和歌山・大阪府間にスクーネル船新製	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(9)元遊撃隊戦死人の招魂祭	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(10)松島遊廓の税金額上昇幅を縮少	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(11)西郷隆盛夢物語および西郷隆盛夢中話の売買禁止	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(12)西郷隆盛の人気	東京日日
明治11	1878	2	月中	(13)幼稚園保母見習として二名東京へ出張	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(14)梅田に馬車会社、難波に大日本戦死人の大石碑を計画	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(15)新聞記事の力で道路修繕	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(16)大阪府師範学校卒業生徒の氏名	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(17)葎屋橋かけかえの計画	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(18)心斎橋筋が立瓦敷きとなる	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(19)『香風余話』の引継は神戸で	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(20)府司薬場分局は道修町へ設置	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(21)土田源七、紅染唐紙を製造へ	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(22)今村武四郎は橙皮糖煉を工夫	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(23)松島廓にも女子手芸学校が	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(24)山片平右衛門製の香水（広告）	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(25)英語学校の書籍縦覧所、看客少なし	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(26)戸田豊吉の軽便ポンプ製造に区長の特別保護	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(27)十三川渡しに架橋の募金	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(28)藤田伝三郎の靴製造所拡張	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(29)讃岐多度津までの蒸気船、値下げ競争	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(30)斃牛社の者が無鑑札の犬を殺したときの措置法を変える	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(31)大阪一住道間小蒸気船就航の計画	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(32)天王寺村、道路修繕費用の補助を大阪府に出願する	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(33)和歌山県召募の歩兵遊撃隊兵士の乱暴事件で始末書の請求	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(34)石炭油相場会所の設立	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(35)大来社・鷗鷺吟社の詩作活動	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	2	月中	(36)『教要新誌』の発兌	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(37)広島蛎船の引揚げ	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(38)大阪府第二課で堆黒製造のため外国教師を雇入れる由	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(39)石炭燃焼による煤煙臭気に苦情、府庁第二課で器械場設立規則編成のもくろみ	大阪日報
明治11	1878	2	月中	統計に関する新聞記事	
明治11	1878	2	月中	(1)府下滞在の清国人数	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(2)水汲の年間売高	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(3)コレラ患者数	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(4)勸業場で焼かれた煉瓦の数	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(5)明治十年中の四川入船数	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(6)米納願出高	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(7)明治十年十二月中の死生出入表	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(8)明治十年中大阪病院の患者表	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(9)住吉踊の人形を売る商人数	大阪日報
明治11	1878	2	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治11	1878	2	月中	(1)朝日座芝居の狂言は名古屋山三廓物語	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(2)大江橋の席で菅原天神記	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(3)安鷹樓で明清楽の合奏と茶席	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(4)戎座の看板出し	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(5)相撲興行に頼母子講	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(6)千日前チュウチュウ太夫の小屋を建替え	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(7)西南夢物語の看板に見物人多し	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(8)河副作十郎著作の月琴楽譜	大阪日報
明治11	1878	2	月中	(9)大相撲は六月一日より	大阪日報
明治11	1878	3	1	第二大区九小区の人民、一等戸長を辞職した岡嶋英信の信認投票を行ない、その役職継続を願う。（附 辞職を可とする山甚こと相撲頭取陣幕の知事宛上申書および山甚を批判し岡嶋英信を擁護する歌舞伎業山田為七の投書）	大阪日報
明治11	1878	3	1	大阪上等裁判所外二裁判所より申出の外国人顧問教師雇入れが決定される。	公文録
明治11	1878	3	1	第十三国立銀行、利子付き振出手形を発行する。	大阪日報
明治11	1878	3	2	大阪府、官の検査なくして薬品の調整販売することを禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	3	2	大阪府、鉄砲譲受渡および所持の調査を行なう。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	3	4	大阪府第二課、屠牛営業人心得および検査吏員心得を制定する。	大阪日報
明治11	1878	3	5	大阪府、半年以上他管下へ出稼の諸遊業人の納税免除を廃止し、半額納税を命ずる。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	3	6	大阪府、府会章程を改定する。	布告及布達・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	3	6	大阪府、内久宝寺町警察分署を廃し、その所轄第一大区一小区のうち久宝寺橋筋以北を大手通警察署に、以南を安堂寺町警察署に付属させる。	布告及布達
明治11	1878	3	7	大阪府、違式罪目第七条を改正する。	布告及布達
明治11	1878	3	8	大阪府、遺失物ならびに拾物届等は警察本署でなくとも直接所轄警察署へ届出てもよいこととする。	布告及布達
明治11	1878	3	8	大阪府、区戸長選挙法は今後明治九年制定の惣代人選挙法に照準して取り扱うこととする。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	3	8	大阪府、明治十一年上半年分の船税・売薬税・車税の納期を定める。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	3	9	江戸堀北通四丁目および同五丁目旧鹿兒島藩邸を内務省勧商局に引渡し、開拓使収税品引受海外輸出の用途に使う。	公文録
明治11	1878	3	9	スイス人ハーブル・ブランド、梅田・堺間鉄道の建設を出願する。	大阪日報・朝野新聞
明治11	1878	3	11	砲兵支廠の職工事務時間を延長する。	大阪日報
明治11	1878	3	12	『大阪日報』、社説「狂言作者ノ不学ヲ歎ズ」を掲載する。	大阪日報
明治11	1878	3	14	第一大区三小区船越町二丁目木綿商岡橋治助、高麗橋五丁目に資本金十万円にて第三十四国立銀行を設立、この日開業認可を得る。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪府布令集・大阪日報
明治11	1878	3	14	大阪府、鍼灸のみにて病の治癒をはかる愚を諭し、免許を受けたる医師の差図に従うべきことを諭達する。	布告及布達
明治11	1878	3	15	この日より百日間大阪博物場大会を開設する。期間中の入場者二十八万人を超える。	府立大阪博物場沿革誌・大阪新報・大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	3	15	府庁より堤防費五千円を島下郡各村へ貸下げる	大阪日報
明治11	1878	3	15	山口県平民平原太助、市中飲料用の水道創築を願い出る。	大阪日報
明治11	1878	3	16	大阪府、浜地拝借人のうち他人に貸渡したり家作させたりしている者に該件に関する盟約の変更を禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	3	17	府会を開き、警察費賦課方法を議す。	宮本家文書・大阪日報
明治11	1878	3	18	大阪府、重量物または嵩高の物品を運搬するときは、所轄警察から目標を受取るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	3	18	大阪府、税金不納により営業を差止められた者の改姓名、転籍等はその取扱いの都度府へ届け出るべきことを市郡区戸長に命じる。	布告及布達
明治11	1878	3	20	第六大区四小区江口村、神崎川分流口の附換えにつき、不用となる河床地開発を願い出る。(不許可)	江口之里文書
明治11	1878	3	20	大阪府第二課、第一、第二両大区の区戸長ならびに地主総代人に模範地等級表の早期差し出しを指示する。	布告及布達・宮本家文書
明治11	1878	3	20	郡中の議事会が曾根崎村会議所において開かれる。	大阪日報
明治11	1878	3	20	長堀橋筋警察署内の火見櫓を取払い、火見櫓兼巡查休息所とする。	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	3	21	大阪府、書籍館を第四大区五小区常安町第十八番地府立師範学校構内に移し、あわせて教育博物館を設け、五月一日より開館する。	布告及布達・大阪府史料・読売新聞
明治11	1878	3	22	大阪府、尿尿取締規則違反を誣違罪目からはずし、時々相当の処分を行なうこと布達する。	大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	3	22	平野郷泥堂町・吹田村・高槻村に巡査交番所を設置する。	大阪日報
明治11	1878	3	23	難波村戸長遠山某、市中接近の郡村にも街灯設置を出願する。	大阪日報
明治11	1878	3	24	大阪鎮台の軍人・軍属らが江戸堀北通に博交社を創立する。	東京日日・大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	3	25	大阪府、清酒醸造石高免許願には元玄米石高も記載させることとする。	大阪府史料・大阪府布令集
明治11	1878	3	25	大阪府、国民軍名簿中単身寄留者の書載は不要の旨を通達する。	布告及布達
明治11	1878	3	26	大阪府知事渡部昇、病氣引籠りにつき、松本鼎を代理とする。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	3	26	大阪府、新公債証書の本年上半季分利金渡し方の通知を行なう。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	3	28	大阪府、布告布達類掲示場の数を二百五十戸につき一部の割合をもって設置すること仁改める。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	3	28	大阪新聞、大阪日報に合併し、刊行を再開する。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	3	28	第二大区、区内の牛馬・船・車・遊里・街灯・会議所位置などを書き上げる。	宮本家文書
明治11	1878	3	29	大阪府、大阪病院入院料・診察料等を改める。（四月一日より実施）	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	3	30	大阪府、区戸長に物産ならびに製産物の調査再開を指示し、その例言書式を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	3	30	大阪府、勸商局よりの商会に基き、諸商人に命じて内国各地方と互いに流通する物資の品名、出入の数量ならびに原価等を記録し、毎月各区会議所に提出させる。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	3	31	十三川、豊嶋喜右衛門の仲裁により架橋工事に着手する。	大阪日報
明治11	1878	3	日欠	津守新田地主白山善五郎・第三大区中塵芥方支配人山本善十郎、津守新田字北嶋嶋頭を第三大区塵芥置場とすることを願い出る。	白山家文書・大阪日報
明治11	1878	3	日欠	第二大区有志高田伝蔵など、凶年対策として義倉の設置を願い出る。	大阪日報
明治11	1878	3	日欠	大阪府、京町堀茂左衛門橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	3	日欠	警察本署、犯罪人取調べに際し、拷問類似の行為あるを各分署に注意する。	大阪日報
明治11	1878	3	日欠	四天王寺、十九人の附属人廃止を出願する。	大阪日報
明治11	1878	3	日欠	書籍会社、内田尚長編集で『滑稽雑話寢覚乃伽』を発兌する。	大阪日報
明治11	1878	3	日欠	神田周蔵のメリヤス靴下、上海へ輸出する。	大阪日報
明治11	1878	3	日欠	道頓堀中井某、梅田停車場前で馬車営業を出願する。	大阪新聞
明治11	1878	3	日欠	戎座で開演の「西南夢物語」が大当り。	大阪新聞・大阪日報・朝野新聞
明治11	1878	3	日欠	小野弥左衛門・江上為助・豊嶋喜右衛門、高津入堀からいたち川への堀割工事を自費にて着手せんことを出願する。（5月ごろより工事着手）	大阪日報
明治11	1878	3	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治11	1878	3	月中	(1)書籍会社で『寧馨新誌』を発兌	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	3	月中	(2)狂言作者勝諺造、チョン髷を斬る	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(3)キリスト教式の葬儀が行われる	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(4)府庁で記簿法見習として大蔵省に官員を派遣	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(5)広瀬宰平、公債証書集会所の設置を出願	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(6)銀行摂善会の開催	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(7)第二大区四小区では民費一覧表を各戸に配布するとか	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(8)生国魂神社の御旅所が中ノ島に定まる	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(9)大阪府下に航海学舎設立の計画	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(10)水道浚請負の広告	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(11)大念仏寺派の僧清冷明楽、病氣平癒次第インド・ヨーロッパ視察に	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(12)朝野新聞の大阪通信	朝野新聞
明治11	1878	3	月中	(13)囚人守卒の服装、官服となる	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(14)東京博文社支店ができ活字の鑄造を	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(15)金沢二十六銀行の支店ができる	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(16)市中の初午	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(17)株式取引会社創立の出願	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(18)裁判所の訴訟件数減少	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(19)砲兵支廠で野戦砲三千挺製造	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(20)川口古川橋傍にキリスト教会を建設	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(21)接近郡村にも巡査の立番	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(22)日下部一雄、水質改良の薬剤を発明	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(23)女の人力車曳き	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(24)樟脳製造所の広告	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(25)牛臘ならびにベット製造所の出願	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(26)満月前後の街灯不点灯日を変更	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(27)西道頓堀警察分署を閉じ、日吉橋南詰に新築	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(28)二円札の贋札多し	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(29)豊公神社社内に加藤清正神社の配立を出願	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(30)藤田伝三郎が米商社設立	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(31)警察本署の増築計画	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(32)熊本某、府下の塵芥を買い集めて肥料製造を願い出る	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(33)前田喜兵衛、『有の尽』を出版	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(34)私塾楓陰学舎の開業	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(35)彼岸につき天王寺への参詣多し	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	3	月中	(36)西南出兵中生死不明いまも百六十余名	大阪新聞
明治11	1878	3	月中	(37)源八渡場の木橋建築に着手	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(38)鍛冶職の立退きを東西隣家の者より訴え	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(39)新聞演説会	大阪新聞
明治11	1878	3	月中	統計に関する新聞記事	
明治11	1878	3	月中	(1)二月中四川入船数と税金・噸数・石数	大阪日報・大阪新報
明治11	1878	3	月中	(2)川口居留地の外国人人数	
明治11	1878	3	月中	(3)キリスト教式の葬儀が行われる	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(4)府庁で記簿法見習として大蔵省に官員を派遣	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(5)広瀬宰平、公債証書集会所の設置を出願	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(6)銀行折善会の開催	大阪日報
明治11	1878	3	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治11	1878	3	月中	(1)朝日座狂言の役割	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(2)文壇の老人たち、第一日曜日に琴棋書画の席を開くことにする	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(3)六ヶ月以上見世物興行する者は、定席を建築することに改められるとの由	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(4)南地の侠客ら、中の芝居の役割について会合をする	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(5)文楽座の三の替り芝居	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(6)北の新地の河佐席で大浚	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(7)久代屋席で、月宮殿の演奏会	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(8)『劇場の脚色』出版広告	大阪日報
明治11	1878	3	月中	(9)千日前の女撃剣会差止	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	3	月中	(10)市川右団治、角の芝居終わり次第上京	大阪新聞
明治11	1878	3	月中	(11)尾上多見蔵一座、備前に乗込む	大阪新聞
明治11	1878	3	月中	(12)戎座・角の芝居・朝日座の景況	大阪新聞
明治11	1878	3	月中	(13)讃岐金毘羅の劇場の出演者をめぐる紛擾	大阪日報
明治11	1878	4	1	重明舎玉手弘道、本町一丁目に石炭油商所を開く。	大阪日報
明治11	1878	4	1	第二大区、区内の金銀銅吹職の鑑札および町名番地を書き上げる。	宮本家文書
明治11	1878	4	1	福島村西善寺で重宝珍器を集めて聚覧者を開く。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	4	2	大阪府、教員の等級給料を廃止し、訓導・訓導補・助教の三大別を行ない、学区の力に応じて支給すべきことを布達する。	大阪不教育百年史・大阪府史料
明治11	1878	4	4	大阪府、勸業世話掛心得を定め、金井伊十郎外七名に勸業世話掛を命じる。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	4	5	『大阪日報』編輯長千河岸貫一、讒謗律第五条により罰金十円を申し付けられる。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	4	5	雹が降る。	大阪新聞
明治11	1878	4	6	この日より七日まで大阪府下の徴兵検査が行われる。	大阪日報・大阪新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	4	6	大阪新聞、本局を安土町三丁目四番地に設置する。	大阪新聞
明治11	1878	4	7	『戎座・角芝居評判記』が出版される。	大阪新聞
明治11	1878	4	9	大阪府、六等学区取締を新設する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	4	10	第二大区九小区の小区会が開かれる。	大阪日報
明治11	1878	4	11	大阪府、内務省より免状下附の医業者には今後府の証札を下附しないこととする。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	4	12	第二大区四小区の小議事会が開かれる。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	4	12	黒田彰之進編輯の『なにわさうし』が発刊される。	大阪新聞
明治11	1878	4	13	大阪府、道頓堀戎橋を鉄柱にて架け換え、この日竣功する。ランプ四本を点灯する。	大阪府歴史・大阪新報・大阪府史料・大阪新聞
明治11	1878	4	13	真島襄一郎に内務省より砂糖製造資金二万円が貸与される。	公文録
明治11	1878	4	14	第三大区中の医業者、各小区ごとに会議を開く。	大阪新聞
明治11	1878	4	15	大阪府第五課、上等小学科各科用書につき仮定のものに代えるべき良書あれば、連区ごとに申し出ることを認める	大阪府教育百年史・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	4	15	大阪裁判所および堂嶋・天王寺両区裁判所、出退勤時刻を改める。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	4	15	第二大区で大会議が開かれ、地位等級を議す。	大阪日報
明治11	1878	4	16	大阪府第五課、巡講掛の派出は以来臨時に付す。	大阪府教育百年史・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	4	16	この日より二日間南御堂において見真大師の供養会が開かれる。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	4	16	越中橋北詰旧阿波邸内で大鳴戸の引退相撲興行が行われる。	大阪新聞
明治11	1878	4	19	大阪府、第一番中学校の生徒を募集する。	大阪新聞
明治11	1878	4	20	大阪府師範学校を第五大区二小区森村十九番地旧官立大阪師範学校跡地に移す。	布告及布達・大阪府師範学校沿革史略・公文録
明治11	1878	4	23	大阪府知事渡部昇、職務に復帰する。	大阪府布令集
明治11	1878	4	23	大阪府第五課、訓導および訓導補の在勤期限の伸縮は、訓導と学区取締・監護人・世話人との結約に委任する。	大阪日報・大阪新聞・大阪府教育百年史
明治11	1878	4	23	『大阪新報』仮編輯長岡野武平、記事により罰金七円を申し付けられる。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	4	23	丸万・橋清・松作の三人、戎橋南詰に自費で交番設立を申請する。	大阪新聞
明治11	1878	4	24	大阪鎮台歩兵一大隊、橋本・京都から篠山・伊丹等八日間の行軍演習をはじめる。	大阪新聞
明治11	1878	4	24	本町橋東詰の油商会、一時売買差止められる。	大阪新聞
明治11	1878	4	25	第二十六国立銀行、大阪第一大区十五小区道修町四丁目に本店を移し、この日開業式を挙げる。	大阪日報・法規分類大全・布告及布達
明治11	1878	4	25	大阪府、松島駆黴院内の公立病院出張所を閉鎖する。	大阪布令集
明治11	1878	4	25	大阪府、明治十年産婆開業の規則は、復業者についても適用されることを布達する。	大阪布令集・大阪府史料
明治11	1878	4	25	地震あり。	大阪新聞
明治11	1878	4	25	中の芝居に沢村訥弁が京都から乗り込み、この日幕を開ける。	大阪新聞
明治11	1878	4	26	大阪府、他府県庁の検印ある船舶をもって府下で営業することを禁止する。	大阪府布令集・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	4	29	大阪府、第六大区五小区加島村で牝牛一頭が伝染疫病にかかったことを知らせ注意を喚起する（さらに五月二日同小区御幣島村での発症も布達する）。	布告及布達・大阪府布令集
明治11	1878	4	日欠	新聞演説会が、山本与助の広演社のみならず西広演社の主催あるいは吹田村での開催など、さまざまに流行する。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	4	日欠	物見遊山で産湯稻荷・生国魂神社・博覧場・桜の宮・野崎観音・中山寺・箕面あるいは柳谷観音など各所に入出多し。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	4	日欠	伊勢参りが流行、玉造二軒茶屋などで抜け参りの待ち伏せも増える。	大阪新聞
明治11	1878	4	日欠	鉄道乗客が増加する。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	4	日欠	五代友厚、大阪府下の各郡村に藍の木の試し植えを出願する。	大阪日報
明治11	1878	4	日欠	第三大区十一小区入江町の谷沢義右衛門、厚革製造を発明し、府へ資本金三万円の拝借を願い出る。	大阪新聞
明治11	1878	4	日欠	マラリヤ・ジフテリアが流行しはじめる。回春病院および大阪病院、市内の溝渠汚泥運搬にその原因ありとして取扱に注意を喚起する。これに関し、川崎速水が反論し、回春病院幹澄太郎が再反論する。	大阪日報
明治11	1878	4	日欠	大阪府勸業課、各郡村に米国玉蜀黍を附与し、また米国・清国西瓜の種を市岡新田に培養させる。	大阪日報
明治11	1878	4	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治11	1878	4	月中	(1)難波蔵より現米十万石清国へ輸出	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(2)玉造森の宮の傍に東本願寺派の御堂新築の計画	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(3)ひな人形の売行好調	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(4)大阪上等裁判所の繁忙	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(5)靱西学校を靱東学校に統合し、靱学校と改称	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(6)西国筋からの道者で宿屋などの繁昌	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(7)死度組の頭取	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(8)人力屋臥龍軒の料金定め書きに他の車夫が不満	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(9)農村の豊作で下婢の払底	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(10)幸橋筋より字十七兵衛小屋までの新道、測量にかかる	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(11)硫酸使用の染物を川に浸す者あり	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(12)『扶桑新報』の次号の内容	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(13)府下戸数人員表	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(14)玉造二軒茶屋の馬車、馬が暴走	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(15)松島新地の繁栄	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(16)造幣局構内の桜、一般公開の計画	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(17)石炭油の提灯をつける人力車が増加	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	4	月中	(18)順慶町二丁目銭岩蔵ら航海用舷燈の製造に成功	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(19)明治十年分租税三月中の収入高	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(20)住友家で同家事務章程の印刷	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(21)淀川出水で登り船がとまる	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(22)病院で乳癌の手術	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(23)西洋種の長茄子を木津村に植付け	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(24)土佐堀裏町河口淳氏水陸運輸会社を創立せんと尽力中	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(25)第四大区消防方の纏・手旗・提灯・帽子の目標が変わる	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(26)山口県土族沢山某、耶蘇式の結婚式をあげる	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(27)尻無川の汐干がりにぎわう	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(28)新町橋架替の風聞	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(29)堀江巡查寄留所の廃止	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(30)開業医取締藤井先生、医事談会を開く	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治11	1878	4	月中	(1)芸者の大舞さらえ	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(2)手品師夢助、足芸の両国松之助、雇われてアメリカへ	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(3)天神社内の芝居と北の新地栄座の興行	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(4)中村翫雀・市川荒五郎の巡行先	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(5)竹本越路太夫一座戎座で大興行	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(6)難波青物市場東出口において素人相撲開催	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(7)琴棋書画適宜会、書画展覧会開催	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(8)明清楽、蓮山・梅園両女史の紛紜と経歴	大阪日報
明治11	1878	4	月中	(9)堀江明楽座の俄狂言	大阪新聞
明治11	1878	4	月中	(10)道頓堀角の芝居今度の狂言の役割の風聞	大阪新聞
明治11	1878	5	1	大阪府、西道頓堀警察署を廃止し新たに同分署を新設、難波分署を長堀橋筋警察署に分属、また天王寺分署を安堂寺町警察署に属させる。	布告及布達
明治11	1878	5	1	教育博物館、宗是町にて開館式を挙げる。第一・第三土曜日には小学教員対象に物理学実験運用の縦覧を行なう。	大阪新報・大阪日報・大阪新聞・大阪教育百年史
明治11	1878	5	1	諸官省ともに出退時限を変更する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	5	1	警察本局に医師・薬局を置く。	大阪日報
明治11	1878	5	1	住吉神社の遷宮式が行なわれる。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	5	2	大阪府、大蔵省の指示に基く太政官札・民部省金札の通用停止と引換を六月一日以降とすること、交換場所として第一・第五国立銀行、さらに後に第十三・三十二・三十四および第三国立銀行を指定する。	布告及布達・法規分類大全

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	5	4	大阪府、牛疫の徴候発見時は以後速やかに撲殺せず、警察へ届け出るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	5	4	大阪府、明治八年大阪府第四十九号布達死亡并流行病取締規則第三条中「変死」の二字を削除する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	5	4	大阪府知事、京都へ出張する。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	5	5	金沢卯右衛門・北尾重兵衛首唱し、私設にて木津川口に燈台を新設する。この日点灯式を挙げる。	大阪新報・統計原稿・布告及布達
明治11	1878	5	6	大阪府、府会を第二大区十四番校に開き、警察費二万円の不足金賦課法を再度審議させる。	大阪新報・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	5	6	大阪府第五課、各小学校より月報の差出しを指示する。	大阪日報・大阪新聞・大阪府教育百年史
明治11	1878	5	7	『浪花新聞』、府庁に廃業を届け出る。	大阪日報
明治11	1878	5	8	大阪府知事、東京へ出張する。	布告及布達
明治11	1878	5	9	芸妓若鶴、病死後、医師の解剖を受ける。有志、南地法善寺内に石碑を建て、その遺志を永遠に記念する。	大阪日報・大阪新聞・朝野新聞
明治11	1878	5	11	大阪府、誣違罪目第四条を追加し、尿尿取締の基準を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	5	14	大阪府第五課、下々等小学の授業のあり方を示し、最も簡単なるべきことを指示する。	大阪新聞・大阪日報・大阪府教育百年史
明治11	1878	5	15	大阪府公立病院、医学教導規則を増補し、解剖学ならびに原病学各論の講習を開始する。この日聴講者を募集。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	5	15	大阪府、従来府の許可を得て事業を継続してきた商業結社も官省よりの公布公達の旨趣に抵触すれば取消しとなるので注意するよう布達する。	布告及布達
明治11	1878	5	15	大阪府、医業の者に折傷打撲等の治療の際平素熟知の者以外ならば、直ちに警察へ通報するよう布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	5	15	二大区中の医師、議会を開き施楽院創立の法を審議する。	大阪日報
明治11	1878	5	16	大阪府、新聞社に対し、大久保内務卿暗殺事件に関する記事について規制する。	大阪日報
明治11	1878	5	16	大阪府、当分の間錦画出版は草稿を差出し許可を得べきよう布達する。（六月二十五日解除）	布告及布達
明治11	1878	5	16	大阪府、兵庫・西宮におけるジフテリア病患者の発生を知らせ、予防に心掛けるべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	5	16	大阪府、夜学の教員給料・授業料・校費の基準を定める。	大阪新聞・大阪日報・大阪府教育百年史
明治11	1878	5	17	大阪府、金録公債証書の利子を下げ渡す。	布告及布達
明治11	1878	5	17	北御堂で大谷大教正を招き、西南の役招魂忌を執行する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	5	18	大阪府、第三・四大区の勸業世話掛を田中寿作から三谷新左衛門に交代する。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	5	18	区長より総代人半数改選が達せられる。	大阪日報
明治11	1878	5	20	鎮台の馬丁二百人程とシケタイ組二百人程が長柄村で大喧嘩をする。	大阪日報・大阪新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	5	21	大阪府少書記官松本鼎大書記官に、一等属楠永直光少書記官にそれぞれ任命される。	布告及布達
明治11	1878	5	21	大阪府、鎮台諸隊士以下の者が日曜・式日以外に宿泊を求めるときは鎮台の免許札所持を確認するよう布達する。	布告及布達
明治11	1878	5	21	大阪府、馬車の寸法制限および通行可能の道筋を改める。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	5	22	大阪府、難波入堀川浪芳橋を架け換え、この日竣功する。	大阪府史料・大阪府歴史・大阪新聞
明治11	1878	5	23	大阪府第五課、学齡超過後も一科あるいは二、三科目のみを学ばんとする者には、正科中の上校就学も認める。	大阪新聞・大阪日報・大阪府教育百年史
明治11	1878	5	24	大阪府、飲水の試験について再度布達し、その徹底を期す。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	5	24	梅檀の木橋南詰住の西成昇、川へ洋紅を流すの害を新聞に投書する。	大阪新聞
明治11	1878	5	25	神崎川分流附換工事竣功する。その賦課をめぐって不平の村あるも、すべて官費にすることで、治まる。	大阪新報・大阪日報・朝野新聞・大阪新聞
明治11	1878	5	26	大阪府知事、東京より帰府する。	布告及布達
明治11	1878	5	27	大阪府、ジフテリア感染者ならびに死亡者は医師診断書を添えて速やかに附近の警察署へ届出させる。	大阪府歴史・布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	5	28	大阪府、銃砲弾薬の売買については、知事宛で警察本署に差出させることとする。	布告及布達
明治11	1878	5	29	大阪府、尿尿取締概則第八条を改正する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	5	30	中ノ島三丁目・堂島二丁目へ船路疏鑿竣工する。大阪府、航行の通船より料金を徴して工事費の償却に充てる。	大阪府歴史・布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	5	30	大阪府、第一大区一小区神崎町石職商野田清助ほか三名が商社を設け、また諸国に分社を設けて諸国産石の売買を行なうことを認可する。	諸会社設立及解社等願届之件
明治11	1878	5	31	大阪府、質・古手・古道具の三商取締規則を定め、六月十五日より施行する。	大阪府歴史・布告及布達・大阪府史料・大阪商業史資料
明治11	1878	5	31	大阪府、大蔵省の募集する起業公債を広く市民に諭し、それに応じさせる。市民これ仁応じるも、東京・京都のように運ばず。	布告及布達
明治11	1878	5	31	文久銭の真位使用を拒み、旧十六文の称を以て取引する者あり。大阪府、これを禁止する。	布告及布達
明治11	1878	5	31	『大阪新聞』、西高津村秋岡シマの孝養を報道し、大阪府また賞賜を与える。これにより同人に寄付を申出る市民多数に上る。	大阪府歴史・大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	5	日欠	大阪府第五課、『大阪府小学規則第二号』を編輯する。	大阪府教育百年史
明治11	1878	5	日欠	大阪府、尻無川花園橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	5	日欠	大阪府、西成・東成両郡の境界調査のための測量を行なう。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	5	日欠	川口居留地と中ノ島端出蔵へ鉄橋架設の計画ができる。	大阪日報
明治11	1878	5	日欠	天神橋の架け替えが計画される。	大阪日報
明治11	1878	5	日欠	大阪鎮台病院で病室を新築する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	5	日欠	第一大区一小区および八小区ではそれぞれ、防犯のため立番を計画する。	大阪新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	5	日欠	大阪府の救助場において職業の教育が始められる。	大阪日報
明治11	1878	5	日欠	五代友厚、藍の清国輸出をはかる。	五代友厚伝記資料
明治11	1878	5	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治11	1878	5	月中	(1)マッチ箱レットルの印刷所	大阪日報
明治11	1878	5	月中	(2)入口を飾らない髪結床	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(3)夜学校に壮年輩の通学少しもなし	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(4)阿弥陀ヶ池、灌仏会の景況	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(5)石炭油の上箱を摺付木に用いる	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(6)楽明会を創立し、交際と風流閑雅の趣を楽しむ計画	大阪日報
明治11	1878	5	月中	(7)広告（防災石炭油）	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(8)玉津橋かけ替えで船渡となる	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(9)広告（位田春馨編『民事纂要』）	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(10)明清楽の連山女史に旧渡辺村の金満家の妾が弟子入したために、弟子達の間で大悶着	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(11)名古屋学校生徒の遊歩事	大阪日報
明治11	1878	5	月中	(12)東京大阪の比較	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(13)坂東一平、南洲遺稿を編す	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(14)道普請中の懲役人脱走	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(15)千日前自安寺の妙見宮本堂新築とか	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(16)玉造森の宮蓮如上人旧跡復興所建立の計画	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(17)高津本社屋根がえで講中の集会	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(18)府下勸業世話掛、菜種・蠶豆の不作を府庁へ上申	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(19)府下の巡查妻子の商法を禁止	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(20)幸町広岡治郎三郎方へ西本願寺門主を招待す	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(21)佐々木金兵衛、京浜両地に「内国勸業博覧賞牌品売捌」という店を開く	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(22)府下布屋新田の堤修繕法	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(23)大阪一徳島間、夜間航海の再開	大阪日報
明治11	1878	5	月中	(24)西横堀筋違橋かけかえ	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(25)『東京曙』の大阪通信	東京曙新聞
明治11	1878	5	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治11	1878	5	月中	(1)博労町稻荷文楽座の興行	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(2)座摩社内俄狂言興行	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(3)大江橋北詰の寄で鹿児島騒動の浄瑠璃始まる	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(4)松島天満宮社内にて角力興行	大阪新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	5	月中	(5)中の芝居の景況	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(6)相撲の興行・～・	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(7)嵐璃寛・嵐璃笑、中の芝居終了後西京南の芝居へ行く	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(8)戎座芝居の役割と角座の芝居の初日	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(9)道頓堀坂栄座の興行	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(10)角の芝居、役者と金主の間が紛糾	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	統計に関する新聞記事	
明治11	1878	5	月中	(1)大阪港入船並ニ其府税	大阪新報
明治11	1878	5	月中	(2)第二課の願届件数	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(3)明治十年中市郡の民費高	大阪日報
明治11	1878	5	月中	(4)明治十年租税、四月中収入高	大阪日報
明治11	1878	5	月中	(5)警察支払金額	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(6)四月中の警察事件数	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(7)手紙の配達数	大阪新聞
明治11	1878	5	月中	(8)四月中の汽車乗客・収入高	大阪新聞
明治11	1878	6	2	大阪府、道頓堀川太左衛門橋を架け換え、この日竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	6	3	大阪府、薬種問屋同様の業体を営む薬舗には薬種問屋鑑札を所持させる。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	6	3	大阪府、この日開業医試験規則を改正し、七月一日より試験を実施する。	大阪新聞
明治11	1878	6	4	大阪府、商社私設出願の件指令を悪用し、入社・募金を強要することを禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	6	4	大阪府、通学の暇なき児童の教育について小学校諸掛の配慮を布達する。	大阪新聞・大阪日報・大阪府教育百年史
明治11	1878	6	5	大阪府、元奏任官以上で非役の者、死去の節は、大阪府経由で太政官に届け出るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	6	5	大阪府、太政官一両札以下ならびに民部省金札は三井銀行支店でも引換えることを布達する。	布告及布達
明治11	1878	6	5	土佐稻荷の正遷宮がはじまる。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	6	5	宇治の県祭参詣の船が沈没する。	大阪新聞
明治11	1878	6	6	『大阪新聞』、紙面を拡大する。	大阪新聞
明治11	1878	6	6	大阪上等裁判所判事古荘嘉門、紀尾井坂の事件に関連して拘引される。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	6	6	静岡県士族奥沢信行ほか三名、結社して興商社と称し内外商業の利弊を談論し、その振興を企図する。	諸会社設立及解社等願届之件・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	6	7	大阪府知事、能勢の各小学校巡視のため出張する。	大阪新聞
明治11	1878	6	7	大阪府、興農社の民債証を取り貸付営業云々の広告取消しを命じる。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	6	7	南堀江加州屋敷跡にて平錦が勧進元の相撲はじまる。	大阪新聞
明治11	1878	6	8	第二大区、橋上出店許可者の名簿を上申する。	宮本家文書

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	6	8	大阪府第五課、暑中土曜日の授業は通常通り午前三時間とする。	大阪府教育百年史・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	6	9	加嶋信成、博物場で油絵の展覧を行なう。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	6	12	陸軍卿山県有朋、大阪砲兵支廠見分のため出張する。	公文録・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	6	13	大阪府、春季皇霊祭（春分の日）・秋季皇霊祭（秋分の日）を府庁および各公立学校の休日と定める。	布告及布達・大阪府教育百年史
明治11	1878	6	13	大阪府、天然痘患者あるときは種痘済か否かを取り調べ届け出るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	6	14	住吉大社御田植の神事に府下では新町の芸妓がはじめて田植えを行なう。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	6	14	『大阪日報』、ゲルマン皇帝狙撃事件の報を得て、社会党について社説を掲載する。	大阪日報
明治11	1878	6	16	宇田川文海、元浪花新聞編輯長伊東一英の追善会を開く。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	6	17	五代友厚ほか九名、株式取引所を北浜二丁目に創立し、この日大蔵省の許可を得る。	株式取引所ニ係ル大蔵省進達并ニ人民願届之件・株式会社大阪株式取引所沿革及統計・半世物語下・大阪新聞・大阪府布令集・布告及布達・五代友厚伝記資料
明治11	1878	6	17	北海道・青森等の氷雪を販売する業者が増加し、大阪府、この日氷雪販売取締規則を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	6	17	大阪府、芸娼妓並ニ席貸営業規則を改定し、七月一日より施行する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	6	17	大蔵省、常平局を開設し、難波米廩をもって大阪出張所とする。	法規分類大全
明治11	1878	6	17	大阪府、知事との面接は一事件につき一回限りとする。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	6	17	芦池女子手芸学校が開業式をあげる。	大阪日報
明治11	1878	6	18	大阪府、幼童・成童の溺死防止に示諭する。	布告及布達
明治11	1878	6	18	太政官、大阪府よりの問い合わせに答えて、外国人との交際費用は、大阪府定額金の内をり支払うべきこととする。	公文録
明治11	1878	6	18	『大阪日報』の所有権について大阪裁判所の判決あり、西川甫の権利が確認される。	朝野新聞・大阪日報
明治11	1878	6	19	『大阪日報』、「支那人」との連帯を主張する。	大阪日報
明治11	1878	6	20	地震あり。	大阪日報
明治11	1878	6	21	清国公使、劉寿鑑を神戸領事官とし、神戸・大阪両所の清国人を管轄せしめる。	法規分類大全・大阪日報
明治11	1878	6	21	大阪府、芝居その他の諸興行定席等の空気疎通を業者に注意する。	布告及布達
明治11	1878	6	21	鳶田刑場で斬罪あり	大阪日報
明治11	1878	6	22	大阪府会が開かれ、再再度警察費の賦課について議す。	大阪日報
明治11	1878	6	22	大阪府、明治八年制定の死亡並ニ流行病取締規則を改定する。また七月十三日このうちにある悪症伝染病について簡便なる取扱いを指示する。	大阪府歴史・布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	6	22	博物場の閉場式が行なわれる。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	6	24	工部省、大阪堂島浜通三丁目の宮有地を電機用物品および柱材等の貯蔵所とする。	公文録
明治11	1878	6	29	陸軍、大阪鎮台を中心に演習を行なう。事情を知らぬ市民、動揺する。	大阪日報
明治11	1878	6	30	博交社、石町一丁目に移転する。	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	6	30	前『攪眠新誌』編輯長常井精一郎、一年の禁獄より放免される。	大阪日報
明治11	1878	6	日欠	上下ともに射的が流行する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	6	日欠	警察各署の電信線が通じる。また電話機も試験される。	大阪日報
明治11	1878	6	日欠	大阪府に衛生掛り担当の官吏を設置する。	大阪日報
明治11	1878	6	日欠	第一大区六小区、費用を上納して巡査三名の増員を願い出、許可される。つづいて、同大区八小区でも同様の動きあり。	大阪日報
明治11	1878	6	日欠	英人マクリン、西洋裁縫の術を市民に伝導する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	6	日欠	大阪府、電線架設場所における日覆を禁止する。	大阪日報
明治11	1878	6	日欠	大阪府、漆細工の推黒の名人、紀州の上野喜四郎を招き、細工場を開き有志に伝習させる。	大阪新聞
明治11	1878	6	日欠	大阪府勸業課、この月以降、毎月第二日曜日に物産についての会議を開く。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	6	日欠	紙屑拾い、目簾に住所・氏名を記した木札をつけて歩くよう警察から指示される。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	6	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治11	1878	6	月中	(1)藤田伝三郎、高麗橋西詰へ豪邸を建てる	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(2)難渋人相手の貸金業を開業	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(3)二大区九小区では向う二軒両隣に同業の者を置かぬよう決議	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(4)倒れたままの旧千日寺三勝半七の石碑を起こしてはどうかとの意見	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(5)宝丹の流行	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(6)盗賊防止のため軒々にはりがねの引渡し	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(7)銅板技術を横浜で学ぶ	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(8)明治十年中の木炭着荷高	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(9)豊後町の南条某、内田某のペンキ製造業に協力	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(10)医師博多谷梅田停車場前紅葉屋に温泉を開き治療す	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(11)博労町の稲荷でヂフテリア退散の祈祷	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(12)俳諧師春秋園大年宗匠死去	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(13)日曜日、各地のにぎわいぶり	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(14)第六大区小区大道村北野利兵衛、井高野村外嶋村辺で開拓し馬鈴薯をうえる	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(15)耶蘇教信者増加のため、新設教場地を求める	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(16)『寝言珍腐』の出版	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(17)玉造の南方で螢狩をつけ覗う曲者あり	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(18)フランス製機械での木綿製造に補助金の請求	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(19)居留地西詰川中に浴水場設置	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(20)平野町一丁目橋岡泰次郎建築の能舞台落成	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(21)荒川隆二郎、防虫液・保卵液などを発明	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	6	月中	(22)天王寺村で雨乞	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(23)杉谷市兵衛、舩灯製造所の広告	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(24)大阪情况	朝野新聞
明治11	1878	6	月中	(25)身代限の減少	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(26)蚊の出方少ない	大阪日報
明治11	1878	6	月中	(27)朝陽館精製藍の値下げ	大阪日報
明治11	1878	6	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治11	1878	6	月中	(1)道頓堀弁天座の興行	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(2)旧千日寺観場の様子	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(3)戎座の興行	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(4)戎座狂言の評判	大阪新聞
明治11	1878	6	月中	(5)北の新地の芝居興行大当り	大阪新聞
明治11	1878	7	4	大阪府中学校長・同監事職務が定められる。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	7	4	大阪府、下々等小学の門標雛形を示す。	大阪府教育百年史・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	7	5	大阪府、宿屋営業外の者についても止宿・寄留人等取調べのため、時々、巡査の出張があることを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	7	7	大来吟社・琴棋書画小会、合同して風流会を開き、以後毎月開催を約す。	大阪日報
明治11	1878	7	9	大阪府、七月九日より九月十日まで暑中休暇を籠めて教員に十五日間の休暇を与える。	大阪府教育百年史・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	7	9	『摘萃新聞』が発行される。	大阪新聞・大阪日報・読売新聞
明治11	1878	7	9	嶋町の鈴木長一、日本固有の食品を軽視してはならないことを論じる。	大阪日報
明治11	1878	7	11	『大阪日報』、この日および七月十四日の二日にわたって「クラブ論」を掲載する。	大阪日報
明治11	1878	7	12	大阪府、無免許代言人に注意すべきことを布達する。	布告及布達
明治11	1878	7	13	府会を開き道路費の案を議す。また、次回より府知事の議長を止め、高田伝蔵その任に就く。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	7	13	大阪府、人民諸願伺届等の差出時限を改定する。	布告及布達
明治11	1878	7	14	銀行集会をはじめて開く。	大阪日報
明治11	1878	7	14	安政の大地震二十五年忌につき被災者の施俄鬼が行なわれる。	大阪日報
明治11	1878	7	17	大阪府、盲目・不具の者は諸遊業税を半額とする布達を発する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	7	17	神崎川堀割落成につき、この日知事等出席して開川式を行なう。	大阪日報
明治11	1878	7	19	大蔵省、先に五代友厚外九名の大阪株式取引所創立に許可を与えたことを踏まえ、さらに創立証書及び定款申合規則に認可を与え、開業免状を下付する。	株式取引所ニ係ル大蔵省進達并ニ人民願届之件・五代友厚伝記史料
明治11	1878	7	19	陸軍省、道路新開につき天満橋下字将基島を内務省に返附する。	公文録
明治11	1878	7	22	大阪府、大阪病院規則ならびに生徒教導規則を更正する。	布告及布達・大阪府歴史・大阪府教育百年史・大阪府史料
明治11	1878	7	22	大阪府、炎暑に向うなか、摂生予防心得を定め、府民に対し常に準備して摂養させる。	布告及布達

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	7	24	大阪府、薬種商ならびに薬種問屋営業鑑札所持者の人名を取り調べる。	大阪府布令集・大阪新聞・大坂日報
明治11	1878	7	24	大阪府第五課、生徒が普通課程の余間に私学で学ぶことを認める。	大阪府教育百年史・大阪新聞
明治11	1878	7	24	大阪府第五課、私学教場を公立学校分校にするときは私学の掲標を、とりはずさせる。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	7	24	十三橋、開橋式を行なう。	大阪日報・西成郡史
明治11	1878	7	26	大阪府、祭等における幼児の遊戯について健康・風俗等に注意すべきを布達する。	大阪府布令集・大阪新聞・大阪府史料
明治11	1878	7	26	大阪府、小学校における暑中授業は十二時放課の文字を削除し、一日四時間とする。	大阪府教育百年史・大阪新聞
明治11	1878	7	26	池田街道、馬車道開拓し、この日通行止めを解く。また八月には刀根山開鑿新路も落成する。	大阪日報
明治11	1878	7	28	「鉄道局汽車分持加入金」を名目とする詐欺事件が表面化する。	大阪日報
明治11	1878	7	28	大阪府、堀江川堀江橋を架け替え、この日落成する。	大阪日報・大阪府史料
明治11	1878	7	29	大阪府、髪結税を改定する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	7	31	工部省、富島町電信分局不用につき地所を内務省に返附する。	公文録・大阪日報
明治11	1878	7	日欠	質・古手・古道具の各業者、三商取締規則にもとづきそれぞれ同業組合申合規則を定める。	質商旧記・大阪商業史資料・大阪府警察史
明治11	1878	7	日欠	鼬川で開削工事中、古代の刳船を出土する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	7	日欠	大阪府、堂島新堀川柳橋を新架し、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	7	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治11	1878	7	月中	(1)ナスビが豊作	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(2)女子手芸学校の悪しき弊	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(3)町の納涼風物	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(4)堤防等にユーカリを試植	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(5)大阪情報	朝野新聞
明治11	1878	7	月中	(6)狡猾な石炭油商	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(7)平野郷近在の綿豊作	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(8)ゲベル銃を朝鮮に輸出	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(9)堂嶋米商会所、明示十一年前半年分の損益報告	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(10)紀州までの馬車道を開くとか	大阪新聞
明治11	1878	7	月中	(11)東横堀を東成・西成両郡の境界とするうわさ	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(12)猪飼野村・今宮村で牧蓄の盛行	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(13)連山流明清楽、岡山県へ進出	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(14)リモナーデ・ポンスイの広告	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(15)第二大区四小区で第四回目の小区会議	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(16)魚の腸運搬は臭気甚だしいため夜十二時より朝までに限るとか	大阪日報
明治11	1878	7	月中	(17)山崎の鼻に西洋造りの便所を新設	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	7	月中	(18)野里村の紛争	大阪日報
明治11	1878	8	1	大阪府、西横堀川金屋橋を架け換え、この日竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	8	3	大阪府、違式罪目に追加して、市中道路に係る人家軒先に雨樋の設置を義務づける。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	8	3	『大阪日報』、この日より二日間にわたって大阪市街に暗渠を整備しあわせて流末の衛生的処理の必要性を論じる。	大阪日報
明治11	1878	8	4	西長堀問屋橋南詰知新館で演説会がはじまる。	大阪日報
明治11	1878	8	7	大阪府大書記官松本鼎、熊本県大書記官に任ぜられる。	布告及布達
明治11	1878	8	9	大阪府、自費をもって私地に道路を開通するときにも伺い出て、裁可を得べきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	8	9	文部省、大阪英語学校訓導英人アイザック・イートンの雇継ぎを届け出る。	公文録
明治11	1878	8	10	大阪府、生産物を羅列し、需求者の便をはかるため江戸堀南通二丁目に勧工場を設置するとともに、その規則を定めて府民に製産物の出品を勧める。	布告及布達・大阪府史料・大阪新聞・大阪日報・朝日新聞
明治11	1878	8	10	東京府少書記官穴戸昌、大阪府大書記官に任命される。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	8	10	第三十四国立銀行、高麗橋四丁目に移転する。	布告及布達・法規分類大全・大阪日報
明治11	1878	8	12	大阪府、尻無川下流北福崎新田の川中に海潮を引き小学校男女生徒の遊泳場を設け、この月十五日より九月二十日まで開場する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	8	12	大阪府、百石積未満の日本形小船に使用の舷灯をもれ以上の船舶に使用のものと混同しないよう製造者に注意する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	8	13	開業医江守敬寿以下二十人の医師、施薬院の設立を大阪府に出願する。	大阪日報
明治11	1878	8	14	大阪府、宿屋業ほか六種の営業税収入期を更正し、毎年三月・九月の二十五日限りとする。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	8	14	大阪府、諸市場・興行定席などは営業の許可を得てから後建築・修繕等に着手すべきことを布達する。	布告及布達
明治11	1878	8	15	大阪株式取引所開業。	株式取引所二係ル大蔵省進達并二人民願届之件・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	8	17	大阪府知事渡辺昇、暑中休暇に入る。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	8	19	府下手伝人頭取長砂熊吉外三人、出火の際御用勤めるにつき、毎戸の井戸を年二回浚うことの許可を大阪府に出願する。	大阪日報
明治11	1878	8	20	大阪府、士族への金録公債支給を前に、浪費しないよう諭達する。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	8	20	大阪府、産婆教授の規則を改め、正・変二則とし、大阪病院に於て受講生を募る。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	8	20	横堀七丁目出火。延焼三十三戸。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	8	21	大阪府、戸主死亡後相続人を定めがたき場合は、その事由を届けておき、後日決定の上地券書換を願い出るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	8	22	大阪府、学則第二号を下付する。	大阪教育百年史第二巻・大阪新聞・大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	8	24	大阪府、東京竹橋の近衛砲兵の暴動を府民に知らせ、みだりに動揺しないよう諭達する。	布告及布達・五代友厚伝記資料第一巻・大阪日報
明治11	1878	8	24	火災が続き、大阪府、半鐘の鳴らし方を規則通りに行うよう注意する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	8	24	『大阪新聞』編輯長宇田川文海、讒謗律第五条により罰金に処せられる。	大阪日報
明治11	1878	8	25	有信社が開業し、人身上・営業財産・代理代弁・補助法制・書記算計に係る課目の依頼を受け付ける。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	8	25	松島常盤橋から安治川一丁目渡場までの道路開削に着手する。	大阪日報
明治11	1878	8	27	大阪府、生徒の進歩を実視するため巡回試験実施の開始を布達する。また、これに伴い定期試験の前以ての届出を不要とする。	大阪新聞・大阪日報・大阪府教育百年史第二巻
明治11	1878	8	27	五代友厚ほか十四名、商法会議所を設立し、この日大阪府の設立認可を得る。	商法会議所二係内務省伺各局往復并諸決議及該会議所願届之件（府）・半世紀物語下・雑喉場魚市場沿革史三・商法会議所ヲ設立スルノ大意・五代友厚伝記資料第二巻・五代友厚伝記資料第一巻・大阪日報・大阪新聞・大阪商工会議所史
明治11	1878	8	28	内務省、大阪商法会議所に年額一千円の保護金下附を決定する。	商法会議所二係内務省伺各局往復并諸決議及該会議所願届之件（府）・大阪日報
明治11	1878	8	28	大阪府、海老江村に牛疫発生につき注意すべきよう布達する。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	8	29	大阪府、来る十一月に秩録公債証書の利子渡しを布達する。	布告及布達
明治11	1878	8	29	難波新地の植物試験場、今宮村に移転する。	大阪日報
明治11	1878	8	29	造幣局、炭酸ソーダ製造所の新設が認可される。	公文録・大阪日報・郵便報知・大阪新聞・朝日新聞
明治11	1878	8	30	大阪府、長堀橋筋警察署難波分署を第二大区難波新地に移す。	布告及布達
明治11	1878	8	30	大阪府、巡査夏服を改める。	布告及布達
明治11	1878	8	30	消防頭取浅野治助、市中小便桶の取替えと新增設を願い出る。	大阪日報
明治11	1878	8	31	大阪府知事渡辺昇、休暇を終えて職務に復帰する。	布告及布達
明治11	1878	8	日欠	工部省、安治川鉄道用地ならびに安治川停車場敷地を不用につき、大阪府へ協議の上払下げる。	公文録・大阪日報
明治11	1878	8	日欠	大阪府でも郡区改正の取調べがはじまる。	大阪日報
明治11	1878	8	日欠	郡区ごとに変則中学校の設立が進む。（平野郷・鯉座学校内第三番中学校・曽根崎小学校内・麻田・船場学校内第七番中学校・清水学校内・樋の上町など）	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	8	日欠	大阪府庁および各大区において市街地位等級決定のための会議が始まる。	大阪日報
明治11	1878	8	日欠	鎮台兵士・大阪府巡査また大阪府民に脚気病が流行しはじめる。大阪府、箕面山に脚気病院を設立する。また鎮台では中山・有馬温泉に転地病院設立を考える。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	8	日欠	土佐立志社より川崎某大阪に出張し、江戸堀北通四丁目岡村猪吉方にて交際会を開き、土佐堀裏町に立志社出張所を設けるとともに演説会をはじめる。	大阪日報
明治11	1878	8	日欠	中野悟一・住友吉左衛門、それぞれ朝鮮に交易拠点を設置せんとする。	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	8	日欠	徳島通いの蒸汽船大宮丸の営繕終了し、航海を再開する。	大阪日報
明治11	1878	8	日欠	梅田停車場への運漕通船のための土佐堀新堀割が落成し、秋月橋および中島橋を新たに架す。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	8	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治11	1878	8	月中	(1)堺港の人民、住吉神社の祭礼渡御復活を願う	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(2)水瀧器械の広告	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(3)大阪府、巡查志願者の検査を毎月第一・第三火曜日に定める	大阪日報
明治11	1878	8	月中	坂東一平、『西郷詩文』を出版する	
明治11	1878	8	月中	(5)小金井蘆州の興行	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(6)大阪府、総区長よりの歎願に応え、浜地犬走の地所に建家建築を許可する	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(7)藍を川へ流すのは、以後深夜に限ることとなる	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(8)『朝野新聞』の大阪通信	朝野新聞
明治11	1878	8	月中	(9)冷夏で不景気な商品	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(10)橋幅を広げる計画ありとか	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(11)冷夏のため納涼の寂寥	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(12)第三大区の戸長十人、大便代価下落につき学校維持費の貸下げを願う	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(13)陸軍軍医好本忠璋、医塾を開く	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(14)『小学修身口授近世美事叢談』第二集発刊	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(15)米国仕込の歯科医開業の広告	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(16)大賀幾助が支那へアルコールを輸出	大阪新聞
明治11	1878	8	月中	(17)市街接近村々に官費にてガス灯を設置する	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(18)岩崎新田火葬場の臭気取締を出願	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(19)江口の君堂宝物を博物場に出品	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(20)懲役場より出役の囚人に眼病予防のサングラスを支給	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(21)砲兵支工廠で煉瓦製造機械を西洋より購入	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(22)難波米庫東方に大宰府天満宮の遥拝所を建てる	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	8	月中	(23)府庁横手に大会議場建築、建家買上げとか	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(24)渋谷の麦酒製造所でぶどう酒製造に着手	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(25)出火のときは消防のため、鋸を持参することになる	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(26)興商社、商業講習所開設の許可を得る	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(27)明治義舎、私立医学を開業する	大阪日報
明治11	1878	8	月中	統計に関する新聞記事	
明治11	1878	8	月中	(1)府下人民公債証書持高	大阪日報
明治11	1878	8	月中	(2)明治十一年分租税の七月中収入高	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	8	月中	(3)明治十年七月より十一年六月までの府下民費課出表	大阪日報
明治11	1878	9	1	東京・大阪大相撲、脱走組も参加して初日のはずが延期する。	大阪日報
明治11	1878	9	2	商法会議所、北御堂において始めて会議を開き、会頭に五代友厚、副会頭に中野悟一・広瀬 宰平、理事に加藤裕一・芝川又平を選出する。	商法会議所二係内務省伺各局往復并諸決議及該会議所願届之件・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	9	2	大阪株式取引所、取引手数料を改定する。	大阪日報
明治11	1878	9	3	大阪府、相撲について勝手興行を禁止し、興行・税金納入等すべて頭取取締の手を経て、戸 長奥印の上差し出すべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	9	3	東京新聞各紙に大阪鎮台兵不穩の記事が掲載される。	郵便報知新聞・大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	9	4	大阪府、淀川改修中につき、部内航行の諸船に水制沈床等に触れないよう注意させる。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	9	4	商法会議所を堂島浜通二丁目朝陽館内に仮に移す。	商法会議所二係内務省伺各局往復并諸決議及該会議所願届之件・大阪日報
明治11	1878	9	7	紙商足助明善ほか六名、長堀北通二丁目に紙会所設立を出願する。（十月一日開業式）	大阪商業沿革調・大阪商業史資料・大阪日報
明治11	1878	9	11	再興愛国社第一回の会合がこの日より大阪において開かれる（十月四日、大阪府庁に届出 か）。	自由党史・植木枝盛日記・五代友厚伝記資料・大阪日報・朝野新聞・大阪新聞・東京日日新聞
明治11	1878	9	13	文部省、大阪英語学校訓導英国人ゼームス・サンマルスの雇継を届け出る。	公文録
明治11	1878	9	13	大阪府、知事の直命により天王寺河堀口より平野郷までの街道修復に着手する。このとき四 天王寺南門前に大穴のあるを発見する。	大阪日報
明治11	1878	9	13	大阪府第四課と警察本署の間に電話が開通する。	大阪日報
明治11	1878	9	14	『大阪日報』山脇巍、郡長公選論を主張する。	大阪日報
明治11	1878	9	15	和泉町二丁目培根学舎、夜学を開く。	大阪日報
明治11	1878	9	16	各区長より各戸長に通達し、秋季皇霊祭当日に国旗ならびに、日章提灯を掲げさせる。	大阪日報
明治11	1878	9	16	天満天神の正遷宮がはじまる。	大阪日報
明治11	1878	9	16	大阪商法会議所、臨時第一次会を開き、起業公債応募後の年末不融通に対処せんための方法 確立の必要性を確認する。	五代友厚伝記資料・大阪商業史資料・大阪日報
明治11	1878	9	17	道頓堀坂栄座火を失し、延焼十戸。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	9	19	大阪府、酒価平均区域を改正する。	大阪府布令集・大阪府史料
明治11	1878	9	19	大阪府、外国人遊歩規定内においては旅館営業者以外の者でも外国人を止宿させることを認 める。	布告及布達
明治11	1878	9	19	文部省、亨国人ジ・ヘスヘルトに代り、英人ジ・ゼ・ペンニーを大阪英語学校訓導として傭 入れることを届け出る。	公文録
明治11	1878	9	20	大阪府、施療券を発行し、会議所にて貧窮者の疾病に罹った者に与え大阪病院および各郡区 施療医を定めて薬価・診察料を求めずに施療させる。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	9	21	大阪府、金録公債証書の買入・質入・売買の許可あったのを機に姦商等の教唆に乗せられぬ よう注意すべきを諭達する。	布告及布達・大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	9	21	大阪府、稗島村で牛疫の発生があったことを知らせ、注意を喚起する。	布告及布達
明治11	1878	9	21	大阪府、三井物産会社に西道頓堀一丁目に紅茶製造所を開設させ、主として無産士族の中から伝習志願の者を募る。	布告及布達・大阪新聞・大阪日報・東京さきがけ
明治11	1878	9	21	内務省東成郡阿部野村に有志寄付金による北畠顕家の社殿創建を許可し、墳墓修理を定める。	法規分類大全・大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	9	22	この日より翌二十三日まで博交社の射的会が大阪城南陸軍射的場で行なわれる。	大阪日報
明治11	1878	9	24	大阪府知事、上京の途につく。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	9	26	大阪府、官地貸渡及び返地取扱手続を定める。	布告及布達・大阪府史料・白山家文書
明治11	1878	9	26	大阪府、医術開業試験を十月十五日より開始することを布達する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	9	27	回天社の中井木菟麻呂、『回天新報』を発刊する。	大阪新聞・大阪日報・公文録・朝日新聞
明治11	1878	9	28	この日及び十月五日、大阪商法会議所、諸商業仲間の成則を設けることについて討議する。	五代友厚伝記資料・大阪日報
明治11	1878	9	28	天神橋筋三丁目で出火、七戸焼失する。	大阪日報
明治11	1878	9	28	第三大区四小区一等戸長永井某、消防人足の無法ぶりを規制するよう上申する。	大阪日報
明治11	1878	9	30	大阪府第五課、教育会議に教則議案を示す。	大阪日報・大阪府教育百年史
明治11	1878	9	日欠	中ノ島に新築中の豊公神社に豊臣秀吉の銅像建築に着手する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	9	日欠	松嶋に第二大区十小区の会議所分置を設置する。	大阪日報
明治11	1878	9	日欠	松嶋廓の娼妓たち、梅毒検査逃亡を手段として身の自由を求め、抱主を困惑させる。	大阪日報
明治11	1878	9	日欠	森口村二番組の住民、杉山馬場射的場の被害対策を嘆願する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	9	月中	演説会に関する新聞記事	
明治11	1878	9	月中	知新館の大阪演説会	大阪日報
明治11	1878	9	月中	阿弥陀ヶ池和光寺での大阪演説会	大阪日報
明治11	1878	9	月中	知新館での臨時演説会	大阪日報
明治11	1878	9	月中	和光寺で大阪演説会	大阪日報
明治11	1878	9	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治11	1878	9	月中	(1)新聞社員は警察署の受付や玄関辺りでの徘徊を禁止される	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(2)長町の車夫は税金不納の悪癖なし	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(3)大和街道の改修を出願	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(4)鳶田刑場東手卵塔場開墾の出願	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(5)『朝野新聞』の大阪近況報告	朝野新聞
明治11	1878	9	月中	(6)西南の役での献納者に授賞	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(7)第三大区十五小区会議所で寄留届の簡便化	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(8)商船学校設立の計画	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(9)人家軒下にある人力車夫の客持小屋・煉瓦造りの雪隠などを取払うとのうわさ	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	9	月中	(10)千代崎橋東詰に交番所設置	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(11)密売淫は繁盛し、値も騰貴しているとか	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(12)鼬川の新堀替に更に人夫を雇い、工事を急がせるとか	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(13)山本与助の追善会	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(14)清水・愛染・毘沙門三坂のつけかえで往来の便をはかる	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(15)耶蘇教への改宗者日々に多し	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(16)第六大区四・五小区では村端で盗賊防禦の見積番を	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(17)田川謙三製造の洋漆	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(18)大阪府警察の臨時探偵掛は専ら国事犯罪人を探偵	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(19)高津三番町の奥田伊兵衛は奇恃な人なり	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(20)天王寺六時堂で西南戦争死者の追善大法会	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(21)飲水水道創築の願出	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(22)四天王寺で権中教正洞松峯戒を初代住職と定める	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(23)川口居留地居住のワーリン氏は深切な耶蘇教師	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(24)沈没汽船の水夫遺族に周旋人が弔慰金	大阪日報
明治11	1878	9	月中	統計に関する新聞記事	
明治11	1878	9	月中	(1)八月中四川入船及其府税	大阪新聞
明治11	1878	9	月中	(2)府下の人力車数	大阪日報
明治11	1878	9	月中	(3)府下人民所有の船舶	大阪日報
明治11	1878	10	1	大阪博物場、この日より小会を開く。	大阪日報
明治11	1878	10	1	大阪府、酒類醸造並請売営業者に明治11年中の営業税上納期限を示す。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	10	1	この日より第二・第三大区で毎夜火の見番を置く。	大阪日報
明治11	1878	10	2	金沢卯右衛門、江戸堀南通三丁目に第四十二国立銀行を設立する。（頭取田中市兵衛、資本金二十万円、この日開業免状の下附を受け、十八日開業。）	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報・法規分類大全
明治11	1878	10	2	大阪府、女子手芸学校校則を編製する。	大阪日報（布）・大阪日報
明治11	1878	10	3	仮に西横堀四丁目に大阪商業講習所を開業する。	大阪日報
明治11	1878	10	4	大阪府、大阪公立病院での病理学講義開始につき、入学生を募集する。	大阪日報（布）・大阪新聞(布)
明治11	1878	10	4	第二大区、区町総代全員と戸長全員の集会を開き、区役所設置費のうち民費負担分について第二大区積金の内より三千円を支出し、人民の苦情を防がんとする伺を知事に提出する。つづいて、七日第一大区九小区府会議員よりも、この件で府会開会を要求する。	宮本家文書・大阪日報
明治11	1878	10	5	大阪府、教育博物館において中小学教員の便宜をはかるため、館の開閉時間・難字疑義等の問合せについて規則を定める。	大阪府教育百年史
明治11	1878	10	5	大阪上等裁判所判事古莊嘉門、東京へ護送される。	大阪日報
明治11	1878	10	6	岡田半江の追善会が橋本青江女史の主催にて難波鉄眼寺ほかで開かれる。	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	10	7	大阪府、第一番中学校則を各中・小学校に附与する。	大阪新聞（布）
明治11	1878	10	8	大阪府、他府県管下の鑑札を持つ俳優・諸遊芸人も、大阪府で営業を希望するときは、さらに鑑札を与えて納税させる。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	10	8	大阪府書籍館、小学科用書売渡所として第一大区九小区道修町三丁目学区取締山本忠ほか五ヶ所を増加する。	大阪日報（布）
明治11	1878	10	9	長崎でコレラ病流行につき、大阪府、各船改所において入船の乗客検査をはじめる。	布告及布達・大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	10	12	大阪府、悪症伝染病患者運搬後の人力車は消毒法を実施しなければ次の乗車ができないことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	10	12	大阪府、民間所持のアヘン調査を市郡区戸長に命じる。	大阪府布令集・大阪日報
明治11	1878	10	12	緒方維準・緒方拙斎、北浜三丁目に緒方病院を開くとともに、医学会同社を設置し、医学知識の交流・向上をはかる。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	10	15	大阪府、第六大区四小区下新庄村・第八大区五小区片山村・岸部南村で根虫と唱える悪虫発生を知らせ、駆除に力を注ぐべきことを諭達する。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	10	15	大阪府、日本形船の舷灯掲出を正しくさせ、海上衝突予防の徹底を諭達する。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	10	15	大阪府、天満橋を架け換える。象棋島で橋を南北に二分する。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	10	16	大阪府、医師の死亡・廃業・転籍・寄留・帰国等の節、府庁への届出励行を布達する。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	10	18	大阪府知事渡辺昇、東京より帰府する。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	10	20	大江山人、『大阪日報』に吸煙規則制定の提言を行なう。	大阪日報
明治11	1878	10	22	大阪商法会議の地所・建物の位置を高麗橋三丁目に定める。	大阪新聞・大阪日報・朝野新聞・郵便報知・五代友厚伝記資料
明治11	1878	10	23	大阪府、小学試業法を改正する。	大阪日報（布）
明治11	1878	10	23	西横堀清水橋、新築開通する。	大阪新聞
明治11	1878	10	24	愛知県名古屋博覧会で朝陽館に褒賞が授けられる。	五代友厚伝記資料
明治11	1878	10	26	大阪府、従来の相撲頭取・取締を廃し、府の定めた条款に従いさらに頭取を公選させ、その内より取締三名を撰び同業者を監理させる。相撲興行界では翌年一月末まで大いに紛議を重ねるも、結局藤島和一郎・千田川潤右衛門・三保ヶ関喜八郎が取締に選ばれる。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	10	28	杉岡庄兵衛ら発起人となり第五十八国立銀行を北堀江通五丁目に設立、この日開業免状を得る。（頭取杉岡庄兵衛、資本金十二万円、十一月二十八日開業）。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	10	30	第七大区二小区浜口村岩田平七、住吉神社摂社大海神社参詣道を奉納する。	公文録・大阪日報
明治11	1878	10	31	難波新地六番町の煉瓦製造所より出火、延焼なく鎮火する。	大阪日報
明治11	1878	10	31	大阪府、木津川・安治川河口調査のため官員を派遣する。	大阪日報
明治11	1878	10	日欠	大阪府第二課勸業場、天保山沖に海苔の制作試験を行なう。	大阪日報
明治11	1878	10	日欠	大阪府、神崎川分流口附換入費はこれまで水害にかかる村々より償却することで村々の請書を提出させる。	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	10	日欠	長柄村八弘社の火葬場近傍の人家、臭気に困り、同所の移転を府庁に歎願せんとする。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	10	日欠	造幣局、炭酸ソーダ製造所新設につき拡張に動く。	大阪日報・郵便報知・大阪新聞
明治11	1878	10	日欠	この月より十一月にかけ米相場に乱高下あり。	大阪日報
明治11	1878	10	日欠	この月ごろよりキリスト教の布教盛んとなる。大手通に日曜学校、富島町に教会堂、天満橋北詰に教会堂の建設等がすすむ。	大阪日報
明治11	1878	10	日欠	大阪府、東横堀川平野橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	10	月中	郡区改正に関する新聞記事(1)～(6)	大阪日報
明治11	1878	10	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(6)	大阪日報
明治11	1878	10	月中	工業創設に関する新聞記事	
明治11	1878	10	月中	(1)割烹店などから出る臭穢物で肥料製造の願出	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(2)犬・猫・牛などの皮を西洋製法で	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(3)渋谷虎之助が紡績所の設立へ	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(4)ペンキ製造所の支店	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(5)ソップの製造	大阪日報
明治11	1878	10	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治11	1878	10	月中	(1)中の島山崎公園地に温泉場設置の出願	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(2)各大区に勘定取締人設置とか	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(3)川口よりの神戸通い汽船、撤退	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(4)天満橋下から住道まで河蒸汽船就航の計画	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(5)本田・松島に女子手芸学校設立とか	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(6)阿部野街道堀越坂川跡平坦化工事で沿道人民の不平	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(7)奉公人志望者の増加	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(8)株式取引所の繁忙	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(9)弁明社を設立し、法律談論会議を開く	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(10)感心な子供	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(11)無許可の能狂言興行で拘引される	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(12)人力車で臭穢物の運搬、差止めとか	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(13)士族の押売取締を出願したとか	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(14)南地五花街の女子手芸学校生徒、警察費のうちに献金	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(15)密売淫の取締は花街席貸業の者に一任させて欲しいとの願出	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(16)中の島西の端に標尺杭番所	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(17)井上仁三郎の雷温饨店	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(18)荒陵学校の開場	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(19)風雲館で夜学を再開	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	10	月中	(20)就將社で印刷業務の強化	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(21)日本橋通四丁目・五丁目では戸籍の出入、日々に20戸	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(22)懲役場囚人に教師をおき、成果をあげる	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(23)各小区ごとに中学校設置主任者を選挙すべしとの口達	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(24)北野村百武安兵衛、中の島蓬萊社紙漉機械代のことで府知事を訴える	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(25)玉江橋の架けかえ	大阪日報
明治11	1878	10	月中	統計に関する新聞記事	
明治11	1878	10	月中	(1)九月中府下四川入船及び府税表	大阪日報
明治11	1878	10	月中	(2)明治11年度税外収入	大阪日報
明治11	1878	11	2	大阪府、本年九月第二十八号公布酒類税則改正につき、醸造家に心得方を布達する。	大阪府史料・布告及布達
明治11	1878	11	3	天長節につき各所に入出多し。	大阪日報
明治11	1878	11	3	大阪府演説会の会員五名、三田に招かれて演説を行なう。	大阪日報
明治11	1878	11	5	大阪府、拝借浜地のうち橋詰両側の朱線地に限り、明治十三年六月までの家屋取払を命じ、苦情を封じ込め、工事の進捗をはかろうとする。	大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	11	5	『絵入呑宅新聞』廃業する。	大阪日報
明治11	1878	11	7	大阪陸軍臨時病院への寄贈者一七三名に賞詞あり。	大阪新聞
明治11	1878	11	12	大阪府第五課、小学卒業生に卒業牌を付与することを布達する。	大阪府教育百年史・大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	11	13	大阪鎮台、堂島川筋において工兵架橋演習を行なう。	布告及布達
明治11	1878	11	13	座敷咄業（幫間）の者、花線香にての呼び出しを禁止される。	大阪日報
明治11	1878	11	13	大阪府、土佐堀川端建蔵橋を新たに架け、この日竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	11	18	大阪府第五課、手芸生徒で小学校を兼修し、または下等小学教科を修了した者は予科の修習を不要とする。	大阪教育百年史・大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	11	19	堂島区裁判所を大阪裁判所構内に移し中ノ島区裁判所と改称する。（二十五日より事務取扱）。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	11	19	大阪府知事、明治十年度酒類税額に用いる平均相場を定める。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	11	19	大阪府、逃亡失踪者の六ヶ月毎報告の義務を解除する。	布告及布達
明治11	1878	11	21	朝陽館、製藍の値段を引き下げる。	大阪日報・郵便報知新聞
明治11	1878	11	25	岡沢貞一郎、医学専門の『刀圭雑誌』を発刊する。	大阪日報・東京曙
明治11	1878	11	26	安政の地震・津波による死亡者の追繕供養が幸町あたりで行なわれる。	大阪日報
明治11	1878	11	28	大阪府、銅器の有毒物溢出を防ぐため、白目メッキをやめスズのメッキを奨励する。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	11	28	大阪府、梅田停車場構内の人力車で定価超価の料金を請求するものについては、警察へ訴え出るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	11	28	大阪府、鉄道局の免許鑑札をもたない人力車の梅田停車場構内での営業を禁止する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	11	28	大阪府、起業公債証書の割払購入者に出金期日を示すとともに、期限厳守を注意する。	布告及布達・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	11	日欠	『大阪新報』の持主、金田庄次郎に変更する。	大阪日報
明治11	1878	11	日欠	道修町の薬舗仲間、夜間学校の設立を出願する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	11	日欠	第四大区四小区で警察費賦課・小区会計をめぐって紛糾する。	大阪日報
明治11	1878	11	日欠	難波島に船囲場新設の動き。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	11	日欠	水漉器械が流行する。	大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	11	日欠	汽車、乗客の切符改めが始められる。	大阪日報
明治11	1878	11	日欠	道路修繕に用いる焼瓦が払底し、受負業者藤田組では往古よりの焼瓦掘出しに力を注ぐ。	大阪日報
明治11	1878	11	日欠	大阪府、木津川大渉橋を新たに架し、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	11	月中	郡区改正に関する新聞記事(1)～(8)	大阪日報
明治11	1878	11	月中	工業創設に関する新聞記事	
明治11	1878	11	月中	(1)骨炭の製造	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(2)平野郷で紡績機械の取寄	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(3)貝類を焼いて石炭を製造	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(4)活版印刷所成功社の開業	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(5)大野規周が時計の製造	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(6)徳永嘉、戎島で造船所の設置	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(7)秀盛社でるつぼの製造	大阪日報
明治11	1878	11	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治11	1878	11	月中	(1)府庁の国史編輯掛で土地の盛衰調査等に着手とか	大阪新聞
明治11	1878	11	月中	(2)砂糖会社の設立で株復活の目論見	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(3)席貸業・芝居茶屋などで株復活の目論見	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(4)玉造・天王寺・勝間の諸村でお種人参植付の目論見	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(5)渡辺橋より鉄道停車場までの道路を一等道路に昇格	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(6)北尾禹三郎が演説会主催	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(7)神崎川付換後の悪水はけ方悪く、嘆願	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(8)接近郡村の洗湯屋中より株持を願出	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	11	月中	(9)大阪演説会の演説	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(10)『朝野新聞』の大阪通信	朝野新聞
明治11	1878	11	月中	(11)人力車夫の屯集所三百ヶ所設立の出願	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(12)府下九店社で汽船を新築	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(13)知新館の学費改正	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(14)上町森学校で生徒の演説会	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(15)按摩取締会社創立の出願	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	11	月中	(16)井戸掛ポンプの広告	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(17)半季分道路入費収納の件で区民の苦情	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(18)船ごとに大便桶設置の出願	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(19)乗合馬車に等級	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(20)花街の妓夫	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(21)幕府時代以来の探偵木村俊保の辞任	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(22)魚腸・獣骨回収用の桶に密蓋	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(23)流行の火達より出火	大阪日報
明治11	1878	11	月中	統計に関する新聞記事	
明治11	1878	11	月中	(1)席貸業の数	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(2)諸公債証書の持高	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(3)駆梅院で検査の娼妓数	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(4)人力車の数	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(5)遊獵銃所持者と職獵数	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(6)大阪造幣局創業より明治十一年六月までの鑄造高	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(7)遊芸免許人の数	大阪日報
明治11	1878	11	月中	(8)按摩業の数	大阪日報
明治11	1878	12	2	大阪演説会が定例により堀江和光寺にて開かれる。	大阪日報
明治11	1878	12	2	道頓堀坂栄座、焼跡の土地を売却し、京都藤の森神社の教会所を設立する。	大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	12	2	『大阪新報』仮編輯長岡野武平、讒謗律違反により罰金七円を申し付けられる。	大阪日報
明治11	1878	12	4	大阪府、病院ならびに医業の者に梅毒治療の月報提出を命じる。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	12	5	北森町大嶋良輔、府下尿尿取締を命ぜられる。	大阪日報
明治11	1878	12	6	大阪鎮台、正午号砲の時刻誤差を正す。	大阪日報
明治11	1878	12	7	大阪府、絆創膏・密尼膏等の販売も許可制とする。	布告及布達
明治11	1878	12	8	奥野大助ら救貧協力社を設立し、有志の據金を集め貧困者の救助をはかる。	大阪日報・朝野新聞
明治11	1878	12	8	中ノ島三丁目第十七国立銀行で、大阪・京都・堺・兵庫・岡山等近県の銀行集会を開く。	大阪日報
明治11	1878	12	9	『大阪新聞』編輯長宇田川文海、讒謗律違反により罰金五円を申し付けられる。	大阪日報
明治11	1878	12	10	今津千足利右衛門ら、資本金十万円で第百二十六国立銀行を横堀一丁目に設立、この日開業免状を得る。（頭取徳岡利兵衛）	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	12	10	第二大区長高田伝蔵、各区戸長と相談して第二大区中学校本建築および永続法についての見込を定める。	宮本家文書・大阪日報・朝日新聞
明治11	1878	12	10	中原昌発、貧民院を設立し、有志の據金をもって貧民に職業の訓練を行ない、将来の自立をはからんことを願い出る。	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	12	10	松島千代崎橋、渡り初め。	大阪日報
明治11	1878	12	11	北海道開拓使、東京・大阪・函館の開拓使貸付会所を来年一月より廃止することを布達する。	布告及布達
明治11	1878	12	12	大阪府、講学・演説等集会のときは少くとも三日前までに警察へ届け出るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	12	13	五代友厚、藍製造資金拝借金返納再延期を願い出る。	五代友厚伝記資料
明治11	1878	12	15	戸田庄次郎、二千八百石積のスクーネル形帆走船を松嶋一丁目寺嶋において製造する。	大阪日報
明治11	1878	12	15	大阪府、西横堀川筋違橋を架け換え、この日竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	12	16	安治川上一丁目より出火、同二丁目・上福島村に延焼、百八十四戸を焼く。外国人居留地近く、同地消防長バツタケも消火に尽力する。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報・大阪新聞
明治11	1878	12	19	大阪府、官の許可を受けない者の限月売買類似の業態を禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治11	1878	12	19	第二大区、屎尿売却代金を値上げし、さらに今月二十五日までの代金前納を屎尿取締所に約束させる。	大阪日報
明治11	1878	12	20	大阪府、土佐堀川常安橋を架け換え、この日竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治11	1878	12	21	大阪府、生徒進歩の景況を概観するため、府下より生徒を集め師範学校において研究会を開場する。	大阪府教育百年史・大阪新聞
明治11	1878	12	23	本町四丁目大阪丁稚新聞社より『大阪丁稚新聞』が創刊される。（編輯長善積順蔵、印刷長豊田文三郎）	大坂でっち新聞・郵便報知新聞・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	12	23	第一大区二小区谷町二丁目岡村ハナ、神戸港在留ポルトガル人クニヤとの結婚を太政官から承認される。	公文録
明治11	1878	12	25	工部省、心斎橋電信分局を開業する。	法規分類大全・布告及布達・大阪日報
明治11	1878	12	25	大阪府、堂島川田蓑橋を架け換え、この日竣功する。	大阪府歴史・大阪新聞・大阪日報
明治11	1878	12	26	大阪府、拝借浜地に生えている樹木の伐採を禁止し、市街の衛生維持をはかる。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	12	27	高麗橋三丁目に第百三十国立銀行を資本金二十五万円にて設立し、この日開業免状を受ける。（頭取小室佐喜蔵、取締役兼支配人松本重太郎）	大阪附歴史・大阪府史料・大阪日報・朝日新聞
明治11	1878	12	27	府下諸商業のうちにはいをもって銀目取引を行うものあり。この日、大阪府、これに注意を喚起し、禁止を徹底させる。	布告及布達・大阪日報
明治11	1878	12	日欠	『大阪新報』編輯者万代義勝、同社を辞し、岡山へ赴く。	大阪日報
明治11	1878	12	日欠	天王寺村の人民、天王寺警察署分署の同村存続を願って、献金等を行なう。	大阪日報
明治11	1878	12	日欠	市街ならびに接近郡村に郵便箱を増置する。	大阪日報
明治11	1878	12	月中	郡区改正に関する新聞記事(1)～(4)	大阪日報
明治11	1878	12	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治11	1878	12	月中	(1)三橋楼の肉汁（ソップ）広告	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(2)三井糸店の金モール	東京さがけ新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	12	月中	(3)大阪府知事の長町貧民生徒褒賞	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(4)『明林新誌』の発兌	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(5)炭薪の値上り	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(6)日本橋筋に大水道の計画	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(7)真宗式の火葬場を出願	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(8)裁判所に、代書料・弁当料などの定価表貼り出し	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(9)屠牛数の増加	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(10)金禄公債売買の盛行	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(11)北前船河口部に囲い上げの様子	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(12)川幅調査に着手	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(13)起業公債仮証券の内密売買盛行	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(14)高津表門鳥居前通りの改修	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(15)三十石舟の舟子不足	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(16)天王寺蕪・木津村・難波村などの大根に虫の害	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(17)蒸気船の西国への売払い	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(18)朝鮮釜山浦へ出稼の芸娼妓ら七十余名帰阪	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(19)道修町四丁目の耶蘇教会	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(20)漢学病院建設を出願	大阪新聞
明治11	1878	12	月中	(21)商法会議所の沈滞	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(22)半円紙幣の贋造	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(23)警察分署でも他府県出火の報道	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(24)住友氏吹場の拡張	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(25)法律研究会の開設	大阪日報
明治11	1878	12	月中	統計に関する新聞記事	
明治11	1878	12	月中	(1)十月中大阪府下の席貸芸娼妓税	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(2)寄留止宿人の数	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(3)乞食の数	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(4)十一月、府下賊難	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(5)十月中生死送入籍現員表	大阪日報
明治11	1878	12	月中	(6)十月以来府下清酒醸造高	大阪日報
明治11	1878	月日欠		この年、大阪博物場を公立大阪博物場と改称する。	府立大坂博物場沿革誌
明治11	1878	統計		(1)戸数および人口。	大阪府歴史
明治11	1878	統計		(2)在阪外国人戸口。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	統計		(3)徴兵の数。	大阪府歴史・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治11	1878	統計		(4)租税総収入額。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	統計		(5)貿易税額。	大阪府歴史
明治11	1878	統計		(6)府庁ならびに神社経費。	大阪府史料
明治11	1878	統計		(7)警察官署の名称・位置および配置人員。	大阪府警察史・大阪府史料
明治11	1878	統計		(8)明治十一年創設の普通公立小学校及び私立学校。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	統計		(9)大阪府管内小学一覧。	大阪府教育百年史
明治11	1878	統計		(10)公費をもって救助した人員。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	統計		(11)明治十一年中開架電信・電話器。	大阪府史料
明治11	1878	統計		(12)大阪市中国内通運会社出張所・分店・運漕所・取次所・継立所ならびに人馬員数。	大阪府史料
明治11	1878	統計		(13)船舶総数。	大阪府歴史・大阪府史料
明治11	1878	統計		(14)官員履歴・転免。	大阪府史料
明治11	1878	統計		(15)勸商局報告、物価電報表。	東京日日新聞・東京曙新聞・朝野新聞
明治12	1879	1	2	スクーネル形蒸気船第二凌波丸、大阪―広島間に就航する。	大阪日報
明治12	1879	1	4	北堀江三番町に第百二十一国立銀行設立（資本金二十二万円、頭取吉田直代）、この日開業免状を得る。	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	1	4	大阪府、広瀬宰平の主家再興忠節を賞し、賞金を下賜する。	大阪日報
明治12	1879	1	6	大阪府、日本人が版權を所有する図書で外国人の翻刻に係るものは内国人において販売するのを禁止する。	布告及布達
明治12	1879	1	7	大阪府、飲食物の中毒・薬物の誤用等による死亡の際の届出方を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	1	8	大阪堂島米商会所、第五回実際報告を行なう。	大阪日報
明治12	1879	1	9	中ノ島公園地に鎮台の記念碑設置計画が進行中であることが新聞に報ぜられる。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	1	10	大阪府、酒類醸造検査官には印鑑携帯を義務づける。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	1	10	大阪府、市街地区戸長に地租改正に関する民費報告を命じる。（第二大区よりの報告あり）	布告及布達・宮本家文書・大阪日報
明治12	1879	1	12	大阪株式取引所、役員を改選し、頭取中山信彬ほか就任する。	大阪日報
明治12	1879	1	15	高麗橋四丁目に商法会議所新築開場をなし、開館式を挙げる。また、この日定式第九次会を開き、「商法会議所常務の要目」を審議する。（二十九日にも継続）	大阪でっち新聞・大阪商工会議所史・大阪日報・五代友厚伝記史料・朝日新聞
明治12	1879	1	15	大阪府知事、地方税規則公布に伴ない、増税を恐れ止業を願い出る商人等あり、誤解なきよう諭達する。	大阪日報
明治12	1879	1	15	大阪府第一課、豊国社神体に関する投書者「高麗橋筋願心斎」に願書持参登庁を広告する。	大阪新聞
明治12	1879	1	15	大阪演説会員、御影に招かれて演説を行なう。	大阪日報
明治12	1879	1	16	六大区五小区福村で樋口政右衛門持地の流作地をめぐって多数が集合し、不穏な情勢となる。	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	1	18	大江橋南詰大賀幾助、京都三条小橋大津屋吉治郎と共同し、京都加茂川の水で製氷を試み、同盟出資者を募る。	大阪日報
明治12	1879	1	20	大阪府、銅折・鍛冶・湯屋営業規則を市街接続人家稠密の地にも適用することを布達する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	1	21	大阪府、贗悪の薬品販売者を見認したときは速かに通告すべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	1	22	大阪府、降雪の際には速やかに掃き寄せ下水道へ棄てるべきことを再度布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	1	22	大阪府、市街地価の改正整頓に伴ない浜地拝借税の改正を布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	1	23	大阪府、小児が糸巻および土製の「メン」などで諸勝負類似の遊戯をなすことを禁止するよう父兄に諭達する。	布告及布達
明治12	1879	1	24	大阪府、医師出張診療所は、以後出張所取扱の順序・出張診察の時間等を詳記して衛生係に届け出るべきことを定める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	1	25	『朝日新聞』、江戸堀南通一丁目に本社を置き、創刊。この日第一号を発行する。	大阪でっち新聞・朝日新聞・大阪日報・大阪新聞・朝野新聞・朝日新聞販売百年史
明治12	1879	1	27	大阪府、酒類を来客に供する飲食店はすべて酒類請売鑑札の申請を命じる。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	1	27	大阪府、大和万歳の出願に不許可を指令する。	大阪日報
明治12	1879	1	28	大阪府、小学指令教科書・経伺教科書書目を定め、その課程配置の統一をはかる。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	1	28	天王寺村字上寺町筋仲町連光寺門前の道路に大穴が開く。	大阪日報
明治12	1879	1	28	『大阪日報』、大阪の海口疏鑿の急務を説く。	大阪日報
明治12	1879	1	31	大阪府、下等小学校教科階級を改訂する。	朝日新聞・大阪新聞・大阪日報・大阪府教育百年史
明治12	1879	1	31	嶋町二丁目遠藤正重、便運社を開業し、運送業に従事する。	朝日新聞
明治12	1879	1	日欠	ジフテリア病流行の兆あり	大阪日報
明治12	1879	1	日欠	川口電信局で西国方面への通信を開始する。	大阪日報
明治12	1879	1	日欠	『浪花新聞』に再刊の動きあり。	大阪新聞・大阪日報
明治12	1879	1	日欠	味淋製造商、元水の焼酎の税金免除を歎願する。	大阪日報
明治12	1879	1	日欠	杉山射的場の流弾がまた問題となる。	大阪日報
明治12	1879	1	日欠	第二大区一小区で学校合併をめぐる紛争がおきる。	大阪日報
明治12	1879	1	日欠	商船学校建築の計画が決まる。	大阪新聞・朝日新聞
明治12	1879	1	日欠	旧熊本藩公世子細川良之助、大阪において法律私学校設立の計画をたてる。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	1	月中	郡区改正に関する新聞記事(1)・(2)	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	1	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治12	1879	1	月中	(1)ランプの芯の広告	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(2)佐賀県士族成松某、製紙場設置を企てる	大阪新聞
明治12	1879	1	月中	(3)谷町四丁目で牧牛場の計画	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(4)塵紙製造会社設立の出願	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	1	月中	(5)伊藤契信、劇薬を入れても破裂しないガラス壺を発明	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(6)真嶋襄一郎の製紙場、香港に支店	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(7)第三十四国立銀行の第二回実際報告	大阪日報
明治12	1879	1	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治12	1879	1	月中	(1)年頭の風景	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(2)『摂津管内地誌必携』と管内七郡の銅版地図を作成	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(3)今宮戎祭の入出	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(4)平瀬亀之助、参議井上馨の懇望に伝来の角小皿を進上する	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(5)消防方の出初め	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(6)心斎橋南詰の郵便局新築延期	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(7)天王寺村の道路修繕で墓石を処分され、立腹	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(8)改正府会議員の選・被選人を調査する	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(9)旧暦の正月	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(10)天皇・皇后の写真所持を根拠に強請される	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(11)陸軍臨時病院建物の払下げ	朝日新聞
明治12	1879	1	月中	(12)下水道の大浚い	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(13)フランス語学私塾の開業	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(14)天満天神初祭のありさま	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(15)肺病論の議会開催	朝日新聞
明治12	1879	1	月中	(16)種痘担理医の集会	朝日新聞
明治12	1879	1	月中	(17)米人医師アダムスの手伝人長蔵、死後の解剖を承諾する	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(18)交誼社員の臨時演説会	大阪日報
明治12	1879	1	月中	統計に関する記事(1)～(18)	
明治12	1879	1	月中	(1) 四川入船並びに府税	大阪日報・大阪新聞
明治12	1879	1	月中	(2) 大阪府下徴兵免役者	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(3) 明治十一年中大阪府土木営繕入費	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(4) 明治十一年中大阪府下伝染病者	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(5) 明治十一年中中ノ島裁判所民事訴訟件数	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(6) 明治九・十・十一年未決囚出入比較表	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(7) 明治十一年中警察費	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(8) 明治十一年中警察本署取扱電報	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(9) 明治十一年中諸印紙売捌高	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(1 0) 明治十一年中大阪府事務表	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(1 1) 学校教員並びに生徒数	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	1	月中	(1 2) 府下学校・生徒数	大阪新聞
明治12	1879	1	月中	(1 3) 明治十一年府管下租税現収入高	大阪日報
明治12	1879	1	月中	(1 4) 医師の総計	朝日新聞
明治12	1879	1	月中	(1 5) 売薬検査・鑑札下付表	朝日新聞
明治12	1879	1	月中	(1 6) 府下巡查総員数	朝日新聞
明治12	1879	1	月中	(1 7) 市中四大区人民の総計・現員寄留人年分表	朝日新聞
明治12	1879	1	月中	(1 8) 明治十一年一月調市中四大区本籍現員表	大阪日報
明治12	1879	2	1	大阪府、銅吹業も銅折・鍛冶・湯屋三業取締規則の銅折業同様心得るべきことを布達する。 (二月十四日・二月二十四日・三月八日に一部訂正・追加あり)	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	2	3	『大阪新聞』仮編輯長岡野武平・『丁稚新聞』善積順蔵、讒謗律違反でそれぞれ罰金を申し渡される。	朝日新聞
明治12	1879	2	3	大阪商法会議所、『商況新報』発行を出願する。	大阪日報・朝日新聞・大阪新聞
明治12	1879	2	5	大阪商法会議所、油商仲間の規則とともに洋銀騰貴の対策について論議する。(二月十九日にも引続いて論議)	五代友厚伝記資料・朝日新聞・大阪府布令集・大阪日報
明治12	1879	2	6	平野郷第一番小学校内に児伝学校を創設し、丁稚・乳母・児護に至るまでを教育せんとする。	朝日新聞・大阪府史料
明治12	1879	2	6	大阪府警察、シケタイ組を取り締る。(付 難波の福紛伝話・中の芝居の楽屋話)	大阪日報・大阪新聞・朝日新聞
明治12	1879	2	7	大阪府、薬舗主にいっそう勉学し、正則薬舗の免許取得に努力すべきことを諭達する。	布告及布達
明治12	1879	2	7	この日より、松本善三郎、千日前で生人形の展示を行なう。	大阪日報
明治12	1879	2	9	堀尾新三郎等、富島に内国通運会社汽船荷物取扱所を設け、富島商社と名付ける。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	2	10	大阪府、従前の大小区を廃し、さらに四区七郡を制置し、区画・名称を改正する。また、郡区役所の位置を定め、事務は当分の間従前の通りたるべきことを布達する。郡部編入となる天保町・旧渡辺村・玉造村で歎願等あり。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	2	10	二ツ井戸町で出火、被災二十九戸。	大阪日報
明治12	1879	2	10	上新庄村の井上忠兵衛、字甲の田畑地中より銅剣(あるいは銅矛)六本を掘り出す。	大阪日報
明治12	1879	2	11	東成郡北平野町で出火、四十三戸を延焼する。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	2	12	大阪府、郡区長掌管事務ならびに戸長職務概目を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	2	13	大阪府、大小区廃止、四区七郡制置、区画・名称変更にもかかわらず、小学区は変更しないことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	2	14	大阪府、各商人から差し出させる内国各地方との物資流通調べを、毎年七月・一月の二回に変更する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	2	14	南区鰻谷西ノ丁村田善次、郡区の相違点を指摘し、地方税をもって支弁する郡区経済の分離を建言する。	宮本家文書
明治12	1879	2	14	大阪府、堂島川玉江橋を架け換え、この日竣功する。	大阪府歴史・大阪でっち新聞・大阪府史料・大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	2	15	大阪府、郡区設置に伴う事務引継の手續基準を定める。	布告及布達・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	2	15	大阪府、市立売買後の金銭取引において紛議となるのを防ぐため諸商業者にかねて規則を設け定約を立てておくよう諭達する。	大阪でっち新聞・布告及布達
明治12	1879	2	17	大阪府、各郡区選出府会議員の定員を定める。（附 大阪日報社説「明治十二年大坂府会ノ議員ニ予メ忠告ス」）	布告及布達・府会議員名簿・大阪府会史・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	2	17	大阪府、市郡とも区入費は六月まで従前定額の通り課出すべきことを布達する。ただし、日不詳にて別途賦課金五千円の上納をも区長に命じ、不足分に充てんとする。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪新聞・大阪日報
明治12	1879	2	17	大阪裁判所長、大小区廃止に伴ない中ノ島区裁判所・天王寺区裁判所の管轄を変更する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	2	18	大阪府、学校番号を廃止する。あわせて門標の式を定め、その式に則って書き改めさせる。	大阪でっち新聞・大阪府教育百年史・大阪新聞・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	2	18	日本橋筋二丁目以南、戸長瀧川某の尽力で区費にて下水道の設置に着手する。また警察が戸籍調べを開始する。	大阪日報・大阪新聞
明治12	1879	2	19	大阪府、明治九年二月売淫取締罰則に第六条を追加する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	2	20	堺―和歌山間の電線落成し、大阪―和歌山間の電信が可能となる。	法規分類大全
明治12	1879	2	21	大阪府、郡区の町村を分画し、各戸長一名を置く。各所で分画のありように歎願等あり。	朝日新聞・大阪府歴史・布告及布達・大阪府史料・大阪日報・大阪新聞
明治12	1879	2	21	郡区長が任命される。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報・大阪新聞・宮本家文書
明治12	1879	2	21	大阪府、愛媛県での天然痘流行を知らせ、予防注意を喚起する。	布告及布達
明治12	1879	2	21	大阪府第五課、学校へ生徒・父兄を集めて演説・講義等を行なうのは学校掛員に限ることを布達する。	大阪府教育百年史・大阪新聞・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	2	21	大阪府、庁中各課の名称を改め、庶務・勸業・租税・警察・学務・土木・出納の七課とする。	大阪府史料・大阪日報・朝日新聞・大阪新聞・大阪府教育百年史
明治12	1879	2	22	大阪府、郡区の戸長選挙法を制定する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	2	22	大阪府、郡区役所の公印ならびに常用印について定める。	布告及布達
明治12	1879	2	22	大阪府、戸長役場の公印ならびに常用印について定める。	布告及布達
明治12	1879	2	22	森学校で教育講談会が開かれ、多数の市民が参加する。	大阪日報
明治12	1879	2	24	大阪府、府会議員投票事務取扱に関する標準を定める。	布告及布達
明治12	1879	2	24	大阪府、郡区戸長職務上心得を布達する。また郡区長はその管轄内に限り布達・諭達等の発布が認められる。	布告及布達
明治12	1879	2	25	大阪府、西成郡加島村で牛疫発生を布達し、注意を喚起する。	布告及布達
明治12	1879	2	26	大阪府、消防人足の指揮を区長に命じる。	布告及布達・東区役所文書
明治12	1879	2	27	大阪府学務課に学監を置く。	布告及布達(新聞)・大阪府教育百年史

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	2	27	大阪府、明治九年二月および五月制定の学区取締等級及び月給額・学区の受持等を廃止し、学区取締は郡区役所書記の兼務とする。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	2	27	大阪府、郡区役所書記以下の給料及び役所諸費を定める。	布告及布達
明治12	1879	2	27	大阪府、曽根崎川桜橋を架け替え、この日竣工する。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	2	日欠	砲兵支廠で職工を減じる。	朝日新聞
明治12	1879	2	日欠	大阪府、囚徒の増加あり、懲役場の増棟に着手する。また夜学校を設ける。	大阪日報・朝日新聞・公文録
明治12	1879	2	日欠	代言人石橋栄太郎等二十一名、江戸堀上通二丁目にて同業者を集め法律講習会を開く。	大阪日報
明治12	1879	2	日欠	大阪府、道頓堀相合橋から住吉神社表通り人の新道に着手する。（人家の立退きあり）	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	2	日欠	鉄道線路の木橋を鉄橋に架け替えるにつき、西成郡の農民が洪水にならによう嘆願する。	大阪日報
明治12	1879	2	日欠	飯塚平兵衛発起にて人力車夫が申し合わせ保存会社を設立し、権利の保護・悪風の改良をはからんとする。	大阪日報
明治12	1879	2	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(15)	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	2	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治12	1879	2	月中	(1)山内範豊の土州産物会所	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(2)銅版師加東秀山の盛況	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(3)内田しめのペンキ製造	大阪日報
明治12	1879	2	月中	(4)平野郷で水車・馬力による紡績器械の発明	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(5)田中清吉、金米糖の器械を発明する	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(6)進取社製の綿氈注文続々、また戎嶋製糸場の好況	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(7)起業公債証券の流通によって金融の潤沢化	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(8)第三十二国立銀行の第二回半期実際報告	大阪日報
明治12	1879	2	月中	(9)戸田豊吉製の消防ポンプ追々注文	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(10)川村鎌吉、大阪府下に紅茶製造支店の開設をはかる	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(11)大賀幾助のアルコール製造、注文続出	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(12)高田万助の鯨骨の扇骨益々盛昌	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(13)第二十六国立銀行の第二回半季実際報告	大阪日報
明治12	1879	2	月中	(14)紀州の田中長寿、心斎橋筋でフランネルを製織	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(15)当府下より内外各国博覧会へ出品の褒賞者	大阪日報
明治12	1879	2	月中	(16)網島町の摺附木製造所、開業式	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(17)大分県土族の大山某、塩町一丁目で織物等の入札市を計画	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(18)難波新地の煉化石製造場で煉化焼竈の増設	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(19)道普請に煉化石利用で一日七百枚平均を焼上げる	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	市井諸事に関する新聞記事	

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	2	月中	(1)天保山築港、府下有志に再興の企てとか	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(2)中浜村小学校廃止後の状況	大阪日報
明治12	1879	2	月中	(3)難波新地の私道などを拡幅	大阪日報
明治12	1879	2	月中	(4)城内外囲の堀へ清水の注入	大阪日報
明治12	1879	2	月中	(5)堂島小橋字蛸橋西洋形の橋にかけかえ	大阪日報
明治12	1879	2	月中	(6)難波村の北国船囲場堀開き落成	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(7)集成病院で南区の国手集会	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(8)住吉郡浜村の荒地二十八町余新田に開墾目論見中	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(9)洋服仕立の下職・手間賃で集会の由	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(10)旧大会議所を南地芸妓の歌舞練場にすとか	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(11)京橋南詰より西へ大砲の倉庫新築とか	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(12)商法会議所役員の出勤時間を定める	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(13)喜連村小学校開校	大阪日報
明治12	1879	2	月中	(14)立売堀通三丁目の明治義社、言論会を開催する	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	統計に関する新聞記事	
明治12	1879	2	月中	(1)府下一月一日へ越し人民の持高金録公債証書	大阪日報
明治12	1879	2	月中	(2)遊廓の席貸業	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(3)勸業課調、一月中の屠牛	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(4)松島駆煤院入院の娼妓調べ	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(5)府下公私立学校調べ	朝日新聞
明治12	1879	2	月中	(6)府学校教員生徒の全数増減	大阪日報
明治12	1879	2	月中	(7)救助場での玄米付与高	大阪日報
明治12	1879	3	1	新設の郡区役所、それぞれ開庁する。	朝日新聞・大阪日報・朝野新聞
明治12	1879	3	1	大阪府、郡区長に命じて本月十五日までに戸長選挙を実施させる。	布告及布達・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	3	1	大阪府、医務取締を廃止し、医業に関する願伺届等は所管戸長の奥印を受付けて差し出させることとする。	大阪府史料・布告及布達・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	3	1	大阪府、卒業証書用紙は各校の適宜たるべきことを布達する。（さらに押印の寸法も自由とする）	大阪府教育百年史・布告及布達(新聞)
明治12	1879	3	1	中原昌発、上町大阪師範学校内に貧民学校を設立する。	大阪府史料・大阪府教育百年史・大阪新聞・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	3	1	京町堀上通二丁目交誼社より『明林雑誌』が発行される（毎月四回）。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	3	3	大阪府、明治十一年六月制定の死亡並びに流行病取締規則を改定する。	大阪府歴史・大阪日報・朝日新聞・大阪新聞・大阪府史料
明治12	1879	3	5	大阪府、後備軍復習召募その他軍人に関する事件は、以後各郡区役所に於て取り扱わせることとする。	布告及布達
明治12	1879	3	5	大阪府、布告達類揭示場の整理・統合を指示する。	布告及布達・朝日新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	3	5	大阪商法会議所で会議が開かれ、博物場の所有権を大阪商法会議所に移すこと、材木商商則の返上、諸国荷受問屋の件が議題となる。	大阪新聞・大阪日報
明治12	1879	3	7	大阪鎮台、この日より六ヶ月の間、市内外七ヶ所において大哨兵演習を実施する。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	3	8	大阪府、商法会議所に対し諸商業組合仲間申合規則の取調べ掛りを申し付ける。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	3	8	仏国人ベルグリム、大阪市中ガス燈設置の見積書を府庁に差し出す。	朝日新聞
明治12	1879	3	9	南区長、変死人検死後の死体取片付等の処分は以後戸長にて行い、費用は区役所へ請求するよう戸長に心得させる。	朝日新聞
明治12	1879	3	10	活版業関係者約四十人集会し、活版同盟会結成を話し合う。	大阪日報
明治12	1879	3	11	内務省、大阪司薬場教師ドワルスの満期解約に伴ない、大阪司薬場試験条例を改定する。	法規分類大全・公文録
明治12	1879	3	11	大阪府、府会議員被選人選挙人投票用紙ならびに封筒を下付し、本月二十三日までに選挙会を実施するよう布達する。（翌日、議員選挙開札は本月二十八日までと延期される）。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	3	12	大阪府、明治十二年二月制定の郡区長に委任すべき管掌事務条目にこの日より逐次追加を開始する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	3	12	大阪府、各学校のフラフ掲揚義務を免除する。	大阪新聞・朝日新聞・大阪府教育百年史
明治12	1879	3	13	大阪府、市街家屋新築および板囲願のこと外二条目を明記し、来る二十五日より警察署の管轄とする。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	3	13	大阪府、懲役人使役の節の工銭規定を改める	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	3	13	西成郡西・北・南の大道村、神崎川堀割に伴なう悪水流入問題につき知事に面会する。	朝日新聞
明治12	1879	3	14	郡区ともに戸長が任命される。これをもって郡区長・書記・戸長の体制が整う。	朝日新聞・大阪新聞・大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	3	14	大阪府勧業課において勧業に関する事項を編纂し「報告」と名付け、爾後これを各揭示場へ掲示する。	大阪でっち新聞・朝日新聞・大阪新聞
明治12	1879	3	15	大阪府、東・南両区長よりそれぞれ伺いが出されたこともあり、従来の区総代を幾箇町総代と改称する。	朝日新聞
明治12	1879	3	15	この日より百日間大阪博物場大会を開設する。	府立大阪博物場沿革誌・大阪でっち新聞・朝日新聞・大阪新聞・大阪日報・布告及布達
明治12	1879	3	15	九之橋材木商の老村又三郎、伏見までの往復蒸気船安全丸を就航させる。	朝日新聞
明治12	1879	3	15	西区松島の人民、藤田組の道路工事を排し、他の方法の実施を府庁に歎願する。	大阪日報
明治12	1879	3	18	伍長は戸長役場で任命することとなる。	朝日新聞・布告及布達(新聞)
明治12	1879	3	18	大阪府、路傍便所の不潔取締方法の制定を郡区役所に命じる。（四月十五日、南区制定）	大阪日報・朝日新聞・大阪新聞
明治12	1879	3	19	大阪府、学区取締補を置く。	大阪でっち新聞・大阪府教育百年史・大阪日報・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	3	20	東区唐物町二丁目に資本金十万円にて第百四十八国立銀行を設立し（頭取山口吉郎兵衛）、この日開業免状を得る。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	3	20	『朝日新聞』仮編集長村田武良太、ざん謗律違反で罰金を命ぜられる。（二十七日にも別件にて）	朝日新聞
明治12	1879	3	20	大阪府知事、西本願寺掛所に四区区長・惣代等を集め、区画改正の趣意等を説諭する。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	3	22	大阪府、南区内俳優業の者に限り従来通り区長にて取り締るべきことを認める。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	3	24	大阪府、諸印紙罫紙烟草営業その他定規外に係る取扱概略を定める。	布告及布達
明治12	1879	3	24	木津村・難波村の人民多数、鼬川橋梁の自費建築を府庁に願い出る。	大阪日報
明治12	1879	3	25	大阪府、郡区役所金銭出納取扱順序ならびに書式勘定帳雛型を各郡区役所に頒布する。	布告及布達
明治12	1879	3	25	東区旧九小区二十一ヶ町戸長、町会仮法則・議員選挙仮法則を草し、町会開設を府庁に願い出る。	大阪日報
明治12	1879	3	25	川口古川橋畔に耶蘇教会堂が建設される。	大阪日報・大阪新聞・朝日新聞
明治12	1879	3	26	大阪府、郡区改正に伴ない、明治九年十一月大阪府第三百十号達町村総代人選挙法並びに投票規則を改正する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	3	26	古道具商、申し合わせて富貴社を設立し、この日より市内二ヶ所に場所を定め糶売を行なうこととする。	朝日新聞
明治12	1879	3	27	東・南・北区の府会議員選挙投票を開票する。翌日西区及び郡部で開票する。	大阪でっち新聞・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	3	27	大阪府、東区小学校教員酬労金を廃止する。	大阪府教育百年史・布告及布達(新聞)
明治12	1879	3	27	この日より四月二日まで愛国社第二会を大阪江戸堀に開く。	朝日新聞・大阪日報・東京日日新聞・朝日新聞・大阪新聞・新潟新聞・大瀛新報・植木枝盛日記・自由党史（上）
明治12	1879	3	28	御霊筋瓦町呉服商木村金十郎等、豊国神社に石鳥居一基を奉納する。（五月二十三日竣工式）	豊国神社造営ニ関スル内務教部両省伺・朝日新聞
明治12	1879	3	28	西区役所、分画町村を番号で呼称するよう伺い出る。（府は、これを聞き届けず）	朝日新聞
明治12	1879	3	29	大阪府、市郡旧戸長の学区取締兼勤を廃止する。	朝日新聞・布告及布達・大阪新聞・大阪日報
明治12	1879	3	29	西区京町堀通五丁目金蘭社、茂中貞次（あるいは宇田川文海か）の編集で『此花新誌』を発刊する。	東京曙新聞・朝日新聞・大阪日報・大阪新聞
明治12	1879	3	29	大阪府公立病院御雇教師マンスヘルド、条約満期により大阪を離れる。	朝日新聞
明治12	1879	3	30	井上甚太郎・竹内正志・栗原亮一ら、難波学舎を設立し、生徒教育・演説講談・著述翻訳・図書印刷・法律研究の五課の推進をはかる。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	3	31	大阪府、国税および府税の徴収方法を定める、戸長及び所轄郡区役所にそれぞれこれを管理させる。	大阪府史料・布告及布達
明治12	1879	3	31	南区町々総代理、協有金の取扱いについて協議する。	朝日新聞
明治12	1879	3	日欠	大阪府学務課、主として階級試業に関する小学試業法を改正する。	大阪教育百年史・大阪日報
明治12	1879	3	日欠	北区長、旧藩邸に関する区入費借入金返済について府庁に拝借金を申請する。	大阪新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	3	日欠	砲兵史廠の業務繁忙となる。	朝日新聞
明治12	1879	3	日欠	大阪鎮台の仕立物に従事する人々、仕立賃を取極め、さらに相互積金を開始する。	朝日新聞
明治12	1879	3	日欠	大阪府、長堀川經座橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	3	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(15)	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	3	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治12	1879	3	月中	(1)第百二十六国立銀行の移転	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(2)近藤平七の博多織の器械落成願出・盛大に就業計画	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(3)第一国立銀行支店・鳥取へ為替取組を開く	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(4)ねじくぎ見本の製造	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(5)第一銀行前店は石巻と為替取組	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(6)第三十二国立銀行の移転	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(7)一二六銀行に区郡雑税等取扱いを命ず	大阪新聞
明治12	1879	3	月中	(8)第百二十六国立銀行公金の取扱い申付られる	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(9)当鎮台徴兵者入営で小倉服三千余組上納外	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(10)河嶋源兵衛、鹿児島巡查の夏服引請けのこと	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(11)四区及西成郡の役所毎に銀行が諸税金経費金等の為替を下命外	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(12)五代友厚氏天津へ製藍を計画	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(13)鹿児島・町田実清ら府下に造船所設置で尽力中	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(14)第一国立銀行支店鳥取ら為替取組	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(15)靴墨製造所の設立	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(16)造幣局の流酸製造拡張で営繕中	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治12	1879	3	月中	(1)江戸堀で七絃琴の入門者多し	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(2)勝間村の湯屋で集客競争	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(3)住友吉左衛門の本宅が西洋建てで落成	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(4)ハト飼育の流行	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(5)常備巡查の増員	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(6)中の島五丁目に英国人がキリスト教会を開く	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(7)中の島公園地を盛大にする方策を府下豪商と談合	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(8)住吉街道新道に着手	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(9)当地落語家の衣服改良を相談	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(10)なおざりな戸籍登記	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(11)府下の洋物商は神戸貿易商への加入から府下貿易商への加入へ	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(12)造幣局東方の淀川堤に桜の補植	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	3	月中	(13)木津川の船囲場設置で付近住民の不満	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(14)靱南通り柴田甚右衛門の蒸汽船第二淀川丸、今橋―伏見間に就航	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(15)オルゴールに似た鉄金（琴か）の流行	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(16)琉球の紛紜で中之島三丁目の豪商ら一儲を目論見中	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(17)公立病院の表門前で巡查立番	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(18)川口梅本町西の会堂耶蘇信者、今治へ赴き説教する	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(19)医事会同社で開業医の無鑑札を府庁に建白	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(20)南区消防頭取浅野治助の所有する朝日座、移転新築の計画	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	統計に関する新聞記事	
明治12	1879	3	月中	(1)府下地価全国第一位	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(2)勸業課調べ去二月中の屠りし牛の数	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(3)二月中府下四川の入津船数	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(4)当地寄留の外国人数	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(5)府下人民公債証書持高	大阪日報
明治12	1879	3	月中	(6)南区人民現員表	朝日新聞
明治12	1879	3	月中	(7)西区役所・戸数並に人員調	朝日新聞
明治12	1879	4	1	北区常安町八番地（旧広島藩邸）に大阪公立病院新築竣功し、開院式を挙げる。この日より五日間庶民に縦覧を許す。	布告及布達・大阪府立高等医学学校及病院一覧・大阪日報・朝日新聞・大阪でつち新聞
明治12	1879	4	1	大阪府、船車及び諸商業譲受渡等取扱手続を改正する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	4	1	在阪の林包明、『大阪日報』に「聴訟伸権論」を投稿し、立法・行政と並ぶ審理の権の確立を訴える。	大阪日報
明治12	1879	4	4	文部省、大阪英語学校を大阪専門学校と改称し、理学・医学の二科を置く。	朝日新聞・明治史要・大阪日報・東京曙新聞・公文録
明治12	1879	4	5	大阪府、明治十一年度各酒醸造税金の半額納入を命じる。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	4	5	大阪府、大阪公立病院患者心得を増補し、入院及び診察料を改定する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	4	5	『丁稚新聞』、『大阪絵入新聞』と改題する。	朝日新聞
明治12	1879	4	6	在阪の坂本南海男、『大阪日報』に「改権」を投稿する。	大阪日報
明治12	1879	4	7	この日より九日まで臨時府会を開く。議長を選挙し、郡区地方税分離の事等を議す。	布告及布達(新聞)・朝日新聞・大阪日報・大阪新聞
明治12	1879	4	7	大阪府、模範幼稚園を北区常安町府立中学内に開設し、この日入園者を募集する。（五月三日開園）	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・大阪新聞・朝日新聞
明治12	1879	4	9	大阪府、西成郡役所を曾根崎村三三四番地に移す。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	4	9	大阪府、漆器堆黒の技術伝習生を募集する。	布告及布達（新聞）
明治12	1879	4	11	大阪府、郡区長特任外の者であっても戸籍上に関する願伺等はすべて郡区役所を経由して差し出すよう布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	4	11	四天王寺の正遷座供養がはじまる。	大阪日報・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	4	12	大阪府、各役所宿直について定める。	布告及布達
明治12	1879	4	12	中の島豊国神社の砂持がはじまり、大にぎわいとなる。（五月十八日終了）	大阪新聞・大阪日報・朝日新聞・朝野新聞
明治12	1879	4	14	四区各区長の要望により、橋上掃除費は大阪府負担となる。	大阪日報・大阪新聞
明治12	1879	4	15	広演社新聞演説会、百回を祝す。	朝日新聞
明治12	1879	4	17	大阪府、俸給及び戸長以下給料一か年額支弁後の歳余は返納に及ばないことを布達する。	布告及布達
明治12	1879	4	20	大手通二丁目興農社より『興農新誌』（日刊）が発刊される。（八月十八日限り休業）	朝日新聞・大阪新聞・東京曙新聞・大阪日報
明治12	1879	4	21	大阪府、警察署受持区域を改める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	4	21	大阪府、住吉・嶋上・嶋下・豊島・能勢の五郡に限り通常興行物の取扱いを郡長に分任する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	4	22	内務省、大阪府の木津川筋難波村今木新田十万坪に船囲場設置を認可する。	大阪日報・西成郡史・朝日新聞
明治12	1879	4	23	大阪府、戸長の他行暇願は郡区役所において取り扱うべきことを布達する。	布告及布達
明治12	1879	4	25	医事会同社議長緒方惟準等、医師の営業税廃止を府知事に懇願する。	大阪日報
明治12	1879	4	25	大阪府、南区小学校教員酬労金を廃止する。	大阪日報・大阪新聞・朝日新聞・大阪府教育百年史
明治12	1879	4	28	南区島の内三津寺を仮議場として通常府会を開く。（五月一日より西本願寺別院に変更）。議事細則案および歳入出を商議する。（六月十二日閉場）	大阪府会史・布告及布達・大阪府史料・大阪日報・朝日新聞・山本家文書・後藤家文書
明治12	1879	4	29	南区長、所轄の各町惣代人を呼び、旧区入費予備金の管理・利倍の方法を立てるよう申し入れる。	大阪日報・大阪新聞
明治12	1879	1	29	地震あり。	大阪日報
明治12	1879	4	30	大阪府、棄児養育費のうち定規外に関する部分は、関係分画長の協議費負担とする。	朝日新聞
明治12	1879	4	30	大阪府、学区取締補の印章雛形を定める。	布告及布達（新聞）
明治12	1879	4	30	光村弥兵衛・藤田伝三郎・中野悟一・海野胤範、硫酸製造会社設立を申請する。	明治大正大阪市史史料・朝日新聞・大阪新聞・大阪日報
明治12	1879	4	日欠	大賀幾助ほか十一人、一株一円の株金を募り、貧民学校を合併して授産学校の設立を計り、府庁に願い出る。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	4	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(10)	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	4	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治12	1879	4	月中	(1)造幣局少技師の令息、欧州で西洋時計の技術を学び、試作品を宮内省に献納する	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(2)鎮台より大倉組外ヘランドセル五千個発注	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(3)本年天候不順で菜種の大凶作	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(4)藤田伝三郎、小倉地織立の風説	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(5)本町一丁目、山本清三郎製造の洋酒、盛業に向かう	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(6)鎮台の被服類は、入札制になるとか	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(7)今橋五丁目の堀池辰蔵、大幅木綿織の器械を発明	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(8)東区米屋町の橋本奈良蔵、毛羅紗織を発明し、器械組立中	朝日新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	4	月中	(9)柴島村の木綿晒が泉州下田村に押され不景気と	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(10)鎮台の糧食米納入は大賀幾助のほか大倉組・藤田組も加わる	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(11)東京文紙会社支店の開業式	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(12)東京骨肥の出張支局設置で近々上坂とか	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(13)日本鉄を蒸気機で延べ金にする目論見	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(14)旧加賀邸製紅茶の盛況	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(15)吉野山より長堀筋材木問屋へ材木売捌のため商社設立のうごき	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(16)造幣局製硫酸は精良で外国人も陸続注文	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(17)鎮台兵士の夏服仕立御用は大倉組他二名へ	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(18)大倉組で堺巡查の夏服、井上善兵衛で福岡県巡查の夏服受負い	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	交通・運輸に関する新聞記事	
明治12	1879	4	月中	(1)西京四条小橋山崎屋―伏水京橋千房屋―大阪着の川船案内	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(2)梅田停車場への堀割拝借の出願	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(3)梅田停車場東手へ蜷川曾根崎下流樋の口より井路川新設の計画	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(4)八軒屋の浜より桜の宮への通船開始	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(5)長堀問屋橋より南住吉街道の新道着手とか	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(6)梅田停車場前的人力継立所設置で飛久が計画中	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(7)難波の内国通運社の人力車、盛況	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(8)蒸気船乗組人取扱宿不品行の所業で川口波止場に高札	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治12	1879	4	月中	(1)東区各町通りで兵士と巡查の喧嘩	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(2)貫名俊一の京華新誌発行許可	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(3)天保山沖・尻無川などで蛤拾いの流行	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(4)『国史』編輯の完了まぢか	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(5)高田弘治氏、当地に法律私学校設置を計画中	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(6)火変時携帯用の町用掛提灯の文字は「用」	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(7)鎮台将校と府警部、相互敬礼を実施	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(8)天神橋等の納涼出し店・涼按摩の出し店は六月十五日以後許可	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(9)止業届の扱いで南区役所が便宜をはかる	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(10)安井家の稻荷神社に参詣口と本社新建の計画	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(11)西島新田小学開校	大阪新聞
明治12	1879	4	月中	(12)淡路町一丁目の藤沢南岳、塾生百余名を引率し、東涯先生の墓参	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(13)長町子弟の学業に功績ある瀧川弥兵衛氏の考え方	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(14)明治医学校盛況で移転拡張の計画	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	4	月中	(15)新聞競売と路上兄弟のけんか	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(16)西成郡申村で天然痘の流行	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(17)市街浜地朱線地存廃取調官の出張	大阪日報
明治12	1879	4	月中	統計に関する新聞記事	
明治12	1879	4	月中	(1)昨十一年府下生死の高	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(2)四川入船の状況	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(3)府下寄留止宿人数	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(4)南区戸籍人員	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(5)東区戸籍人員	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(6)三月中の警察表	大阪日報
明治12	1879	4	月中	(7)府下貿易商品売買高の統計	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(8)東区諸税金の上り高	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(9)西区役所の改正以来税金納り高	朝日新聞
明治12	1879	4	月中	(10)造幣局製造の日々の銅貨数	朝日新聞
明治12	1879	5	1	川口波止場に私立大阪商船学校が開校。この日開校式を挙げる。知事以下臨場あり。	朝日新聞・大阪商工誌・大阪府史料・大阪日報・大阪新聞
明治12	1879	5	1	博交社、すでに西南役官兵戦死者の記念標建設の募金を始めたところ、この日大阪府、府民に諭達し募金を勧め、また知事より豪商等にこれを勧誘する。	布告及布達・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	5	1	大阪府、旧第三大区栄小学校学区を西成郡に編入する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	5	1	信太山に大阪鎮台大砲射的場増設用地が確保される。	公文録
明治12	1879	5	2	大阪府、コレラ病感染に注意し、摂養につとむべきことを諭達する。また十六日には大分県での感染を報じ、同方面への旅行を自制させる。五月二十一日にもまた諭達あり。	布告及布達・大阪日報
明治12	1879	5	2	大阪府、安堂寺町警察署天王寺分署を天王寺村一〇〇七番地に移す。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	5	2	大阪府、内務省の指示にもとづき、脚気病患者の調査表提出を、公私病院および医業の者に命ずる。	布告及布達
明治12	1879	5	6	大阪府、改めて医務取締を置き、東区医務取締太田豊明外六名をそれぞれ任命する。	大阪府歴史・布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	5	6	大阪府、京都府にならい盲啞学校を開設するので各学区において盲啞生の調査を命じる。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪新聞・大阪日報
明治12	1879	5	6	大阪府、アヘン売買特許人を指定し、その人名を広告する。（二十七日追加）	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治12	1879	5	8	大阪府勧工場、江戸堀三丁目に新設落成する。	大阪府歴史・大阪府史料・朝日新聞・大阪新聞
明治12	1879	5	8	大阪府知事、西成郡役所に出張し、西成郡南浜・三番・北野・光立寺・大仁・上福島・曾根・浦江の各村から出された鉄道線木橋の鉄橋化に伴う水利妨害について説得する。	大阪日報
明治12	1879	5	9	医師山本信卿、東区今橋四丁目に医学講習所を開業する。	大阪府史料・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	5	11	本城梅翁、藤本彦衛とはかり、藤本鉄石ら天誅組関係者の十七回忌を大阪博物館場内に行なう。	大阪日報
明治12	1879	5	12	大阪府、幼稚の保育術を練習させるため模範幼稚園内に幼稚保育見習科を設置する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・大阪新聞
明治12	1879	5	13	大阪府、明治十年地第八十三号布達、刑人処分済の者受取人差出方を廃止する。	布告及布達
明治12	1879	5	14	大阪府、府民に懲役人ならびに懲治監人の者とみだりに言語を通したり、金品のやりとりをせぬよう改めて注意する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	5	14	大阪府、配付の布告用紙を旧型にもどす。	大阪新聞
明治12	1879	5	15	大阪府、諸興行席における来客人の籤取を禁止する。	布告及布達
明治12	1879	5	15	四区の火の見櫓の見張番は夏期に入ったのでこの日より閉鎖する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	5	16	大阪府、上等小学校教則を改定する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治12	1879	5	16	大阪府、府会議場に新聞社員控所（傍聴席）を設置する。	朝日新聞
明治12	1879	5	18	大阪府、東横堀九之助橋を架け換えこの日竣功する。	大阪府歴史・朝日新聞・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	5	19	太政官、東京・大阪各株式取引所および横浜洋銀取引所の金銀貨幣定期売買を禁止する。	公文録
明治12	1879	5	20	大阪府、小学試業法を改正する。	布告及布達（新聞）
明治12	1879	5	21	大阪府警察課の事務章程を定め、行政警察・司法警察・国事警察・雑務の四部とする。	大阪府警察史
明治12	1879	5	21	大阪府、七月以後も卒業証書の下げ渡し継続を通達する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治12	1879	5	23	大阪府、国税金徴収取扱順序を定める。	大阪府歴史・布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	5	23	西川甫、府会議長の辞表を提出するも聞き届けられず。二十四日にはさらに勸業費のあり方について建議を差し出す。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	5	24	医事会同社緒方・山本両氏、府会七号議案病院並びに貧民施療費について大阪府知事に建言を行う。	大阪日報
明治12	1879	5	26	大阪府学務課、『大阪府小学規則』第三号を編輯する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治12	1879	5	27	大阪府、馬場町・京橋前ノ町・大手前ノ町・法円坂町・杉山町の五か町を東区に編入し、次いで三十日、東区学区に編入する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	5	27	大阪府、医業者以外の水蛭吸玉等での治療を禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	5	28	『大阪新報』、休刊するも、五代友厚の経営するところとなり、発行を継続する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	5	29	大阪府、博物場大会を七月二十二日まで延期する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	5	30	大阪府、西洋形商船及び船問屋取締仮規則を定め、取締所を大阪商船学校内に置く。この後この規則に基く問屋盟約のあり方をめぐって汽船問屋内に種々の議論がでる。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	5	30	大阪府、天保小学附属の町は一学区として西成郡に編入する。	朝日新聞
明治12	1879	5	31	大阪府、大蔵省九等属村田美親が酒類受売営業等国税監査のため出張するにつきあらかじめの調査を指示する。	布告及布達

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	5	日欠	この月下旬ごろよりコレラ病患者が発生する。これ以降十二月にかけてコレラ病大流行する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	5	日欠	南区人民よりの華陽中学校設立の申請書受理される。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	5	日欠	杉村正太郎等から出願の堀江米商会所、大阪商法会議所の会議で不可となる。	大阪日報
明治12	1879	5	日欠	阿波座通一丁目外十五町、聯合して補育社を設立し、聯合町内の貧民に施与せんことを計る。	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(30)	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	5	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治12	1879	5	月中	(1)追々魚類などの罐詰ができる	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(2)中の島朝陽館の製藍高	大阪日報
明治12	1879	5	月中	(3)今橋五丁目堀池辰蔵発明の鉄製木綿織器械に注文	大阪日報
明治12	1879	5	月中	(4)砲兵支廠の大砲鑄造所ハンシャロ家根廻りに着手	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(5)米会所の検査	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(6)朝陽館の景況	大阪新聞
明治12	1879	5	月中	(7)谷町三丁目渡辺準蔵製の靴墨が盛大	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(8)中の島製紙所で砂糖を製造	大阪新聞
明治12	1879	5	月中	(9)北区古川町の橘喜三郎の藍製造所の盛況	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(10)府下三商の取締所の移転	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(11)川口居留地の清国人、紅茶製造仕組中	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(12)天満青物市場へ接近村々よりの持込直売で商議	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(13)福水社の盛況	大阪新聞
明治12	1879	5	月中	(14)五代友厚、東京砲兵廠外鉄延板地金請負	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(15)米市場の嚴重取調で不景気	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(16)堂島米商仲買人手帳へ会所の検印を要すること	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(17)大和銀峰山の蒟蒻玉、支那国買入りで当地へ輸出高増大	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(18)大阪兵庫の紅茶製造業不景気	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	交通・運輸に関する新聞記事	
明治12	1879	5	月中	(1)伏見通いの夜行蒸汽船発行願	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(2)通運会社、市中各所に汽車積荷物取扱所を新設	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(3)本田町二丁目より九条村へ道路	大阪日報
明治12	1879	5	月中	(4)北の新地桜橋南詰より南の・までの煉瓦石道路、凸凹で往来困難	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治12	1879	5	月中	(1)大念仏寺と同寺旧会頭取の裁判、上等裁判所で判決	大阪日報
明治12	1879	5	月中	(2)尻無川下流に遊泳場	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	5	月中	(3)日給が請負制となったことに反発した砲兵支廠職人を同廠役人が料理屋で慰撫	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(4)川口居留地で外国人の消防ポンプ演習	大阪日報
明治12	1879	5	月中	(5)木津川から揚った堀尾茂助の定紋付き石を豊国神社に献納で鞆の仲士四百人が出る	大阪日報
明治12	1879	5	月中	(6)府下の開業医、晩成舎と号する医学研究会を設置する	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(7)警察電話機用に外商から六組購入	大阪日報
明治12	1879	5	月中	(8)南地法善寺境内の石像不動明王に人気	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(9)東区一分画、廿一ヶ町聯合、町会仮法則を設ける	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(10)北堀江の昆布商幸治忠兵衛が那蘇に凝固	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(11)市中一般の水道浚を取極める	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(12)鯉座中学校の移転式	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(13)鳶田の解剖所落成	大阪新聞
明治12	1879	5	月中	(14)難波蔵前の地に太宰府神社遙拝所の建設	大阪日報
明治12	1879	5	月中	(15)新聞配達人の急病	大阪日報
明治12	1879	5	月中	(16)当府病院内へ医学専門学校設置の風説	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(17)川口居留地の支那人が堂島仲買人から米を買入れ	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(18)幸町から住吉への新道開削で木津・難波両村の反対歎願書	大阪日報
明治12	1879	5	月中	(19)日本橋四・五丁目と今宮村間に警察分署設立を出願	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(20)南区五花街人民自費のポンプその他付属品運搬用板車ならびに板小車は無税	大阪新聞
明治12	1879	5	月中	(21)『大阪画入新聞』、京都府録事掲載を出願	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(22)東区龍造寺学校の世話掛の生徒差別	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	統計に関する新聞記事	
明治12	1879	5	月中	(1)四区の街燈数	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	5	月中	(2)府下の人力車総計（一日頃と此頃）	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(3)北区勸業調査による曽根崎新地の席貸外府税	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(4)勸業課調べによる府下牧牛数	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(5)当府巡査の定員昨日調べ	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(6)北区役所人民現員表	朝日新聞
明治12	1879	5	月中	(7)島上・東成郡居住の士族数	大阪日報
明治12	1879	6	2	大阪府、大蔵省商務局の指示により生糸・寒天の商況報告を二ヶ月限り各郡区役所において取り纏めることを命じる。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	6	2	大阪府、難波村に避病院を開く。続いて市岡・野田にも設置し、患者の増大および衛生維持に苦心する。また大阪鎮台は別に心眼寺を避病院とする。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	6	4	大阪府、区会規則および町村会規則を制定し各郡区役所に議事開会の準備をさせる。	布告及布達
明治12	1879	6	4	大阪府、国税金のうち主轄の郡区役所へ納入すべき税目を定める。	布告及布達

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	6	4	大阪商業会議所、各区長に議事臨席を乞う議および府下各商業仲間規則の綱領略目を議定する。	五代友厚伝記史料
明治12	1879	6	5	大阪府、コレラ病徐々に広がる気配に対し、予防法心得の励行を布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	5	大阪府、郡区役所より諸裁判所及び他府県郡区長への文書往復は府庁を経由せずともよいこととする。	布告及布達
明治12	1879	6	5	北浜の豪商磯野小右衛門、商法取引上の事件で裁判所に拘留される。	朝日新聞
明治12	1879	6	5	この頃よりコレラ病予防薬として石炭酸および希硫酸の需要が急増する。各区長・戸長・警察あるいは病院・篤志家など、その供給に努力する。	朝日新聞
明治12	1879	6	6	各戸長・総代人、府庁に会し市街地価等級と地価を定める。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	6	7	緒方洪庵の十七回忌が開かれる。	大阪日報
明治12	1879	6	11	南区人民多数、府会決議により戸数割に反対し、府庁に請願書を提出する。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	6	11	大阪商法会議所、週刊の『商況新報』を発兌し、つづいて翌日より日刊の『商況調査日報』を発兌する。	朝日新聞・東京日日新聞
明治12	1879	6	12	通常府会閉場式を挙げる。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	6	12	大和良民、立売堀橋庸定の播州舞妓浜海水浴場設置にちなみ、海水浴効能書の写しを新聞に投書する。	大阪日報
明治12	1879	6	13	大阪府、コレラ病予防法実施により難渋となる者には救助米を下付するので、予防法の徹底方を更に布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	14	難波村小野弥左右衛門および津守新田江上田米助の私費による鼬川堀割が竣工し、開川式を行なう。	朝日新聞
明治12	1879	6	14	野田吉兵衛・片山重明ら、高麗橋五丁目に洋々懇親会と称するクラブをつくる。	大阪日報
明治12	1879	6	15	朝日新聞社、京町堀通一丁目に移転する。	朝日新聞
明治12	1879	6	15	この頃よりコレラ病防止・退散のまじない・祈祷が各所で展開する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	6	16	大蔵省関税局、大阪商法会議所に海関税則改正に関し諮問する。	五代友厚伝記史料
明治12	1879	6	16	大阪府、市街ならびに接近郡村の道路・川縁に閑接する建家の修繕出願は、以後府庁へ直接差し出させることとする。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	17	大阪府、飲料水は天満橋上流及び試験済良井の井水を使用し、市中支流の川水使用を禁止する。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	6	17	大阪府、氷雪卸小売商は郡区役所において取扱うべきこととする。	布告及布達
明治12	1879	6	17	大阪府、コレラ予防水薬を一般に施与し、また薬剤を下附して末町並びに小路裏店の便所溝梁等封臭予防を行わせる。	布告及布達
明治12	1879	6	18	大阪府、コレラ病流行につき諸見世物等集会の場所は状況により、警察署から差止める可能性のあることを布達する。	布告及布達・大阪府史料・大阪新聞・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	6	18	大阪府、コレラ病予防には薬剤のみならず、日常の清潔・健康保持に注意すべきことを諭達する。	布告及布達
明治12	1879	6	18	大阪府、各学校に学校近傍にコレラ病蔓延の徴候があれば休業すべきを通達する。	大阪日報・朝日新聞・大阪新聞
明治12	1879	6	19	大阪府、医師と謀ってコレラ病を偽り届出を行わない者に警告する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	20	大阪府、コレラ病予防薬（希硫酸）の服用忌避を批判し、用法を守って使用すべきを諭達する。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	6	21	大阪府、コレラ病流行につき条件つきで臨時に石炭酸・硫酸の販売を認め、発売希望者を募る。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	21	大阪府、コレラ病の治療を断る医師は警察へ訴え出るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	21	大阪府、コレラ病流行につき、懲役人等への差し入れを差し止める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	21	大阪府、コレラ病対応として市街ならびに接近郡村の戸長役場に医員を配置する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	21	陸軍省、流れ弾被害防止のため森村字杉山において大阪鎮台歩兵射的場近接の民有地を買収する。	公文録・大阪日報
明治12	1879	6	23	大阪府、コレラ病流行による火葬増加に対する近傍住民の苦情に対し、火葬場の区域分けを指示する。	布告及布達
明治12	1879	6	24	大阪府、通常府会決議に係る明治十二年度地方税および地方税をもって支弁する経費予算を認可し、あわせて地方税徴収期限ならびに営業税雑種税を賦課すべき営業取締規則を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	24	大阪府、西成郡福村で牛痘発症を告げ、注意を喚起する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	24	大阪博物場、コレラ病蔓延につき、この日閉場する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治12	1879	6	24	大阪府、長堀川炭屋橋を新築し、この日落成。	大阪日報・大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	6	25	大阪府、府会決議により従来の府税及び区費その他警察署並びに道路修繕補助金はこの月三十日限り廃止する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	6	25	大阪府、コレラ病祈祷として金鼓を鳴し、地車を引出すなど雑沓させることを禁止する。	布告及布達
明治12	1879	6	25	大阪府、各郡区役所の明治十二年度経費予算を確定する。	布告及布達
明治12	1879	6	26	大阪府、人力車に石炭酸を備え置き、乗客乗替の都度撤布することを命じる。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	26	北区で区会議員の選挙会を開く。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	6	26	大阪府、漆器堆黒製造伝習の広告を廃止する。	大阪新聞・朝日新聞
明治12	1879	6	27	大阪府、今後は何病であっても死去の節は最寄警察署へ届け出るべきを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	27	大阪府、蓄犬税を今月三十日限り廃止する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	6	28	臨時府会を開き流行伝染病予防費の支弁を議し即日閉会する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	6	29	大阪府、市街ならびに接近郡村戸長役場への医員巡遣をやめ、警察ならびに分署を医員出張所と定める。	布告及布達・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	6	29	砲兵支廠、職工全部をいったん免職とし、来月一日より人選をもってあらためて採用することとする。	朝日新聞
明治12	1879	6	30	大阪府、臨時府会決議に係るコレラ病予防費二万〇七〇一円の支弁を認可する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	30	大阪府、薬舗並びに薬種商規則を制定する。	大阪府歴史・布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	6	30	米国前大統領グラント、長崎より神戸に着港するが、コレラ病流行のため、そのまま汽船にて東京へ向かう。（大阪には立寄らず）	法規分類大全・五代友厚伝記資料・東京曙新聞・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	6	日欠	大阪府、幸町井路筋幸栄橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	6	日欠	春元重助、初めて石鹼製造所を土佐堀三丁目に設ける。	大阪府工業概観
明治12	1879	6	日欠	天候不順で菜種・麦・綿作の成育に被害	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	コレラ病流行に関する雑件新聞記事(1)～(11)	朝日新聞・大阪日報・大阪新聞
明治12	1879	6	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(7)	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	6	月中	産業・金融に関する新聞記事	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(1)備後町吉川直七の豆ランプ	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(2)土州紙製造商会設立出願	大阪新聞
明治12	1879	6	月中	(3)活版所共営社の開業式	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(4)西区古川町の橘喜三郎、製藍を支那へ輸出願出	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(5)中尾某のガラス製造所、建築に着手	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(6)福泉社の木綿糸績器械の広告	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(7)堺紡績所の機械を修繕	大阪日報
明治12	1879	6	月中	(8)紅茶製造所の休場	大阪日報
明治12	1879	6	月中	(9)梅本町の松居千太郎、懲役人雇用の紙漉場を計画	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(10)藤田組瓦製造所の拡張	大阪新聞、朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(11)神戸在留の支那人が富嶋町に紅茶製造所を開く	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(12)神戸在留英国人と計り、川口に蒸汽船外諸器械の製作場設置を協議	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(13)住友吉左衛門の釜山売薬店繁昌	有喜世新聞・朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(14)宇和島集産局を当地に計画中	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	交通・運輸に関する新聞記事	
明治12	1879	6	月中	(1)難波新地の通運会社・人力車店長の説諭で悪弊なし	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(2)列車貨車賃の値下げで三十石船の苦境	郵便報知新聞
明治12	1879	6	月中	(3)平野街道落成で馬車・人力車自在	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(4)阪神・九州間就航の汽船テーブル号の開業式	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(5)九州通いの和船料金値下げ	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(6)波多野定助、天満橋上手―寝屋川筋住道までに汽船の便を目論む	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	市井諸事に関する新聞記事	

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	6	月中	(1)居留地英四番館で女教師オクスラド、女学校を開設	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(2)府庁の屋根に風見の器械を取付	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(3)浪花病院の開院	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(4)中船場中学校で語学科を増設	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(5)吹矢業止業届で府庁と区役所のたらいまわし	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(6)鳶田旧墓地開拓し田地へ	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(7)公立病院の教授法教則改正	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(8)難波村太宰府遥拝所の催物	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(9)高橋医師の斜見治療	大阪日報
明治12	1879	6	月中	(10)連雨で澱川筋一時満水	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(11)内本町の桜井治助より『新事採録』発兌の出願	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(12)南区久左衛門町の浮世画師稲葉安治郎（芦国）の人となり	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(13)尻無川沖に遊泳場開設の計画	大阪日報
明治12	1879	6	月中	(14)府下の書籍商が商業改良で集会	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(15)大工町安田友吉が渡橋ならびに仮橋の架渡しを悉皆引受け	大阪日報
明治12	1879	6	月中	(16)田蓑橋詰に堂嶋・中の島各小学校の聯合遊泳場	大阪日報
明治12	1879	6	月中	(17)新町に駆梅院出張所を設く	大阪新聞
明治12	1879	6	月中	(18)北畠顕家卿の碑文	大阪日報
明治12	1879	6	月中	(19)府下川蒸汽船の不法投棄物で取締方が出願	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(20)長町の話(1)～(4)	大阪日報
明治12	1879	6	月中	(21)千日前で納涼園の開業	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(22)警察本署に電話機	大阪日報
明治12	1879	6	月中	(23)牛肉屋の牝牛で近辺の苦情	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	統計に関する新聞記事	
明治12	1879	6	月中	(1)府下の席貸業・娼婦・芸妓数	朝日新聞
明治12	1879	6	月中	(2)府下人民の金録公債証書等の持高	大阪日報
明治12	1879	6	月中	(3)南区人民現員表	朝日新聞
明治12	1879	7	1	大蔵省、収税委員出張所を中ノ島四丁目に設置する。（七月十七日、大蔵省為替方と改称）	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	1	大阪府、芸妓営業許否並びに鑑札のことを郡区長に分任する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	1	大阪府、コレラ病予防のため、夜店・神社祭礼その他路傍の群集等を差し止める。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪新聞
明治12	1879	7	1	駆梅院長松山義光、流行病にて死去する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	7	3	東成郡内代村へ近傍九か村の検疫出張を置く。	朝日新聞
明治12	1879	7	3	西区で区会議員の選挙会を開く。	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	7	4	大阪府、東京大学医学部通学生の教則にならい公立病院に医学生養成の志願者百名を募集する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治12	1879	7	5	大阪府、コレラ病患者の吐瀉物を河川に投棄あるいは染滌などしている者を速やかに内訴すれば褒美を出すことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	5	大阪府、コレラ病流行のため休学した小学校において、かえって生徒の不品行あることを指摘し、注意を求める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	6	南区大宝寺町新中之町より出火。	大阪日報
明治12	1879	7	7	医師梅田雪外数名、北御堂に私立東浪華病院を設け、この日より診察・調剤を始める。	朝日新聞・本願寺津村別院記録抜萃・大阪新聞・大阪日報
明治12	1879	7	7	大阪府、モモ・スモモ・アンズ・ウメ・ヤマモモ・リンゴその他不熟の果物の売買を禁止する。（桃山の農民などの嘆願もあり、十二日さらに成熟のものに限り市場を通じての売買を許す。）	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	7	7	大阪府、各郡区長へ分任の事件に関するものの部内への布達は、以後権限なきものと心得るよう布達する。	朝日新聞・大阪新聞・大阪日報
明治12	1879	7	8	南区で区会議員の選挙会を開く。開札に際し、市川右団次・中村嘉七両名を推薦する札が問題となる。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	7	8	大阪府、鰯・蛸等ほか数品の不消化物販売を禁止する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	7	9	大阪府、コレラ病勢のやや減退を示しはじめたことを指摘し、油断なく撲滅させるべきこと、予防法の厳重な実施を布達する。（七月十六日さらに同様の布達あり）。	布告及布達・大阪府史料・五代友厚伝記資料・朝日新聞
明治12	1879	7	9	大阪府学務課、本年より暑中休学十五日間につき、職員には休暇なしを通達する。	朝日新聞・大阪新聞
明治12	1879	7	10	大阪府、諸商業取締のため各商ごとに取締を選挙し、この月三十日を限りその人名を届け出るよう布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	11	大阪府地方税徴収順序を定める。	布告及布達
明治12	1879	7	11	就将社を改め大阪日報社とする。	大阪日報
明治12	1879	7	12	大阪府、コレラ病患者の吐瀉物・尿尿の掃除に差し支えるときは江戸堀南通三丁目尿尿取締所で人夫派遣を行うことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	12	大阪府、市街橋梁の掃除はその橋懸町々に負担させることとし、手当金年額百二十円を与える。	布告及布達（新聞）・大阪日報・大阪新聞
明治12	1879	7	14	大阪府、この年二月太政官第九号布告西洋形商船海員雇入雇止規則にもとづく事務の取扱場所二ヶ所を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	15	大阪府、古川古川橋を架け換え、この日竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	7	17	大阪府、コレラ患家については黄紙剥脱まで、たとえ官からの呼出でも断るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	17	東区横堀二丁目で出火、延焼五十戸。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	7	18	大阪府、碇泊船用に府の目標を付した船を廻し、安全な飲料水を配与する。	布告及布達・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	7	19	大阪府、内務省の命により府社以下並びに寺院明細帳等の調製を指示する。	大阪府歴史・布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	19	大阪府、行商業ならびに芸を売る者へ下付する鑑札を更正する。	布告及布達（新聞）
明治12	1879	7	20	『大阪絵入新聞』編輯井下教一、流行病で死去し、同二十二日中村善兵衛に交代する。	朝日新聞
明治12	1879	7	21	大阪府、旅客の客引をすべて禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	21	大阪府、悪病流行につき、川々船遊び納涼は午後十時までに退散すべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	21	東区で区会議員選挙会が開かれる。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	7	23	大阪府、諸会社及び製造場にて他に引受人なき者など、コレラ病者のうち必ず避病院へ入院させるべき者を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	24	堂島橋、渡始めの式を行なう。	大阪日報
明治12	1879	7	25	大阪府、開業医への鑑札下附を廃止し、仮免状を渡すこととする。	布告及布達・大阪史料
明治12	1879	7	28	大阪府、西長堀・本田ならびに長堀橋警察署管内にコレラ病患者の多いことを指摘し、関係者の注意を喚起する。	布告及布達（新聞）
明治12	1879	7	29	大阪府、果物・魚貝類等の食物販売禁止を解く。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	7	日欠	大阪鎮台兵士その他に脚気病が広がる。	大阪日報・朝日新聞・大阪新聞
明治12	1879	7	日欠	師範学校、東区第四聯区各学校巡回功程記の概略を示す。	大阪府教育百年史
明治12	1879	7	日欠	南区長町の南手ほか三ヶ所に巡查交番所を設置する。	大阪日報
明治12	1879	7	日欠	大阪府、曾根崎川蛭橋を架け換え、この月竣功する。。	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	7	日欠	大阪府、東横堀末吉橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府史料
明治12	1879	7	月中	コレラ病に関する雑件新聞記事(1)～(22)	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	7	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治12	1879	7	月中	(1)造幣局大野規周製造の天覧時計	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(2)神戸居留の中国人宝和号、府下で紅茶買入れ輸出	朝日新聞
明治12	1879	7	月中	(3)大阪金融の不融通	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(4)藤田組雇入のハーイケンヘール、皮革買入れのためシベリア地方へ	朝日新聞
明治12	1879	7	月中	(5)綿布製造所設立のため自力で金策	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(6)東京の秋葉大助および大阪高麗橋西詰飛久、空気入の人力車を発明する	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(7)大阪株式取引所明治十二年上半季実際報告	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(8)大阪堂島米商会所、明治十二年前半季実際報告	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(9)時計用油の発明	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(10)神戸のモウルス氏が川口に転居し巻煙草を製造すると	朝日新聞
明治12	1879	7	月中	(11)今宮村に風車で灌水の仕掛	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(12)第四十二国立銀行第二回半季実際報告	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(13)第百三十国立銀行第一回半季実際報告	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	7	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治12	1879	7	月中	(1)南区の開進舎で『鯰猫珍報』発兌	朝日新聞
明治12	1879	7	月中	(2)警察署の電話機落成	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(3)職務に熱心な南区役所の書記、山本清造と村田善次	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(4)日本橋筋五丁目に長堀警察署の分署を新設	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(5)常安橋より池田街道に合する新道で福島村人家立退	朝日新聞
明治12	1879	7	月中	(6)府下官有地の測量はじまる	朝日新聞
明治12	1879	7	月中	(7)西大道村・神崎川付替で不平集会と	朝日新聞
明治12	1879	7	月中	統計に関する新聞記事	
明治12	1879	7	月中	(1)六月中の四川入船ならびに入津税	朝日新聞
明治12	1879	7	月中	(2)南区六月中人口増減	大阪日報
明治12	1879	7	月中	(3)西区中市街・小便桶数	大阪新聞
明治12	1879	7	月中	(4)西区測量結果	朝日新聞
明治12	1879	7	月中	(5)各警察署巡查現員数	
明治12	1879	8	1	大阪商法会議所、この日より八日まで臨時会を開き、営業税の等級を定める方法および各商仲間取締の設置方法を議し、「各商仲間通営規則およびその取締の事務取扱略則」（九月十七日）および「各商業仲間営業鑑札等級を定むる方法及びその取締事務取扱規則」（九月十九日）実施の認可を府庁に求める。また、議員の外に客員を設ける。	五代友厚伝記資料・大阪日報・朝日新聞・大岡家文書・各商業仲間通常規則並其取締事務取扱略則
明治12	1879	8	2	大阪府、コレラ病勢再燃の状況に警告を発し、あわせて天満橋より下流の川水飲用禁止の徹底をはかる。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	8	2	大阪府、旅籠屋・雇人請宿・席貸三業取締規則を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	8	5	天皇、コレラ病まん延につき勅使米田侍従を大阪鎮台に派遣し、また区長より府下コレラ病の実況を聞き取らせる。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	8	5	大阪府、模範盲啞学校校則を定める。次いで八月九日男女生徒四十名を募集する。	朝日新聞・大阪新聞・大阪府教育百年史・大阪日報
明治12	1879	8	5	大阪府、教員皆勤手当を廃止する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治12	1879	8	6	大阪府、公立小学校の聯区監事を廃止する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治12	1879	8	6	朝日新聞仮編輯長村田武良多、本願寺改革に関する記事で讒謗律違反罰金を申し付けられる。	朝日新聞
明治12	1879	8	6	大阪鎮台、グラント接待用の花火を大川にて打上げ、見物人でにぎわう。	大阪日報
明治12	1879	8	8	大阪府、売薬受売・同行商及び薬種商諸願許否ならびに鑑札下附を郡区役所に分任する。	布告及布達
明治12	1879	8	8	工部省、コレラ病流行に伴なう乗客減のため京阪間の鉄道便数を減らす。	公文録

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	8	9	これより先米価暴騰、一升十二、三銭に上る。市民の困窮甚だしく、暴動に及ぶ形勢も見せる。この日府会議員連署して難波倉廩より米の払下を知事に稟請する。知事これを容れて十一日より実行するも、米価騰貴はおさまらず、翌月まで混乱がつづく。	朝日新聞・大阪日報・五代友厚伝記資料・布告及布達
明治12	1879	8	12	香港知事ヘンネッシー、松方正義大蔵大輔とともに来阪、広岡家別荘にて府知事の饗応を受け、造幣局泉布観に一泊、さらに翌十三日商法会議所を訪問し東洋貿易について演説を行ない、京都に向かう。	朝日新聞・大阪日報・香港太守ヘンネッシー氏へ対シ大阪商法会議所会頭及ヒ副会頭ノ演舌書
明治12	1879	8	12	大阪府、コレラ病流行に伴なう遊戯場ならびに定席等の休業措置を緩和する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	8	13	大阪府学務課、公立小・中学、女子手芸学校新築にそれぞれ五分の一および十分の一の補助金を出すこととする。	布告及布達（新聞）
明治12	1879	8	14	川口電信分局より本田警察署に至る電信架線が竣功する。	大阪府史・大阪府史料
明治12	1879	8	18	中ノ島公園地に浪花温泉が開業される。	朝日新聞
明治12	1879	8	20	西成郡中の医師、この日より毎月二～三回回春病院に集会して医業の練磨を行うこととする。	朝日新聞
明治12	1879	8	20	南区長、衛生上の恐れより、枝川における小児らの遊泳を禁止する。	朝日新聞
明治12	1879	8	21	大阪商法会議所、この日より条約改正の一部について議論をはじめる。	大阪日報・五代友厚伝記資料・朝日新聞
明治12	1879	8	23	大阪府、紙屑拾いと称する者の徘徊場所・時間を規制する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	8	23	大阪府、電機を取扱う遊技において人身に触れるものを禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	8	24	住吉辺の人力車夫・馬丁ら、大和川に鉄橋新設、橋銭徴収の計画に反対し、計画者時松豊助宅へ押しかけんとする。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	8	25	大阪鎮台、兵士のコレラ病全治につき避病院を閉鎖する。	朝日新聞
明治12	1879	8	26	大阪府、西成郡稗島村の例をあげ、コレラ病勢の減退にもかかわらず、決して予防を怠らないよう布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	8	27	大阪府、大阪公立病院の往診料を引下げる。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	8	27	東区南久太郎二丁目杉村正太郎ほか六人、製銅会社設立を目論み、陸軍省の銅板製造器械払下げを願い出る。	五代友厚伝記資料
明治12	1879	8	28	南区長、精霊祭に未熟の果物などを食さないよう輸達する。	朝日新聞
明治12	1879	8	28	北区菅原町小泉彦次郎、市中飲用水道事業の宿志と調査の実績を披瀝し、有志にその採用を諮る文を新聞に寄せる。	朝日新聞
明治12	1879	8	30	大阪商法会議所、従来開港場において府庁が徴収してきた五厘金を以後会議所の所轄とし、同所の費用に当てることを府に申請する。（翌月三日許可あり）	大阪商法会議所議事日誌・五代友厚伝記資料・大阪日報
明治12	1879	8	31	『大阪絵入新聞』、一時廃刊する。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	8	日欠	水口龍之助・若林長栄・木村安兵衛、南久太郎町四丁目に大阪彫刻社を設立する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	8	日欠	大阪府、東横堀瓦屋橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	8	月中	東区区会に関する新聞記事(1)～(5)	朝日新聞・大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	8	月中	西区区会に関する新聞記事(1)～(8)	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	8	月中	南区区会に関する新聞記事(1)～(7)	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	8	月中	北区区会に関する新聞記事(1)～(8)	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	8	月中	コレラ病に関する雑件新聞記事(1)～(10)	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	8	月中	産業に関する新聞記事	
明治12	1879	8	月中	(1)五代氏の製藍に陸続注文	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(2)真島製紙分店で和欧文印刷業開始	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(3)砲兵支廠を鑄造・鍛工・木工・火工の四廠に分け、職員は三百人ずつ配置	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(4)富島町の伊丹貞輔、安治川四丁目に造船所設置計画	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(5)造幣局内に印刷支局設置とか	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(6)今宮村勸農試験場で「メルボルンテーセル」が上出来	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(7)北浜五丁目山片平右衛門製造の香水、コレラ病流行で名声	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(8)朝陽館、本田三丁目に製藍所の増設を計画	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(9)兵庫県魚崎の荒牧孫四郎、本田町に西洋蠟の製造所を計画	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(10)川崎村伊藤契信のガラス鍋	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(11)川口本田町に寒天商社設置の計画	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(12)造幣局硫酸製造所雇入職工、試験中にも日給受取	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(13)但馬国養父村の豪商奥藤氏、府下に生糸会社設置の計画	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(14)堀池辰造発明の紡績器械、埼玉県より照会	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(15)癆疾者を使ってマッチ製造の目論見	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(16)西洋風流パンの広告	大阪日報
明治12	1879	8	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治12	1879	8	月中	(1)東区役所新築の計画	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(2)懲役場と因獄場檻倉の改善	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(3)難波村太宰府天満宮遥拝所の建築で紛議	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(4)警察本署と分署の間に電話機	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(5)愛国社で協議	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(6)大阪新報の新しい主幹	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(7)丸亀屋発起で貧民救育場設置の協議中	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(8)真嶋の紙漉場で働く奇様な女性	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(9)幸町の魚藤発起で富士山の築成	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(10)天神橋中洲の渡舟開く	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(11)松屋町因獄場で二棟増築とか	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(12)懲役場でも二棟の檻倉増築の風説	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	8	月中	(13)貧民学校で志願生募集	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(14)乗合馬車営業に取締規則制定を求める	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(15)石炭の騰貴	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(16)大阪上等裁判所顧問教師アルベルベーネー	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(17)天満天神社内に招魂社を出願	大阪日報
明治12	1879	8	月中	(18)神戸広園社の『浪花新誌』発刊される	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(19)千島・難波・中口・住屋の四新田、地租改正で府庁に歎願	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(20)西区役所増築で土地検査	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(21)徳島の蒸気取扱問屋、本田三番町に支店設置計画	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(22)山脇巍、大阪日報社を退く	大阪日報
明治12	1879	8	月中	統計に関する新聞記事	
明治12	1879	8	月中	(1)七月中府下四川入港状況	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(2)七月中南区人民現員表	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(3)七月中西区人民現員表	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(4)八弘社三火葬場取扱統計	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(5)七月中北区役所より上納税高	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(6)七月中府下梅毒患者数	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(7)南区諸車の員数	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(8)鉄道局の売上高	朝日新聞
明治12	1879	8	月中	(9)七月中府警察費	朝日新聞
明治12	1879	9	1	大阪公立病院内の巡查病院、警察病院として独立する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	9	1	風雲館、北浜三丁目に分塾を設け、女学専門の課を教授する。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	9	1	浪華学舎、北浜四丁目へ移転し、法律・商法の学課を教授する。また竹内正志編撰の『西洋民権家列伝』を出版する。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	9	1	大阪府、木津川船岡場土地買上げにつき今木・上田両新田において苦情あり差支えるところから公用土地買上規則にて買上特許を申請し、認められる。	公文録・大阪日報・朝日新聞・
明治12	1879	9	3	大阪府、町村戸長よりの諸願伺届その他はすべて郡区役所を経由すべきことを通達する。	布告及布達
明治12	1879	9	3	藤井秀広ら、西長堀南通四丁目に博済医院を設立する。	大阪日報・大阪府史料
明治12	1879	9	4	大阪府、淀川筋通船に対し、ケレープ（水刎）に近よらないよう諭達する。	布告及布達
明治12	1879	9	5	大阪府、学監ならびに区郡学校監事・一校監事印章の雛形を定める。	大阪府教育百年史・布告及布達（新聞）
明治12	1879	9	6	大阪府、コレラ病予防につき民間からの献納金品を公表し、その取扱方針を示す。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治12	1879	9	8	大阪府、コレラ病勢減退につき、休業中の各学校を平常に復させる	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治12	1879	9	11	大阪府、医業者の出張所設置に以後鑑札は不要とする。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	9	11	大阪府、各寺院の諸願伺届には各宗取締の奥印を必要とすることを定める。	布告及布達
明治12	1879	9	11	大阪公立病院に教授局を開き、入校生徒の試験も行なわれる。また橘良詮が解剖学を教授する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	9	13	大阪府、食物を除いて囚徒への差入禁止を解く。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	9	13	大阪府、コレラ病退縮につき遊戯場・定席等の興行再開を認める。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	9	15	東京警視局、藤田伝三郎・中野悟一らを贋金容疑で拘引する。真相が明かされず、世評は紛々とする。	大阪日報・朝日新聞・五代友厚伝記資料・東京日日新聞・布告及布達・大阪府史料・井上馨関係文書
明治12	1879	9	16	大阪府、コレラ病の減縮を明らかにし、なおいっそうの予防法厳守を諭達する。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	9	17	大阪府、路傍の雨落溝は悪水の停滞しないように比隣協議を遂げるべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	9	17	大阪府、コレラ病縮減につき説教・講談の禁を解く。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治12	1879	9	17	大阪府、一家を構えず名のみの相続を禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	9	18	大阪府、西成郡内洲先町外一分画を市中接近郡村に組み入れる。	西成郡史
明治12	1879	9	18	大蔵省、大阪府民山本清之助の苧紐附鍵天秤製作の願いを許可する。	法規分類大全
明治12	1879	9	18	明治医校、北区中ノ嶋五丁目に移転する。	大阪日報
明治12	1879	9	19	大蔵省、大阪府民山本清之助の銀坪新製を許可する。	法規分類大全
明治12	1879	9	19	大阪府、郡中に対し、コレラ病再燃の状況を警告し、神仏祭礼、群集雑沓をすべて禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	9	21	長崎県士族伊達守衛、西成郡川崎村字源八船渡場に私費架橋を出願する。大阪府、この日これを不許可とする。	橋梁渡船
明治12	1879	9	22	太政官、東京ならびに大阪株式取引所に金銀貨幣の取引を許可する。	朝日新聞・大阪堂島米商沿革・法規分類大全・東京日日新聞・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	9	24	大阪府、コレラ病やや再燃の兆しあり、予防摂生の徹底方を布達する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治12	1879	9	25	大阪府、大手通警察署外ニ警察署を分署とし、所属を定めるとともに、高麗橋警察署土佐堀分署ほか一分署の所属及び受持区域を改める。	布告及布達・大阪史料
明治12	1879	9	27	大阪府警察本署、藤田伝三郎拘引以来、他府県官吏の名をもって個人の財産改めを強要する者あり。区長に注意を喚起する。	朝日新聞
明治12	1879	9	29	大阪府、東成郡ほか各郡に郡中派出医を配置し、開業医と同様治療に従事させる。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治12	1879	9	30	大阪府、師範学校生徒を三十名募集する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	9	30	大阪府、コレラ病減退につき演劇ならびに角力興行の禁を解き、別に予防法を設けてその厳守を命じる。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	9	30	大阪府、市岡・難波の避病院を引払う	朝日新聞
明治12	1879	9	日欠	兎の飼育が流行する。	朝日新聞
明治12	1879	9	日欠	大阪府、阿波堀岡崎橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	9	日欠	大阪府、堂島川南岸中ノ島一丁目の新道路を開鑿する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	9	月中	四区区会に関する新聞記事(1)～(3)	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	コレラ病に関する雑件新聞記事(1)～(7)	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	9	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治12	1879	9	月中	(1)南久宝寺町、森本為七製造の人力車、売薬売行用として出願中	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(2)造幣局内の印刷支局暫時見合せ	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(3)藤田組の軍靴、輸出増	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(4)朝陽館の上海製藍売捌所	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(5)京阪間の銅鑄金具商の申し合せ	大阪日報
明治12	1879	9	月中	(6)芝川又右衛門外八名、協力商社を創立	大阪日報
明治12	1879	9	月中	(7)畳表問屋が組合設立	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(8)盛産会社の出店広告	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(9)第廿六国立銀行の移転広告	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(10)造幣局硫酸製造へ百六十名雇用	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(11)今橋四丁目塩津氏の玻璃製湯湧	大阪日報
明治12	1879	9	月中	(12)天満此花町二丁目吉田勘三郎、大幅木綿織機械を発明	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(13)砲兵支廠の鑄造炉落成	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(14)宇陀産の製紙商社、安堂寺町に開設	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(15)大阪外近畿各地の各版業同盟会を開催	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治12	1879	9	月中	(1)南地大相撲場の売払いを相談	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(2)福村の百福橋で橋銭が許可される	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(3)靱の百二歳、喜田彦右衛門と知事の仁心	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(4)汽船問屋藤原重助、乗船券を工夫	大阪日報
明治12	1879	9	月中	(5)医事会同社の選挙会	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(6)砲兵支廠職工、従来給料を廃止、上中下の三等で支給	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(7)尻無川と木津川の掘りつなぎを計画	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(8)室扶斯病流行の兆し	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(9)砲兵支廠、人民の依頼も請負う	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(10)相撲頭取時津風の借金と門人らの奔走	大阪日報
明治12	1879	9	月中	(11)茨田新助より「観息新誌」発兌の願出	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(12)安治川二丁目に舟渡を許可	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(13)谷町六丁目万年学校の紛紜	大阪日報
明治12	1879	9	月中	(14)川口波止場より四国九州へ航海の蒸気船の遅速争い	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	9	月中	(15)京橋架替で擬宝珠の保存を歎願	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(16)知事は病をおして出勤	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(17)南区八幡町で弘仁二年銘の角瓦を掘出す	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(18)難波村遊連橋架替の件で歎願書	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(19)在阪記者らの懇親会	大阪日報
明治12	1879	9	月中	(20)大来吟会の再開	大阪日報
明治12	1879	9	月中	統計に関する新聞記事	
明治12	1879	9	月中	(1)府下明治十一年分地租の総計	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(2)西区役所諸願伺届、府税および地方税	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(3)南区役所人民現員表	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(4)西区役所調査現員	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(5)梅田停車場一週間の運輸賃金調査	朝日新聞
明治12	1879	9	月中	(6)明治十二年府下兵籍調査	朝日新聞
明治12	1879	10	1	住友吉左衛門、鰻谷の自邸に洋館を建築し、この日より府知事はじめ賓客・庶民を招待する。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	10	1	大阪府西成郡加島村で牛疫が発生したことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	10	3	大阪府、木津川松島橋を架け換え、この日竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料・朝日新聞
明治12	1879	10	5	大阪商法会議所、大蔵省関税局よりの諮問に対し、海関税改正に関する答申書を提出する。	五代友厚伝記資料・大阪商業史資料・大阪経済史料集成・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	10	6	大阪府、絶家相続についての条件を撤廃する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	10	6	大阪府、郡区役所にコレラ病予防薬等の費用を下げ渡す。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	10	8	米商会所で役員改選し、頭取は磯野小右衛門から芝川又平に交代する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	10	8	朝日新聞社、雑誌『兼葭ぐさ』を創刊し、この日第一号を発行する。	朝日新聞・浪華■談兼葭具佐第一号・大阪日報
明治12	1879	10	9	玉江橋上流で大阪鎮台兵士が架橋訓練を行なう。	朝日新聞
明治12	1879	10	10	陸軍省、陸軍職制制定に伴い、大阪に第二方面砲兵本署及び砲兵工倣を置く。	明治史要・大阪砲兵工倣沿革史・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	10	10	大阪府、コレラ病減退につき、人力車における石炭酸撒布を中止させる。	大阪府史料・布告及布達
明治12	1879	10	10	大蔵省、大阪ほか四ヶ所に租税局出張所を設置し、従来の収税委員出張所の事務を引き継ぐ。	公文録・明治史要・法規分類大全・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	10	10	大阪商船学校で生徒五十人を募集する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	10	10	難波新地の相撲がはじまる。	朝日新聞
明治12	1879	10	11	明治記念標、用地を剣先より五十間ほど東手の川中に定め、標柱を立てる。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	10	12	博交社の射的会が開かれる。	朝日新聞
明治12	1879	10	13	大阪府、明治十年一二月六日田方地租税預り米の制度は今後地租改正に用いた米価より時価が下落したときに限り許可することを布達する。	布告及布達・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	10	14	大阪府、旅行免状を所持する外国人が旅行中疾病その他やむを得ない事故あるときは旅籠渡世以外の者でも宿泊を認める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	10	14	大阪府、三大節には郡区長は各自出頭、戸長は各郡区より一名ずつ総代をもって府庁に参賀させる。	布告及布達
明治12	1879	10	14	大蔵省土山少書記官・副島四等属、火災保険取調のため来阪する。	朝日新聞
明治12	1879	10	14	大阪司薬場を中ノ島一丁目五代友厚所有地に移し、跡を旧大阪英語学校用地と合わせて大阪専門学校用地とする。	公文録
明治12	1879	10	15	天満青物市場問屋、仲間規則を定める。	天満青物市場沿革並管理法
明治12	1879	10	15	野田の避病院を焼き払う。	朝日新聞
明治12	1879	10	16	神崎川分流口掘替残地開拓のため大阪府より官員等が出張する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	10	16	英和学校、米国人教師らを招き西成郡上福島村に開校する。	大阪日報
明治12	1879	10	20	大阪商法会議所、条約改正について建言書を大蔵省に提出する。	朝日新聞・条約改正に関する建議書・大阪日報
明治12	1879	10	20	内務省、幸橋より住吉街道への私設道路開削を許可する。	公文録・朝日新聞
明治12	1879	10	21	大阪府知事渡辺昇、上京する。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	10	23	日本橋外九ヶ町、戸長二名設置不許可後町会不開設であったのを区長の説得により町会を開く。	朝日新聞
明治12	1879	10	24	『大阪日報』、国会設立に関わる千葉県桜井静の呼びかけに対する大阪府会議員高木半の回答を掲載する。（附 桜井静より朝日新聞への呼びかけ状）	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	10	25	大阪府、木津川筋その他諸川等への囲船で錨の代用として土俵を使用するのを禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	10	26	西田・馬場の両名、城外練兵場において撃剣の大試合を催す。このころ以降撃剣が流行する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	10	27	暴風あり。	朝日新聞
明治12	1879	10	28	大阪府、鍼治・灸治・吸蛭・吸玉等のための出張所はたとえ医業の者であっても禁止する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	10	29	『朝日新聞』、この日より三日間「国会ノ今日ニ緊要ナル説」を連載する。	朝日新聞
明治12	1879	10	30	大阪府、警察本署章程・各警察署章程・各警察署長及警部心得等を制定する。	大阪府史料・朝日新聞
明治12	1879	10	30	四天王寺太子堂に菊章の装飾が認められる。	公文録・朝日新聞
明治12	1879	10	30	中尾捨吉・岡軌光ら、土佐堀裏町に民政社を開設し、政談演説と法律編輯の二舎を置く。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	10	31	内務・大蔵両省、両省主催にて明年二月より大阪に開設する綿砂糖共進会規則を定める。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	10	日欠	荷受問屋一番組と昆布仲買商組合との間取引法契約を制定する。	大阪昆布仲買商組合沿革史
明治12	1879	10	日欠	久宝寺町警察分署に警察研究所を設ける。	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	10	日欠	大阪裁判所で清語訳官および英語兼蘭語訳官をそれぞれ一人ずつ雇用する。	大阪日報
明治12	1879	10	日欠	難波村で総代人の選挙をやり直す。	朝日新聞
明治12	1879	10	日欠	大阪府、長堀玉造橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	10	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(4)	大阪日報
明治12	1879	10	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治12	1879	10	月中	(1)阪井五一、蒸汽運転の紡績を工夫	大阪日報
明治12	1879	10	月中	(2)府下市中酒造家で組合規則	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(3)糠仲買商でも規則	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(4)酒類請売鑑札の返納あいつぐ	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(5)西洋人からの受注で旧長町一円の傘職人大繁昌	大阪日報
明治12	1879	10	月中	(6)本田二番町蘭国社の油絞機械場は真島襄一郎が引受ける	大阪日報
明治12	1879	10	月中	(7)品川の手製海苔製造人、来阪し、天保山沖の手製海苔売り捌きを協議	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(8)北海船、大漁で次々と入津	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(9)東成郡南嶋村の村上新助、粉搗機械を新製	大阪日報
明治12	1879	10	月中	(10)小西与三郎、釜山浦へ菜種・酒類の出店	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(11)吉田彦右衛門ら、ビール製造で奔走	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(12)安治川南通の前田某、時辰拭用の油製造	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治12	1879	10	月中	(1)市中郵便函数十本増加で地位取調中	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(2)小学生徒の卒業牌、造幣局で鑄造できあがり	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(3)都々逸新聞の刊行計画	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(4)学監取締篠川利祐、小学校の不振回復策を府庁に建白	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(5)造幣局の用水	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(6)川嶋徳兵衛、箕面で温泉開発	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(7)大阪鎮台各隊、市街及び管内の実測開始	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(8)造幣局の瓦斯燈、分析所と曹達製造所にも増設	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(9)下福島の屠牛場で屠牛時間改正	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(10)水上警察で小蒸気船を買入	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(11)府下諸芸人が千日前で遊芸博協議中	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(12)救助場で窮民の職に木綿を織らす	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(13)難波村の二分画を照会	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(14)小堀口より和州高田村迄人力車の帳場を開く	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(15)キリスト教入信者、市中で三千六百人余とか	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(16)府下室扶斯病チラホラで要心	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	10	月中	(17)大阪画入新聞再刊の示談	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(18)勧業課で四区及び接近郡村の飲用水量を調査	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(19)村田君発明の小銃を数百挺鑄造とか	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(20)免許代言人盟約し、一社を設立して、互いの不品行を防ぐ	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(21)市岡新田・泉岡新田の両堤にハゼの紅葉を見物する人あり	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(22)生国魂門前で競馬再開	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(23)西区役所の両便所は至って不潔	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(24)真田山稲荷の再建	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(25)蒲生村の酒造家秋岡伊兵衛、劔客雇傭などで盗賊防禦	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	統計に関する新聞記事	
明治12	1879	10	月中	(1)西区明治十三年徴兵適齢者	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(2)明治七年より十二年までの屠牛表	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(3)西区での諸願伺届数	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(4)西区・人民現員表	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(5)市中の戸数及び人口	大阪日報
明治12	1879	10	月中	(6)府下の賊難と捕縛統計	
明治12	1879	10	月中	(7)本年の米収納高	朝日新聞
明治12	1879	10	月中	(8)檻倉の囚人数	朝日新聞
明治12	1879	11	1	大阪府勧工場、江戸堀に開場。大阪府、府民に出品を促す。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治12	1879	11	1	大阪府、コレラ病減退につき、神仏祭礼など多人数群集の禁を解く。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治12	1879	11	1	京都・大阪間鉄道便数を回復する。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	11	3	天長節につき、各地で催しあり。	朝日新聞
明治12	1879	11	4	『朝日新聞』・『大阪日報』など、前日に引続いて休刊する。	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	11	5	大阪府、東区法円坂町府立師範学校内に盲啞学校を開業する。緒方一等軍医正と松井軍医、これを機会にここにて盲人の検診を行い、治癒する者の多いことを論じる。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	11	6	この日より十三日まで愛国社第三回大会を西区江戸堀北通三丁目三五番地岡村猪之吉方において開く。大阪民政社の加入希望は許諾されず。	朝日新聞・大阪日報・東京曙新聞・品川弥二郎文書・大木喬任関係文書・団団珍聞
明治12	1879	11	6	大阪府、盗難及び止宿・寄留届等は従来の知事宛から警察署宛に改める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	11	6	西区鞠上通二丁目出火。延焼八四戸に上る。	大阪府歴史・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	11	8	大阪府、書籍館規則を改定する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	11	9	大阪新報社の大垣弥太郎ほか三人、活版職工懇親会を創設する。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	11	10	大阪裁判所、管内支区庁管轄分もあわせ、管轄区域を司法省に報告する。	法規分類大全
明治12	1879	11	14	西区南堀江上通三丁目にて出火。延焼四一戸に上る。	大阪府歴史・大阪府史料・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	11	15	大阪府、乗合馬車取締規則及び人力車曳取締規則を定める。	布告及布達・大阪府史料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	11	15	大阪府、この日より三十日まで公立病院において薬舗試験を行なう。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治12	1879	11	15	御霊神社で正遷宮の式が行なわれる。	朝日新聞
明治12	1879	11	16	高麗橋警察、警察下探偵大沢金蔵および奥田弁次郎を逮捕する。関連して検挙される警察関係者多し。また、これを機に大阪府では警察署の雇探偵をいったん廃止し、改めて巡査の中より探偵係を任命する。	朝日新聞・大阪日報・大阪府史料・東京日日新聞
明治12	1879	11	16	西区両国橋哉屋金吾、「商権拡張論」を『大阪日報』に投書し、数回にわたって問屋・仲買の結合密着の悪事を指摘し、大阪商業の進むべき方向を論じる。	大阪日報
明治12	1879	11	18	中ノ島豊国神社、上棟式を挙げる。（十二月中に落成）	豊国神社造営ニ関スル内務教部両省伺其他ノ件・朝日新聞・大阪日報・大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	11	21	大阪府、コレラ病減退につき懲役人等への差し入れの禁止を解く。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	11	22	ドイツ皇孫、奈良より大阪へ来着、翌二十三日神戸に向かう。	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	11	22	『朝日新聞』、「華族を旧領地に帰らしむべきの説」を掲載する。	朝日新聞
明治12	1879	11	24	大阪府、南区長よりの伺いに対し、仲間組合への信認金出否にかかわらず、取締人は鑑札出願者の等級明証奥印すべきことを指令する。（ただし、南区長はこの伺いを十二月四日いったん取消す。）	大阪日報
明治12	1879	11	25	大阪府、師範学校規則教則を改定する。	朝日新聞・大阪日報・大阪府教育百年史
明治12	1879	11	27	大阪府、教育令の頒布によって学務委員の公選を命じる。	布告及布達
明治12	1879	11	27	大阪市街地の地租改正が認可される。	公文録・地租改正別報第152号・府県地租改正紀要上・朝日新聞
明治12	1879	11	27	大阪府、西成郡福島村より十三を経て池田街道に達する道路拡張工事を掲示する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	11	28	大阪府、諸商業取締人の選挙を督促する。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	11	日欠	質組合、定約を定め、店頭に張出すことを定める。	大阪商業史資料
明治12	1879	11	日欠	西成郡旧渡辺村の皮革業者ら組合規約を設け、総取締以下の役員を置く。	商業資料
明治12	1879	11	日欠	大阪府で地誌編輯に着手する。	朝日新聞
明治12	1879	11	日欠	大阪府、淀川筋国界論判然のため堺県官員と実地調査を行なう。	朝日新聞
明治12	1879	11	日欠	大阪府、西横堀木綿屋橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	11	月中	コレラ病流行に関する雑件新聞記事(1)～(11)	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(4)	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	11	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治12	1879	11	月中	(1)今宮の風車、大鳥郡へも広がる	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(2)晒木綿の売捌好転	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(3)阿波の藍商、北堀江で商社開設か	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(4)砲兵工廠、人民依頼分も製造する	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(5)淡路村辺の綿栽培好成績	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(6)平野郷の金田氏、水車仕掛糸操器械の設置を申請する	朝日新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	11	月中	(7)斃牛取片付会社の出願	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	11	月中	(8)木津村で三尺余のにんじんを栽培	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(9)豪商林為太郎の風帆船、鹿児島ของ砂糖一手引受運遭で船卸し式	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(10)山梨県土族深尾義春、大阪で雪斎織機械を発明	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(11)富山の売薬、西長堀二丁目に支店を開く	
明治12	1879	11	月中	(12)難波御蔵近傍で牛馬市開設の出願	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(13)木綿反物商で仲間規則設置へ	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(14)電信頼信紙発売の出願	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(15)佐々木常三郎の巻多葉粉製造	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(16)勝尾寺村に牧羊場設置で地所検査	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(17)北浜に諸鳥川魚市場設置とか	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(18)滝川町の渋谷氏、白耳義より紡績器械買入で検査	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(19)朝陽館の製藍、越前・越中より買入にくる	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(20)野田村に硫酸製造所を出願	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(21)群馬県土族丹羽氏、西洋蠟燭・石鹼製造所設立で出願	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(22)金沢の商人木村三四郎、北久太郎町に同町の物産会社設立とか	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(23)造幣局で消費する石炭量	大阪日報
明治12	1879	11	月中	(24)東櫓町の大原氏牛肉販売券売捌所建設で願出	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(25)真田織の新機械を発明	大阪日報
明治12	1879	11	月中	(26)夜行灯の工夫	大阪日報
明治12	1879	11	月中	(27)砲兵工廠のハンシャロ近々落成とか	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(28)内久宝寺町の近藤氏牛骨買集め大島砂糖と交換尽力中	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治12	1879	11	月中	(1)八弘社火葬場の新築	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(2)栄小学校の維持策	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(3)西成郡市中接近村々の申し合せで木津村火葬場に新規火葬場設置へ	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(4)大阪専門学校入学志願者のための予備学舎を設立	大阪日報
明治12	1879	11	月中	(5)川口居留の清人、三味線買集め本国へ	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(6)東野田村の天然痘流行藁人形の痘神流しで取調	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(7)玉造村の小学校、荒廃すすむ	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(8)大阪上等裁判所の繁忙	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(9)東京積九店の帆走番船五艘の競争実施	朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	11	月中	(10)真宗大教正、大谷法主来阪	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(11)中の劇場持主と戎座持主との悶着に判決	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	11	月中	(12)大阪クラブの改革	大阪日報
明治12	1879	11	月中	(13)宗禅寺馬場で大練兵	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(14)二等巡査もサーベル携帯	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(15)東京の将棋名人伊藤宗院と大阪の小林東白が手合せ	大阪日報
明治12	1879	11	月中	(16)玉造村の区費精算曖昧で村中不服	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(17)『責善新誌』第一号発兌	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(18)平野町太田豊明氏、医事時習社設立で出願	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(19)談交社社員一千余人の盛況	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(20)住吉郡浜口村新田先き数丁開墾に着手で実施検視	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(21)亥の子の日で某官衛もストーブを入れる	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(22)川口居留地の支那人よりも営業税をとり鑑札下渡とか	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(23)居留地の中央を車道、両側は人民の往来とする	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(24)日本橋分離分画の紛議	大阪日報
明治12	1879	11	月中	(25)博物場出品室四室の普請に着手	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(26)東区各町伍長で消防規則の建議	大阪日報
明治12	1879	11	月中	統計に関する新聞記事	
明治12	1879	11	月中	(1)十一月中駆梅院での検査数等	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(2)府下人民十一月へ越し公債証書持高	大阪日報
明治12	1879	11	月中	(3)西区役所十一月中の人民現員表	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(4)十一月中西区人民の国税・地方税納付高	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(5)九月中府市郡人口戸数表	大阪日報
明治12	1879	11	月中	(6)十月中南区戸数人口	大阪日報
明治12	1879	11	月中	(7)明治十一年度中西区家屋統計	朝日新聞
明治12	1879	11	月中	(8)明治十一年中四区接近郡村の家屋調査	朝日新聞
明治12	1879	12	1	大阪府、市街地価が確定したので明治九年後半季分よりこれに準拠して収税することを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	12	2	各郡区役所において明治十三年度徴兵下調べに着手する。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	12	5	大阪府知事渡辺昇、帰府する。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	12	5	大阪府、知事渡辺昇の進退伺についてのうわさを否定する。	朝日新聞・五代友厚伝記資料
明治12	1879	12	6	大阪府、西横堀川筋際凌のため西区役所に対し水汲棧橋・材木等の取除きを指示する。	朝日新聞
明治12	1879	12	8	大阪府、コレラ病消滅につき予防のための諸布達を取消す。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	12	8	大阪府一等警部大日向清緝、司法卿に対し、東京警視官の他管下での司法警察処分について伺を提出する。	大阪府警察史
明治12	1879	12	9	大阪交誼社、木村恕平の改革も失敗し、解社届を府に提出する。	大阪日報・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	12	10	大阪府、諸商業仲間結合の趣旨を確認し、同業結合したる上は、府下全体の便益に注目し、一般商業の隆盛を図るべきを諭達する。	布告及布達
明治12	1879	12	10	新町女子手芸学校で手芸大試験が行われる。つづいてこの月中、堀江・曾根崎・北新地の各女子手芸学校で大試験を行なう。	朝日新聞
明治12	1879	12	11	大阪府、明治十四年第二回内国勸業博覧会への出品を郡区役所に勤めるとともに、出品者人名ならびに品名の届出を求める。	布告及布達・朝日新聞
明治12	1879	12	11	松島の写真師藤井国蔵が発起となり写真の評論研究会を大阪・京都・兵庫神戸の同業者で開く。	朝日新聞
明治12	1879	12	12	大阪府、営業税は、鑑札無所有のときであっても開業の期より徴収するので心得違なきよう布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	12	12	大阪府学務課、府知事巡視の依怙なきを期すため、各校にこれまでの臨校の多少について報告を求める。	大阪府教育百年史・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	12	12	大阪府、各町村戸長に本年中におけるコレラ病患者の調査を命じ、また続いて郡役所にその状況に関するさらに詳細な報告を求める。	布告及布達
明治12	1879	12	12	川口電信分局より心斎橋電信分局に至る電信架線が竣功する。	大坂府史・大阪府史料
明治12	1879	12	15	太政官、国の出納実況検査の結果判明した大阪府の各種備金と称する公私不分明な仕法金について処分法を定める。	公文録
明治12	1879	12	16	内務省、中ノ島一丁目旧五代友厚邸に大阪司薬場を新築するにつき、その設計・予算等を定める。	公文録
明治12	1879	12	16	『朝日新聞』、大阪においても新聞読売の禁止を主張する。	朝日新聞
明治12	1879	12	17	大阪府、大阪鎮台諸兵が演習のため営所近傍十里内外の地に宿泊の節は食品等悉皆携帯するので軍隊宿泊等申込の節は差し支えなきよう取り扱うべきことを諭達する。	布告及布達・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	12	19	大阪府、本田警察署安治川分署を安治川水上警察署と改称し、水上警察の事務一切を所管させる。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	12	19	大阪府、訓導および訓導補の任期を廃止する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治12	1879	12	20	大阪府、幼年の者の釘投げ遊びの禁止を諭達する。	布告及布達
明治12	1879	12	20	木津川船囲場すでに掘割工事に着手していたところ、オランダ人工師デレーケの申出があり、設計変更される。	大阪日報・公文録・朝日新聞・大阪日報
明治12	1879	12	23	大阪府、勸工場の年末年始閉場を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治12	1879	12	24	大阪府知事渡辺昇、十二月十五日の処分に関わる大阪府勸業仕法金の件で進退伺を差し出す。（翌年二月十六日罰俸一月の処分を受ける。）	公文録
明治12	1879	12	25	大阪府学務課、大阪師範学校予備生入学手続を定める。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治12	1879	12	26	藤田伝三郎・中野梧一ら、無罪放免される。	公文録・朝日新聞・大阪日報・東京日日新聞・東京曙新聞・郵便報知新聞・五代友厚伝記資料

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	12	日欠	大阪府下の各銀行、申し合せて北浜五丁目に手形交換所を新設する。（開業式は明治十三年三月十日）	東京日日新聞・大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	12	日欠	大阪府、道頓堀相合橋を架け換え、この月竣功する。	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	12	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(3)	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	コレラ病流行に関する新聞記事(1)～(6)	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治12	1879	12	月中	(1)米会所の規則矯正	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(2)上州高崎の生糸商人、川口に支店を設置	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(3)川魚会社新設の願い出	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(4)砲兵工廠徳島新町橋鉄橋鑄造の出来ばえ	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(5)阿波の旧藩邸に砲兵工廠の工作諸製造所設置	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(6)安堂寺町の長尾種治郎、緋の毛布を製造	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(7)藻草寒天問屋仲買人、仲間規則を新設	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(8)横浜の商人が当地に護謨製造所開設で地位調べ	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(9)高麗橋二丁目織物会社の開業式	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(10)名産天王寺蕪■、西洋人・支那人への売捌で騰貴	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(11)北海道豊漁で鯨などの回漕多し	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(12)造幣局硫酸製造一昼夜に平均千磅	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(13)米価の弱含み	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(14)淡路の総糸が廻らず河内辺の織屋は困却	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(15)湯屋業者、年行司を設け取締り	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(16)常平局出張所難波米庫内に蒸気精米所設置とか	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(17)酒樽の呑口製造仲間取締規則	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(18)造幣局製硫酸、朝鮮へ大量輸送	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(19)大宝寺の高田万助製扇子、フースタリヤへ	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(20)砲兵工廠の銅の地板は吉野より	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(21)西長堀の三谷新左衛門、鉄製綿操器械を据附け	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(22)磯野小右衛門、油商会所開設を願出	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(23)砲兵工廠に中次会社設立し一般注文引受	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治12	1879	12	月中	(1)平野大念仏寺住職秦慈嶺の事績	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(2)牛馬病院開設の願出	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(3)南区協議費賦課で借家人不服	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(4)地方税賦課で出納課繁劇、超勤に弁当料	朝日新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	12	月中	(5)貧士族風者の押売	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(6)地所家屋売買買入の手数料で協議費来年廃止を建議するとか	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(7)摂海社出板の『南の海自由旗揚』第一号	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(8)『興農社或問』発兌	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(9)京都商報会社の『商事迅報』、大阪に仮支局設置	
明治12	1879	12	月中	(10)大阪に独立仏心と称する新教派出現	東京日日新聞
明治12	1879	12	月中	(11)西成郡小嶋古堤新田で学校新築につき上申書	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(12)府庁の出入の制限	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(13)難波新地相撲場跡へ腮無地蔵の堂舎引移しに着手（誤報訂正あり）	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(14)玄米価格上騰で農家の大景気	大阪日報
明治12	1879	12	月中	(15)川口天主堂での養育嬰兒一五〇余名	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(16)西区搗米商で鑑札下渡	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(17)北久宝寺町の三木美記、『国家破裂論』発兌を出願	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(18)府下写真業数百名、集会して価格を一定する	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(19)絹笠町に皇漢医学講究所設立を出願	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(20)『浪華新設』の発行、不許可	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(21)戎座興行の忠臣蔵で芸道の大試験	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(22)府立中学校で大試験	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(23)砲兵第二工廠新製の大砲、信田山で実地射的試験	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(24)元浪華隊の馬■我道ら百余名、竹島開拓に渡航とか	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(25)大寺某、木津川末流より安治川への堀割開設を出願中とか	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(26)市街通筋へ瓦斯燈設置の目論見	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(27)北堀江西長堀二十五聯町の臨時会	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(28)玉造村元戸長外遺込の紛議で出訴とか	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(29)耶蘇誕生日、居留地の行事	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(30)西区の大青楼高嶋屋、西洋へ移築とか	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(31)大阪府師範学校卒業日に電気灯試用とか	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(32)今福村で真宗東派の説教場新築が不許可	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(33)西成郡三大道村、安治川と神崎川との水害堤防設立で出訴	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(34)大阪クラブの規則改正	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(35)寄留御旅宿の広告	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	統計に関する新聞記事	
明治12	1879	12	月中	(1)西区人員現表	大阪日報
明治12	1879	12	月中	(2)上等裁判所の訴訟件数	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治12	1879	12	月中	(3)南区役所地租収入	大阪日報
明治12	1879	12	月中	(4)南区役所より上納国税地方税及び席貸芸娼妓の税；七日より昨日迄	朝日新聞
明治12	1879	12	月中	(5)中之島区裁判所・天王寺区裁判所の訴訟件数	大阪日報・朝日新聞
明治12	1879	統計		(1)大阪府の戸数及び人口	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	統計		(2)外国取引商人の数	商法会議所ニ関スル内務大蔵両省上申及商務届並該所往復之件
明治12	1879	統計		(3)徴兵の数	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	統計		(4)租税収入額	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	統計		(5)貿易税額	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	統計		(6)府庁経費	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	統計		(7)警察官署の名称・位置・配置人員および警察署経費	大阪府史料
明治12	1879	統計		(8)明治十二年開校の公立中学校及小学校	大阪府歴史・大阪府史料・朝日新聞
明治12	1879	統計		(9)明治十二年開校の私立学校	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	統計		(10)公費で救助した人員	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	統計		(11)大阪市中内国通運会社出張所・分店・運曹所・取次所・継立所ならびに人馬員数	大阪府史料
明治12	1879	統計		(12)船舶	大阪府歴史・大阪府史料
明治12	1879	統計		(13)各商の概況	大阪商業史資料
明治13	1880	1	6	避病院の患者がすべて退院し、コレラ病終息する。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	1	6	上町森学校で教育講談会を再開する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	1	7	西成郡曾根崎村で出火、延焼六十四戸	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	1	8	大阪府、この年に限り公立博物場を南御堂に開くことを布達する。	布告及布達・朝日新聞
明治13	1880	1	8	大阪府、国史編輯につき郡区役所に昨年内に起きた水火凶荒・人戸破損等の事変書き上げを命じる。	布告及布達
明治13	1880	1	9	大阪府、内務省の指示にもとづき衛生課を設置する。大阪府病院教授局長橘良詮が衛生課長に任命される。	布告及布達・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	1	9	興農社、社告を発し、組織の変更を予告する。	朝日新聞
明治13	1880	1	10	大阪府、会議長西川甫、中ノ島中学校で夜会を開く。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	1	13	この日より大阪府博物場、内務・大蔵両省の綿砂糖共進会事務取扱所となる。この間、共進会の開設準備が進む。	大阪日報・朝日新聞・東京日日新聞・朝野新聞
明治13	1880	1	14	大阪府、郡区役所吏員に営業者各戸を廻らせ、無鑑札の営業者を取締らせる。	布告及布達
明治13	1880	1	16	大阪府、郡区役所吏員に注意を喚起し、不正の度量衡使用者を厳しく取り締らせる。	布告及布達
明治13	1880	1	16	丹波氷上郡の大野金四郎発起で、上町の師範学校内に捨子撫育場愛育社を設ける。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	1	19	本田警察署長鈴木信道、国事犯・常事犯・犯罪人捕獲に関して部内事務のみならず警察権行使の特許を具申する。	大阪府警察史
明治13	1880	1	20	南区二ツ井戸町外八ヶ町の議員十五名と戸長、戸数割について願書を提出する。	大阪日報・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	1	21	大阪商法会議所定式会が開かれ、金融閉塞の状況を克服するための方策が検討される。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	1	22	大阪府、徴兵令改正につき国民軍名簿調整を群区役所に命じる。	布告及布達
明治13	1880	1	23	五代友厚・中野梧一、鴻池善右衛門・三井元之助・住友吉左衛門・山口吉郎兵衛・杉村正太郎、製銅会社のため銅板製造機械を欧州より購入せんことを決める。	五代友厚伝記資料・朝日新聞
明治13	1880	1	23	市街接近郡村で独立の消防組を整備する。	朝日新聞
明治13	1880	1	23	西区横堀一丁目金井塚主一郎、四区市街の屎尿・塵芥の清掃方を申請する。	朝日新聞
明治13	1880	1	24	対州の書家大石魯叟、大川町銀行苦楽部で書画展観会を開く。	朝日新聞
明治13	1880	1	26	大阪府、船の所有者に舁・漁船・小舟等各自の住所氏名を記載させて、漂流時の捜索に便をはかる。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	1	27	大阪府、公立病院内の種痘局を廃し、府庁衛生課において事務を執らせる。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	1	27	五代友厚、大阪の金融不融通など経済事情を大隈重信に書き送る。	五代友厚伝記資料
明治13	1880	1	28	阿波座で出火、朝日新聞社は辛くも難を逃れる。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	1	29	大阪府、来る二月中に府会議員欠員の選挙会開催を布達する。（三月十九日当選者公表）	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	1	29	大阪府、新聞・雑誌等の読売を禁止する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	1	31	北区中ノ島町惣代、下屎代価の戸長役場取扱を廃止し、下屎汲取人との直取引を求める。	朝日新聞
明治13	1880	1	31	『摂海雑誌』が発刊される。	朝日新聞
明治13	1880	1	日欠	岡山県人鈴木孫三郎ら、北区堂嶋船大工町に清潔社を創立し、市内溝渠の掃除などを目論む。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	1	日欠	南区長、道頓堀芝居興行人を呼出し、衛生上鯨蠟の使用を改めるよう懇諭する。	大阪日報
明治13	1880	1	日欠	府下に飲用井戸を多数堀ることとなり、西区は吉備吉兵衛が受負う。	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治13	1880	1	月中	(1)柴島村の晒布	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(2)農人町渡辺準雄製造の靴墨	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(3)大川町に沖縄県の物産会社設立とか	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(4)伊藤契信製造激薬壺その他ガラス製品の広告	大阪日報
明治13	1880	1	月中	(5)住友氏、朝鮮支店の経営に尽力	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(6)宇陀紙の商社本町に設置とか	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(7)東区深見信郎発明の晩翠酒	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(8)京町堀の火薬商谷告三、朝鮮より大砲受注	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(9)柳合季商、規則制定	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(10)米商会所明治十二年後半季総勘定	大阪日報
明治13	1880	1	月中	(11)富島町に開設の広明舎、六隻の蒸気船で九州四国航路に乗り込み	朝日新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	1	月中	(12)北伝法村味淋醸造商井上惣右衛門、濠州博へ出品	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(13)大阪株式取引所明治十二年後半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	1	月中	(14)北浜二丁目位田清三郎、洋衡製造販売で出願	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(15)日本橋筋より高津新地にかけて傘生産	大阪日報
明治13	1880	1	月中	(16)藤田組で姫路華のごとき模様ある革製造を目論見	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(17)第百三十国立銀行第二回半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	1	月中	(18)鉄道局用煉瓦石は今後泉州製に決定で外国教師雇入	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(19)千年町の瀬藤亀右衛門、鉍銅製法所設立で届出	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(20)麻苧商仲間規則の届出	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(21)順慶町の松川勘兵衛、人足会社の設立を計画	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(22)古川町八代田房吉新紡績器械製造発売で届出	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	1	月中	(1)歳旦三ケ日、維新以来の大賑の景況	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(2)出火時の高張提灯持人足も廃止	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(3)『商賣要誌』の発見	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(4)学御舎の開塾	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(5)馬場金吾、『説教新誌』発兌で出願	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(6)住吉街道で人力車走競争会開く	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(7)私塾風咏社の開塾	大阪日報
明治13	1880	1	月中	(8)牛肉店二見亭の娘の写真が人気	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(9)河内在有志、四天王寺内仏閣保存の「保荒金」設置の由	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(10)公立学校教員中月給の多寡で転校する者あり	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(11)土佐堀三丁目外十七町の町会開く	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(12)今橋三丁目中村敬太郎、人命保険会社の設置を計画	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(13)教育会改正の為か小学校教員中に辞表差出す者多し	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(14)東区区長森田稔ら、旧膳所藩士を集めて桑梓会を開く	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(15)桃井春蔵・阿部右源次後見の撃剣会	大阪日報
明治13	1880	1	月中	(16)初庚申で太融寺北向庚申前に大江製作のからくり猿人形を奉納(1)・(2)	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(17)ストーブの施設なき小学校で小学生の手炉持参あり、甚だ不用心	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(18)九条村の火葬場焼失後の新設出願	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(19)綱島・天王寺辺で鶏の闘争大流行	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(20)戎座の劇場および中の芝居の手品の揚げ高	大阪日報
明治13	1880	1	月中	(21)近海にナマコ漁多し	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	統計に関する新聞記事	

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	1	月中	(1)十二年度南区役所国税の納り高	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(2)南区役所徴兵適齢者調査数	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(3)明治十二年検査尺度数	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(4)十二年中学校生徒・訓導員数表	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(5)天王寺区裁の訴訟件数	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(6)昨年十二月中府下市郡の盗難月表	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(7)公立病院種痘局の種痘比較表	朝日新聞
明治13	1880	1	月中	(8)明治十二年十二月中巡查表	朝日新聞
明治13	1880	2	2	大阪府、天然痘流行の兆しに注意を喚起する。	布告及布達・朝日新聞
明治13	1880	2	2	大阪府、本田警察署所属土佐堀分署を警察本署の直轄とする。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	2	2	大阪府、衛生上調査の都合から婚姻・出産・死亡届の雛型を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	2	4	大阪商法会議所、定式会を開き、銀行の事業拡張方法を議定し、つづいて商務局より諮問の商標条例について討議する。	五代友厚伝記資料・大阪日報
明治13	1880	2	4	出庁土木局、淀川改修工事をも念頭に置き、神崎川分流口ニヶ所のうち西之村地先を堰止めようとする。これに対し神崎川下流村々では、水量減による被害を指摘して反対する。（翌年一月沈床工事へと切りかえることとなる。）	中谷家文書（水利）13
明治13	1880	2	5	大阪府、学務委員選挙規則を定める。三月初めにかけて選出をすすめ、学区取締等からの引継をうける。	布告及布達・大阪府教育百年史・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	2	7	大阪の交詢社員、大阪に交詢社支社設立を決定する。	朝日新聞・大阪日報・いろは新聞
明治13	1880	2	7	ドイツ皇孫、吹田村釈伽ヶ池において人民と紛争を生じる。（附　大阪日報記者松井信次郎囚獄記）	大阪日報・朝日新聞・大阪日報・公文録・五代友厚伝記資料
明治13	1880	2	10	蠟商、大阪府知事の諮問に応じ、商況の概略および沿革を答申する。	青物蠟米穀参考書類
明治13	1880	2	10	西洋形商船取締所にて船主ならびに取扱人の会議を開き汽船乗客運賃の自由化を討議する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	2	10	堂嶋米商会所、申合規則の改正を公告する。	大阪日報
明治13	1880	2	11	西成郡上福島村吉岡知一、コークス製造所の操業と湯屋業の経営を開始する。	朝日新聞
明治13	1880	2	12	大阪府、コレラ予防のため芥溜・厠■等不潔な箇所の消毒実施を布達する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	2	12	大阪府、本月二十日限りで勸工場を閉鎖し、陳列品を難波別院に開催の大阪博物館博覧会に出品させる。	布告及布達
明治13	1880	2	12	東成郡天王寺村戸長篠川利祐発起にて、同郡戸長联合会開設をはかる。	朝日新聞
明治13	1880	2	13	この日より七日間、伏見戦争死亡者の十三回忌大法会が四天王寺で執行せられる。	朝日新聞
明治13	1880	2	15	内務、大蔵両省、綿糖共進会をこの日より四月五日まで東横堀大阪博物館において開催する。縦覧人員は八九三六人。また会期中の四月一日綿糖集談会を開く。	綿糖共進会報告・朝日新聞・大阪日報・東京日日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	2	15	中ノ島若松町の懲役場で囚徒が暴動して、獄舎に放火する。警官および消防夫等急を聞いて来援し、鎮台兵もまた会するに及び、鎮定する。	営繕之部・大阪日報
明治13	1880	2	15	女子手芸学校の教育会議が開かれ、女子師範校設立の急務などが可決される。	大阪日報
明治13	1880	2	17	大阪府、天然痘蔓延の兆しあり、予防規則の厳守を命じるとともに、患者戸表への「天然痘患者アリ」との張紙を赤紙に決定する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	2	19	イタリア皇族ゼノア侯、来阪し、造幣局泉布観に入る。翌日より大阪府内を遊覧し、奈良・京都を回り、二月二十九日神戸に向かう。	朝日新聞
明治13	1880	2	21	上等裁判所の法官約四十人、法学研究のため演説討論の会第一回を江戸堀上通二丁目浄光寺に開く。	朝日新聞
明治13	1880	2	25	広演社の新聞演説会、この日をもってしばらく休会となる。	朝日新聞
明治13	1880	2	26	炭問屋商仲間、炭問屋商仲間規則を制定する。この日府の認可を得る。	炭問屋仲間規則
明治13	1880	2	27	大阪府学務課、三月より毎週土曜・水曜の両日教育博物館において物理機械を操作し、希望する公立中・小学校教員・生徒に縦覧させることを布達する。	大阪府教育百年史
明治13	1880	2	28	大阪府、東区法円坂町師範学校内に府立中学校を分設し、支那語学の教授を開始することを布達する。	布告及布達・大阪府史料・
明治13	1880	2	日欠	大阪府、明治十三年度本庁経費および営繕・監獄署予算を策定する。	公文録
明治13	1880	2	日欠	堂島浜に小口相場の店ができ、盛況に向かう。	朝日新聞
明治13	1880	2	日欠	このころ、大阪居留地に清国人が増加し、その対策が各方面から求められる。	朝日新聞・朝野新聞
明治13	1880	2	日欠	大阪府下各郡区に模範小学校の設置がすすむ。	朝日新聞・大阪新聞
明治13	1880	2	日欠	市中出版物は学務課と警察署にて検査の上内務省に送達されることとなる。	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治13	1880	2	月中	(1)銅釜鑄造職、仲間規則を届け出る	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(2)水引商規則設置で伺い出	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(3)岩井町一丁目永田宗九郎、コーク製造販売とか	
明治13	1880	2	月中	(4)天王寺蕪、朝鮮で需要	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(5)第百四十八国立銀行第二回半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	2	月中	(6)第百二十一国立銀行第二回実際報告	大阪日報
明治13	1880	2	月中	(7)平野町の桂梅吉、捕鯨器機を製造	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(8)瓦屋町四番丁山石重氏、舶来模擬の釘と製造	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(9)長崎県土族倉持景政、岩崎新田の浜地に石炭酸製造所を設置とか	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(10)接近郡村諸商人規則制定で近々戸長が集会とか	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(11)阿波座三番町小林周三、難波村で煉瓦製造所設置の由	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(12)麻苧布糸商、規則を設ける	大阪日報
明治13	1880	2	月中	(13)第十三国立銀行、第六回半季実際報告	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	2	月中	(14)第三十二国立銀行第四回半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	2	月中	(15)東区南新町二丁目杉原、藤次郎、フランネル製造に尽力	大阪日報
明治13	1880	2	月中	(16)アルコール蒸留所石谷十平の広告	大阪日報
明治13	1880	2	月中	(17)藍問屋仲間規則制定で尽力中	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(18)石鹼の製造販売	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(19)山運会社創立で山陰地方へ諸物貨を運輸	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(20)真島襄一郎が本田に油製造所を営繕	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(21)天満・青物問屋が聯合社三ヶ所設置の由	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	2	月中	(1)附火の計かい(1)・(2)	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(2)節分の様子(1)～(6)	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(3)野田新家村の小学校開校	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(4)浪速新聞近日発行の説	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(5)演説者の肝煎業願出	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(6)難波村の南市庄七、国教組を結成し、農工授業場新設を願い出る	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(7)長町の調軽祭文師三人、貸屋業などに転業	大阪日報
明治13	1880	2	月中	(8)親切な同業取締	大阪日報
明治13	1880	2	月中	(9)花街で目覚草の流行	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(10)火防受負人吉備吉兵衛、自費で唧筒一挺買取り	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(11)造幣局守警の鎮台兵増員	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(12)教育談話会の開催	大阪日報
明治13	1880	2	月中	(13)旧暦正月二日と紀元節と初午が重なり大賑	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(14)新町北通末広半吉発起で千寿組を設け、貧民救済と葬具貸出	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(15)砲兵工廠の工夫、三段に区別	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(16)平野町六丁目池田のぶが天王寺村に膠製造所設置で隣村不服	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(17)接近郡村の農民、昨年稲虫で大損害につき家鶏買入れ防虫	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(18)長町の盲目木賃宿	大阪日報
明治13	1880	2	月中	(19)外国人が金襴などを買集め	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(20)西区の模範幼稚園	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(21)郡村へ十二ヶ所の巡査交番所建増	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(22)大審院出張所設置の運動	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(23)小島忠里発起で講学政談会開会の計画	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(24)各町の街燈に赤ペンキで町名記載	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(25)茨木・住吉両警察へ電話器架設	朝日新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	2	月中	(26)大阪神道事務分局で育児院開設の噂	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(27)今木新田堀割の土砂中より古器掘出し	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(28)難波村元十八庵に安置の腮無地藏	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(29)京坂・河内で兎の流行	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(30)盲啞学校教師遠山氏の辞表で生徒の歎願書	大阪日報
明治13	1880	2	月中	(31)薪相場高値で湯銭値上げの相談	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(32)大阪新法社発兌・角芝居菅原実記の好評	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(33)来阪奉公人の徴兵のがれを巡査が調査	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(34)東区五番小学校の移転新築を相談	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	統計に関する新聞記事	
明治13	1880	2	月中	(1)中の島区裁判所へ勧解願一月中の件数	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(2)京町堀分署内の寄留および止宿の惣計	
明治13	1880	2	月中	(3)川口波止場より西国向出帆の蒸汽船及び船客数	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(4)駆梅院一月中の統計	
明治13	1880	2	月中	(5)西区の戸数・人口	朝日新聞
明治13	1880	2	月中	(6)上町救助場の貧民人数	朝日新聞
明治13	1880	3	3	大阪商法会議所、商務局より諮問の商標条例について、一部修正の上可決する。	五代友厚伝記資料
明治13	1880	3	5	大阪府、住吉警察署平野交番所ほか二警察署の四交番所を分署と改称する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	3	5	大阪鎮台、兵卒の強盗容疑者を杉山にて公衆の面前で銃殺刑に処す。	朝日新聞
明治13	1880	3	5	堂島米商会所の山村関三郎ら、堂島苦楽部を創設し、この日初会を開く。	大阪日報
明治13	1880	3	8	大蔵省、堂島米商会所の定款及び申合規則改正を認可する。	米商会所二関スル大蔵省伺進達届並往復ノ件（府）
明治13	1880	3	9	師範学校内に支那語学校を設置し、生徒を募集する。	朝日新聞
明治13	1880	3	10	大阪府、公立病院を大阪府立病院と改称して、病院内の教授局を分離し、大阪府立医学校と改称する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	3	11	大阪裁判所、磯野小右衛門に対する明治九年二月中摂津米限月売買証拠金詐取容疑に対し、無実の判決を下す。	大阪日報
明治13	1880	3	12	大阪府、大阪府立病院第三等入院料を改正する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	3	12	大阪府、淀川流域に関する諸山において樹木伐採・草根掘立・石材切出等の業をなさんとするときは六ヶ月以前に府庁に伺出、許可を得べきことを布達する。	布告及布達
明治13	1880	3	12	大阪府知事渡辺昇が上京を命ぜられたところから、知事転任のうわさが広がり、引止運動が展開される。	朝日新聞・大阪日報・布告及布達
明治13	1880	3	13	大蔵省、米商会所以外に支社・出張所を設け、あるいは仲買人の分店・代理人・取次人等を置いて限月売買を行うことを禁止する。	布告及布達・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	3	13	大阪の愛国社より植木枝盛の編輯で『愛国志林』が発行されるが、発売を差止められ、四月六日より発売許可を得る。	朝野新聞・朝日新聞・大阪日報・東京日日新聞
明治13	1880	3	13	南区長、地価増額を口実とする家賃・賃地料などの引上げをしないよう諭達する。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	3	15	公立博物場、例規の大会を難波別院に開催する。	朝日新聞・府立大阪博物場沿革誌・大阪日報
明治13	1880	3	15	大阪府、芸娼妓並席貸営業規則を一部改正する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	3	15	この日より東区北久宝寺町北福亭および北野村太融寺に愛国社の第四回大会議を開き、国会期成同盟を結成する。	大阪日報・朝日新聞・東京日日新聞・東京曙新聞・品川弥二郎文書・自由党史（上）
明治13	1880	3	16	大阪府、四区及び接近郡村の消防指揮を警察に委任する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	3	16	大阪府学務課、教育会議章程を廃止する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治13	1880	3	17	大阪府、学務委員の職務章程を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	3	18	宮内省、大阪府に内庫の金千円を下し、衛生、病源の未萌消除に尽力すべきことを達する。	布告及布達
明治13	1880	3	18	大阪裁判所、北堀江上通三丁目下間みつの訴えにもとづき、本田警察署詰警察掛福原秀吉の無法な取調べに対し贖罪金六円の判決を下す。	大阪日報
明治13	1880	3	19	農人橋二丁目に私立の谷村銀行が創設される。	大阪日報
明治13	1880	3	19	東区備後町一丁目に私立の川上銀行が創設される。	大阪日報
明治13	1880	3	19	東区備後町二丁目に私立の逸見銀行が創設される。	朝日新聞
明治13	1880	3	20	暴風雨あり、木津川口で破船・溺死人等が出る。	朝日新聞
明治13	1880	3	24	工部省、京都・神戸間鉄道停車場電信分局において官私一般の電報通信の取扱開始を定める（四月一日より実施）。	法規分類大全・布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	3	24	内務卿松方正義、大阪に出張する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	3	26	大蔵省、堂島の米商会所申合規則改正を認可する。	米商会所二関スル大蔵省伺進達届並諸往復之件（府）
明治13	1880	3	28	綿糖共進会で褒賞授与式が執行される。府下出品人で受賞した者四百八十余人あり。	朝日新聞・大阪日報・朝野新聞
明治13	1880	3	29	堂島米商会所、四月限売買米相場に異常の乱高下あり、立合いを中止する。	米商会所二関スル大蔵省伺進達届並諸往復之件（府）・半世物語下・朝日新聞・大阪日報・東京日日新聞・東京曙新聞・五代友厚伝記資料
明治13	1880	3	30	大阪府、西洋形商船并に問屋取締規則に第八条・第九条に追加する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	3	30	大阪府、東成郡府会議員の欠員選挙を布達する。（四月二十二日当選者名公表）	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	3	31	諸方医師、西川甫として協力して東京より西村輔三を招きニヶ月を限って歯病の治療にあたらせる。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	3	日欠	府会議員西川甫・府会議員高木半、地方官会議傍聴者九県有志とともに国会開設の建議書を元老院に提出する。	大阪日報
明治13	1880	3	日欠	四天王寺回廊の修覆工事がはじまる。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	3	日欠	中央衛生会で川水が汚染と見做され、これに伴ない各区において共同井の掘鑿が進められる。	朝日新聞・大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	3	日欠	米価騰貴の状況	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	伝染病予防・衛生に関する新聞記事(1)～(7)	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(19)	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	3	月中	警察に関する新聞記事(1)～(20)	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治13	1880	3	月中	(1)広田神社近くに洋紙製造所開業	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(2)天満市の側の青物問屋規則取設け願出	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(3)松山の近山氏、松油の売捌所を設置とか	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(4)豪商三上氏の蒸気機械綿操場、追々盛大に	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(5)山脇巍・津田貞の両氏、燃糸器械を発明	大阪日報
明治13	1880	3	月中	(6)第十三国立銀行第六回半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	3	月中	(7)高津町一番丁藤田卯兵衛、捕鯨器械を発明	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(8)高津新地一番丁藤田卯兵衛、連発の大砲を発明、鎮台に買上げを願う	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(9)砲兵工廠、新発明の小銃製造へ	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(10)金沢の紅茶製造盛大で府下に支店詮議中	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(11)蝙蝠傘、貿易品の払底で、日本橋筋の傘職大繁忙	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(12)高津町二番丁富士田氏、酒の糖より醤油を製造せんと出願	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(13)藤田卯兵衛、捕鯨会社を設立とか	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(14)舶来釘の輸入防止のため砲兵工廠でも製出するとか	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(15)北浜三丁目に設立の製茶集商会社	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(16)難波御蔵前で硝子製造所建築の由	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(17)造幣局の硫酸壺は今後すべて信楽焼を使用	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(18)北久太郎町四丁目の曾根弥七郎、ランプの口を発明	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(19)薩摩白飛が粗悪で心斎橋の呉服商の対策	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(20)青物大豊作で難波村の葱価も低落	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(21)支那・朝鮮へ出すマッチのレットルは平野町山上活版所の請負	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(22)外国人へ売捌の新茶壘詰の体裁を集議	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(23)天保山沖の青海苔、支那人の賞味で盛況	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(24)冷製マッチの製造出願	大阪日報
明治13	1880	3	月中	(25)桜橋筋の呉服店大丸の衰微	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(26)川崎正蔵、今木新田掘り割近くに造船所設置で計画	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(27)常安町上田氏製造の石鹼の好評	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(28)海上保険会社の支局、大阪に設置とか	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	3	月中	(1)難波新地の角力	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(2)南地の大相撲	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(3)博交社で第五期射的会	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(4)中の芝居出入の嵐璃笑の奇異な打扮	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(5)寄席での演劇類似興行規則のため細目の届出を布達とか	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(6)伊勢の大神楽大阪へ	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(7)難波新地金刀比羅社の明地で撃鞠会	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(8)初午の寄席	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(9)難波村の立川貞介、近々朝鮮より支那へ出稼興行	
明治13	1880	3	月中	(10)華本文昌堂発兌の『劇場評判記』	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	3	月中	(1)町内各戸の大便を消防の手当金に当てることに反対の意見	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(2)芭蕉が辞世の句を残した花屋庵の名跡を一水庵が継ぐ	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(3)清水学校は三津学校と合併	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(4)昼職の手間賃申合せ	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(5)安土町堵西学校で上等小学全科卒業生の大試験	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(6)砲兵工廠請負の阿波の新橋鑄造落成	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(7)真宗僧侶協議による養児院設立の目論見	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(8)南地花柳社会で金造り小磁石の箸が流行	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(9)塩町三丁目竹二庵宗匠編の『近世発句明治千題集』	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(10)花街の女子手芸学校、不勉強に流れる	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(11)安治川口開墾の計画	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(12)臭気激しい物を取り扱う商業の許可条件	大阪日報
明治13	1880	3	月中	(13)阿弥陀池和光寺内の教光閣周囲の玉垣修繕	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(14)朝鮮からの三味線注文で三絃師の繁忙	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(15)芝川又平、千島新田の海浜に新田を目論見中	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(16)人形師大江伊兵衛、内国博出品のため眼球・耳・腕などの製造に着手	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(17)成田不動尊出開帳交渉の失敗	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(18)桂文団治、伏見町に貸車商を始める	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(19)思案橋の渡し初め	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(20)南区の水屋仲間、良水の売捌で相談	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(21)京都一神戸間の鉄道鉄橋白ペンキから桃色に変わると	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(22)高津町三番町半井仙三廃疾者の就業に尽力	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(23)鉄道線路の踏切りに・門を設置するとか	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	3	月中	(24)書籍仕立職人の手間賃値上げ協議	大阪日報
明治13	1880	3	月中	(25)飛田の解剖所の取崩し	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(26)大和橋を民費で鉄橋に架替か	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(27)日報社甫喜山景雄の古書保存方設立に賛成	大阪日報
明治13	1880	3	月中	(28)南区々会開く	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(29)北区新堀近傍の繁栄	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(30)薬舗仲間が各開業医の薬局を廃し別に薬局の設置を願う	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(31)府下各市街に貯金預所三十ヶ所を設置	大阪日報
明治13	1880	3	月中	(32)勝間村から錦魚売りが出立	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(33)栄学校で教育会議	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	統計に関する新聞記事	
明治13	1880	3	月中	(1)明治十二年中訴訟等の件数	大阪日報
明治13	1880	3	月中	(2)南区役所一ヶ月の統計費額	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(3)松嶋駆梅院の二月中患者表	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(4)川口波止場より二月中抜錨船数	朝日新聞
明治13	1880	3	月中	(5)二月中京神間汽車の乗客数	朝日新聞
明治13	1880	4	1	陸軍省、洋銀相場騰貴につき大阪砲兵工廠反射炉建築費用の増額を申請する。	公文録
明治13	1880	4	2	大阪府、土佐堀二丁目に売捌所を設け、毎月二、三度沖縄県貢納砂糖の入札をはじめること を布達する。また、この頃より鹿児島県大島産砂糖の販売会社設立が進む。	布告及布達・朝日新聞
明治13	1880	4	5	綿糖共進会、開場する。	朝日新聞
明治13	1880	4	5	大阪府、町村に町村公選の衛生委員を置き、戸長を助けて衛生事務を取り扱わせる。選挙法 および事務取扱手続を定める。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	4	7	大阪府、酒造検査部第二、第三出張所を廃止する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	4	7	大阪府、府会議員の任期四年についての解釈を布達する。	布告及布達
明治13	1880	4	8	大阪府、博物場開場につき昨年同様小學校生徒の博物場縦覧を許す。	朝日新聞・大阪府教育百年史・朝日新聞
明治13	1880	4	8	『大阪新聞』、休刊する。	朝日新聞
明治13	1880	4	10	大阪府学務課、岡野とみを女子手芸学校巡回教師として各校を巡視させる。	布告及布達（新聞）
明治13	1880	4	12	大蔵省、堂嶋米商会所および大阪株式取引所の売買取引を停止する。	米商会所ニ関スル大蔵省伺進達届並諸往復之件（府）・株式取引所ニ係ル 大蔵省達並該所願届之件（府）・明治大正大阪市史・大阪府布令集・朝日 新聞・大阪日報・五代友厚伝記資料
明治13	1880	4	14	『大阪日報』、この日より十七日まで四月五日発布の集会条例について社説を掲載する。	大阪日報・大阪府布令集・朝日新聞
明治13	1880	4	15	太政官、米商会所条例および株式取引所条例を改正する。	布告及布達・米商会所ニ関スル大蔵省進達並諸往復之件（府）・大阪府史 料・大阪日報・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	4	15	大阪府、地方衛生会規則を管内に知らせる。会員は府知事県令を輔翼して地方衛生の全体を視察し人民の健康保持増進をはかることを任務とするもので、その選出に着手する。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	4	16	大阪府、長堀橋筋警察署の分署を日本橋五丁目に設置する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	4	16	大阪府、人民私費による橋梁・鍍津・新道は軍隊隊伍を組んで行進の節には料金請求を不可とする。	布告及布達
明治13	1880	4	16	広演社の新聞演舌会、集会条例発布により暫時休会とする。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	4	17	大阪府、この日以降娼妓並びに席貸、興行場の新設・廃止、定席以外の諸興行及び外国人に関する諸興行の願書は警察本署へ届け出させる。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	4	17	朝日新聞西京分局で発行の『常盤新聞』、開業式を行なう。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	4	18	四区区長ほか府下豪商協議の義倉計画、上層部より意見あり見合せとなる。	大阪日報・朝日新聞・大阪新聞
明治13	1880	4	20	大阪府知事渡辺昇、上京する。	布告及布達・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	4	21	大阪府、警察署を廃し警察本署とする。	朝日新聞
明治13	1880	4	22	大蔵省、堂島米商会所の請願をいれ、四月限・五月限売買の取消を認可する。	米商会所ニ関スル大蔵省伺進達届並諸往復之件（府）
明治13	1880	4	24	大阪府、川船営業取締のためその船主並びに船乗から取締の者五、六人の選出を指示する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	4	26	大阪府学務課、教員のみ集会し教育上のことのみ談話するのは集会条例の対象とならないことを各小学校に通達する。	布告及布達（新聞）
明治13	1880	4	27	大阪府、新たに学監を置き、教員進退を管理させる。	朝日新聞
明治13	1880	4	27	南坂町二番地で火災。	朝日新聞
明治13	1880	4	27	大阪上等及び地方裁判所の増築と模様替えが認可される。	公文録・朝日新聞
明治13	1880	4	28	大阪府、自身番の設廃は区役所ではなく、直ちに警察本署に照会の上許否取り計らうべきことを布達する。	布告及布達・南区文書・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	4	29	大阪鎮台司令官、三好重臣にかわって曾我祐準が任命される。	明治史要・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	4	29	大阪商法会議所、大阪府よりの下問に対し、各商等級についての答書を提出する。	五代友厚伝記資料・大阪経済史料集成
明治13	1880	4	30	大阪府、明治九年地第十七号京摂間諸川通航規則を改正する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	4	30	大阪府、囚獄掛を未決檻獄署、懲役掛を已決監獄署、檻倉掛を未決檻獄分署と改正する。	布告及布達
明治13	1880	4	日欠	米価騰貴が継続し、困窮人が増える。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	4	月中	警察に関する新聞記事(1)～(19)	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(8)	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	4	月中	諸興行に関する新聞記事(1)～(6)	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治13	1880	4	月中	(1)斎藤梅太郎発明の紅茶製造機械	朝日新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	4	月中	(2)逸見平八郎、旧加賀藩邸跡に鋳物製造所設立で尽力	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(3)天満青物市場申合規則で葛藤	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(4)藤田伝三郎、靴製造所を設立	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(5)渡辺村旧区長、牛象皮製造所の盛大化で出願	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(6)藤田組瓦製造の広告	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(7)材木商門田三郎兵衛、日耳曼国の山林局に知られる	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(8)造幣局で使用の硫酸瓶に兵庫県二見山の陶器土も採用、難波村で製造へ	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(9)和田山官二郎工夫の小倉織器械	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(10)玉造唐弓商の仲間集会	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(11)今宮等屠牛場を廃し、本田町に新築	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(12)高知から捕鯨用鉄砲の注文が当砲兵第二工廠へ	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(13)造花師の英三郎兵衛、内国博へ出品で仏国より羽二重買入れ	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(14)糊の新発明で出願	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(15)紀伊国屋製ゴムのフケ取器械内国博へ	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(16)沖縄で二井戸名物、栗の岩起し製造で来阪とか	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(17)日本橋筋四丁目裏通に牛馬市場を建築へ	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(18)手拭木綿地織出機械の発明	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(19)鹿児島県土族の有馬藤太氏、江戸堀に鹿児島物産会社を開く	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(20)尻無川近傍新田に産する浪速の声	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(21)ポンプ製造所の設置	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(22)湊屋新田で西洋帆走船の新造	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(23)伏水両換町の筑紫鉄三郎、茶の精製所を堂島に設置とか	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	4	月中	(1)裁判所官吏の勤務時間改正	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(2)芸娼妓の積立会所設立で出願	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(3)樟木橋の架換は西洋造で	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(4)住吉大社春季神事の変更	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(5)南地五花街猫連の衣服流行の変化	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(6)新川の叶橋官費架設で鉄橋化を出願	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(7)東区各医員の医術研究結社時習社の会場変更	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(8)平野万里の死亡広告	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(9)懲役場の諸帳簿は西洋式に改正	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(10)興正寺で南区の徴兵検査	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(11)北区区長の辞表提出で区会議員よりの上願	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	4	月中	(12)天王寺村大江神社より天王寺西門までの道路官費切り開きの出願	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(13)脱走組の関取と侠客で国会開設を願望とか	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(14)『板垣退助公伝南の海自由旗揚』第二号の広告	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(15)南御堂で芭蕉句碑の掘り出し	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(16)西成郡難波村外五ヶ所の消防入費で朝の治助が出願	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(17)道頓堀伏見稻荷遥拝所持主の後役で紛紜	大阪日報
明治13	1880	4	月中	(18)大工職および手伝の賃金を定める	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(19)難波村藤田組の煉瓦・靴製造所、煉瓦塀で火災を防止	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(20)上荷舟夫久五郎、治水法につき内務省に建言書を差出す	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(21)芸娼妓周旋の判人を警察署で穿さくとか	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(22)田畑の値、米相場中止以来急に下落とか	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(23)高麗橋の掛替に着手とか	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(24)日本橋南詰の魚市場、改良で協議中	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(25)心斎橋筋に郵便局建設で苦情	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(26)真田山の陸軍埋葬地の改良計画	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(27)西成郡猿村の猿田彦社にコレラ病除けのまじないで輸達	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	統計に関する新聞記事	
明治13	1880	4	月中	(1)三月中京阪及京津間鉄道乗客数表	朝日新聞
明治13	1880	4	月中	(2)松島駆梅院三月中の月報	朝日新聞
明治13	1880	5	4	大阪府知事渡辺昇、議官に任じられ、かわって宮内大書記官建野郷三、大阪府知事に任命される。（附 知事引継書）	布告及布達・大阪府史料・公文録・渡辺昇引継文書・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	5	5	大阪府、郡区長任免の節事務引継規則を定める。	布告及布達
明治13	1880	5	6	大阪商法会議所、各商仲間諸経費徴収規則を議定し、大阪府の認可を得る。	商法会議所ニ関スル内務大蔵両省上申及商務局並該所往復之件（府）・大阪日報
明治13	1880	5	6	大阪府、集会条例発布によって、明治十一年十二月大阪府天第百八十号講学演説等集会の節届方布達を取り消す。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	5	11	大阪府、石川・大分・神奈川等の諸県においてコレラ病に罹るものあるを報じ、摂生予防の法遵守を諭達する。	布告及布達・朝日新聞
明治13	1880	5	13	回春病院長山本信卿、府会議員の辞表を提出する。	朝日新聞
明治13	1880	5	13	大蔵省、大阪株式取引所金銀貨幣売買停止の命令を解き、十八日よりの営業を認める。	株式取引所ニ係ル大蔵省達並該所願届之件（府）・補正明治史要・大阪府布令集・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	5	13	司法省、仏国人アールベーネの病氣帰国後、大阪上等裁判所ほか三裁判所よりの希望で後継顧問の採用をフランスにて行なうことを申請する（七月十四日不認可）。	公文録・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	5	13	『大阪日報』日本語の語格（文法）の紊乱を指摘し、教育の重要性を主張する。	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	5	14	大阪府、住吉警察署平野分署・池田警察署桜塚分署・同地黄分署・茨木警察署高槻分署・同吹田分署の所轄地を定める。	大阪府史料
明治13	1880	5	14	朝日新聞社、『常盤新聞』を休刊する。	朝日新聞
明治13	1880	5	17	府庁に偽板取締委員一名を置く。	朝日新聞
明治13	1880	5	18	大阪府、府下に仮性コレラ病患者発生を報じ、注意を喚起する。	布告及布達・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	5	18	『大阪日報』、片岡健吉等の国会開設願望書差出の顛末を掲載する。	大阪日報
明治13	1880	5	19	太政官、東京・大阪および横浜株式取引所における金銀貨幣の定期売買を禁止する。	朝日新聞・補正明治史要・法規分類大全・大阪府布令集・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	5	19	上等裁判所の呼出状は、この日より原被兩人に直接達せられることとなり、また、訴訟状には始審番号を記載させることとなる。	朝日新聞
明治13	1880	5	20	通常府会が開かれる。（場所は江戸堀二丁目勸工場にて。七月三日閉場）	大阪府史料・山本家文書明治十三年大阪府会議事録・布告及布達・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	5	20	大阪府、コレラ病に感染した場合、届出をしないことなきよう布達する。	布告及布達
明治13	1880	5	20	大阪府、郡区役所附戸長ならびに衛生委員に対し、教導職のコレラ予防についての説教に協力すべきことを通達する。	布告及布達・朝日新聞
明治13	1880	5	20	大阪府未決監のうち病監・禁獄室の建設が認められる。	公文録・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	5	21	大阪府、明治十年十月第百十七号達、石炭酸ならびに硫酸の販売許可を廃止する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	5	23	回春病院が増改築する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	5	27	大阪府、北区役所を六月六日より若松町に移すことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	5	28	西区京町堀上通二丁目で火災。二十四戸焼失、十八戸引崩し。	朝日新聞
明治13	1880	5	31	朝日新聞社主幹津田貞、同社を退社する。	大阪日報
明治13	1880	5	日欠	斯分学会仮分局を大阪本町四丁目書籍会社に置く。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	5	日欠	軍医監維方惟準、異動によって大阪を離れる。	大阪日報
明治13	1880	5	日欠	大阪日報記者関新吾、元老院よりの用命で東上、元老院御用掛となる。。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	5	日欠	西成郡西島新用矢野治郎兵衛、蘆粟の試作をはじめる。	大阪府勸業用報第二号
明治13	1880	5	日欠	駅通局、郵便はがきの配達規則を改正する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	5	日欠	米価の高騰つづく	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治13	1880	5	月中	(1)舶来製の革類払底の影響	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(2)越後のクソープを取寄せ石油製出と	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(3)支那人の刷毛買入で大繁忙	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(4)府下反物商の沖縄へ手拭を輸送の模様	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(5)大野規周・時計製造会社設立と	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(6)大阪より団扇の輸出量	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	5	月中	(7)空心町の鎌田氏附木製造機発明で試験の願出	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(8)難波村藤田組煉化石製造所取広めと	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(9)広告、偕行会社新造船	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(10)英国協立商社の規則に倣い夫満竜田町へ商社設置と	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(11)堂島船大工町へ油商会設置	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(12)藤田伝三郎、元山津港に支店を開く	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(13)久宝寺柏原丑之助発明の銅板器械出願	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(14)広告造幣局硫酸函の見本入札	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(15)朝陽館製の石灰、東京の博覧会に出品するとの由	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(16)神戸の染谷氏発明の凍水器械で桜宮で製氷	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(17)秀野新田の綿我が国無比の良品	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(18)支那の太活で造船所新設の為藤田組等煉瓦盛に焼立と	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(19)神崎川に養魚場設置	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	コレラ病予防に関する雑件新聞記事(1)～(17)	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	警察に関する新聞記事(1)～(12)	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事(1)～(14)	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	5	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	5	月中	(1)家賃値下げと尿尿汲み取りの紛議	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(2)木津川・安治川等の商船に厠設置の達とか	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(3)大野学校開校式	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(4)遊行上人和光寺へ出向の様子	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(5)和光寺遊行上人の帰郷と信者	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(6)八軒屋の郵便分局で馬車を使用	大阪日報
明治13	1880	5	月中	(7)砲兵第二工廠の反射爐と大時計	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(8)谷町、本政寺で祖師日蓮上人の六百回忌法会	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(9)榎並学校開校式	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(10)芸娼妓積立金の返還要求で訴訟	大阪日報
明治13	1880	5	月中	(11)北新地で自転車が大流行	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(12)日本橋筋四丁目、山本佐兵衛外二名、貧民に棕櫚竹の葉で夏帽を製せしめ、生活の救助をはかる	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(13)仕込杖の流行	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(14)松木喜次郎のマッチ製造で人民の苦情	大阪日報
明治13	1880	5	月中	(15)火葬流行で長柄村の埋葬地閑散	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(16)三菱会社、所有の土佐邸にまつわるうわさを否定する	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	5	月中	(17)市中鍛冶職・硝子製造等、焚火や吹爐を使う職業場図面の差出	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(18)岩崎新田の火葬場、臭天で外国人から苦情	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(19)川崎村の忘筌学者、綱島町の尚友学舎で変則中学設立	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(20)菊の紋章入五月人形で拘引	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(21)『商況新報』の改良	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(22)材木商、鳶の扱いで集会	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(23)堀江川水分橋及び立売堀立売橋の架換に着手	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(24)道頓堀字樋の上郵便分局の開局	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(25)高麗橋槻造での架替を廃し、煉瓦石での営繕に着手	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(26)綿糖共進会への出品抑止で戸長を訴える	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(27)吉備吉兵衛堀穿の井水は無比の良水	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(28)南区名古屋学校の傍へ人力車業の集会所を設置	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(29)長町裏の牛馬市場近日開市とか	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(30)俊徳街道は殊の外物騒	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(31)浪華橋の下で午睡の客取り	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(32)越中橋の架換着手	朝日新聞
明治13	1880	5	月中	(33)ガラス製造所よりの煙突から飛火でボヤ	大阪日報
明治13	1880	5	月中	(34)桜の宮近傍に水練稽古場設置とか	朝日新聞
明治13	1880	6	1	大阪郵便局、谷町三丁目郵便受取所ほか十一ヶ所で金子入書状の取り扱いを始め、また貯金取扱所を九ヶ所増置する。	大阪日報
明治13	1880	6	1	北浜三丁目ほか二十ヶ町共立の愛珠幼稚園が開園する。	大阪府教育百年史・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	6	1	東区第九分画、女子尋常小学科を修めた後女子専務の事業を学ぶものとして愛敬女学校を開校する。	大阪府教育百年史
明治13	1880	6	4	高津神社の正遷宮がはじまる。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	6	4	東区安土町一丁目に私立木原銀行が開業する。	朝日新聞
明治13	1880	6	5	訓導進藤貞範の発起で上町森学校において中小学校生徒による競進会を開く。（この後、第二会以降も継続されることとなる。）	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	6	6	南海山不二男貧富の差の拡大を指摘し、その問題を『大阪日報』に投書する。	大阪日報
明治13	1880	6	7	大阪府、従来町村に設置するところの伍長の存廃はその町村の適宜に従わせる。	布告及布達
明治13	1880	6	8	難波神社の正遷宮がはじまる。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	6	9	大阪府消防費は市街小便代価にかわり四区限り地方税中警察費より支弁することが太政官で認められる。	公文録・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	6	9	西成郡大野村堤防の件で農民らが府庁に陳情する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	6	11	西区長金沢卯右衛門、辞職し、北区長河口淳が兼任を命ぜられる。	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	6	13	高津源正寺の鐘鑄、落成して今宮御蔵前鑄造場より鐘引行列の式を行なう。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	6	14	大阪府、中学校等新築資金下金ならびに小学校監事等死亡の節手当金下げ渡しを廃止する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治13	1880	6	14	阿波座中通松本吉次郎、マッチ製造中止の府知事命令に対し、大阪上等裁判所に提訴する。	公文録・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	6	16	江戸堀二丁目の府会議場で地方衛生会議が開かれ、虎列刺病取扱手続・虎列刺病流行時養生心得・虎列刺病予防心得を審議する。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	6	17	大阪府下の免許代言人、司法省甲第一号代言人規則に従い、代言人組合を設立し、会長寺村富栄、副会長山下重威・佐久間俊明および規則案制定委員岡崎高厚ほか四人を選出する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	6	17	大阪府、監事兼訓導への酬労金下附を廃止する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治13	1880	6	17	大阪府、船・車に修繕を加えたため税額に増減を生じたときは新調と認め、その期より徴税を開始させる。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	6	17	大阪府、今月三十日限りで郡区学監を廃止する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治13	1880	6	17	北海産荷受問屋一番組取締金沢仁作、附船小宿と称する業者の出現経緯とその沿革を西区役所に提出する。	北海産荷受問屋組合沿革史
明治13	1880	6	18	大阪商法会議所会頭五代友厚、大蔵省に対し、市中金融の逼迫を解消するためには手形流通の回復が第一として、銀行条例第八十八条の削除と債主保護の箇条追加を求める。	商法会議所一件・五代友厚伝記資料・明治大正大阪市史
明治13	1880	6	18	大阪府、西成郡福島村で仮性コレラ患者発生を告げ、食物の注意を輸達する。	布告及布達・朝日新聞
明治13	1880	6	18	愛育社の発展ぶりが報ぜられる。	大阪日報・朝日新聞・朝野新聞
明治13	1880	6	19	大阪府、文部省小学補助金本年七月以降は模範小学校へ十円ずつ配布し残余は一年四ヶ月以上就学普通科を修めた児童に配布させる。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治13	1880	6	19	大阪商法会議所において興亜会第二分会が開業され、同会附属支那語学校の開始も計画される。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	6	19	『朝日新聞』、国会設立請願書の相次ぐ却下について論説を掲載する。	朝日新聞
明治13	1880	6	20	博交社、大阪城南練兵場で競馬会を催す。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	6	22	大阪府、郡区学校監事を廃止する。	大阪日報・朝日新聞・大阪府教育百年史
明治13	1880	6	22	公立博物場の閉場式を行なう。	朝日新聞
明治13	1880	6	22	大阪府、戸数割税は来る十三年度より現住者に賦課すべきことを広告する。	布告及布達
明治13	1880	6	23	大阪府学務課、本年七月以降低価にての生徒用書籍払下および貧生への書籍器械下附を廃止する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治13	1880	6	26	大阪府囚獄および懲役場より警察署への伝話器架設が認められる。	公文録
明治13	1880	6	27	大阪府、東区役所を淡路町一丁目に、南区役所を西清水町に移す。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	6	28	大阪府、明治十二年度天第九十二号にもとづき、脚気病患者の報告を公私病院および医業の者へ布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	6	29	大阪府、七月一日以降従来諸職工に下附してきた鑑札を廃し、開止業は所管郡区役所へ届出公認を受けさせる。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	6	30	大阪府、府立中学校および府立盲啞学校を廃止する。ただし府立中学校は有志醸金による私立中学校とし、教員その他一切従前の通りとする。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	6	30	大阪府、江戸堀南通二丁目の府立勸工場を廃止する。勸工場の事務は博物場において取り扱う。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	6	30	大阪府、桜蔭あるいは南蠻酒と称する加工酒営業も銘酒鑑札が必要とする。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	6	30	大阪府、巡査合宿所を廃止する。	朝日新聞
明治13	1880	6	日欠	天満青物市場で荷主・問屋間で規則をめぐる紛争が起きる。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	6	日欠	大阪府、明治十一年天第百六十六号達に基き、拝借浜地橋詰朱線地の建家取払いに着手する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	6	日欠	雑喉場魚問屋、魚市橋の撤廃を申請して認可を得る。	雑喉場魚市場沿革史
明治13	1880	6	日欠	鳶田村の死刑場、廃止される。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	6	日欠	大阪府学務課長日柳正愨、辞職する。	大阪日報
明治13	1880	6	日欠	コレラ病を恐れ、夏祭をこの月にくり上げる神社が多い。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	6	日欠	西南戦没者記念碑の建設場所が中の島一丁目と決まり、工事に着手する	大阪日報
明治13	1880	6	月中	警察に関する新聞記事	
明治13	1880	6	月中	(1)警部補以上の夏服一スボン白色	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(2)巡査の賄の給与掛を廃止で米買い	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(3)巡査の夏服白地に改正	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(4)巡査の合宿所の宿泊予算の見込	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(5)巡査の増加で消防事務に一層努力	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(6)各警察署に出火時消防夫への指揮系統設置	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(7)巡査の官帽に白金巾の日覆附写	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(8)四ツ橋外二ヶ所へ水上警察分署着手	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(9)警察本署で法律講義	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	コレラ病に関する雑件新聞記事(1)～(11)	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(4)	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	6	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治13	1880	6	月中	(1)松林伯円の新講談外題	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(2)博物場で囲碁の大会	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(3)和田喜三郎編輯の『文楽叢誌』	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	6	月中	(4)難波新地の相撲人気回復策	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(5)大仁村の蛍狩	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(6)木遣崩の一節大流行	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(7)松島二代座が平松座と改称	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(8)中の芝居の売上高	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(9)弁天座の女芝居の儲高	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(10)興行師間で紛議	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(11)各俳優の営業税高	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治13	1880	6	月中	(1)松山湊町の栗田卯三郎、当府で刀剣五万本買い寄せ	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(2)砲兵工廠の製銃用木材は芳野山の産	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(3)石川県士族長門致芳、大阪府下に農工授業社設立へ	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(4)旧渡辺村谷儀右衛門、皮屑より白紙を漉く法を発明、外国輸出の目論見とか	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(5)外国人より小銃三万挺買入約定	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(6)宇和島橋南詰の龍紋氷室発売の天然水	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(7)レモンスの製造を計画	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(8)本町一丁目橋本清三郎の洋酒醸造業発展	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(9)井池筋博製舎製アルコール、注文続出	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(10)南久宝町古橋氏、職工請負会社を開設とか	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(11)西洋模造品は二百有余種	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(12)道修町の阿部七兵衛・支那物産交換所を設置とか	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(13)周防町の成川十郎太、木綿三巾同時織立の機械発明	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(14)北久宝寺町三丁目幸田某、ガラス切りの機械製造へ	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(15)富島町光村店、光運・運貨の両船を神戸偕行社へ譲渡	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(16)曾根崎橋南詰の「鯛煎餅」の罐詰	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(17)中の島の白井吉右衛門・川魚会社設立で出願	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(18)天野郷金田友吉、百五十馬力の紡績器械発明	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(19)棕櫚竹製夏帽、中国筋より注文陸續	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(20)大蔵省租税出張中へ沖縄県物産倉庫建築とか	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(21)川口氷室会社着の八戸製凍氷の評判	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(22)新町四丁目長江謙介、酒造のための灰を発明	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(23)赤銅相場騰貴	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(24)金屋橋西詰旧加賀藩蔵屋敷、古銅会社へ	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(25)川口の汽船会社行明舎が六軒屋に碇泊所設置とか	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	6	月中	(26)東区大手通に二丁目衛清社の営業内容	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	6	月中	(1)道路の営繕には煉瓦を廃し悉皆砂利用とか	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(2)道路用煉瓦は、このごろ堅固となっているとか	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(3)千秋学校、広教寺境内へ移転	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(4)下福島村にて返討に遇った早瀬伊織の碑石建立に尽力中	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(5)神崎川堀割の功を称え、旧知事渡辺昇の碑石建立へ	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(6)難波村で孝徳帝の山陵発見とか	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(7)女子手芸学芸学校女教師の悪幣	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(8)尽無川に綱代杭設置で同地漁師の相談	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(9)夏場の人力車客待時のふとん取扱に注意	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(10)難波村の堀割に出役の懲役人の不潔・臭気で居留地より苦情	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(11)泥鰌・赤貝・鯨等の橋詰や軒端売りは、店頭に屋根をつくるよう布達とか	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(12)『月世界旅行』出版広告	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(13)鉄道局、梅田停車場近くの茶店・料理屋等に京神間発車の時間表張出し	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(14)道頓堀の各劇場へ放火の試み頻々	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(15)清国人、陶器の破れを簡便に直す焼接の技法を大阪で学ぶ	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(16)千日前で空気銃が流行	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(17)長堀橋一丁目中村貞次郎、四区七郡の溝渠道路ならびに街灯の掃除一手引受を出願	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(18)大雨で被害	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(19)天王寺村で宮殿の城趾掘り出す	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(20)米価高値で川口キリスト教教会に幼童を預ける者多い	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(21)心斎橋東南角の郵便局建築で住民不平	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(22)北野村近傍の民家表札には依然として大小区名を記載したままのものが多	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(23)内国通運会社人力車継立所の広告	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(24)鳥尾小弥太、天王寺村に閑居	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(25)中の島未決檻獄では、暑中の間石師が詰切り	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(26)豊作と米価騰貴で代人料を納めて徴兵免疫を願う農民多し	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(27)物価騰貴で南区の男髪結職が寄合	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(28)木津村の百姓雨祝いの台額で騒動	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(29)平野町神明社の砂持	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(30)米価高で貧民は米に小豆を交ぜるため、小豆が払底	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(31)三軒屋川の堀割工事に阿波女の活躍	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(32)元大阪日報社仮編輯長岡部則光編集の「世益雑誌」が聞き届けられる	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	6	月中	(33)西成郡本庄村に東照公の詞宇建立計画	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(34)数理探求義塾の引越	大阪日報
明治13	1880	6	月中	(35)府下の天台宗僧侶達が国会開設願望で相談(1)・(2)	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	6	月中	統計に関する新聞記事	
明治13	1880	6	月中	(1)松島駆徴院の検査表	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(2)南区内地価割の総皆納高	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(3)松島駆梅院の月報	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(4)南区、五月中、結婚・離縁・出産・流産の数	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(5)南区五月中戸籍取調結果	朝日新聞
明治13	1880	6	月中	(6)長堀橋警察署の五月中司法事務取捌件数	
明治13	1880	7	1	大雨のため市中の河川洪水となり、各所で被害あり、死者九人を数える。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	7	2	大阪府少書記官楠永直光、判事に転任する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	7	2	大阪府、戸長配置および選挙法を改定し、毎町村に戸長を置き、公選とする。（南区二日に公選実施、他三区及び郡部では人民の苦情等をかかえながら、実施にむけ進行する。）	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	7	2	大阪府、各商業取締の者の願伺書は府庁への直接提出を改め、郡区役所経由とする。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	7	8	大阪府、警察本署土佐堀分署を本田警察署土佐堀分署とする。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	7	8	道頓堀芝居茶屋尾張屋沢野新七、中の芝居の地所を買い取る。	朝日新聞
明治13	1880	7	8	旧大阪府学務課長日柳政愬、高麗橋四丁目浄園寺に私立盲啞学校を興し、府立のそれを復興する。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	7	8	大阪府、郡区役所に対し、コレラ病流行の徴候があるのに注意するよう衛生委員に布達することを命じる。	布告及布達
明治13	1880	7	10	善積順蔵、大阪新報社を退く。	大阪日報
明治13	1880	7	11	大阪府庁の出退時限を午前八時出頭、正午退庁と改正する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	7	12	大阪府、コレラ病蔓延の徴候あり、祭礼に花車等を牽出して群集雑踏することを禁止する。	布告及布達・南区文書
明治13	1880	7	13	大阪府、営業税雑種税賦課規則を改正する。また、これにより兼業税を課す。（附 「塩魚干魚鯉節仲間営業之儀ニ付御願」 および「俗称下モ降シ営業許可願」）	大阪府布令集・大阪府史料・南区文書・報答綴・大阪経済史料集成・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	7	14	大阪府地方税収入ならびに支出予算を府会決議により布達する。また、地租割税・戸数割税を定める。	布告及布達（新聞）・大阪府史料・大阪府布令集
明治13	1880	7	15	北海産荷受問屋、西区長の斡旋により組合未加入者二三名を無信認金での加入とその内より一名の取締役設置を承認する。	北海産荷受問屋沿革史
明治13	1880	7	15	堂島現米商集会場で無届のせり市を開場した者が拘引される。	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	7	16	文部卿河野敏鎌来阪し、中ノ島中学校内において生徒研究会を開き、また師範学校ほかの各校を巡視する。二十四日帰京。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治13	1880	7	18	北区河内町二丁目より出火し八十余戸を延焼する。死者一人。鎮火後、被災貧民救助の義捐金多く出る。	朝日新聞
明治13	1880	7	20	天皇、汽車にて京都より神戸に向かう。梅田停車場には停車なきも、鎮台司令官以下将校残らず隊を率いて見送り、また建野知事以下四等属以上も残らず見送る。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	7	21	文部省、大阪専門学校教員ゼームス・サンマルスの解雇、エス・アール・フレジールの雇入を上申する。	公文録
明治13	1880	7	24	大阪商法会議所、貸倉庫設立の件にて臨時会を開く。	大阪日報
明治13	1880	7	26	朝日新聞、創刊一年と紙数一万部超過を祝し、中ノ島で花火をあげる。	大阪日報・東京曙新聞・朝日新聞販売百年史
明治13	1880	7	27	大阪府、尿尿取締概則を改正する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	7	27	大阪府、俳優その他諸遊芸人にも取締人を置くべきことを布達する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	7	27	大阪府、虎列刺病取扱手続および虎列病流行時心得を布達し、府下人民一般に配与する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	7	29	中ノ島一丁目内務省大阪司薬場の新築工事、落成する。	営繕之部（府）・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	7	30	大阪府、未已決囚徒への衣食贈与は以後監獄署宛をもって願い出ることとさせる。	朝日新聞・大阪日報・大阪府史料
明治13	1880	7	日欠	大阪府、各課職制・事務章程を定める。	山本家文書・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	7	日欠	住友吉左衛門、淀川水源砂防工事費へ二千円を寄附する。	住友家史無裕明鑑抄
明治13	1880	7	日欠	北村学平、朝陽館において藍葉生育法を学び、北海道にて植付拡大をはからんとて開拓使に二万円の資金拝借を願い出る。	五代友厚伝記資料
明治13	1880	7	日欠	東京資生堂と大阪立志堂との間で同名の売薬（「神薬」）をめぐり紛争がおきる。	大阪日報
明治13	1880	7	月中	主な新聞論説	
明治13	1880	7	月中	(1)府県会の弊害	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(2)国会開設の時期至矣	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(3)財政ノ困難	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(4)財政救治ノ策	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(5)憲法論（榎本義路）	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(6)婚姻ノ早キニ過クル弊害ヲ論ス（植木枝盛）	大阪日報
明治13	1880	7	月中	警察に関する新聞記事(1)～(11)	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	コレラ病に関する新聞記事(1)～(24)	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	7	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治13	1880	7	月中	(1)今森十五郎を職頭に蝙蝠傘商社の設立	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(2)棘牡丹（いばらばたん・バラのこと）の花から香水を製造	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(3)伝法川近傍製布海苔、上海より注文陸續	朝日新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	7	月中	(4)桃が大豊作	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(5)大阪株式取引所明治十三年前半期の諸勘定	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(6)二つ井戸の芝田重兵衛、硝子湯沸器を発明	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(7)石橋孫右衛門ほか十六人、天王寺村に牛馬の売買場を新設へ	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(8)大阪堂島米商会所明治十三年前半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(9)伊藤契信設立のガラス製造所製品の精巧さ	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(10)第十三国立銀行明治十三年上半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(11)大阪府人民、釜山浦に醤油製造業を営む	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(12)棕櫚の葉で製する夏帽子、海軍省で注目される	大阪日報
明治13	1880	7	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	7	月中	(1)囲碁の名手故お国女史の墓碑	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(2)南北芸妓の懇親会	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(3)高麗橋の修繕落成開通	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(4)朝日座の人形浄瑠璃、不入り	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(5)大阪通信	朝野新聞
明治13	1880	7	月中	(6)阿波座下通に自転車競乗場ができる	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(7)銭湯業者、湯の温度一定にむけ申合せ	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(8)藤原家隆塚の祭を修行	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(9)『競進会誌』第一号の発行	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(10)京橋の架け換えに着手	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(11)府会議員一同、伝法川で鯉つかみ	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(12)消防纏との見習を廃止	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(13)大阪日報の編輯課を朝日新聞社が助勢	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(14)北御堂の家根換落成	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(15)東本願寺建築で木津・安治両川へ材木置場を設置	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(16)心斎橋筋の道路、こんどの修繕で煉瓦石から立瓦への変更	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(17)大阪病院の飲水試験場、勸工場へ移転とか	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(18)中の芝居の二〇力が大入り	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(19)大川のボート遊び大流行だが危険も多い	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(20)末吉橋四丁目の浦安いと、勝浦より温泉を取寄せ、施湯	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(21)俳優中村駒之助のこと	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(22)鼬川から尻無川への堀割が工事中	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(23)水操舎舎員の人命救助	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(24)愛国舎で『言論自由論』を発行する	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	7	月中	(25)高津川堀割につき方法書差出	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(26)神社祭礼の壇車・太鼓・屋台等の許可は以後郡区役所で	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(27)森判事補、辞職後私立法律学校設立とか	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(28)代言人小嶋忠里が大阪演説会の会堂用地所を吟味中	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(29)大暑で料亭に機械製の滝が流行	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(30)陶器神社の祭礼	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(31)水分橋の落成	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(32)茨住吉の本堂修復落成	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(33)座摩神社の祭典と旧渡辺村の蒲団太鼓(1)・(2)	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(34)府下にチウス病	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(35)鎮台の行軍と遊泳稽古	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(36)樽屋町に耶蘇教説教場	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(37)善積順蔵、『豊家実記・官弊神社豊国由来』を編集する	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(38)市中の烈火取扱商は立除か	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(39)船場辺に熱病流行	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(40)川口の耶蘇教師京町堀で日・水の両曜日に説教	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(41)熱病および流行病除けのためユーカーリの苗木を売下げ	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(42)芸妓の定額金値上げで集会	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(43)難波村に石山本願寺客将鈴木重行の記念標建設に着手	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	統計に関する新聞記事	
明治13	1880	7	月中	(1)明治十二年十二月より十三年五月までの南区家屋売買質入書等	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(2)長堀警察去月中の賊難表	大阪日報
明治13	1880	7	月中	(3)長堀橋筋警察署の六月中司法部事件数	朝日新聞
明治13	1880	7	月中	(4)六月中各警察署の盗難調表	朝日新聞
明治13	1880	8	1	西区役所、薩摩堀北ノ町に移転する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	8	1	上等裁判所判事補森作太郎、辞官後私宅で有志に法律を教授する。	大阪日報
明治13	1880	8	2	大阪府、左官業の者に出火時の土蔵目塗を許可する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	8	5	平野郷町金田友吉、桑原紡績所創設のための紡績機械代金を五〇年賦上納に切り換えを歎願する。	公文録
明治13	1880	8	6	渋谷寅之助の紡績工場、玉江橋北詰で開業式を行なう。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	8	6	朝鮮国修信使、大阪協同商会の世話にて東京へ向い、その途次随従が大阪へ立寄る。	公文録・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	8	7	大阪司薬場、容量不足の医薬品に注意を喚起する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	8	7	陸軍卿大山巖、大阪砲兵工廠を巡視する。十七日神戸港より帰京。	布告及布達（新聞）・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	8	7	大阪府、今後毎年三月綿糖の集談会を大阪に開くことになったについては事業者の努力が重要なことを論達する。	布告及布達
明治13	1880	8	7	大阪府、巡査服制を改正する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	8	7	大阪府、西成郡三軒屋村に安治川水上警察署木津川分署を置く。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	8	9	大阪府、高麗橋警察署心斎橋分署内に安治川水上警察署心斎橋分署を置く。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	8	10	大阪府、娼妓席貸営業規則を定める。大阪日報、これに対し娼妓公許の制度不可の立場から論説を掲げる。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治13	1880	8	12	大蔵省、堂島米商会所定款申合規則の改正を認可する。また、九月一日を期して現米直取引に限り売買を認可する。	米商会所ニ関スル大蔵省伺進達并諸往復ノ件・朝日新聞・大阪日報・朝野新聞・東京曙新聞
明治13	1880	8	14	大阪府、伝染病予防規則施行手続を定める。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	8	14	大阪府、明治十二年六月十六日布達の道路及び河川沿岸持続地の家屋建築修繕等に関する出願手続を改正する。	大阪府史料・布告及布達
明治13	1880	8	14	大阪府、各公立学校への諸達は郡区役所経由に改める。	布告及布達
明治13	1880	8	14	公立大阪博物場の事務、本町橋詰町の本場に回帰する。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	8	17	大阪府、衛生下賜金の保存と使用方法を定める。	布告及布達
明治13	1880	8	18	大阪府、出産の節は速やかに戸長役場へ届け出るべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	8	19	文部省、大阪専門学校訓導米国人シ・エッチ・エッチ・ウオルフの雇継を上申する。	公文録
明治13	1880	8	19	大阪府、酒造桶類丈量法改定については酒造商に出張官吏の検査を受ける前予め所有桶類の調査を行なわせる。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	8	20	『魁新聞』、東区備後町二丁目にて発行される。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	8	21	大阪府、井戸所有者に井数を掲出させておき、消防の便を図る。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	8	25	住友本店、汽船安寧丸を新造し、大阪・釜山間の定期航路を開始する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	8	25	この日より二十九日まで大風雨のため東京一大阪間の電信が不通となる。	朝日新聞
明治13	1880	8	27	大阪府、医師に衛生局報告第十五号を配付し、発疹チフスと脹チフスの正確な弁別に心掛けるべきことを布達する。	布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	8	28	大阪府、商業会議所に指示して大阪府下四十二商の取扱う物価の高低、需要の増減、供給の多寡を調査させる。	商法会議所ニ関スル内務大蔵両者上申事務局並該所往復ノ件
明治13	1880	8	31	砲兵工廠火工第二廠の火薬が爆発、職工の即死する者二十三人、治療中即日死去する者十二人、後日死去する者四人、治療中十三人。一年後四天王寺に記念碑を建て施餓鬼を実施する。	公文録・大阪砲兵工廠沿革史・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	8	日欠	松島駆梅院の建直しが決められる。	朝日新聞
明治13	1880	8	日欠	このころより放火・盗難等多く、自身番の設置、撃剣家の雇入、また警察への警備依頼など、市民自衛の動き活発となる。	朝日新聞
明治13	1880	8	日欠	緒方拙斎の門弟鈴木某、旧渡辺村に共同医館を設置する。	大阪日報・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	8	日欠	五代友厚、「米納論」を著し、政界中枢部にその実施を働きかける。『大阪日報』、これに対しこれを批判する論陣を張る。	五代友厚伝記資料・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	8	日欠	梅田停車場貨物揚場として曽根崎村一部の民家を取払う。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	8	月中	警察に関する新聞記事(1)～(10)	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	8	月中	流行病に関する新聞記事(1)～(32)	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	8	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(14)	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	8	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事(1)～(12)	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	8	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治13	1880	8	月中	(1)洋和造船会社設立の計画	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(2)第百廿六国立銀行第三回半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(3)第百三十国立銀行第三回半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(4)老松町に秋田物産会社創立とか	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(5)第三十二国立銀行第五回半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(6)川口下流に造船所設立で尽力中	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(7)第五十八国立銀行支配人の変更	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(8)松本重太郎、第百三十国立銀行頭取となる	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(9)長田三十郎の造船場、盛大に赴く	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(10)第百廿一国立銀行第三回半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(11)大野周規・バラメールトルの時計の製造法を伝授	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(12)英三郎兵衛、来る十四年内国博に造花出品で工夫中	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(13)造幣局の現況	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(14)第四十二国立銀行第四回半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(15)第百四十八国立銀行第三回半季実際報告	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(16)安治川硫酸製造所、支那への輸出が途絶える	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(17)心斎橋通一丁目富川吉助、川崎村で染場を設置	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(18)藤田組、支那へアンモニヤ輸出	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(19)上福島村でコークス製造の発明	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(20)河森喜兵衛のマッチ製造会社	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(21)上福島村で、綿操・精米の機械場の開業式	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(22)縄蒔商の仮会所、正源寺に	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(23)大阪株式取引所の現況	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(24)写真師森田来三、第二回勸業博に出品とか	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(25)府会議員の杉村氏、銅判器械製造所新設で出願	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(26)布屋新田にぶどうを植える	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	8	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	8	月中	(1)加島菱洲ら、富士登山へ	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(2)博済病院の貧民施療	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(3)柴屋新田の再開発	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(4)彗星の出現と世評	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(5)兎の値段がまた騰貴	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(6)漢学者高見照陽の死去	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(7)南地の幫間十余名に鑑札、取締役を選出	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(8)鎮台の水練で水死者二、三名	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(9)清国蘇州の書家銭生来阪、揮毫依頼続々	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(10)西成郡伝法村の戸長ら、自費で同郡福村に井戸を掘る	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(11)西横堀西国橋西詰の井水場で水の売出し	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(12)『随意雑誌』の発行	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(13)大阪裁判所で代言人試験	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(14)国史編輯の後は府史編輯へ	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(15)西・南両区内の小学生徒、黒住派の神道にとらえられる	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(16)市街人家稠密の場所でのアヒル飼育を差し止めとか	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(17)市街各小便所をすべて煉瓦石造とする計画が許可される	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(18)清国人、葉松石の書画詩文を乞う者多し	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(19)徴兵の実施状況	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(20)大阪府平民千里健三・兵庫県土族土居光華、国事犯罪可廃趣意書を建言	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(21)各神社賽銭の上り高順位	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(22)難波新地等に照夜灯の増設	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(23)朝日新聞で紙面の鮮明化	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(24)残暑で氷の払底	
明治13	1880	8	月中	(25)管内勘解所の訴訟実数一万余件	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(26)蹟隠学舎の移転	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(27)梅花女学校の生徒募集	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(28)造幣局の近況	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(29)自転車の流行	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(30)伝法川で水雷火による魚取り	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(31)今橋五丁目の芦田勘三郎、九州～京都本願寺往復汽船の新造	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(32)大阪組合代言議会の開催	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(33)南区の区会議員選挙	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	8	月中	(34)南北風強く現米の入津なし廿二日一時に入津で現米下落	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(35)府公立病院の諸帳簿は西洋簿記法に改正	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(36)春画その他の醜態写真がでまわる	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(37)馬場辰猪・山下重威・奥宮正治主催の高知県親睦会公告	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(38)竹屋町の元野彦治、朝鮮元山で『元山新誌』発兌へ	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	8	月中	(39)中の島の未決檻獄分署、囚人のため雇医の巡廻をはじめる	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(40)天満橋上への街燈設置で出願	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(41)大和川洪水死者の施餓鬼	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(42)安治川、未流字川床の茨住吉旅所を桜の名所に	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	論説	
明治13	1880	8	月中	(1)東京経済雑誌第三十三号ヲ読ム	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(2)専制論	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(3)文明ノ国ト野蛮ノ地ニ於テ人々ノ体力孰レカ優リ孰レカ劣レル乎	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(4)亜細亜今日之大勢	朝日新聞
明治13	1880	8	月中	(5)間諜論	大阪日報
明治13	1880	8	月中	(6)貧民を論ず	朝日新聞
明治13	1880	9	1	大阪砲兵工廠にレンガ造りの事務所が落成する。	大阪日報
明治13	1880	9	2	大阪府、内務省勸農局の地質調査に府民は協力すべきことを諭達する。	布告及布達
明治13	1880	9	8	大阪府、住所・氏名を明記しない上書・建白等は廃紙となすべきを広告する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治13	1880	9	10	府立病院、医師の往診を廃止する。	布告及布達（新聞）
明治13	1880	9	13	大阪府の担当課、市中および府下各所の河海運送賃を書き上げる	諸商業取締人各郡区役所報知並雑件
明治13	1880	9	13	文部省、東区法円坂町大阪府立師範学校地所・建物ともに内務省より交付を受け、大阪専門学校医学科の拡張に充てる。	公文録
明治13	1880	9	14	大阪府、学務委員に諭達し、安易な教育に流れることを戒め、部内学齢児童に普通教育を完全に施すべきことを強調する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史
明治13	1880	9	14	大阪博物場、専ら工商勸奨を旨趣とした通常会を新たに設け、博覧会と交互開場の形をつくる。	布告及布達・大阪府勸業月報
明治13	1880	9	14	木津川船囲場工事、吉備吉兵衛請負から府庁土木課の受持ちとなり、懲役人も多数使役されることとなる。	朝日新聞・大阪日報・
明治13	1880	9	15	暴風雨あり。海浜・市中ともに被害あり。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	9	15	大阪府已決監・同病監その他の建て増しが認められる。	公文録・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	9	15	大阪府、西成郡南恩加島新田岡島新助に奇特の廉をもって恩賞を下す。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	9	15	天神橋、鉄橋にて架けかえられる。	大阪日報・朝日新聞・東京曙新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	9	16	大阪府、飲水試験未済の者に西区江戸堀南通三丁目府会議事堂中にて検査を求めさせる。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治13	1880	9	16	大阪府知事、東成郡蒲生村秋園美一の孝を賞し、金二円を下賜する。	大阪日報
明治13	1880	9	17	文部省大書記官牟田口某、師範学校の件で来阪する。	朝日新聞
明治13	1880	9	20	この日より消防費の件につき府会議事堂で四区二郡の聯合会が開かれる。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	9	21	大阪府、菅原警察署を曽根崎分署に移転し、曽根崎警察署と改称する。	布告及布達・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	9	21	大阪府、市中及び接近郡村の警察分署を廃し、新たに交番所を配置して警察六署より巡査を派出する。また従来の警察署管轄区域を更正する。	布告及布達・営繕ノ部・大阪府史料・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	9	22	大阪府、区医を廃して新たに郡区医を置き、貧民の施療を担当させ、さらに伝染病・流行病その他衛生に関する事件について衛生委員と協力させる。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報
明治13	1880	9	25	京橋三丁目綿商社惣代渋谷庄三郎ほか一名、綿種交換規則を創定して府の認可を得る。	諸商業取締人各郡区役所報知並雑件・綿商社綿種交換規則（明治大正大阪市史7）・朝日新聞
明治13	1880	9	25	造幣局の炭酸曹達製造所を曹達製造所と改称する。	法規分類大全・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	9	27	太政官、酒造税則及び釐麴営業規則を定め十月一日より実施する。これを受け、府下の酒造家に種々の動きが出る。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	9	28	中ノ島豊国神社の正遷宮はじまる。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	9	28	大阪府大書記官穴戸昌、内務少書記官に任ぜられる。	公文録・布告及布達・大阪府史料
明治13	1880	9	日欠	大阪府、八弘社以外に火葬場新設見込を申し出るよう内達する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	9	日欠	造幣局技師大野規周、子の規好とともに川崎村樋ノ口に袂時計製造所の設置にとりかかる。	朝日新聞・朝野新聞・読売新聞・大阪日報
明治13	1880	9	日欠	今橋二丁目ガラス製造商神谷左兵衛、工場の市外立退の府知事命令に対し、その解禁を求めて訴訟を起す。	朝日新聞・公文録・大阪日報
明治13	1880	9	日欠	愛国社の結社届、不認可となる。	大阪日報
明治13	1880	9	日欠	愛国社、『世益雑誌』を発刊する。	大阪日報
明治13	1880	9	日欠	先月下旬ごろより演説会、再び活況をとりもどす。	大阪日報・朝日新聞・植木枝盛日記
明治13	1880	9	日欠	米価騰貴に苦しむ者を救助せんとする動きが増えてくる。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	9	月中	警察に関する新聞記事(1)～(9)	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	伝染病に関する新聞記事(1)～(6)	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	9	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事(1)～(13)	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治13	1880	9	月中	(1)旧西区長等の千成社開業式	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(2)五代の製藍支店、上海に設置とか	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(3)南区役所で勸業上英三郎兵衛・尚古斎等の履歴を編纂とか	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(4)海岸沿いの新田に潮害	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	9	月中	(5)中之島五丁目に工鉄社を設置し、諸器械を製造	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(6)せっけん製造所の設立	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(7)座臥自在の人力車、近日のうちに売出しとか	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(8)戸田豊吉のポンプ製造所に山口県より多数の注文	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(9)洋銀の騰貴で蝙蝠傘商、舶来材料の不買を申し合す	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(10)質商仲間組織の改革	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(11)河内縞の不振挽回策	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(12)天保山沖の牡蠣養殖の見込に不安	大阪日報
明治13	1880	9	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	9	月中	(1)英和学舎の暑中休業明け	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(2)築地葭屋橋の横断を鉄製にする	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(3)豊国神社で来月より夜市	
明治13	1880	9	月中	(4)違式註違罪の拘留時間、解釈の変更	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(5)森の宮辺鶏頭花が真盛り	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(6)淀川三十石船、荷積船に転換とか	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(7)回春病院山本信卿の病氣回復	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(8)新川小学校が経営に苦しむ	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(9)水操舎生徒のみごとな水練記録	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(10)今宮村の鈴虫の声、萩の茶屋の故技花が盛り	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(11)懲役場で、囚卒の熱病多く、一坪に五人収容を改正とか	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(12)住吉街道の馬糞等掃除の内達とか	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(13)南地の大熊、朝鮮へ芸娼妓を輸出せんと奔走	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(14)南地の大熊、芸娼妓五十名を沖縄県へ送る	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(15)沖縄県へ散髪職の出稼	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(16)安治川口から四国・九州方面への汽船数、七十艘を越す	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(17)予備学舎の広告	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(18)道頓堀辺の散髪職が価格協定の厳守を申合せ	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(19)善積順蔵の高田屋嘉兵衛、出版広告	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(20)脚気が流行	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(21)大阪興亜第二分会の生徒募集	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(22)朝日新聞にロール機到着の予定	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(23)高田伝蔵区長の人望	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(24)松島駆梅院の近況	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(25)判事が刑法・治罪法の研究	

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	9	月中	(26)毘沙門と称する怪しき輩が横行	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(27)人力車の番号、四区に分類改正の由	
明治13	1880	9	月中	(28)当鎮台兵卒、赤靴から黒靴へ変更とか	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(29)西阪町の写真師葛城思風、東海道筋より日光など名所古跡の撮影行に	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(30)警察の名をかたる盗賊を捕縛	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(31)京橋の落成	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	9	月中	(32)生国魂前の遊所再興は不許可	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(33)川口居留地で南京、米商会所設置の奔走	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(34)猪飼野村舍利寺に釈迦堂等建築の計画	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(35)大川町の田辺某女、自宅において私立手芸学校開設	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(36)耶蘇教の信者増加	大阪日報
明治13	1880	9	月中	諸論説	
明治13	1880	9	月中	(1)交際の平均	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(2)郡区長の兼務を解かんことを望む	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(3)通俗民権新論一自由の巻	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(4)外債募集の議	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	統計に関する新聞記事	
明治13	1880	9	月中	(1)八月中の願伺届書の総数	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(2)八月中の南地五花街席貸并に娼妓惣計	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(3)七月中の北区役所人口取調べ	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(4)長堀橋筋警察署八月の月報	大阪日報
明治13	1880	9	月中	(5)八月中造幣局の鑄造高	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(6)八月中駆梅院月報	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(7)南区の八月中現況調査	朝日新聞
明治13	1880	9	月中	(8)警察病院の八月中患者調べ	朝日新聞
明治13	1880	10	1	堂島米商会所、定期米売買を許可される。	米商会所ニ関スル大蔵省伺進達・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	10	1	大阪商法会議所、地所建築の費用下付を政府に願い出る。	五代友厚伝記資料
明治13	1880	10	1	西区新町南通に新築中の芝居小屋に関する紛争が表面化する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	10	2	私立富岡銀行が西区幸町通三丁目に創立され、この日開業する。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	10	3	博物場、小博覧会の開場式を執行し、知事臨場する。	朝日新聞
明治13	1880	10	3	暴風雨。被害多し。	朝日新聞・明治史要・大阪日報
明治13	1880	10	5	藤井嘉兵衛・薬師彦五郎ら、西区西道頓堀通三丁目に鍋釜鑄造会社を開業する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	10	6	大阪居留地石垣の官費による修繕が認められる。	公文録
明治13	1880	10	8	岡山県平民平尾喜兵次、西成郡八幡屋新田に修船所建設を出願する。	朝日新聞・大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	10	9	北堀江二番町道原金兵衛、木津川口の掘り下げと川幅拡張を知事に建言する。	朝日新聞
明治13	1880	10	11	大阪府、輸出入品及び生産物の数量届出を正確に行なうべきことを諭達する。	布告及布達（新聞）
明治13	1880	10	11	明治医龔、杉之原茂を校主とし、中ノ島五丁目に改めて開業する。	大阪日報
明治13	1880	10	12	大阪府、死亡届・診断書等を代理人の名義で差し出すことを禁止する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	10	12	奥村利三郎ら、安堂寺橋四丁目に洋傘製造会社大阪分社を開設する。	大阪日報・蝙蝠傘
明治13	1880	10	13	府会議事堂において通常衛生会が開かれ町村聯合衛生会の規則が審議される。	朝日新聞
明治13	1880	10	14	大阪府、舩燈製造免許人以外にこれを修繕するのを禁止する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	10	18	私立樋口銀行が西区靱上通三丁目に開業する。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	10	18	第十七国立銀行、本店を福岡から大阪西区土佐堀裏町に移す。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	10	19	大阪府、安治川水上警察署木津川分署を西道頓堀旧分署跡に移す。	布告及布達（新聞）・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	10	19	司法省、大阪上等裁判所の伺を容れ、判事補は判事の副員として公判に連署させるも差し支えないものとする。	法規分類大全・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	10	20	大阪商法会議所の定例会議が開かれ、会頭五代友厚、政府の紙幣減省策が実施された場合の経済的困難への対処を検討することを求める。	大阪日報・朝日新聞・五代友厚伝記資料
明治13	1880	10	23	大阪府、車両取扱規則を定め、十一月十日より実施する。	布告及布達（新聞）・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	10	23	大阪府、府会議員補欠選挙被選定者氏名を布達する。	大阪日報・布告及布達（新聞）
明治13	1880	10	24	南区学事共進会第一回が開かれる。	朝日新聞
明治13	1880	10	24	内外用達会社、空米相場実施の容疑で、主任ら七十余名を検挙される。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	10	25	米国総領事フレン、来阪し、三日にわたり大阪の実況を見聞する。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	10	27	大阪府、有毒の絵具及び顔料を指定し、飲食物への使用を禁止する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	10	27	大阪日報仮編輯長岡部則光、内閣紛議の説云々で讒謗律違反にとわれ、処罰される。	公文録・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	10	28	大阪府、布告・布達の頒布法を改定する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	10	30	大阪鎮台、天長節における城中縦覧は酒食を禁止する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料・大阪日報
明治13	1880	10	日欠	銭湯の入湯賃、値上げを取り決めたところ値下げする者あり、混乱する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	10	日欠	金・銀貨の騰貴、紙幣価値の下落がいっそうすすみ、金融困難がつづく	朝日新聞・大阪日報・五代友厚伝記資料
明治13	1880	10	月中	各区会に関する新聞記事(1)～(21)	
明治13	1880	10	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(16)	
明治13	1880	10	月中	諸論説	
明治13	1880	10	月中	(1)財政論	大阪日報
明治13	1880	10	月中	(2)節儉は目下財政の最急務	朝日新聞
明治13	1880	10	月中	(3)東洋人中政治に関する特出の意見（植木枝盛）	大阪日報
明治13	1880	10	月中	(4)東洋人中実利主義に関する意見（植木枝盛）	大阪日報
明治13	1880	10	月中	(5)天下の動勢は得て過む可らず	大阪日報
明治13	1880	10	月中	出版等に関する新聞記事	

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	10	月中	(1)善加減新聞	
明治13	1880	10	月中	(2)江戸紫徳川源氏の初編	
明治13	1880	10	月中	(3)相場高低進報	
明治13	1880	10	月中	(4)死体検屍考	
明治13	1880	10	月中	(5)朝日新聞の印刷業広告	
明治13	1880	10	月中	(6)政談	
明治13	1880	10	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治13	1880	10	月中	(1)深江村で鉄瓶製造所設置の動き	
明治13	1880	10	月中	(2)住友吉左衛門、元山津にも支店を開くとか	
明治13	1880	10	月中	(3)桃谷・谷町あたりの手遊人形職に外国より注文	
明治13	1880	10	月中	(4)金屋町の浜辺にマッチ製造所建築	
明治13	1880	10	月中	(5)桜宮の東北の地に野田村の勸農場設置の計画	
明治13	1880	10	月中	(6)土佐堀田長州藩邸東隣へ沖縄物産の払下所を新設	
明治13	1880	10	月中	(7)汐見橋北詰の大倉組靴製造所、取り広げ	
明治13	1880	10	月中	(8)奥村利三郎発明の毛織の首巻が好評	
明治13	1880	10	月中	(9)鹿児島県土族岩重政明、ランプのパナを難波村で製造へ	
明治13	1880	10	月中	(10)諸野宗助製造の玉織の肩かけが好評	
明治13	1880	10	月中	(11)株式取引所の不景気	
明治13	1880	10	月中	(12)正麩から白砂糖の製造	
明治13	1880	10	月中	(13)農人橋詰に寄留の伏屋氏、米俵に入れる防虫袋を発明	
明治13	1880	10	月中	(14)渡辺村の豪商合坂五兵衛、元山津の支店を開くとか	
明治13	1880	10	月中	(15)英商人が虫簞三万個を注文	
明治13	1880	10	月中	(16)桃山地所持主八百余人、会社を設け利益分配をはかる	
明治13	1880	10	月中	(17)伏見町二丁目毛受駒次郎、ポスホルの製造に尽力	
明治13	1880	10	月中	(18)鰻谷西の町中井新八発明の和糸織の飛白が有名	
明治13	1880	10	月中	(19)五代友厚がガラス製造所建築とか	
明治13	1880	10	月中	(20)神戸・大阪で新造中の汽船は十五艘	
明治13	1880	10	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	10	月中	(1)綱敷天満宮の正遷宮	
明治13	1880	10	月中	(2)質商取締組織の改正	
明治13	1880	10	月中	(3)郵便投書函の増設	
明治13	1880	10	月中	(4)川口の耶蘇教会、出張所の増加	
明治13	1880	10	月中	(5)郵便配夫の増加と配達時間の捺印	
明治13	1880	10	月中	(6)新清水坂辺の字シヨマンの遊所再興の出願	

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	10	月中	(7)千日前の自案寺で清正公の開帳	
明治13	1880	10	月中	(8)入日神明社正遷宮の大賑い	
明治13	1880	10	月中	(9)天王寺大護摩の大賑い	
明治13	1880	10	月中	(10)大和橋の架替えにつき堺県令より当府知事の照会	
明治13	1880	10	月中	(11)抹茶の会流行	
明治13	1880	10	月中	(12)難波村に潮音寺の再建を出願	
明治13	1880	10	月中	(13)堺県の医学校廃止につき、同校生徒を大阪府医学校で受入れ	
明治13	1880	10	月中	(14)大阪近況	
明治13	1880	10	月中	(15)心斎橋南詰駅通局用地の売下げ	
明治13	1880	10	月中	(16)日本橋筋一丁目から四丁目までの道路・水道掘鑿費用の半額を大阪府負担と決まる	
明治13	1880	10	月中	(17)どろぼうの横行にそなえて通行人に過剰な警戒	
明治13	1880	10	月中	(18)玉造辺に耶蘇信者に改宗する者多し	
明治13	1880	10	月中	(19)南坂町に清正公の教会所建築の用意	
明治13	1880	10	月中	(20)豊国神社前に自由亭落成の予定	
明治13	1880	10	月中	(21)大阪府教育会、現今六十七名の会員	
明治13	1880	10	月中	(22)明治義塾の開業	
明治13	1880	10	月中	(23)中の島常安町生国魂神社の旅所移転	
明治13	1880	10	月中	(24)広演社中の扇谷五平が富島町の道路の事で建白書	
明治13	1880	10	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事(1)～(10)	
明治13	1880	10	月中	統計に関する新聞記事	
明治13	1880	10	月中	(1)西成郡から他方へ娼妓の出稼者	
明治13	1880	10	月中	(2)府下芸娼妓の員数	
明治13	1880	10	月中	(3)東区徴兵取調表	
明治13	1880	10	月中	(4)諸新聞雑誌の売高	
明治13	1880	11	1	大分県中津の扇城会社、大阪の豪商らと協力して汽船豊国丸を新造し、大阪一中津間の定期航海をはじめる。	大阪日報
明治13	1880	11	1	越後国大取次所森口泰二郎等、朝陽館に対し、取次所を通さない直売の中止を申し入れる。	五代友厚伝記資料
明治13	1880	11	3	国会期成同盟大会参加のため、大阪より愛国社員植木枝盛、旧民政社員青山薫・藤公治が上京の途につく。また、十二日より『大阪日報』は京都府下山城および二丹有志総代沢辺正修の通信掲載をはじめる。	大阪日報
明治13	1880	11	4	大阪府、医務取締を廃止する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	11	5	大蔵省、堂島米商会所の申請のうち現米に限っての入札売買を許可する。	米商会所ニ関スル大蔵省伺進達并諸往復ノ件・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	11	6	ブラジル国特命全権公使ニーグルベラダモク等、来阪する。	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	11	8	大阪新報仮編輯長馬場正達、新聞紙条例違反で罰金刑を受ける。	大阪日報
明治13	1880	11	10	大阪府、四区ならびに東成郡・西成郡に布達して、川筋認許の繫留場以外に竹木を置き通船妨害することを禁止する。また川中貸渡間数を改定する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	11	10	大阪府、町村総代人を廃止する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	11	10	大阪府、明治十三年度戸長給料および諸費を定める。	布告及布達（新聞）
明治13	1880	11	12	府立病院内に解剖場を建設し鳶田から移す。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	11	13	大阪府、学校監事ヲ廃を廃止する。	布告及布達（新聞）
明治13	1880	11	13	大阪府、小学生徒共進会心得を定める。	布告及布達（新聞）
明治13	1880	11	15	緒方拙斎、医事会同社の休会を届け出る。	大阪日報
明治13	1880	11	16	天満青物市場、北区役所の諮問に応じ、市場盛衰手続書を提出する。	青物市場盛衰手続書
明治13	1880	11	16	日本橋筋の傘職人数百人、手間賃値上げを求めて問屋に押寄せんとする。	朝日新聞
明治13	1880	11	17	大阪府、官有浜地の呼称方法を何町浜何番地とするよう改める。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	11	17	造幣局硫酸製造場の民間払下げの方針が新聞に報ぜられる。つづいて曹達製造場も払下対象であることが報ぜられる。	大阪日報
明治13	1880	11	20	五代友厚等、関西貿易会社の設立をはかり、鴻池善右衛門ほか十五人の委任状を得る。	五代友厚伝記資料・東京曙
明治13	1880	11	22	大阪府、備荒貯蓄法施行のため臨時府会開会を布達する。（ただし、知事、府会議長上京のため延期）	布告及布達（新聞）・大阪府史料・大阪日報
明治13	1880	11	24	警察本署・安治川水上警察署間に伝話機が架設される。	朝日新聞
明治13	1880	11	24	九店の綿番船競争が二年ぶりに復活し、この日安治川口を発船する。	朝日新聞
明治13	1880	11	25	南区横掘通七丁目より出火、百余戸を延焼する。	朝日新聞
明治13	1880	11	27	大阪商法会議所、協同貯蓄金規則を議決し、十二月一日より実施することで大阪府の認可を得る。また、輸出米禁止意見書および財政救治意見書を採択する。（附 大阪協同貯蓄金預り所第一報告）	商法会議所ニ関スル内務・大蔵云-・明治大正大阪市史・五代友厚伝記資料・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	11	29	西成郡西側町外二ヶ村、村会規則を制定し、認可を求める。	白山家文書
明治13	1880	11	30	大阪府知事建野郷三、上京する。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治13	1880	11	日欠	加藤政之助・河野捨三・河口淳・門田三郎兵衛、大阪商業講習所を立売堀北通三丁目に設立する。	大阪日報・朝日新聞・商業資料
明治13	1880	11	日欠	府会副議長岡本条太郎、病気により辞職する。	大阪日報
明治13	1880	11	日欠	大阪上等裁判所の官吏一同、互相補助の約束を結ぶ。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	11	日欠	尻無川芝野新田の恢復工事、中止する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	11	日欠	大講義佐田介石、天道説・舶来品不使用説などを大いに説き、府下に保国社を興す。	大阪日報・朝日新聞・大岡家文書
明治13	1880	11	日欠	このころ西成郡・東成郡・市中より北海道へ移住する人々がづく。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	11	日欠	屎尿汲取人、代価の値下げを求める動きを強める。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	11	月中	区会に関する新聞記事(1)～(7)	

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	11	月中	警察に関する新聞記事(1)～(5)	
明治13	1880	11	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(14)	
明治13	1880	11	月中	諸論説	
明治13	1880	11	月中	(1)教育論	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(2)何ぞ日本の宗教は独立せざるか（永田一二）	大阪日報
明治13	1880	11	月中	出版等に関する新聞記事	
明治13	1880	11	月中	(1)浪速奇談面白誌	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(2)皇国演説家一覧表	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(3)拔翠新誌	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(4)中島勝義『国会の組立』	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	大阪砲兵工廠に関する新聞記事(1)～(7)	
明治13	1880	11	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治13	1880	11	月中	(1)扇子の輸出を目論んで難波村に扇造社設立	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(2)鉄問屋ら銃の地金買付のため代理人を石見・出雲方面に派遣	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(3)和田喜三郎ら、便利なランプ笠を工夫	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(4)英三郎兵衛、作花製造所設置へ	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(5)北海道胆振の物産取扱会社設置へ	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(6)木津・安治両川口に和船の入港増加	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(7)旧島田組の戎屋、天神橋南詰に呉服商を開く	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(8)植木会社設立の目論見	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(9)浜崎永三郎製造の蝙蝠傘の骨、支那より続々と注文	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(10)日本橋二丁目梅川与兵衛発明の松の油	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(11)川口在住の英人クチン、水掲ケートロの製造に尽力	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(12)柴島村のさらし木綿	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	11	月中	(1)難波神社境内に仁徳天皇遥拝所建築	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(2)天長節の盛況	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(3)南区の内田九山、天王寺村に全国の禅僧を集める回廊の建設を計画する	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(4)三軒屋村で郵便投書箱の増設運動	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(5)古道具商、全物商鑑札の下付につき紛議	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(6)遊行大教正および日輪大教正の帰山	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(7)大阪新報主幹加藤政之助、埼玉県会議員に選ばれる	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(8)マッチ製造所建設で近隣住民と紛争	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(9)天保山東方に入船用の竿灯設置とか	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	11	月中	(10)大江神社境内長藩十三土碑の整備計画	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(11)清国画工王治梅の来阪	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(12)黒住教会所の移転	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(13)府立医学校生徒、貧者の死体買付を申し合す	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(14)寺院で富くじの流行	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(15)谷町の小学校、戸長と村民の紛争が和解し、着工する	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(16)薪商の空相場で薪が騰貴	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(17)府庁では靴のほか表門より入るのを禁止	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(18)市街雑闇の地では道路の修繕は煉瓦石をやめ、土砂ならびに焼瓦を使用するとか	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(19)訴訟人の裁判所出頭は以後羽織不着用でもよしとする	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(20)梅田の待合茶屋瓢亭で西洋料理	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(21)樽屋町の耶蘇説教所で浪華基督青年講談会	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(22)南平野町の摺附木製造行立退の出願	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(23)盛況だった木荘宗秀朝臣の祭式	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(24)四天王寺の鐘撞権で僧侶と四天王寺の紛争	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(25)日柳政塑目論見の普通道德講談会	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(26)救助場入りの許可者（その一）	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(27)川口蒸気船の乗客定限破りの横行	大阪日報
明治13	1880	11	月中	(28)木津・安治両川口の海岸堤に松樹千本植付へ	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(29)救助場入りの許可者（その二）	大阪日報
明治13	1880	11	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事(1)～(9)	
明治13	1880	11	月中	統計に関する新聞記事	
明治13	1880	11	月中	(1)西成郡の戸数、人口	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(2)府庁の差出しの十月中願伺件数	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(3)国民軍入籍者府下四区七郡の総計	朝日新聞
明治13	1880	11	月中	(4)府下に寄留・止宿する者の総計	朝日新聞
明治13	1880	12	1	大阪府、学齡児童の就学は父母・後見人の義務であることを確認するとともに、未全の私学に入学させるような心得違いなき様諭達する。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治13	1880	12	1	東成郡で府会議員補欠選挙会が開かれ、松下豊太郎が選出される。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	12	1	小室信介、『朝日新聞』に「平仮名国会論」の連載を開始する。	朝日新聞
明治13	1880	12	2	大阪府、文部省補助金を模範小学校へ十円ずつ配賦の件廃止を布達する。	布告及布達（新聞）
明治13	1880	12	3	大阪府、明治九年六月発布の川中使用規則に追加を行なう。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	12	3	集成病院、貧民への施薬を廃止する。	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	12	4	大阪堂島米商会所など全国一四米商会所、連名で米商会所税減額その他を大蔵省に懇願する。	朝日新聞・五代友厚伝記資料
明治13	1880	12	8	大阪日報、会主となって板垣退助を主賓に大阪および近府県の有志を招いて府会議事堂に自由懇親会を催す。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	12	8	『大阪日報』、国会期成同盟会の決議を論評する。	大阪日報
明治13	1880	12	9	大蔵省、堂島米商会所に、明年四月一日より三ヶ月限りをもつての定期売買取引を許可する。	米商会所二関スル大蔵省云-・大阪日報
明治13	1880	12	9	大阪府、地券書替願は主轄の郡区役所の事務とする。	布告及布達・大阪府史料・大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	12	9	北区空心町二丁目より出火、百四十余戸を延焼する。貧民救助の挙相次ぐ	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	12	10	大阪府、公立学校設立規則・私学校開業心得および公立学校教員委嘱規則を制定する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	12	14	米商会所頭取芝川又平・副頭取玉手弘通・理事角田富次郎等、本年三月堂島米相場事件について不審ありとして拘留される。	米商会所一件・大阪日報・朝日新聞・五代友厚伝記資料
明治13	1880	12	14	大阪府、公立学校管理のため学校沿革誌ほか六種の帳簿調整を命じる。	大阪府教育百年史・布告及布達（新聞）
明治13	1880	12	14	森田稔・金沢仁右衛門ら、阿倍野村に北畠頭家の祠堂建設着手を決定する。	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	12	15	大阪府、町村区域名称について分合若しくは改称を要するものについて郡区役所に見込書の進達を命じる。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	12	16	文部省、大阪専門学校を大阪中学校と改称し、中学ならびに大学予備の学科のみの教授とする。	公文録・布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	12	16	大阪府学務課、学校監事廃止後、学校の都合により教頭等の設置を認める。	布告及布達（新聞）
明治13	1880	12	16	『大阪日報』、「堂島乱相場一攫万金の記」の連載を開始し、米商会所頭取芝川又平、副頭取玉手弘通ら、および五代友厚・広瀬幸平・本莊一行らを追及する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	12	17	大蔵省、堂島米商会所申合規則第三条および第四条の更正を認可する。	米商会所に関スル大蔵省云-
明治13	1880	12	17	大阪府、陵墓所在未定の分取調べ中につき、古墳と見える場所の発掘、出土物の届出等を布達する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	12	17	大阪府知事建野郷三、帰府する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治13	1880	12	18	代言人の会議で代言人紹介所禁止が議題となる。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	12	18	高麗橋の予備学舎、閉舎する。	大阪日報
明治13	1880	12	22	大阪府、郡区衛生会規則を制定する。	布告及布達（新聞）・大阪府史料・朝日新聞
明治13	1880	12	24	午前二時南区笠屋町より出火、三千余戸を延焼して午後一時鎮火する。消防方の死者八人、怪我人三百五、六十人ともいう。困窮者救助の挙相次ぐ。	朝日新聞・大阪日報・公文録
明治13	1880	12	25	長堀警察署、類焼につき、旧難波分署跡において事務を取り扱う。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	12	26	博交社、中ノ島記念標の規模縮小して着手することを広告する。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	12	27	大阪府、酒造税則に従い酒造人心得、酒造検査区域及び主任官員駐在を定める。	布告及布達（新聞）・大阪府史料
明治13	1880	12	日欠	大阪府勸業課、勸業会則を定める。	大阪府勸業月報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	12	日欠	大阪上等裁判所検事局、告訴の受理方法を改正する。	大阪日報
明治13	1880	12	日欠	木津村上田丹治郎、発起となり、木津勘助の碑を建てる。	大阪日報・朝日新聞
明治13	1880	12	日欠	博物場に観象台設置の計画、見合せとなる。	朝日新聞
明治13	1880	12	日欠	各郡の農況	大阪府勸業月報
明治13	1880	12	月中	警察に関する新聞記事(1)～(4)	
明治13	1880	12	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(12)	
明治13	1880	12	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治13	1880	12	月中	(1)石川県士族津田敬賢発明の染粉	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(2)伊藤契信のガラス製造場で硫酸用器レトルトの製造に成功	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(3)北海道物産取扱所の修繕	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(4)前島洗氏、西長堀に材木商社設立願出	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(5)北陽組の製藍売捌広告	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(6)北海道開拓使物産売捌所を淀屋橋筋に設置とか	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(7)私立虎屋銀行開設の計画	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(8)堂島浜先の大屋根の旗振が復活	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(9)順慶町小野芳兵衛製造の石鯰が好評	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治13	1880	12	月中	(1)知事、出火時には自ら指揮とか	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(2)吉野屋橋、架換に着手	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(3)大阪上等裁判所受付官吏の横暴	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(4)汽船テール号が西宮沖で幸寿丸の船員を救助	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(5)立売堀穴喰屋橋の舳船、仲居に婦人を雇入れ	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(6)西檀町の戸長役場議決の給料で区内不平の風説	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(7)町会議員の選挙者年齢の引下げを伺い中	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(8)相合橋から住吉街道への切開工事に着手	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(9)已決監獄署における囚人職業の自由化	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(10)警察が消防担当となったのを不満とする消防人足が多いとか	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(11)造幣局で煤煙から出火するが、まもなく鎮火	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(12)厳しかった代言人試験	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(13)渡辺橋・穴喰屋橋かけかえ	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(14)薬価と診察料値上げの申し合せ	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(15)いろは歌の市中読売を禁止	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(16)戸長の慰労金で村民の不服	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(17)土木局の出納は藤田組から三井組の担当に	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治13	1880	12	月中	(18)西島新田で火事	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(19)道仁校内で公立華陽中学の開業式	朝日新聞・大阪日報
明治13	1880	12	月中	(20)貧民に附与の施業券取扱で郡区医の出願	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(21)京橋一丁目の散髪職江戸栄方で伸縮自由の椅子を置く	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(22)横浜米国聖書会社の代人ゴムリが来阪、ヤソ教布教で活動中	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(23)長町の小商人、一厘銭払底で連印出願	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(24)大念仏寺門派の僧侶、仏学研究所設置を計画	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(25)南綿屋町の坂東仲蔵ら、名所案内受負会社を設立	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(26)千日前の人民、全地区の南区編入を願い出る	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	(27)四天王寺亀井の水が出ず、百方奔走	朝日新聞
明治13	1880	12	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事(1)～(9)	
明治13	1880	12	月中	統計に関する新聞記事	
明治13	1880	12	月中	(1)中の島区裁判所一月より十一月までの勘解取扱件数	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(2)四区七郡の人口	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(3)西成郡の河船数	大阪日報
明治13	1880	12	月中	(4)鉄道局の十一月中神阪間旅客調べ	朝日新聞
明治13	1880	月日欠		大阪木綿太物商問屋仲買小売営業者仲間規約を制定する。	毛綿商旧記
明治13	1880	月日欠		大阪木綿太物商、和泉国白木綿荷主と諮り木綿の丈幅を改正する。	毛綿商旧記
明治13	1880	月日欠		島下郡・西成郡等に植物試験場の設置つづく。	大阪府勸業月報
明治13	1880	統計		(1)人口戸数表	朝日新聞
明治13	1880	統計		(2)明治13年度大阪府地方税収入精算表	明治大正大阪市史史料
明治13	1880	統計		(3)明治13年度前半分徴税一覧表	山本家文書
明治13	1880	統計		(4)大阪税関輸出入税	歴史編輯書類
明治13	1880	統計		(5)明治元年より本年に至る毎月中等地酒の平均価格	地酒買入平均中等値段書
明治13	1880	統計		(6)明治13年下半年府下金融の景況	大阪府勸業月報
明治14	1881	1	6	大阪府、東成・住吉両郡、島上・島下両郡、豊島・能勢両郡をそれぞれ合轄し、東成住吉郡役所は天王寺村、島上下島郡役所は茨木村、豊島能勢郡役所は池田村にそれぞれ設置する。	布告及布達（新聞）・公文録・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	1	6	和歌山県共立社、大阪一博多間就航の汽船名草丸の運転式を行なう。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	1	8	大阪府、女子手芸学校を女子裁縫学校と改称する。	布告及布達（新聞）・大阪名所独案内・朝日新聞
明治14	1881	1	8	中之島公園地内豊国神社前に自由亭支店が落成する。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	1	13	工部省、堂島にある鉄道本局の廃止と神戸移転を決める。	鉄道別録・鉄道附録・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	1	15	大阪府、明治十三年六月以前の学事に関する諸達・規則のうち一部を除いて廃し、公立学校雑則を定める。	布告及布達（新聞）

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	1	15	府会議員補欠選挙が開かれ、嶋下郡で中谷謙三が選ばれたほか三名が選ばれる。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	1	15	備荒貯蓄法ならびに酒類受売営業税賦課施行のため臨時大阪府会が開かれる。	布告及布達（新聞）・大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	1	15	大阪府知事、明治十四年度大阪府経費予算を大蔵省に提出する。	公文録
明治14	1881	1	16	朝日新聞の持主、木村平八から村山龍平に移る。	大阪日報・上野理一伝・朝日新聞販売百年史（大阪編）
明治14	1881	1	17	大阪裁判所糾問係、堂島米商会所頭取芝川又平、副頭取玉手弘通、理事角田富次郎等に無罪の宣告を行い、釈放する。	米商会所一件・朝日新聞・大阪日報・東京日日新聞・五代友厚伝記資料
明治14	1881	1	18	大阪府、郡区役所に命じて書記のうち一人を勸業事務兼任とさせる。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	1	19	警察官員を詐称して金品詐取する者あり。大阪府、家宅搜索においては令状・印鑑・手帳の見閲を請い、所持なき者には取調べを拒否し、警察署または巡行巡査に申し出るべきことを諭達する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治14	1881	1	19	大阪府地方衛生会が附会議堂において開かれる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	1	19	師範学校、甲・乙二種の貸費生を募集する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	1	24	府会議員山下与兵衛・鹿嶋清右衛門辞職する。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	1	25	大阪附、府立医学校の解剖規則制定を受け、開業医に諭達して患者死亡時になるべく解剖を受けさせるよう指導する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治14	1881	1	25	臨時府会が終了し、ここにおいて府会議員半数改選者を抽籤決定する。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	1	25	大阪府、学事進歩とその方法の良否を諮詢するため教育諮詢会の開催を決め、規則を定める。	布告及布達（大阪府教育百年史）
明治14	1881	1	25	内務省、小室信介の「平仮名国会論」で『朝日新聞』の発行を停止させる。（二月十五日解停）	公文録・大阪日報・東京日日新聞・朝日新聞
明治14	1881	1	26	大阪府、府会の決定により府会議員を増員して四十名とする。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	1	26	大阪府知事、各郡区役所に指示し、改選および増員の府会議員選挙会を開催させ、来月十三日までに当選者氏名を届出させる。	大阪日報・朝日新聞・西成郡史
明治14	1881	1	28	大阪府、寄留・止宿・盗難届に限り最寄交番控所に差し出してもよいこととする。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	1	29	大阪府、臨時府会の議決にもとづき、営業税雑種税賦課規則営業等級区分表に酒類請売の一項を追加する。	布告及布達（明治大正大阪市史）
明治14	1881	1	29	旧府会議員高木半、府会議員候補として難波村遠上徳次郎外二名を推薦する。	大阪日報
明治14	1881	1	31	大阪府、私設の路傍便所の取払いを布達する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	1	31	大阪府、内務省に明治十三年度地方税について戸数割の徴収見合せの容認を求める。	公文録
明治14	1881	1	31	南久太郎町二丁目杉村正太郎ほか九名、北区中ノ島玉江町一丁目に製銅会社の創立を出願する。	五代友厚伝記資料・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	1	日欠	大阪砲兵工廠で一般の需要に応じ製品の製造をはじめる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	1	日欠	造幣局、硫酸燐用など伊藤契信の硝子製造所を指名する。	大阪日報
明治14	1881	1	月中	各郡の農況	大阪府勸業月報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	1	月中	警察に関する新聞記事(1)～(8)	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	1	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(4)	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	1	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治14	1881	1	月中	(1)貿易商取締人より規則増加の申出	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(2)貿易商より知事に建言書	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(3)造幣局大野中技師指導で晴雨計など製造し、内国勸業博覧会へ	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(4)元山より旧渡辺村へ輸送の牛皮	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(5)上福島村中井弥太郎、綿操機を完成させ内国博へ	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	1	月中	(6)ブリキの金盥を朝鮮に輸出	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(7)朝鮮よりの注文で雛人形の製造	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(8)蒸気器械で白米の賃搗き	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(9)第十三国立銀行第八回半季実際報告	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(10)商総社、輸入総糸の販売を現金取引一本とする	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(11)第三十四国立銀行第六回半季実際報告	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(12)無煙火止燈心の発明	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(13)アルコールから醤油製造とか	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(14)第四十二国立銀行第五回半季実際報告	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(15)第百四十八国立銀行第四回半季実際報告	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(16)第百三十国立銀行第四回半季実際報告	大阪日報
明治14	1881	1	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	1	月中	(1)道頓堀辺で自身番を廃し街燈十五基増立に着手	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(2)畑中亭で聯合府県公立医学校の談話会	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(3)播州明石の交誼会設立に大阪上等裁判所石巻判事も参会	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(4)大阪日報社員善積順蔵、郷里播州にて演説する	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(5)平仮名演説の為永栄二、新聞雑誌類の縦覧所開業	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(6)北野村発起人、道路舗装の借入金支払いで官費支給を求める	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(7)中の島府立病院、増築落成の見込	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(8)旧渡辺村消防大頭鈴木又兵衛ら三名、同村消防人足らの品行方正を説く	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(9)築地葭屋橋、落成	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(10)松ヶ枝町細民の困窮	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(11)川口に沈む大石引上げの出願	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	1	月中	(12)舶来品の不揃き	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(13)第三国立銀行内に大阪単厚社を設立し、長期貯蓄を勧める	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(14)天橋懇親会の区域拡大	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	1	月中	(15)已決監獄署の近況	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(16)玉造村村会議長への怪文書	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(17)豊国神社の入費、各戸長役場へ依頼	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(18)岩崎新田は郡村に属し郵便一日に一回・田辺氏自費で三回に努力	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(19)明治義塾の開設	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(20)鎮台兵士と警察吏の争鬭防止法	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(21)明治義舎舎長浦谷義春の死亡広告	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(22)生き延びる野旅行の悪習	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(23)偕行汽船会社、大阪一広島間の定期汽船静凌丸を就航させる	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(24)中の島模範学校での談論会	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(25)永田一二の愛国社辞去	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(26)中路重定外九人の開業医が一の私立病院を創立	大阪日報
明治14	1881	1	月中	統計に関する新聞記事	
明治14	1881	1	月中	(1)明治十三年十二月中の盗難件数	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(2)府庁より郡区役所外人民呼出の郵便税額	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	(3)明治十三年中大阪裁判所の民事件数	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(4)已決監獄署、囚人の現員	朝日新聞
明治14	1881	1	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治14	1881	1	月中	(1)弁天座の女芝居	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(2)落語家桂文之助の改革	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(3)天満天神社内の女芝居	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(4)新聞雑報の落語化あるいは俄狂言の好評	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(5)講談「南の海自由の旗揚（板垣退助の君伝）」の大入	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(6)西洋手品の演芸	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(7)角の芝居の小栗外伝	大阪日報
明治14	1881	1	月中	(8)松島文楽座で下等土間五間の揚代金を積立て	大阪日報
明治14	1881	2	1	大阪府、行政事務のうち郡区長へ特に委任すべき条款を改定する。（十五日施行。またその後の追加もあり）。	布告及布達（新聞）・明治大正大阪市史・大阪府布令集・大阪府教育百年史第三巻・大阪日報
明治14	1881	2	1	大阪府会議長西川甫、京都府会議長松野新九郎とともに会主となり、近県議員の懇親会を府会議事堂に開く。	大阪日報
明治14	1881	2	2	府立中学校、復活する。	布告及布達（新聞）（山本家本）
明治14	1881	2	4	松屋町監獄分署内の死刑場を中ノ島未決監獄分署内に移すことが決定、五月に至って落成する。	営繕之部・朝日新聞・大阪日報・新聞集成明治編年史・公文録
明治14	1881	2	5	大阪府、車馬通行の妨害と危険防止のため小児の道路遊戯に注意を喚起する。	布告及布達（新聞）

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	2	7	堺県を廃し、大阪府へ合併する。（三月二十五日受渡終了）	布告及布達（新聞）・新聞集成明治編年史・元老院会議筆記第二百二十四号議案・公文録・大阪日報・朝日新聞大阪府警察史
明治14	1881	2	7	大阪府備荒儲蓄規則につき市街徴収法を七郡とは異にする件認可される。	公文録
明治14	1881	2	7	大阪府、小形旅客汽船取締規則を定め、四月一日より施行する。	布告及布達（新聞）・明治大正大阪市史・大阪日報
明治14	1881	2	8	大阪府、米商会所證據金條例の改正を米商会所よりの嘆願に基き大蔵省に出願するも、聞き届けられず。	米商会所一件（府）
明治14	1881	2	9	大阪鎮台指令官、曾我祐準から高島鞆三助に交代する。	明治史要・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	2	10	門田三郎兵衛・河口淳、大阪府下有志十七名の総代として、私立大阪商業講習所を公立に改めることを大阪府知事に建言する。（七月府立となる。）	五台友厚伝記資料第四巻・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	2	12	大阪府、旧堺県は対象外とする備荒儲蓄規則を定め、府庁に公儲金掛を置く。	布告及布達（新聞）・公文録・明治大正大阪市史・大阪日報
明治14	1881	2	13	俳優中村嘉七死去する。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	2	14	太政官・東京府・京都府・大阪府・神奈川県区郡部会規則を定め、右府県会を区部会・郡部会に分け、分別した事件を議定させることとする。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	2	15	大阪府、師範学校を中ノ島中学校内に移す。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史第三巻
明治14	1881	2	15	大阪府・摂津国にかかわる明治十二年天第三十七号・同第五十号の町村区画の布達を取消す。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	2	18	大阪府、京摂農区視察員巡回につき、摂津国郡区役所に対し、民間農事の状態などの取調べを布達する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治14	1881	2	21	地方衛生会が開かれ、牛乳販売、獣肉販売などに関して議論される。	布告及布達（新聞）・大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	2	25	大阪府、三月十五日より的大阪博物場博覧会への出品を勧誘する。	布告及布達（新聞）・大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	2	26	大阪府、『大阪府勸業月報』を発刊する。	布告及布達・古橋家文書・明治大正大阪市史・大岡家文書
明治14	1881	2	27	西長堀川筋吉野屋橋、架換落成する。（横に「涼しさに四ツ橋を四ツ渡りけり」の石碑を建てる。）	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	2	28	上町の森学校、一時閉校となる。（三月十四日より旧大手警察署跡地にて再開）	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	2	日欠	大阪府、人心の動静調査を各郡区役所に内達する。	大阪日報
明治14	1881	2	日欠	大阪株式取引所、資本金を半減する。	大阪日報・公文録
明治14	1881	2	日欠	大阪府東区公立中学校則を改正する。	大阪府教育百年史第三巻・朝日新聞
明治14	1881	2	日欠	大阪鎮台の博交社等、偕行社に合併し、それぞれその分社となる。	新聞集成明治編年史・大阪日報
明治14	1881	2	日欠	東成・西成両郡の消防人足と四区消防人足の軋轢が問題となる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	2	日欠	南区清水・三津の両小学校、退校する生徒多くあり、改革をすすめる。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	2	日欠	鎮台休暇日には大尉・少尉らが兵卒の不祥事防止で市中の警戒をはじめる。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	2	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	2	月中	(1)鎮台兵卒と巡査の大争闘	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(2)しけたい組の復活	大阪日報

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	2	月中	(3)徴役囚徒の一部に木履許可	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(4)小島忠里、演説に関し府庁に質問	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(5)小学生弁当比べの弊	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(6)高津入堀川の川幅広め	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(7)川口波濤場の川幅広め	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(8)郵便投函の増加	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(9)米国人私立病院長ドクトル・ラニンの仁心	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(10)吉野屋橋の渡し初め	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(11)警察署、遺失物の期限を半年に	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(12)人民共同貯金会社設置の出願	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(13)測量用標石の勝手な取り捨てを禁止	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(14)長町筋の水道開削は見合せ	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(15)職人の襲名も認められる	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(16)北区の中学校再興を計画	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(17)よく売れる本と売れない本	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(18)迷惑車夫の取締	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(19)軽業師養子の脱走	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(20)雑喉場で魚類規則実施	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(21)平野郷七ヶ村で警察分署建築の考察中	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(22)銭亀の大流行	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(23)巡査の着用靴は既決監獄署囚徒製造の分で	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(24)村内の紛争を苦に新任戸長の自殺未遂	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(25)新渡辺橋の渡し初め式	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(26)金比羅参りの道者で道頓堀両川岸旅店のにぎわい	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(27)野田の玉川保存の動き	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(28)英国女教師マクリンの帰国	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(29)野田村の藤を中心に遊園地の計画	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(30)畳商申合規則の出願	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(31)中の島の自由亭でビリヤード	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治14	1881	2	月中	(1)五色寒天を内国勸業博覧会に出品	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(2)西京清水焼を天王寺清水坂でも始めるとか	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(3)品川衛夫製造の摺付木は内国でも売捌きへ	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(4)第三十二国立銀行第六回半季実際報告	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	2	月中	(5)米穀防虫袋の発売	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(6)野田村の製薬所に洋人傭入れ	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(7)蒸気精米所の開業式、福島村・コークス製造所開業式の盛会	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(8)今宮村に陶器製造所	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(9)第二十六国立銀行第六回半季実際報告	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(10)西長堀に尾張・美濃両国の材木商社設置とか	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	2	月中	(11)大野規周の十露盤早割器械落成	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(12)砲兵工廠で蝙蝠傘の骨製造	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(13)薩摩芋の葛糟からアルコールをとるとか	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(14)硫酸製造会社の新役員	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(15)養蚕会社の設立計画	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(16)アツシ製造所の開業	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	統計に関する新聞記事	
明治14	1881	2	月中	(1)大阪上等裁判所の一月中控訴件数	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(2)已決監獄署明治十三年中徴役人傭工銭の揚り高	大阪日報
明治14	1881	2	月中	(3)京坂間の一月中乗客調	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(4)道頓堀六軒の芝居の上り高	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(5)南区一般の人寄席三十一ヶ所の上り高、他	朝日新聞
明治14	1881	2	月中	(6)耶蘇宗の布教取扱所数	朝日新聞
明治14	1881	3	1	大阪府、北区富島町商船学校内の西洋形商船及び問屋取締所を廃し、新たに商船取締所を富島町一番地に置く。	布告及布達（新聞）・公文録・大阪日報
明治14	1881	3	1	糖業有志者第二回砂糖集談会を大阪商法会議所に開く。	布告及布達（古橋家文書）・大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	3	5	米商会所頭取芝川又平が辞職し、玉手弘通が頭取となる。	朝日新聞・米商会所一件・大阪日報
明治14	1881	3	5	大阪府、物理器械一組を各郡区に付与し、小学生徒の学術研究に便宜を図らせる。	布告及布達（新聞）・大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	3	10	大阪府、席貸及び娼妓に関する願伺は以後その営業地所轄警察署へ届出させる。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	3	12	大阪府下各新聞社の同業懇親会が開かれる。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	3	15	大阪博物場にて博覧会を開催する。入場者日に四千人を超え、閉会日を三日延期して六月二十五日まで。	布告及布達（新聞）・府立大阪博物場沿革誌・朝日新聞・大阪日報・古橋家文書・大阪府教育百年史第三巻
明治14	1881	3	17	『大阪日報』、『東洋自由新聞』の創業を報道する。四月・五月には同紙社長西園寺公望の退任また同紙の廃刊も報じる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	3	18	ハワイ国皇帝、西京より大阪へ着し、さらに神戸へ向う。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	3	18	大阪府、府立教育博物館を東区内本町に移す。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史第三巻
明治14	1881	3	18	府会議事堂、西道頓堀旧加州邸のものを建て増し仮落成する。三月臨時府会閉会后、さらに本建築にかかる。	大阪日報・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	3	19	大阪府、産姿営業は府立大阪病院での試験合格者に限り許可することを布達する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	3	20	大阪組合代言人会、会長に小島忠里、副会長に岡崎高厚、大藤高敏を選ぶ。	大阪日報
明治14	1881	3	20	阿波通いの汽船太陽丸の開運式が開かれる。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	3	21	大阪府、学齡児童で教科不完の私立学校に入る者に対し郡区学務委員が入学を差し止めることを許可する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史第三巻
明治14	1881	3	22	新町に高島座が開業する。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	3	23	大阪府、職工の開止業、転居及び営業継続届は所轄郡区役所へ提出させる。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	3	23	大阪府、定席興行場の設廃届及び定席外の興行願は以後所轄警察署に提出させる。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	3	24	大阪府、第二回内国勸業博覧会参観を府民に勧める。（附 褒状を受けた府下人名）	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪府勸業月報第六号・大阪府勸業月報第七号・大阪府勸業月報第八号・大阪府勸業月報第九号
明治14	1881	3	28	臨時府会区部会・郡部会が開かれ、常置委員の選挙および常置委員会議諸費等を審議する。 （四月八日より同十五日まで休会、同二十六日閉場）	布告及布達・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	3	30	大阪府、地方衛生会の議にもとづき牛乳搾取並びに販売取締規則を定める。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	3	31	雑喉場海魚問屋仲間、規則を定め、府の認可を得る。	雑喉場魚市場沿革史
明治14	1881	3	日欠	この月を中心に府立病院の改革が進む。すなわち、警察病院を廃し、府立病院に合併し、また、解剖所を鳶田から移す。さらに、府立医学校を府立病院内に新築移転する。しかし同時に改革をめぐり、副院長橘良詮の辞職など紛争を生じる	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	3	日欠	高知より来阪の中嶋信行、大阪日報社員小室信介などと共同してこの月より五月にかけ和歌山、ついで丹後・但馬・播州方面に遊歴する。	大阪日報
明治14	1881	3	日欠	造幣局曹達製造所が製造試験を済まし、本格的に操業を開始する。	大阪日報・朝日新聞・造幣局百年史
明治14	1881	3	日欠	西区役所内に浦役場を設け、海員雇入雇止等の事務を取扱う。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	3	日欠	旧渡辺村・玉造村など市中編入をめぐり賛否両論が沸き起る。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	3	日欠	渋川郡正覚寺村で、裁判費用の出費をめぐり、村民の紛議が起きる。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	3	日欠	喜多玄卓、大宝寺町に産科病院を開く。	朝日新聞
明治14	1881	3	日欠	中島氏彬、大阪上等裁判所を辞し、風雲館を再興する。	大阪日報
明治14	1881	3	日欠	北区堂島中町の要潔社、西・北両区内小便所の掃除に取りかかる。	大阪日報
明治14	1881	3	日欠	川口に本社を置く汽船会社階行社、海軍省より松田金次郎を招き、同社の船体検査掛とし、乗客等の安全をはかる。	大阪日報
明治14	1881	3	日欠	北浜一丁目新築地に町芸妓設置が認められる。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	3	月中	出版に関する新聞記事	
明治14	1881	3	月中	(1)『歌舞伎狂言記』の発行	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(2)『新撰大阪市中細見全図』の発売	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(3)住吉神社に書籍庫の増設	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(4)『高名収覧』の好評	朝日新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	3	月中	(5)『不当の処分』発売の届出	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(6)『大阪府官員録』の発売	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	演説会に関する新聞記事	
明治14	1881	3	月中	(1)橋岡の能舞台で演説の催・論題	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(2)来阪中の講師佐田介石氏難波新地で演舌	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(3)法善寺で佐田介石氏の演舌	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(4)橋岡の能舞台で大阪定期第七回演説会	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(5)宝泉寺で佐田介石の演舌	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	警察に関する新聞記事	
明治14	1881	3	月中	(1)警部方の法律研究会を開く	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(2)水上警察署は三軒家村に設置の噂	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(3)東京警視庁より二十名の巡查当府へ配置と	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(4)眼明し免職後探索掛申付多し	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(5)当警察署より堺同所へ電信機架設	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(6)水上警察水夫の帽子	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(7)巡查の勤休甲乙丙の三部から甲乙の二部となる	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(8)日本橋警察署は旧警察地所に建築決定	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(9)安治川水上警察署の刑法研究会外	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(10)東京警視庁より四五十名の巡查本府へ転任の由	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(11)木津川口へ水上警察分署設置水泳に馴れし巡查の召募	大阪日報
明治14	1881	3	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治14	1881	3	月中	(1)器械師中井弥太郎発明の紡績器械	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(2)砲兵工廠の勤務時間	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(3)造船工八木新造の広告	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(4)縫職組合取締を再興	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(5)砲兵工廠の反射炉に見学者	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(6)深江村鉄瓶鑄造会社で抹茶用釜風爐製造	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(7)紙製のランプの心に支那より注文	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(8)堂島中二丁目渋谷正三郎製造のビールを調査	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(9)株式取引場が意外に盛況	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(10)造幣局御雇英人マクラゴン発明の艶つけ器械が好調	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(11)粗製蝙蝠傘防止方法の検討	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(12)猪飼野村の豪農木村権右衛門、同村へ紡績機械会社を設立	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(13)円安堂寺町辺の弓弦製造が衰退	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	3	月中	(14)名護町の傘商へ日耳曼より注文	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(15)手拭商同盟規則の改正	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(16)整藍社を南堀江に開設、阿州の藍を売り捌く	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(17)ランプ紙心の製造販売で出願	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(18)細民婦女子も預け入れやすい貯蓄の広告	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(19)木津村で牛の市を開かんと奔走中	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(20)朝鮮製の牛皮は大半西成郡渡辺村へ輸入	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(21)北野村へ青物市場設置で出願	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(22)硫酸製造所株式の売買が認可される	大阪日報
明治14	1881	3	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	3	月中	(1)私立求我学校の広告	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(2)年給も酬労金も謝絶する戸長	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(3)大念仏寺で祖帰七百五十回忌	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(4)畑作水論からか、農民らが乱闘し警察で拘引	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(5)大阪府庁録事の下げ渡しが遅延	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(6)真田山墓地の掃除、人民の請負へ	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(7)南区区長、裁縫学校廃止の再検討で臨時連合町会開催を求める	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(8)江戸金・弁次郎の無罪放免	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(9)東区路傍便所尿汲取の裁判に判決	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(10)東区内の医学舎で毎日曜日医学演説会を開く	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(11)府庁に避雷針を新設	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(12)小嶋忠里、集会条例で伺書	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(13)旧長町・高津新地などの細民、税金納入で困惑	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(14)南地の人力車主らが集会し、賃銭の統一などを話し合う	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(15)曾根崎村に妻妾選挙所を開設	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(16)砲兵工廠の職工で不時に備えて給金の一部積置き	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(17)大阪砲兵工廠貯金法設置	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(18)砲兵工廠職工積立金法に不平	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(19)已決監獄署の近況	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治14	1881	3	月中	(1)角の芝居の利益金	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(2)道頓堀新金比羅前で大相撲	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(3)浄瑠璃営業者中無鑑札の出稼取調べ	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(4)竹本住太夫の三味線工夫	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	3	月中	(5)講談師東京松林伯円が御霊裏の席で能弁	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	統計に関する新聞記事	
明治14	1881	3	月中	(1)坂府一般四区合併人員と南区人員	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(2)一・二両月の屠牛数	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(3)端書及び売上高	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(4)北区の学校諸調査	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(5)大阪郵便局二月中郵便数	大阪日報
明治14	1881	3	月中	(6)堺県舎合併以来府下人口及戸数調査表	朝日新聞
明治14	1881	3	月中	(7)裁判所勧解所の取扱件数	朝日新聞
明治14	1881	4	1	大阪府、江戸堀にあった警察本署を府庁内に移す。	布告及布達(新聞)・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	4	1	大阪汽船取扱会社（頭取伊庭貞剛）を富島町に開業し、汽船乗客荷物の取扱を始める。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	4	4	大阪府、砂土等雑物混入の肥料販売を禁止する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治14	1881	4	5	大阪府会区部会、常置委員に西川甫ほか六人を選び、つづいて七日、郡部会で恒岡直史ほか六人を選ぶ。	大阪日報・布告及布達（新聞）
明治14	1881	4	6	大阪府、府会常置委員の聚集は毎月一日より十日までとする。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	4	6	大阪府、小学校教員検定試験を毎月一回に縮減する。	府立学校・大阪府教育百年史第三巻
明治14	1881	4	6	大阪府、フグ中毒の恐るべきこと、その禁止以外防禦の方法がないことを諭示する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	4	6	大阪府、戸長当撰者受書提出前辞退のときは直ちに次点者を当撰者とすべきことを定める。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	4	7	大阪府、集会取扱手続を改正し、警察本署に布達する。	大阪日報
明治14	1881	4	9	五代友厚、広瀬幸平の北海道行きを大隈重信ほかに伝え、同人等に引き合せる。	五代友厚伝記資料第一巻448・五代友厚伝記資料第一巻449・五代友厚伝記資料第一巻452・五代友厚伝記資料第一巻453・大阪日報
明治14	1881	4	9	住吉村吾彦観音寺で火災、人家にも飛火。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	4	11	書籍商、三商組合からの分離を出願する。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	4	11	陸軍省、同省所轄の玉江町一丁目地所（旧高松邸）を差し出し、文部省所轄の法円坂地所を入手する。	公文録3046
明治14	1881	4	13	大阪府、郡区長へ委任の行政事務條款を改正する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	4	14	大阪府、西成郡入堀川以西を西長堀警察署の所轄とし、木津村を長堀橋筋警察署の所轄とする。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	4	14	北区長川口淳、西区長の兼務を解かれ、西区長には旧堺県一等属の杉浦貞利が任命される。西区区会議員等これに対し不満の意を示す。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	4	14	大阪府、各郡区役所に学区制定のための取調べを命じる。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	4	15	神戸・大阪の税関、開閉関時刻を改定する。	朝日新聞
明治14	1881	4	16	九州通いの汽船静凌丸、天保山沖で浅瀬に乗り上げるも、乗客は無事。	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	4	16	朝日新聞、大阪府布達類の印刷を断る。	朝日新聞
明治14	1881	4	18	大阪府、公立博物場を府立博物場と改称し、大阪府勸業課の管理に属させることを内務省に請い、この日認可される。	博物場一件
明治14	1881	4	20	松浪治郎平ほか九人、大阪に本社を置く内国砂糖大会社の設立認可を農商務省に請う。	内国砂糖大会創立願書(明治大正大阪市史)・朝日新聞
明治14	1881	4	21	大阪府、戸長投票同数の場合の順位基準を定める。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	4	23	大阪府、西区淡野権四郎の府会議員辞職と、五月中の補欠選挙実施を布達する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	4	26	大阪府、酒造検査官吏の各部出張を廃し、酒造に関する願伺届はすべて府庁へ直接提出させる。	布告及布達
明治14	1881	4	29	『大阪日報』、「英国憲法ノ概略」の連載をはじめる。	大阪日報
明治14	1881	4	日欠	E・H・ハンター、秋月清十郎・門田三郎兵衛・佐畑信之らと共同し、六軒屋新田に大阪鉄工所を創設する。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	4	日欠	津守新田その他より十三間堀川の官費浚を願い出る（不許可）。	白山家文書194
明治14	1881	4	日欠	大阪定期演説同盟会員箕浦勝人ら、『大阪定期雑誌』の刊行をはじめる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	4	日欠	私立盲啞学校長日柳政愬、教育図書普及のため浪花文会設立をはかる。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	4	日欠	各区内に衛生通信担当委員の設置をすすめる。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	4	日欠	東成郡で野江村大西卯三郎、蒲生村秋岡伊兵衛など、私立勸農植物試験場設立の動きが広まる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	4	日欠	郡区役所で浦役場設置がすすむ。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	4	日欠	『商況新報』、淀川航通の衰退を論じる。	大阪商業史資料
明治14	1881	4	月中	各郡農況	大阪府勸業月報
明治14	1881	4	月中	新聞等の論説	
明治14	1881	4	月中	(1)社会党ノ主義	大阪日報
明治14	1881	4	月中	警察に関する新聞記事(1)～(4)	
明治14	1881	4	月中	監獄署に関する新聞記事(1)～(5)	
明治14	1881	4	月中	消防に関する新聞記事(1)～(3)	
明治14	1881	4	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治14	1881	4	月中	(1)重富藤兵衛の真鍮線製造を知事が激励	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(2)北野村に青物市場	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(3)港屋新田硫酸製造所に支那からの注文	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(4)木津村に西洋の長茄子を植付ける	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(5)外科器械師頼斎西洋形釘の製造をはじめる	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(6)朝鮮より輸入の牛皮、砲兵工廠でも買入れ	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(7)竜田町の硫酸製造所許可	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(8)西区より朝鮮へ出張し商業を営む者十八名	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	4	月中	(9)平野川本庄村字西嶋に水車による綿繰・絞油業の願出	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(10)蒸気機械使用の営業者三十二ヶ所	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(11)牛馬営業者の取締人に天王寺村の石橋孫右衛門	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(12)平田源蔵氏が普済銀行設置とか	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(13)大野規好、袖時計製造所の建築に着手とか	大阪日報
明治14	1881	4	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	4	月中	(1)梅花女学校で定期試験	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(2)富講類似行為者に判決	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(3)らい病療治所の広告	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(4)神宮協会講社が難波村辺へ貧民救助場設置とか	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(5)北堀江辺で尽議社を設立し、貧民へ施与する計画	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(6)枚方地方に演舌会流行大阪に弁者を求める	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(7)朝日新聞の定価改正	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(8)絵草子商が郵便貯金の同盟規則	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(9)南北兩大道村の井路脈中断にかかわる裁判、敗北する	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(10)修道館、隆盛で中の島へ移転	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(11)造幣局の覧観許可が再開	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(12)大阪病院で人力車夫に賃金の統制	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(13)川口波濤場の人力車夫取締り	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(14)上福島村妙徳寺の五百羅漢再建に尽力	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(15)棄児の増加	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(16)徴兵検査所の移動	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(17)納税不納で失踪する者	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(18)『商家日報』で発兌の出願	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(19)森の宮鶺の橋頰破をなげく	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(20)勝尾寺の本尊御開帳の人気	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(21)常安寺十三戸立退で嘆願書	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	4	月中	(22)南地五花街取締の通達	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(23)めずらしい結婚式	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(24)徴兵検査に涙	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(25)南区内の徴兵合格者	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(26)府庁の避雷線落成	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(27)大倉五郎氏、供水社設置で府庁へ出願	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(28)天ぷら茶漬屋の流行	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	4	月中	(29)癩病全治の国手・高麗橋の小野春台氏	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(30)鋳物製造所等焚火を取扱う製造所の取調	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(31)造石税に苦しむ酒造家	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(32)大分県人の大懇親会	大阪日報
明治14	1881	4	月中	(33)造幣局内の職工病院落成	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(34)中の島に貧民商社設置の目論見	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事(1)～(4)	
明治14	1881	4	月中	統計に関する新聞記事	
明治14	1881	4	月中	(1)北区中の身代限処分者	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(2)西成・東成・住吉各郡の棄児	朝日新聞
明治14	1881	4	月中	(3)昨十三年上半季分四区二郡の消防費	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	4	月中	(4)監獄本・分署内の囚人数	朝日新聞
明治14	1881	5	1	毛利敬親公十年祭、在阪山口県人の遥拝式が行われる。	大阪日報
明治14	1881	5	1	南区安堂小学校、学事不振挽回のため、私立にせんとする議を町会にて審議する。（五月末に至り公立のままと決定される。）	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	5	1	高池三郎右衛門発起の活版所龍雲舎が北浜二丁目に開業する。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	5	1	南区田嶋町今井鉄蔵・西区安治川四丁目木田庄八ほか十二人の漁夫、開拓使管下函館沖で遭難する。	大阪日報
明治14	1881	5	3	富田庄太郎ほか二名、人命ならびに疾病の保険会社共愛社を東区常磐町一丁目に設立する。	朝日新聞
明治14	1881	5	3	沢辺正修、大阪日報社客員となる。	大阪日報
明治14	1881	5	6	この日より七日にかけて大雨あり。東成郡・西成郡に被害が出る。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	5	9	大阪府、郡区長へ委任する行政事務以外で郡区役所を経由し、戸長の奥印を得て府に提出すべき願伺届を指定する。	布告及布達
明治14	1881	5	9	大阪府、井路または溜池の新增設等の願いは、郡区役所での実地検査を必要とすることとする。	布告及布達
明治14	1881	5	10	府庁において勸業会が開かれ、小作証書修正文案を議決する。	大阪府勸業月報第五号
明治14	1881	5	11	大阪府地方衛生会が府庁において開かれる。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	5	11	『大阪日報』、「自由原論」を社説に掲げる。	大阪日報
明治14	1881	5	12	内務省および大蔵省、大阪府及び滋賀・石川・福井三県の本年度備荒儲蓄金配布額を定める。	布告及布達・公文録（抄）3025
明治14	1881	5	12	大阪府、明治十三年度常置委員会議諸費予算を定める。	布告及布達
明治14	1881	5	13	大阪府、産櫨保護で広告を発す。	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	5	14	朝鮮国官吏一行、神戸より来阪し、市中各所を視察の上、十七日上京の途に就く。またこの後も各人士の来航が続き、各所に滞在し視察等を行なう。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	5	16	大阪府、監獄本署に女性の女監取締を置く。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	5	17	『大阪日報』、小室信介の演説「地方有志者今日ノ急務」を社説に掲げる。	大阪日報
明治14	1881	5	18	大阪府会郡部議員の減員が太政官にて裁可される。	布告及布達・公文録（抄）2969・大阪日報
明治14	1881	5	19	大阪府、東区府会議員中野梧一の退職と六月中補欠選挙実施を布達する。（補欠選挙の結果大井ト新がえられる。）	布告及布達（新聞）・大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	5	19	大阪日報・大阪新報・大阪定期雑誌、伊藤・大隈両参議の農商務省創設の奏議掲載で罰金百円申し付けられる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	5	20	大阪府、地方税経費予算の更正追加を布告する。	布告及布達
明治14	1881	5	23	製薬取締規則案審議のため、大阪府地方衛生会が開かれる。	朝日新聞
明治14	1881	5	23	江戸堀北通三丁目愛国社、高知へ転じ、『愛国新誌』の発行をつづける。	植木枝盛日記（岩波）・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	5	24	肥田弥兵衛ほか四名、順慶町四丁目に虎尾銀行を創業する。	大阪日報
明治14	1881	5	25	大阪商法会議所協同貯蓄金取扱所、事務長・副事務長が交代し、規則の一部を修正追加する。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	5	25	南区、この年一月一日現在の戸数状況を精査して府に報告する。	府会関係雑書
明治14	1881	5	26	英国交際事務官バルグレープ、来阪する。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	5	27	大阪府、大阪市中におけるコレラ病患者発生を知らせ、摂生注意を諭達する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治14	1881	5	27	この日より臨時大阪府会・区部会を開く。郡部議員の減員を摂津議員の内より抽籤し、四区消防費の地方税移管および区部営業税雑種税を審議する。	布告及布達（新聞）・大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	5	27	府会議員門田三郎兵衛、辞職する。（六月補欠選挙で清水栄蔵が当選。）	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	5	27	『大阪日報』、「国会期成同盟会」を社説に掲げ、本年十月の会合に向けての奮起を求める。	大阪日報
明治14	1881	5	30	東成郡選出の府会議員新堂伊兵衛・伊藤治良兵衛、退職する。（六月補欠選挙会で木村権右衛門・松下豊太郎が選出される。）	布告及布達（新聞）・大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	5	日欠	駆徴院、難波村への移転を期し、今後は、各遊所に出張して検査することとする。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	5	日欠	府立病院の人体解剖につき、中ノ島中学校および師範学校等よりその臭気に苦情が出る。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	5	日欠	渋川郡月番学務委員飯田佐治郎・高木太喜造、『渋川郡小学月報』を作成する。	大阪府教育百年史第三巻
明治14	1881	5	日欠	日々夜々強窃盗出没、物騒につき、巡査の偵邏を警邏と改め、また下使い（目明し）を雇い入れる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	5	月中	各部農況	大阪府勸業月報第六号
明治14	1881	5	月中	警察に関する新聞記事(1)～(7)	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	5	月中	監獄署に関する新聞記事(1)～(6)	大阪日報・朝日新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	5	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(3)	大阪日報
明治14	1881	5	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治14	1881	5	月中	(1)角の芝居の上り高	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(2)難波村で合併大相撲	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(3)御霊裏の東京講談場での講談師村井定吉打止め	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(4)無免許興行の容疑で俳優二十七名を検事局への護送	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(5)博物場で大川社の都々逸	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(6)テリハ狂言俄等の興行を規制	大阪日報
明治14	1881	5	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治14	1881	5	月中	(1)造幣局詰の大野規周、そろばん早割機械を落成する	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(2)酒造家の申合規則	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(3)オウクス製造所の設置	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(4)汽船取扱営業の大広社を設立	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(5)中の島旧阿波藩邸跡を住友が買得し、綿糸紡績所にするとか	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(6)蒸気器械を使って西洋釘を製造	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(7)産地材木商人、大阪において直売取引の試みをはじめる	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(8)木津村にアンチモニーの分析所	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(9)鳶田の植物試験所の傍へ農工授業所建設	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(10)玉屋町に硫酸銅ならびに硫酸鉄の製造所	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	5	月中	(1)大阪府庁舎、福井県庁の参考に	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(2)横着な外国人宣教師	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(3)造幣局の甲賀宣政、技術工芸新書を編輯	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(4)抜刀の強盗、一日平均六件以上	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(5)市街各橋の両詰に非常用石段を新設	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(6)仁医高安道純	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(7)府知事転宅の届け遅れで戸長の注意	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(8)天王寺村荒陵中学校、廃校の届出	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(9)大阪鎮台が城外広場に騎隊修練馬場を新設	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(10)戸長の年給は府会議員に比べ不当なりとの放談	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(11)学務課で気象学の研究会を開くとか	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(12)米価騰貴が小作人の生活を苦しめているとの聞き書き	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(13)郡区役所庁中費殺減から人員整理のうわさ	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(14)与論叢誌の発兌	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	5	月中	(15)泊園書院でも撃剣の稽古	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(16)旧渡辺村消防人足の市街火事場立入事件で除名	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(17)高橋国手が三階造の私立病院建設に着手	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(18)南区役所で事務章程の改正	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(19)難波村新金毘羅の南空地に納涼遊園	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(20)鴨野射的場付近で女兒に流れ弾	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(21)南平野町小西長一郎、畿内治河記を府庁に献納	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(22)場外射的場からの流れ弾に当る	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(23)木津村公立小学校の新築落成	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(24)裁判所の近況	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(25)北新地席貸業の不景気	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(26)梅田近辺で紙鳶の飛場合戦	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(27)脚気病の流行	朝日新聞
明治14	1881	5	月中	(28)大阪俳優中村琥珀郎が主唱で役者の邪姪禁制條例編成	新聞集成明治編年史
明治14	1881	5	月中	諸統計	
明治14	1881	5	月中	(1)東区役所よりの地方税納入高	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(2)四月中の南区諸商業および職工人員	大阪日報
明治14	1881	5	月中	(3)本年四月大阪郵便局の営業状況	大阪日報
明治14	1881	6	1	大阪府、巡査の制帽徽章を改定する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	6	1	大蔵省、大阪第三十二国立銀行の岐阜第百三十一国立銀行合併を認可する。	法規分類大全・大阪日報
明治14	1881	6	1	工部省鉄道局、大阪堂島から神戸停車場に移転する。跡地は大阪倶楽部となる。	法規分類大全・公文録3080・大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	6	3	大阪上等裁判所表門前の官有地、火除地として司法省所属となる。つづいて同月十七日大阪裁判所表門前地も同様司法省所属となる。	公文録（抄）3101
明治14	1881	6	3	南区長主催の例月教育会開催が認可される。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	6	4	大阪府、堂島米商会所営業継続願を農商務省に提出する。	米商会所一件（府）・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	6	4	私立日下銀行が西区北堀江一番町に開業する。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	6	5	大阪府、製薬取締規則を創定する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治14	1881	6	5	大阪府会議事堂において警察署詰警部巡査、監獄署詰の吏員が撃剣大会を開く。	朝日新聞
明治14	1881	6	7	大阪砲兵廠、本局を新築屋舎に移す。	大阪法兵廠沿革史・大阪日報
明治14	1881	6	10	大阪府、通常府会・区部会・郡部会を開く。（七月八日、これを八月八日まで延期。八月八日、さらに三十日間延期。）	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	6	11	沢山保羅始め十数人のキリスト教内外説教師、道頓堀角の芝居において耶蘇教大説教会を開く。大阪府浄土宗取締はこれを提訴するも、上等裁判所は受理せず。	大阪日報・朝日新聞・公文録（抄）3120

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	6	13	大阪府、発疹チフスの東京・横浜における流行の兆候を指摘し、感染者の届出励行を布達する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	6	13	大阪商法会議所、太政官第二十九号布告の「商業議会」新設を不可とし、大阪商法会議所の存続を上申する。	五代友厚伝記資料第2巻資料105・明治大正大阪市史史料（明治十四年商業議会之義ニ付上申）
明治14	1881	6	15	大阪府、明治十三年九月天第百四十九号郡区医事務心得及び貧民施療規則を廃止する。	布告及布達（新聞）・古橋家文書触書達・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	6	15	休刊の『魁新聞』、再刊の広告を出すも、さらに延期する。（七月二十一日発刊）	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	6	16	工部省大阪堂島電信局倉庫構内丹礬製造所で出火。	公文録（抄）3080
明治14	1881	6	17	釜山港在留の天野皎、旧時朝鮮貿易における対馬藩の対応を論じた文により、同藩士族から暴行を受ける。	大阪日報
明治14	1881	6	19	大阪府、衛生通信手続を定める。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	6	20	大阪商法会議所、政府よりの下付金を廃止される。	五代友厚伝記資料代2巻資料108・大阪日報
明治14	1881	6	20	四区区長および区会議員連合会で、二十分の一金徴収方法を定める。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	6	21	大阪府、西区府会議員田中市兵衛の退職と七月中の補欠選挙実施を布達する。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	6	23	『大阪日報』、和歌山県会が知事の行政特権について審理局に裁定を請うたことを論じる。	大阪日報
明治14	1881	6	24	大阪府、区部営業税雑種税中の各制限税額を定める。	布告及布達（新聞）・公文録（抄）2974
明治14	1881	6	24	大和全国自由大懇親会が大和国葛下郡高田村に開かれる。『大阪日報』、これに深く関与する。	大阪日報
明治14	1881	6	24	文部省雇米国人ドクトル、セメンズ来阪し、監獄本署・朝陽館等を見聞する。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	6	24	このころより数日間降雨続き、東成・西成両郡で農地に被害がでる。	朝日新聞
明治14	1881	6	25	大阪府、娼妓並びに席貸賦金徴収規則を制定する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	6	26	京都府園部において船井郡の自由懇親会が開かれる。『大阪日報』、これにも深く関与する。	大阪日報
明治14	1881	6	29	大阪府、女子裁縫学校巡回教師を廃止する。	布告及布達・大阪府教育百年史第3巻
明治14	1881	6	29	大蔵省、国債局大阪支局を廃止する。	公文録（抄）3026・法規分類大全・大阪日報
明治14	1881	6	30	救助場が廃止され、収容貧民はそれぞれ原籍役所に引渡される。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	6	日欠	大阪郵便局に私書函を設置する。	大阪日報
明治14	1881	6	日欠	『大阪日報』、全国各地における自由党の勃興ぶりを次々と報道する。	大阪日報
明治14	1881	6	日欠	幼児の衣服を奪い取る強盗が出没する。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	6	日欠	松島の借家買収をめぐって関係者の間に争いが生じる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	6	月中	各部農況	大阪府勸業月報
明治14	1881	6	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(2)	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	6	月中	監獄署に関する新聞記事(1)～(5)	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	芝居・娯楽に関する記事	

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	6	月中	(1)難波新地の相撲で賭博が検挙される	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(2)旧渡辺村で謡、舞稽古の流行	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(3)御霊裏の東京講談場で柴田南玉が講談	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(4)巖本猶次郎に虎つかいの鑑札	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(5)橋岡の舞台で能狂言の催し	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(6)天満天神社内で京阪合併の大相撲	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(7)南地の大阪東京合併大相撲	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	産業金融等に関する新聞記事	
明治14	1881	6	月中	(1)砲兵工廠に器械据附場を新築	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(2)平野郷金田友七が紡績機械所設置で出願	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(3)高麗橋の目賀田某、藍色を出す灰汁を発明	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(4)大阪株式取引所申合規則に「休会」の一ヶ条を増加	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(5)砲兵工廠製造の西洋模造の釘が好評	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(6)三宅千種氏発明の器械製造水昌氷の成功	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(7)堺の綿糸紡績所・江戸堀の川崎政右衛門が引請ける	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(8)新宮の山中で石炭発見藤田組等、南礦組を設立し分社を安治川に	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(9)雷の仁三郎の開養社	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(10)南区および西区より第二内国博へ出品し、有功賞牌を受賞した者	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(11)蒸気船盛行丸の就航	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(12)コークス製造所の出願ほか一件	大阪日報
明治14	1881	6	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	6	月中	(1)算盤橋の落成	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(2)府立病院の病室から畳を撤去	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(3)八幡神社の夏祭では地車屋台等を廃止	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(4)剣客西田一信が天王寺南門前に道場	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(5)堀忠利ら府下に貧民病院を設置するとか	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(6)造幣局製造のソーダ滓は天保山沖に捨てるとか	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(7)造幣局貨幣製造所の観覧を特別に許された最初の婦人	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(8)西成郡豊崎学校ら五校の生徒が連合して競進開を開くとか	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(9)東区博労学校の盛大	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(10)千日前の広場に東京風の普請	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(11)河口居留の支那人梅仙翻訳の日本外史がこのごろ再出現	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(12)本田東学校の進歩	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(13)京神間鉄道電話機全通に着手	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	6	月中	(14)府下で「辻」の地名七ヶ所に碑銘をと周旋中	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(15)生国魂神社行宮の棟上式	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(16)砲兵大尉太田君の洋行はユカチェス砲製造を学ぶため	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(17)茶臼山境内の新井戸堀で牡蛎の貝殻が出る	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(18)朝野新聞の大阪通信	新聞集成明治編年史
明治14	1881	6	月中	(19)西郷隆盛の伝巻の十、売出し	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(20)法善寺内石像不動明王の繁栄	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(21)空米相場で二十八名を検挙	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(22)大阪鎮台で摂河泉三ヶ国の地図を完成させる	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(23)上等裁判所の改革	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(24)横堀二丁目肥田六之助が畿内申報刊行の願出	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(25)道頓堀川に悪虫発生	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	統計に関する新聞記事	
明治14	1881	6	月中	(1)大阪郵便局明治十三年後半期貯金高	大阪日報
明治14	1881	6	月中	(2)西成郡の学事近況	朝日新聞
明治14	1881	6	月中	(3)明治十三年七月より十二月まで府下五区四十二郡の死亡者	朝日新聞
明治14	1881	7	1	中の島常安町中学校内に書籍館新築し、この日開業する。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	7	5	大阪府、東区で府会議員一名の補欠選挙会実施を提示する。（同月十八日、泉由次郎が選任される）。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	7	6	大阪府衛生課、西区江戸堀南通三丁目飲水試験場において無料で飲料水試験を実施し成績表を交付することを布達する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	7	6	大阪府、烟火打場に関する願届は以後所轄警察署へ提出させる。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	7	7	大阪府、郡区町村において教育会を開設する場合の届出を義務付ける。	布告及布達
明治14	1881	7	7	大阪府、四区消防費の区部地方税費目への編入を布達する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	7	9	大阪府、官有地の樹木伐採は森林保護の趣旨に戻らぬよう注意すべきことを布達する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	7	12	勸業会が大阪府庁内において開かれ、粗悪米取締と改良策について協議される。	大阪府勸業月報第7号
明治14	1881	7	14	大阪府、公立学校の休業日を改正し、夏期休業中の勉学継続に配慮する。	布告及布達・朝日新聞
明治14	1881	7	15	大阪府、文部省制定の小学校教員心得を各教員に交付する。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	7	16	大井田祐正外十八名、府知事に係る四天王寺寺務改正処分に不服の訴訟を起す（不受理）。	公文録（抄）3117・朝日新聞
明治14	1881	7	17	南郷堂において仏教講談会が開かれる。	大阪日報
明治14	1881	7	18	大阪府、郡区派駐訓導の七月限り廃止を布達する。	大阪府教育百年史
明治14	1881	7	18	大阪府、別途巡査配置請願心得を創定し、八月一日より施行する。	布告及布達（新聞）・大阪府警察史
明治14	1881	7	20	文部省直轄大阪中学校、中学科を初等・高等の二等に分ける。	公文録（抄）3065・布告及布達（新聞）・大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	7	23	警察本署および各警察署巡查の中に特務巡查を置き、犯罪の捜査に従事させる。	布告及布達（大阪府警察史）
明治14	1881	7	25	大阪天満宮で船渡御が明治四年以来復活する。	大阪日報
明治14	1881	7	25	大阪府、席貸及び娼妓営業取締規則を改正する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	7	26	『東京横浜毎日新聞』、「関西貿易商会ノ近状」連載を開始する。	五代友厚伝記資料第四巻
明治14	1881	7	27	大阪府、戸長選任条件の一部を変更する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	7	28	大阪府、常置委員の定数区・郡部とも五人に改定を布達する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治14	1881	7	27	北浜・道修両小学生徒演説会開催を届け出る。	大阪府教育百年史・大阪日報
明治14	1881	7	30	大阪商法会議所副取広瀬宰平、商法会議所議員を代表し区部会議案中営業税賦課法の不備を指摘し、その修正に関する建議書を府知事に提出する。	商法会議所一件（府）・明治大正大阪市史 7（商業取締に関する建議書）
明治14	1881	7	日欠	五代友厚、製藍資本金としての拝借金再延納を大蔵省に願い出る。（八月認可）	公文録（抄）3032・五代友厚伝記資料第 3 巻資料133
明治14	1881	7	日欠	関西貿易会社、北海道岩内炭坑の払下げを出願する。	五代友厚伝記資料第 3 巻資料189・五代友厚伝記資料第 4 巻資料174
明治14	1881	7	月中	各部農況	大阪府勸業月報第 8 号
明治14	1881	7	月中	教育・学校に関する新聞記事記事	
明治14	1881	7	月中	(1)小学校教員定期試験の不取締を改めるとか	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(2)職工学校設置計画	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(3)江の子島・江南学校の隆盛	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(4)容儀学校設立の趣旨	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	警察に関する新聞記事(1)～(3)	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	7	月中	産業・金融に関する新聞記事	
明治14	1881	7	月中	(1)沖縄産泡盛の販売広告	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(2)鍋釜鑄造会社を大阪鎔成会社と改称	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(3)(1)～(2)綿商集会所設置の計画	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(4)本田一番町に鑄物製造所改業	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(5)国産品のみによる双合織の発売	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(6)谷沢儀右衛門等、難波村に製革会社設立計画	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(7)大阪株式取引所の明治十四年前半期実際報告	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(8)第四十二国立銀行第六回半季実際報告	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(9)硫酸製造会社第三回半季実際報告	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(10)第三十二国立銀行第七回半季実際報告	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(11)第百四十八国立銀行第五回実際報告	大阪日報
明治14	1881	7	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	7	月中	(1)重罪見込者には手錠で護送となる	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(2)砲兵工廠雇ベメンストルが帰国	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(3)御池橋が落成	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	7	月中	(4)御蔵跡堀割川の臭気	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(5)南区人民協議費で設置の自身番には秋山社中の撃剣家が詰め切り	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(6)道路の煉瓦普請は堅牢を欠くので廃止とか	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(7)府下代言人が議事堂新築計画	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(8)実話の脚本化差し止め願いは認められず	新聞集成明治編年史
明治14	1881	7	月中	(9)違式註違の条目違反はすぐに最寄警察署で処分へ	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(10)回春病院長山本信卿の死去	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(11)西洋はかりの製法発明	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(12)演説会場の新築に奔走	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(13)四天王寺月無の池より出現は御光明院の遺骨か	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(14)娼妓の幽霊	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(15)今橋々杭を府庁より砲兵工廠に注文	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(16)徴役人、麦飯で不平	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(17)浪速神社夏祭で渡御再興	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(18)調枯業者、取締の設置を出願	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(19)「なまいき雑誌」の発兌	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(20)古沢滋の引越	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(21)三軒家橋の架設計画	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(22)戸長の権威で相撲の無鉞見物	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(23)(1)～(2)明誠舎を開設し、心学道話を再開するとか	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	統計に関する新聞記事	
明治14	1881	7	月中	(1)南区内井水数	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(2)六月中西区の娼妓の税納額	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(3)人民諸公債証書持高	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(4)府下公私立病院一覧表	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(5)変死者統計	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(6)管内脚気患者一覧	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(7)北区戸数・人員一覧表	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(8)府下通船数	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	(9)南区証券印紙売高	朝日新聞
明治14	1881	7	月中	諸論説	
明治14	1881	7	月中	(1)士族の事を論ず	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(2)貧富懸隔の事を論ず	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(3)地方経費中小費目の流用につき大阪府会の意見	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	7	月中	(4)立憲政体	大阪日報
明治14	1881	7	月中	(5)誰れか我国の人智大に進まずんば則ち国会は開く可らずと云ふか	大阪日報
明治14	1881	8	1	大阪府、小形旅客汽船取締規則を改定する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	8	1	西区本田二番町に治安裁判所が落成する。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	8	5	大阪府、鹿児島市街におけるコレラ病蔓延の状況を述べ、府民に衛生注意を喚起する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	8	7	第二交詢社の演説会が開かれ、耶蘇教批判などが展開される。	大阪日報
明治14	1881	8	9	大阪日報社客員沢辺正修、但馬地方自由党の結合のため巡回に出発する。	大阪日報
明治14	1881	8	10	大阪府、郡中派出医を廃止する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	8	11	大阪府、文部省下付の公立小学校補助金二三九八円余を旧大阪府の生徒三万一九二二人に分当配布する。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史第三巻・大阪日報
明治14	1881	8	11	大阪府、文部省布達の教員品行検定規則を郡区役所に通知し、該当者の上申を命ずる。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史第三巻
明治14	1881	8	12	天王寺村篠川利祐外六名、摂河両国二九六か村総代として、農業講習所の設置を出願する。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	8	15	大阪府、東区選出の府会議員草間貞太郎辞職につき補欠選挙の実施を布達する。（八月二十九日明石忠七が選任される。）	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	8	16	大阪裁判所長、大阪裁判所及び堺支庁・奈良・五條・中ノ島・天王寺裁判所管轄区域を改定する。	布告及布達（新聞）・法規分類大全
明治14	1881	8	17	大阪府、郡区勸業世話掛の配置を改め、またつづいて十九日勸業世話掛心得・勸業通信仮規則を定める。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪府勸業月報第八号
明治14	1881	8	20	開拓使払下問題を糾弾する演説会が戎座において開かれる。	大阪日報
明治14	1881	8	21	大阪府会議員西川・浮田・安井および広瀬幸平等、商法会議所に会合し大阪に会館（クラブ）建設のことを決める。	大阪日報
明治14	1881	8	22	大阪府、売薬営業願には調剤の方法、服用法及び服量・主治・効能等を詳載するよう改めて布達する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	8	22	司法省、各地方裁判所支庁に検事を置く。これにより大阪裁判所各支庁にも検事が置かれ、管内司法警察の事務を指揮する。	法規分類大全
明治14	1881	8	23	大阪府、各郡植物試験場の創設・維持に補助金を下附することとする。	布告及布達（新聞）・大阪日報・朝日新聞・大坂新報
明治14	1881	8	24	大阪府、勸業月報の配布数を増加し人民適宜に回覧の法を設けて旨趣の普及を計らせる。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	8	24	この日および二十五日、御霊社内において演説会が開かれ、開拓使払下問題ほか論ぜられる。	大阪日報
明治14	1881	8	24	エルメレンス記念碑が中の嶋公園地に完成し、この日括魂祭が行なわれる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	8	25	大阪府、西洋形商船及び問屋取締規則をこの月限り廃止する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	8	26	板垣退助、高知を出立し、大阪からさらに東北各県遊歴の途に就く。	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	8	27	北海道巡覧（函館に帰着した五代友厚、青森に到着の大隈重信に書簡を送り、開拓使払下物件についての見込みと関西貿易社に対する非難の強まりを嘆く。	五代友厚伝記資料第一巻四五六・朝日新聞・五代友厚伝記資料第三巻一八八
明治14	1881	8	27	大阪新報社、箕浦勝人・加藤政之助の手に移り、同人等は大阪定期雑誌を日刊の毎朝新聞発行へ切り換える計画を中止する。	朝日新聞・大阪日報・新聞集成明治編年史・大坂新報
明治14	1881	8	29	大阪府、戸長配置法及び選挙法を改定する。大阪四区は三十八分画し、それぞれに戸長一名、郡および堺区は毎町村に戸長一名を置くこととし、すべて公撰とする。また、戸長給料および職務取扱諸費を定める。	布告及布達（新聞）・大阪日報・朝日新聞・西成郡史
明治14	1881	8	29	大阪府、備考儲蓄法について郡部・区部の経済を分離する。	布告及布達（新聞）・公文録
明治14	1881	8	31	大阪府、布告・布達の頒布法を改定する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	8	日欠	今宮村の植物試験場、堂島浜通三丁目に移転する。	大阪新報・朝日新聞
明治14	1881	8	日欠	大阪裁判所、死刑場を中の嶋監獄分署構内と定める。	大阪日報
明治14	1881	8	月中	この月初旬ころより開拓使払下問題が在阪の各新聞紙でも大きく取り上げられ、追及される	大阪日報・朝日新聞・新聞集成明治編年史
明治14	1881	8	月中	東区区会議員および同各町町会議員、東・南および西・北の合区案に反対の情願書を府知事に提出するまた、このころ郡区経済の縮少が大きな問題となる	宮本家文書69・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	8	月中	大阪府会決議に基き、四区協議の結果、公立中学校設立は東・南区連合で一校、北区で一校、西区は旧来の千秋中学校のままとなる	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	8	月中	角の劇場で南部桧山騒動が脚色上演される	大阪日報
明治14	1881	8	月中	各部農況	大阪府勸業月報第九号
明治14	1881	8	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	8	月中	(1)青屋口に鎮台射的場を設ける由	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(2)監獄本署の発病者少なし	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(3)大阪人、開拓使管下で郵便物配達中凍死	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(4)天満宮文庫蔵に山階宮が扁額揮毫	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(5)建野府知事の夏期休暇	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(6)仏教講談会の開筵	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(7)『大阪商事新報』発兌の出願	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(8)開成社『生久楽心誌』の盛況	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(9)造幣局硫酸製造所の臭気に護衛の鎮台兵が苦情	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(10)海賊の張本を捕縛	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(11)心斎橋筋順慶町より心斎橋北詰までが火防のため土蔵造に建替え	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(12)豊国神社の祭礼	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(13)大川で一人乗りバッテリーの競争	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(14)町芸者が増えて風儀悪化がすすむ	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	8	月中	(15)難波新地に屯集する人力車の悪弊	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(16)府下代言人が共同館設立計画	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(17)東区で消防方受合会社・協盛社を設立する由	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(18)人力車夫取締設置につき人員等調査	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(19)『大阪広告日報』発行許可	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(20)日柳盲啞学校長が道德講談会を開く由	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(21)町芸者の繁昌と南地・北地遊所の閑散	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(22)度重なる出火でガラス製造所の移転を嘆願	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(23)芝居興業元、長町貧民等増税反対の動き	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	教育に関する新聞記事	
明治14	1881	8	月中	(1)北堀江の女子裁縫学校衰微	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(2)臨時教育会の開催	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(3)小学校で水練の稽古	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(4)梅花女学校は九月四日から	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(5)英語学舎の新築	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(6)中之島中学校内に女子裁縫学校	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(7)北区松ヶ枝町に小学校設置出願	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(8)漢法医学講究会の開会	大阪日報
明治14	1881	8	月中	警察に関する新聞記事(1)～(7)	大阪日報
明治14	1881	8	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治14	1881	8	月中	(1)難波村の地藍、上作	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(2)草間貞太郎ほか、貸倉庫会社設立を出願	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(3)鈴木卯兵衛、竹類の輸出に成功	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(4)洋傘製造会社大阪分社第一回実際報告	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(5)第十七国立銀行の取締役交代	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(6)第百三十国立銀行第五回実際報告	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(7)焼酎の糟で醤油を製造	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(8)ロシア伝来の西瓜種が伝法村で結実	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(9)伊藤契信が硝子製造に英人の雇入出願	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(10)堂島米紹介所仲買人の制限	大阪日報
明治14	1881	8	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治14	1881	8	月中	(1)諸芸講習所設置計画	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	(2)大相撲の損耗で金主の失踪	大阪日報
明治14	1881	8	月中	(3)千人前観場の元祖、活人形師の安本亀八の大阪乗込み	新聞集成明治編年史

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	8	月中	統計に関する新聞記事	
明治14	1881	8	月中	(1)諸公債証書持越し高	朝日新聞
明治14	1881	8	月中	論説	
明治14	1881	8	月中	(1)郡区長を公選するの議	大阪日報
明治14	1881	9	1	西成郡、教育諮詢会規則を定める。	大阪府教育百年史・大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	9	2	西区阿波座下通二丁より出火し、五十余戸を延焼する。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	9	3	土佐堀二丁目三十一番地官有浜地を内務省土木局出張所の物揚地とする。	公文録2992
明治14	1881	9	3	西成郡湊屋新田土居チエと神戸居留地居住英国人ジョセフ・グリーンとの結婚が認可される。	公文録2993
明治14	1881	9	4	河州錦部郡古野村極楽寺で自由懇親会が開かれ、大阪日報より沢辺正修・善積順蔵が参加する。	大阪日報
明治14	1881	9	5	東区長森田稔、大鳥郡長に転じ、後任に熊谷新が任命される。	大阪日報
明治14	1881	9	6	大阪府、二人以上連合にて酒造営業をする者は、各員連署出願すべきを布達する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	9	9	大阪府、難波島近傍にコレラ病患者発生を報じ、摂津四区二郡に注意を喚起する。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	9	9	大阪府、道路の縁り芝剥ぎ、路端の土削りなどを禁止する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	9	10	大阪府、神社・寺院の総代を選び、神社・寺院の経済を氏子・檀家等の共有すべきものと、神官・住職に附するものとに区別させる。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	9	10	大阪日報社、板垣退助および近畿自由党員らの大演説会を戎座に開く。	大阪日報・東京日日（新聞集成明治編年史）
明治14	1881	9	10	大阪府、貧民施療規則を定める。	布告布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	9	13	暴風雨。大阪府管内各地に被害多く出る。	朝日新聞・船園場ノ部・公文録（抄）3005・大阪日報
明治14	1881	9	13	大阪府、西区選出府会議員沢田忠兵衛辞任後の補欠選挙実施を布達する。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	9	14	大阪府地方衛生会が府庁に於いて開かれる。	朝日新聞
明治14	1881	9	15	『大阪日報』紙上で近畿自由党決議が明らかにされる。	大阪日報・朝日新聞・児玉仲児の日記（『粉河町史』第四巻）
明治14	1881	9	16	大阪府府庁内にコレラ病予防事務所を置く。これ以降、各地に予防委員出張所が設置され、また、予防関係の布達等が相次ぐ。	布告及布達（南区8(B44)）、布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報・大坂新報
明治14	1881	9	17	大阪府、諸川・堤防等で従来官費支給の箇所は明治十四年度地方税支弁を布達する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	9	18	富田林で河内国石川郡自由懇親会が開かれ、大阪日報より善積順蔵が参加する。	大阪日報
明治14	1881	9	18	津田貞・小宮山某ら、日刊の『畿内申報』を刊行する。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	9	21	大阪府、明治十四年度区部地方税（地租割・戸数割）規則及び税率を定める。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	9	21	大阪府、郡区役所郡区長及書記以下月俸規則を改定する。	布告及布達
明治14	1881	9	23	農務講習所が西区江戸堀南通三丁目に開かれ、毎月二十三日を開会の定日とする。	朝日新聞
明治14	1881	9	24	大阪府、明治十四年度区部地方税営業税雑種税漁業税規則を定める。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	9	24	大阪府、住吉警察署を廃し、堺警察署住吉分署を置く。また、平野分署を八尾警察署所轄に編入する。	布告及布達（新聞）

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	9	24	大阪府、火災予防のため町村もしくは町村聯合にて警火番を設置するのを許可する。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	9	25	大和国宇智・吉野両郡自由親睦会が五條に開かれ、大阪日報より田口謙吉が参加する。	大阪日報
明治14	1881	9	30	大阪府、明治十四年度郡部地方税地租割戸数割規則ならびに税率を定める。	布告及布達
明治14	1881	9	日欠	周辺郡村で旱魃被害が広がる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	9	月中	各郡農況	大阪府勸業月報第十号
明治14	1881	9	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	9	月中	(1)町芸者の流行	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(2)唐物町に和漢医学講習所	朝日新聞
明治14	1881	9	月中	(3)淡路町一丁目私立医学舎を私立医学校と改称	朝日新聞
明治14	1881	9	月中	(4)元木昌造の七年祭が自由亭で行なわれる	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(5)野田村に火葬場設置の出願	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(6)四人乗人力車の営業開始	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(7)宇田川文海、朝日新聞社に入る	朝日新聞
明治14	1881	9	月中	(8)天王寺村より奈良への道路が落成	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(9)松島遊廓で清国婦人を抱える	新聞集成明治編年史
明治14	1881	9	月中	(10)遊所の規則を改正し、芸妓税増徴に対応	朝日新聞
明治14	1881	9	月中	(11)『修道館事務雑誌』、当分休刊	朝日新聞
明治14	1881	9	月中	(12)中の嶋自由亭で向詢社員が宴会	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(13)仏教講談会の開会	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(14)前借金を踏み倒して廃業を願う芸妓の奸計	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(15)幸橋が阿波堀橋と改名し、架換えられる	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(16)日柳政愨、保国社へ加入	朝日新聞
明治14	1881	9	月中	(17)川口在留地に西区役所、浦役出張を設置	朝日新聞
明治14	1881	9	月中	(18)大阪裁判所より松屋町監獄分署に電話機を架設	大阪日報
明治14	1881	9	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治14	1881	9	月中	(1)内国運輸会社へ入社 of 広告	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(2)三菱汽船貨物船客取次所の広告	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(3)第二十六国立銀行第七回半季実際報告	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(4)行明舎、行明会社と改称し、役員を交代する	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(5)造幣局中技師大野規周、宮中用の時計を製作	大阪日報
明治14	1881	9	月中	(6)半田清助、本田町通に操綿業を開く	朝日新聞
明治14	1881	9	月中	演説会に関する新聞記事(1)～(3)	大阪日報
明治14	1881	9	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治14	1881	9	月中	(1)朝日座の浄瑠璃興業で事故	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	9	月中	警察に関する新聞記事(1)～(2)	大阪日報
明治14	1881	9	月中	教育に関する新聞記事	
明治14	1881	9	月中	(1)道仁小学校開校式	朝日新聞
明治14	1881	9	月中	(2)南区の積金制度の功	朝日新聞
明治14	1881	9	月中	統計に関する新聞記事	
明治14	1881	9	月中	(1)府下郵便函惣数	朝日新聞
明治14	1881	9	月中	(2)当府在勤官員惣計	朝日新聞
明治14	1881	10	3	大阪府、郡部地方税（営業税・雑種税・漁業税）規則および同徴収期限等を定める。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	10	8	大阪府、盗難被害者等よりの訴えには以後何々告訴と記載すべきことを布達する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	10	8	大阪府、府立町村立師範学校職員名称・准官等・月俸を定める。	布告及布達（新聞）・朝日新聞
明治14	1881	10	10	大阪府、明治十三年天第一五五号車輛取扱規則を改正する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	10	10	大阪府、明治十四年度火災消防費六千円をもって、東区消防頭取鳥帽子善吉・西区同吉備吉兵衛・南区同浅野治助・北区同小林左兵衛に実務を委任する。	大阪市消防要論・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	10	12	大阪府、各地に唱える字の改称・変更を禁止する。	布告及布達（新聞）・明治史要
明治14	1881	10	13	大阪府、府会議事堂新築工事の入札を募る。	大阪日報・大阪新報・朝日新聞
明治14	1881	10	14	大阪の各新聞紙、国会開設の勅と開拓使官有物払下げ取り消しを報じる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	10	15	大阪府、明治十四年度地方税収出予算を定める。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	10	18	大阪府、明治十四年度酒造検査区域及び主任官吏駐在所を定める。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	10	19	大阪府、大阪・堺市街商工業取締法を定め、これに準拠して便宜仲間申合規約の作成を指示する。	布告及布達（新聞）・大阪商業史資料・大阪商業誌・大阪日報
明治14	1881	10	19	大阪新報、発行停止を命ぜられ、大阪毎朝新聞発行を目論む。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	10	20	大阪府、コレラ病患者で貧困にして医師の治療を受け難き者には地方費で薬価・診察料を負担することとする。	布告及布達（新聞）・大阪新報
明治14	1881	10	20	『大阪商事新報』が発刊される。	大阪日報・大阪新報
明治14	1881	10	21	大阪府、郡区長委任条件中第六十六条、洪水の際橋梁管守手続を定める。	布告及布達・大阪日報
明治14	1881	10	21	共同館の設立、とりやめとなる。	大阪日報
明治14	1881	10	21	近畿自由党、中之島自由亭に会議を開き、創業費醸出の件、板垣退助・中島信行の来阪実現のための派出委員決定の件などを決議する。	大阪日報・日本立憲政党政議録並出金表（『日本史研究132』原田久美子）・粉河町史第4巻
明治14	1881	10	24	大阪商法会議所、この日以来臨時総会・委員会を重ね、横浜生糸荷預所事件に対する応援策を定める。	五代友厚伝記資料第2巻資料110
明治14	1881	10	25	朝鮮修信使一行の来阪	大阪日報
明治14	1881	10	25	大阪日報社・朝日新聞社・畿内新報社、協同して立憲自由政大の大演説会を中の芝居に開く。	大阪日報・朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	10	日欠	この月も近畿各地で自由懇親会が開催され、大阪日報関係者は招かれて参加することが多い。	大阪日報
明治14	1881	10	日欠	明治十四年甲第二百二十二号布達にもとづき大阪医療器械商組合を組織する。	大阪医療器械商組合記録
明治14	1881	10	月中	各部農況	大阪府勸業月報第十一号
明治14	1881	10	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	10	月中	(1)阿波橋新製落成	朝日新聞
明治14	1881	10	月中	(2)北堀江の有志輩が貧民救助の一社を設けると	朝日新聞
明治14	1881	10	月中	(3)元清水谷組同心等が士族籍編入を出願せんとす	朝日新聞
明治14	1881	10	月中	(4)造幣局鉄・門通行制限	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(5)大阪に明治生命保険会社の出張所	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(6)小林林之助、棄児養育社を設けんとす	朝日新聞
明治14	1881	10	月中	(7)猿舞しの猿にいたずら	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(8)文部省所轄中学校内の古塚にある古碣	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(9)千歳町の大工伊藤徳兵衛、日本風家屋建築伝授のため渡米	
明治14	1881	10	月中	(10)朝日座で仏教講談会	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(11)南御堂で仏教講談会	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(12)南区で路傍の大便所を改良することに	朝日新聞
明治14	1881	10	月中	(13)国会期成同盟会に大阪から青山薫が出席	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(14)民有地内建設の電信柱等で地代の下付	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(15)中の島監獄署で銅版等彫刻の事業をすると	大阪新報
明治14	1881	10	月中	(16)北平野町人民等が区部編入を願い出	朝日新聞
明治14	1881	10	月中	(17)日柳政愬・二宮秀平ら護国社を結成	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(18)大谷派本願寺支院で末寺僧侶の大試験	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(19)造幣局硫酸製造所職工に硫酸の毒気	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(20)明治記念標の建築に年内着手の予定	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(21)接近郡村のうち五ヶ所に消防人夫設置の出願	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(22)菊の見物案内	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(23)魚鳥の臓腑などの汚穢物運搬取締で府庁の指令	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(24)宗禅寺馬場を遊園地にする計画	大阪日報
明治14	1881	10	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治14	1881	10	月中	(1)府下舶来織物会社売捌き量	朝日新聞
明治14	1881	10	月中	(2)難波青物市は新市場に人が集まる	朝日新聞
明治14	1881	10	月中	(3)大阪製銅会社の役員改正	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(4)東京広告社、大阪に支社を設ける	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	10	月中	(5)有志で農事講習会	大阪日報
明治14	1881	10	月中	警察に関する新聞記事	
明治14	1881	10	月中	(1)当警察本署に副長を置く	朝日新聞
明治14	1881	10	月中	(2)東区で巡査箱番所設置の出願	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(3)警察本署、各警察署へ司法部事務のための巡査選抜を通知す	大阪日報
明治14	1881	10	月中	演説会に関する新聞記事	
明治14	1881	10	月中	(1)大江橋席で政談演説会	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(2)京都政談演説会に大阪から弁士	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(3)御霊社内の席で政談演説会	大阪日報
明治14	1881	10	月中	新聞等の論説	
明治14	1881	10	月中	(1)罷大隈参議	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(2)参議従三位勲一等大隈重信君辞職ノ事由	大阪日報
明治14	1881	10	月中	(3)新聞演説ノ自由ノ消長	大阪日報
明治14	1881	10	月中	統計に関する新聞記事	
明治14	1881	10	月中	(1)南区中棄児数	朝日新聞
明治14	1881	10	月中	(2)9月中五花街席貸税ほか	朝日新聞
明治14	1881	11	1	近畿自由党、立憲政党と改称し、創業金管理委員三名と派出委員十二名をえらぶ。派出員らは近畿各地に出向し、組織拡大に大いにつとめる。	大阪日報
明治14	1881	11	1	この日より三十日間、有志者の申し合せにより内本町博物場において公私立中小学校および裁縫学校生徒学事大競進会を開く。	大阪府教育百年史第三巻・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	11	1	大阪第三十二国立銀行、銚子第一百四十二国立銀行を合併する。	法規分類大全・大阪日報
明治14	1881	11	2	文部省所轄大阪中学校、英語科の当分存置が認められる。	公文録（抄）3067
明治14	1881	11	2	四ツ橋東南詰角に産清社開業し、出産の際の汚穢物処理に従事する。	朝日新聞
明治14	1881	11	4	大阪府、寄留・止宿人届出方を改正する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	11	8	大阪府、官林樹木其他生産物入札規則を制定する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	11	11	英国皇孫が来阪する。	大阪日報・朝日新聞・新聞集成明治編年史
明治14	1881	11	11	大阪油会社の設立が許可される。	朝日新聞
明治14	1881	11	20	大阪府、大書記官吉田豊文、大蔵少書記官に転出する。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	11	21	塩魚干魚鯉節商、永代浜借地継続願を提出し、この日府の認可を得る。	大阪肥物商組合一班・「靱肥物商の沿革」『商業資料』
明治14	1881	11	22	大阪府学事に関する戸長および学務委員の権限を調整する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	11	23	午前一時北堀江下通二丁目より出火。五百九十余戸を延焼し五時鎮火する。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	11	24	大阪府知事、上京する。	布告及布達（新聞）公文録（抄）3207・大阪日報
明治14	1881	11	25	『大阪日報』、酒税減額請願のため来る明治十五年五月大阪に酒造営業人の会議を開くべしとの呼びかけを社説において紹介する。	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	11	26	大阪府、学務委員薦挙規則を定める。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	11	26	大阪府、管内の小学区を定める。	布告及布達（新聞）・朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	11	26	大阪府、淀川筋運漕撈筏の尺度制限を改正する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	11	26	大阪府、従来の師範学校卒業証書のうち有効期限を記入していないものは授与の日より起算して七ヶ年間有効とする。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	11	30	大阪城東裁判所長清岡公張、大阪控訴裁判所長に命ぜられる。	布告及布達（新聞）・法規分類大全・大阪日報
明治14	1881	11	日欠	難波島船囲場開鑿工事竣成する。十二月二十六日より入船許可し、二百石以上の諸船はすべて同場に繋囲することとなる。	大阪商業誌・船囲場一件・大阪日報・布告及布達（新聞）・白山家文書
明治14	1881	11	月中	各部農況	大阪府勸業月報第十二号
明治14	1881	11	月中	警察に関する新聞記事(1)～(2)	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	11	月中	教育に関する新聞記事(1)～(6)	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	11	月中	演説に関する新聞記事(1)	大阪日報
明治14	1881	11	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治14	1881	11	月中	(1)造幣局のソーダー発売	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(2)簡便な綿繰器械の工夫	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(3)砲兵工廠での蝙蝠傘の骨製造を中止	大阪日報
明治14	1881	11	月中	芝居・娯楽等に関する新聞記事	
明治14	1881	11	月中	(1)生国魂神社で素人相撲	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(2)千日前の生人形	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(3)道頓堀三劇場の芝居茶屋、場代取立方を協議	大阪日報
明治14	1881	11	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	11	月中	(1)監獄本署内に懲治檻新築	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(2)天保山沖合に竿燈設置の計画	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(3)街衢道路の舗装は煉火石から土砂へ	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(4)天長節の情景	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(5)守線手の増加	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(6)岡崎栄二郎持ちの永徳丸、北海道沖で沈没	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(7)大阪城内に離宮を着工するとか	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(8)自由党の会議列席者	大阪日報
明治14	1881	11	月中	(9)医事会同社の再興	朝日新聞
明治14	1881	11	月中	(10)梅田停車場～桜橋の道路拡幅につき住民の苦情	朝日新聞
明治14	1881	11	月中	(11)番船、舟玉祭と改称し、本年も実施	朝日新聞
明治14	1881	11	月中	(12)暴風あり、被害	朝日新聞
明治14	1881	11	月中	(13)風俗を乱す錦絵類がまた出現	大阪日報

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	11	月中	統計に関する新聞記事	
明治14	1881	11	月中	(1)郵便貯金越高	朝日新聞
明治14	1881	11	月中	(2)平野街道の交通量	朝日新聞
明治14	1881	12	1	大阪府、違警罪目を定め、来る十五年一月一日より実施し、従来の違式誑違罪目を廃止する。また違警罪裁判は警察署および分署において取り扱うこととする。（附 明治十五年十月違警判治罪内則）	布告及布達（新聞）・大阪府警察史・大阪日報
明治14	1881	12	1	生命安心社、東区高麗橋詰町に開業する。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	12	4	曾根崎村で出火。戸数百六戸・土蔵一ヶ所焼失、ほか被災あり。	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	12	6	大阪府、検閲を受けずに軍用銃を所持する者あり、注意して、改めてこれを禁止する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	12	7	香坂昌邦、大阪府少書記官に任ぜられる。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	12	7	大阪府地方衛生会を開く	布告及布達（新聞）
明治14	1881	12	9	大阪附、西成郡で府会議員多羅尾七郎辞職につき、本月中の補欠選挙実施を布達する。（当選曾根崎村渡辺新右衛門）	布告及布達（新聞）・大阪日報・西成郡史
明治14	1881	12	10	大阪府、出火の節現場に関係なき者の立入を禁止する。ただし、この布告については一月二十三日消防会議において異論が出る。	布告及布達（新聞）・大阪日報
明治14	1881	12	13	大阪日報、西川甫・小室信夫・藤田伝三郎・中野梧一・古沢滋の五名より日本立憲政党新聞発起人に売却することを公表する。	大阪日報・朝日新聞・新聞集成明治編年史・西田長寿編『明治前期政党関係新聞紙経営史料集』（明治史料第四集）
明治14	1881	12	14	五代友厚、広業商社社長故笠野熊吉にかわって沓銀買入資金三十万円の残金十五万円の返納延期を大蔵省に願い出る。	五代友厚伝記資料第二巻資料三二～三六
明治14	1881	12	14	中ノ島浜手共同水汲荷揚場左右河岸地、大蔵省租税局出張所用地として沖縄県租税品揚置所とされる。	公文録（抄）3042
明治14	1881	12	16	大阪府、明治十五年度大阪府経費予算を大蔵省に報告する。	公文録（抄）3291
明治14	1881	12	16	死亡・火災の厄窮を助け、出産を祝うための結社相済社が北浜四丁目に開業式をあげる。	大阪日報・朝日新聞
明治14	1881	12	19	大阪府、就学督責規則を定める。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史第三巻
明治14	1881	12	19	大阪府、文部省教則大綱布達につき、中学校・師範学校に指示し、それに適応するよう教則の改正を命じる。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史第三巻
明治14	1881	12	20	大阪府、明治十四年度区部備荒儲蓄規則を定める。	布告及布達・明治大正大阪市史
明治14	1881	12	21	大阪府、明治十四年度郡部備荒儲蓄規則を定める。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	12	23	大阪府、大阪四区ならびに接続町村における出火信号を改定する。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	12	23	『畿内申報』、翌年一月四日より『此花新聞』と改題刊行することを広告する。	大阪日報
明治14	1881	12	24	大阪郵便局敷地として心斎橋筋一丁目から梅檀木橋南詰に変更する案が認可される。	公文録（抄）3076
明治14	1881	12	24	大阪府、町村立小学校生徒階級及び卒業試験に際し八分以上の得点者を優等として賞品授与を定める。	布告及布達（新聞）・大阪府教育百年史第三巻

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	12	27	大阪府、燈台・浮標・礁標等の設置願出に際して詳記すべき事項を定める。	布告及布達（新聞）
明治14	1881	12	日欠	大阪堂島米商会所、営業満期を前に営業継続について上申書を提出する。	五代友厚伝記資料第二巻資料四二・大阪日報・朝日新聞・日本立憲政党政新聞
明治14	1881	12	月中	各郡農況	大阪府勸業月報第十三号
明治14	1881	12	月中	教育に関する新聞記事	
明治14	1881	12	月中	(1)堀川南小学校の新築	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(2)本田東学校内に裁縫学校開業	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(3)桃谷学校・万年学校の合併と跡地の利用計画	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(4)私立森学校で武技体操の改善を出願	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(5)玉造学校の委員権謀が暴露されて学事振興に暗雲	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(6)米田徳兵衛の私立幼稚園設立許可	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(7)学務委員改正の風説	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	演説会に関する新聞記事	
明治14	1881	12	月中	(1)旧長州邸内で政談演説会	大阪日報
明治14	1881	12	月中	新聞の論説	
明治14	1881	12	月中	(1)大阪豪商富賈諸君ニ白ス	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(2)明治十四年ヲ送ルノ文	大阪日報
明治14	1881	12	月中	産業・金融等に関する新聞記事	
明治14	1881	12	月中	(1)多木豊次、滑車掛革製造販売の広告	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(2)内国砂糖大会社の設立に見通し	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(3)石丸元造幣局長がスリガラス製造をもくろむ	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(4)造幣局製造の硫酸・塩酸を丸善商社で売捌き	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(5)河内木綿の織方を改良	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(6)見山銀行の創業	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(7)湊屋新田硫酸製造所の盛大	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(8)商業仲間の信認金廃止ほか商法会議所委員の交代	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(9)石版業・猶龍堂の盛大	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(10)罐詰販売の広告	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(11)造幣局製造の硫酸・塩酸を大井ト新が売捌き	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(12)伊藤契信、川崎に硝子製造会社設立の経緯	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(13)渋谷紡績所の景況	大阪府勸業月報
明治14	1881	12	月中	市井諸事に関する新聞記事	
明治14	1881	12	月中	(1)南区長、長町のならず者改心のため宗教教師を招く	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(2)田中直介、小橋村に火葬場開設出願	朝日新聞

2_明治前期大阪編年史綱文データベース1877-1881

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	12	月中	(3)富嶋町郵便局の開局	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(4)讃良郡不動の滝から大阪市中に導水を計画	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(5)西区・々の小便所を石造にすること	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(6)船改所を入津料取立所と改称	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(7)小児の金輪竹輪遊びを禁ず	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	12	月中	(8)真宗大阪会同で月々講談会・説教会を開くと	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(9)郵便配達を市内分に編入の郡村	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(10)東成郡で連合会議員の選挙	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(11)大阪に測量台設置	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(12)東・南両区連合会の開催	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(13)西櫓町の良井を造酒家に売却	朝日新聞・大阪日報
明治14	1881	12	月中	(14)今橋の架換に着手	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(15)四区消防頭取吉備吉兵衛が東成郡接近町村の消防を請負う	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(16)撃剣家が夜警報集社を設立	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(17)撃剣家秋山氏の門弟を雇入れて夜警	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(18)千代崎橋あたりですりの横行	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(19)大阪でも国教演説会を設立	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(20)東・南両区連合会の折合悪い	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(21)城南射的場の胸壁が落成	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(22)愈庸会を開設し、法理を練磨	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(23)府会議事堂着工	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(24)下繫橋架換の渡り初め	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(25)新南栄橋架設出願	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(26)市街水管布設の下調べ	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(27)各町路傍の街灯に町名記入	大阪日報
明治14	1881	12	月中	(28)中ノ島五丁目を立退きで嘆願書	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(29)東区第二連合町会、生国魂神社渡御費の支出を否決	大阪日報
明治14	1881	12	月中	統計に関する新聞記事	
明治14	1881	12	月中	(1)川口税関輸出入金額表	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(2)南区地方税高	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(3)府下人民の持越諸公債証書高	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(4)東区内銃猟出願者数	朝日新聞
明治14	1881	12	月中	(5)府下人口	朝日新聞

年	西暦	月	日	事項	典拠
明治14	1881	月日欠		木綿太物商、安芸・播磨・備中・備後・伊予等の白木綿商と契約し、白木綿の品質改良のため幅尺を定め、検査人を置いて検査させることとする。	毛綿商旧記大阪木綿太物商組合商業調査要項
明治14	1881	統計		大阪府公私立病院一覧および大阪府衛生課報告伝染病患者表	朝日新聞
明治14	1881	統計		警察区画ならびに配置人員	大阪府警察史
明治14	1881	統計		官吏任免の状況	公文録（抄）3144
明治14	1881	統計		明治十四年一月より七月に至る諸製造所新設の状況	大阪府勸業月報第八号